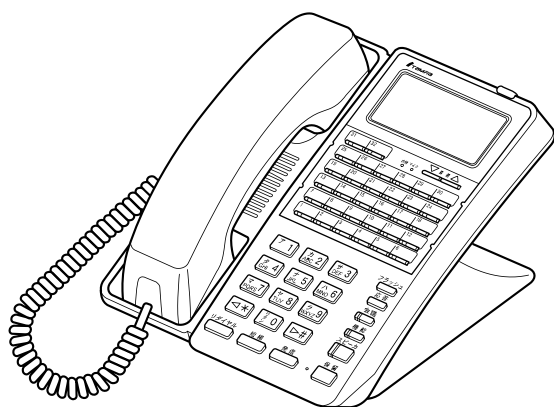
取扱説明書



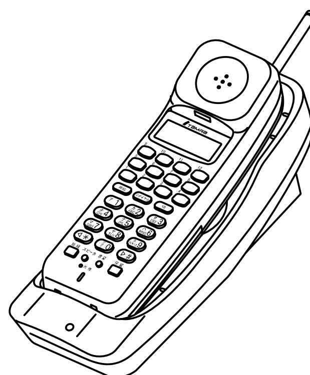
ビジネスコミュニケーションシステム

MT200bm

技術基準適合認定品



TD230電話機



WS230電話機



DC230電話機



FD200電話機

●このたびは、**MT200bm**をお買い上げいただきまことにありがとうございます。

●ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。
そのあと大切に保存し、必要なときにお読みください。

目次

第１章　準備編

安全にお使いいただくために …… 1
取扱説明書について …… 6
電話機の種類（ＴＤ１３０、ＴＤ２３０、ＰＦ２３０、ＦＤ２００、WＳ２３０、ＤＣ２３０電話機）…… 8
各種音量の調節 …… 29
各部の名称とはたらき …… 33
カレンダー・時計設定 …… 38
メインメニューについて（メインメニュー）…… 40
コントラスト調整 …… 41
バックライトの設定 …… 42

第２章　基本編

●電話をかける

未使用外線を自動的につかむ（自動選局発信）…… 43
受話器をおいたままで電話をかける（オンフックダイヤル）…… 44
受話器をあげて電話をかける（オフフックダイヤル）…… 45
受話器をあげるだけで外線をつかむ（発信プリセット）…… 46
受話器をあげるだけで電話をかける（オフフック発信）…… 46
電話番号を押してから電話をかける（プリセットダイヤル）…… 47
再度かけ直す（リダイヤル）…… 49
繰り返しかけ直す（オートリピートダイヤル）…… 51

●電話を受ける

受話器をあげるだけで応答する（着信自動応答）…… 52
電話がかかってきたら外線ボタンを押す（任意外線応答）…… 53
電話がかかってきたら発信 / 応答ボタンを押す（自動選局応答）…… 53
外線通話を保留にする（外線保留）…… 54
外線着信音メロディを切替える（着信音メロディ切替え）…… 55
内線通話後に外線を転送する（自動転送）…… 56
内線通話をしないで直接外線を転送する（強制転送）…… 57
相手に呼びかけて転送する（口頭転送）…… 59

●内線通話

受話器をあげて内線をかける（内線オフフック発信）…… 60
受話器を置いたままで内線呼び出しする（内線オンフック発信）…… 60
内線呼び出し音を切替える（音声／信号音切替え）…… 61
内線を簡単に呼び出す（内線オートダイヤル）…… 62

第３章　応用編

●外線転送機能

外線転送について …… 64
指定先番号へ自動転送する（転送先電話番号の登録）…… 65
（転送先電話番号の確認／変更／消去）…… 66
（外線自動転送セット／変更）…… 67
（外線自動転送解除）…… 68
外線自動転送を時刻指定で利用する （外線自動転送の時刻登録）…… 69
（外線自動転送の時刻確認／解除）…… 70
一次応答付き外線自動転送 …… 71
識別着信転送 …… 71

第３章　応用編

●外線転送機能

外線通話中に外線を転送する（外線手動転送） 72
外線転送後に再度通話する（外線転送コールバック） 73
外出先から外線転送の設定・解除を行う（リモコン機能） 74
（暗証番号の登録／変更／消去） 75
発信者番号通知を利用してリモコン操作をする（ダイレクトリモコン） 76
サブアドレス通知を利用してリモコン操作をする（サブアドレスリモコン） 77
自動着信機能を利用してリモコン操作をする（自動着信リモコン） 78
リモコン操作一覧 79

●外線の便利な機能

オートダイヤルに電話帳ボタンを登録する（電話帳ボタンの登録） 81
短縮ダイヤル、電話帳を登録する（電話帳登録） 82
識別着信 89
名前を検索して電話をかける（電話帳から発信） 89
短縮ダイヤルで電話をかける（短縮発信） 92
短縮ダイヤルから簡易検索してかける（短縮簡易検索発信） 93
短縮ダイヤルの確認／消去／変更 94
着信記録からの短縮ダイヤル登録 96
ワンタッチで電話をかける 98
（ワンタッチ登録） 99
（ワンタッチで発信／確認／消去／変更） 101
発信履歴から電話をかける（発信記録から発信） 102
発信履歴の消去のしかた　（発信記録の一括消去） 105
(発信記録の個別消去） 106
着信履歴から電話をかける（着信記録から発信） 108
着信履歴の消去のしかた（着信記録の個別消去） 112
充電器からあげてすぐにダイヤルできる（クイック通話） 113
最後にかけた電話番号を個別短縮番号に登録する（再発信メモリ） 114
こちらの声を相手に聞こえなくする（送話ミュート） 115
複数の短縮番号などを組み合わせて発信する（ネスティングダイヤルの登録） 116
（ネスティングダイヤルの発信／消去／確認） 117
ダイヤル操作で外線をつかむ（指定外線捕捉） 118
自動応答できない外線着信に応答する（コールピックアップ） 119
他の外線通話中の通話に割り込む（外線通話割込） 120
他の外線通話に受話だけで割り込む（送話ミュート付き外線通話割込） 121
短縮番号等を続けて発信する（チェーンダイヤル） 122
使用しない外線を話中にする（話中設定） 123

●内線の便利な機能

内線／ドアホンを名前で表示する（内線／ドアホン名前表示） 125
続けて別の内線を呼び出す（リセットコール） 130
他の内線着信に応答する（内線代理応答） 131
話中の内線への内線着信を他の内線へ着信させる（スライド着信） 132
全ての内線を呼び出す（一斉呼出・電話機グループ呼出）） 133
内線通話を保留する（内線独占保留） 134
内線通話を保留して、他の子機で再応答する（内線システム保留） 135
内線を受けられないようにする（不在設定） 136
不在時の内線呼出を他の電話機に転送する（不在転送） 137
通話中の電話機を呼び出す（話中呼出） 138
話中のときはそのまま待って相手を呼び出す（コールウェイティング） 139

第３章　応用編

●会議通話

外線・内線で会議をする（外１＋内２／外１＋内３）.......... 140
（外２＋内１／外２＋内２）.......... 141
内線で会議をする（内線会議通話）.......... 142
外線会議通話から外線手動転送に移行する（外線会議転送）.......... 142

●その他の便利な機能

受話器を置いたままで相手と話す（外線ハンズフリー通話）.......... 143
内線着信時に受話器を置いたままで応答する（パーソナルハンズフリー通話）.......... 144
通話中に相手の声をスピーカから聞く（スピーカ受話）.......... 144
ボタン押し下げ音を停止する（キー押下音）.......... 145
外線着信音を停止する（外線着信鳴動拒否）.......... 145
夜に指定した電話機だけ鳴動させる（夜間モード切替）.......... 146
通話時間を表示する（通話時間表示）.......... 148
通話料金を表示する（通話料金表示）.......... 148
通話料金を集計する （通話料金集計、システム／テナント） 149
（通話料金集計、外線／電話機） 150
通話料金集計を消去する（通話料金集計の消去、システム／テナント）.......... 151
（通話料金集計の消去、外線／電話機）.......... 152
指定した電話機からアラーム音を出す（時刻アラームの登録／確認／変更）.......... 153
（時刻アラームの解除）.......... 154
外線を再捕捉する（フラッシュ機能）.......... 155
ダイヤル回線からプッシュ信号を送出する（プッシュ信号送出）.......... 156
盗聴防止機能（スクランブル）.......... 157
保留音メロディを切替える（保留音メロディ切替え）.......... 158

●単独電話機

内線優先モードの使い方 159
（外線発信）.......... 160
（リダイヤル）.......... 161
（指定外線捕捉）.......... 161
（短縮ダイヤル）.......... 162
（外線着信）.......... 163
（コールピックアップ）.......... 163
（外線保留）.......... 164
（自動転送）.......... 165
（強制転送）.......... 166
（外線会議通話）.......... 167
（内線通話）.......... 168
（音声／信号音切替え）.......... 168
（リセットコール）.......... 169
（一斉／グループ呼出）.......... 169
（構内放送）.......... 170
（コールウェイティング）.......... 170
（内線代理応答）.......... 171
（内線保留）.......... 171
（内線保留転送）.......... 172
（待機中通知）.......... 173
（内線会議通話）.......... 174
（ドアホン通話）.......... 175
（ドアホンモニタ）.......... 175

第３章　応用編

●単独電話機

外線優先モードの使い方 …… 176
（外線発信） …… 176
（外線着信） …… 177
（内線優先モードと共通操作） …… 177
外線着信をＦＡＸに転送する（ＦＡＸ転送） …… 178

第４章　ＦＤ２００機能編

メインメニューについて（メインメニュー） …… 179
コントラスト調整 …… 180
短縮ダイヤル、電話帳を登録する（電話帳登録） …… 181
名前を検索して電話をかける（電話帳から発信） …… 183
発信履歴から電話をかける（発信記録から発信） …… 184
着信履歴から電話をかける（着信記録から発信） …… 185
内線／ドアホンを名前で表示する（内線／ドアホン名前表示） …… 186

第５章　オプション編

●ドアホン

ドアホンからの呼出しで通話をする（ドアホン通話） …… 188
ドアホンの周囲をモニタする（ドアホンモニタ） …… 189
玄関などのドアの鍵を解除する（ドアロック解除） …… 189

●留守番機能

留守番の概要 …… 190
留守番応答回数の変更 …… 191
留守番指定電話機 …… 192
各種メッセージ録音のしかた …… 193
メッセージの確認／消去／変更のしかた …… 194
留守番セットのしかた …… 195
追っかけ転送（転送先番号の登録／確認／変更／消去） …… 196
電話機の留守番指定切替 …… 197
留守番セット中に電話がかかってきたら（応答録音／応答専用／追っかけ転送） …… 198
用件の再生／消去のしかた …… 199
識別着信留守番 …… 200
留守番機能を日時指定で利用する（留守番機能の自動切替日時の登録） …… 201
（留守番機能の自動切替日時の確認） …… 204
（留守番機能の自動切替日時の消去） …… 205
お待たせメッセージ応答（手動応答のしかた） …… 206
リモコン機能（暗証番号の登録／消去／変更） …… 207
外出先からリモコン操作をする …… 208
リモコン操作一覧 …… 209

●その他のオプション

ヘッドセット接続 …… 210
ページング接続（構内放送） …… 211
その他の接続（アンプアダプタ／高音量ブザー／ＢＧＭ放送） …… 212
ＩＰ電話サービス回線で電話をかける …… 213

第６章　ＩＳＤＮ機能編

●基本サービス

ＩＳＤＮサービス一覧 214
料金情報通知 215
サブアドレス通知 215
発信者番号通知 216

●付加サービス

キャッチホン（コールウェイティング） 217
迷惑電話おことわり（登録） 218
（解除／確認） 219
ＩＮＳボイスワープ 220
（転送先電話番号の登録） 221
（転送先電話番号の確認） 222
（転送先リストの指定） 223
（サービスの開始） 224
（サービスの停止／確認） 225
（無応答時転送の起動時間の設定） 226
（転送通知用トーキの設定） 227
（転送通知用トーキの確認） 228
（転送元案内トーキの設定） 229
（転送元案内トーキの確認） 230
（リモートコントロール機能） 231
通信中着信通知 234
ＩＮＳナンバーディスプレイ 235
ＩＮＳネームディスプレイ 235
非通知着信メッセージ応答 236

第７章　インターネット編

●ＢＯＤ機能

通信中の着信（リソースＢＯＤ機能） 238
通信中の発信（リソースＢＯＤ機能） 239
オリジナル・リソースＢＯＤ機能（フレッツ・ＩＳＤＮ） 240

第８章　ＤＣ２３０機能編

名前を確認してから電話をかける（メモリダイヤル） 242
キーロックの設定 245
機能モードの使い方 245
機能項目一覧表 246
文字入力表 247
自営発信モードの設定 248
パスワードロックの設定・解除 249
カレンダー時刻の設定 250
アラームの設定 250
バイブレータ（振動着信）の設定 251
着信音種の選択 251
リレー着信モードの設定 252

第８章　ＤＣ２３０機能編

キータッチトーンの設定 252
Ｆキーモードの設定 253
ワンタッチダイヤルの設定 254
パスワードの設定 255
ＬＣＤコントラストの設定 255
圏外警告音の設定 256
全設定初期化 256

第９章　参考編

停電について 257
機能ランプリセット 258
故障かな？とお考えになる前に 259
保証とアフターサービス 261
特殊内線番号の登録一覧表 262
特殊番号の登録一覧表 263
オートダイヤルボタンに登録して使う機能一覧表 269
TD130、TD230、FD200、WS230、DC230 電話機の外線ボタン、オートダイヤルの関係 270

【索引】（INDEX）

※ボイスメールについては、ボイスメールユニット（オプション）付属の「ボイスメール取扱説明書」をご覧ください。

1　はじめに

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を表わします。その表示の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

【本書中のマーク説明】

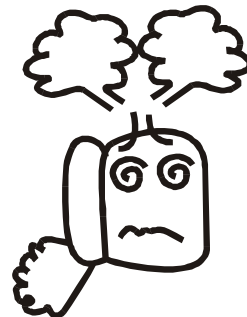
⚠危険	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。**
⚠警告	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠注意	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

●この電話機システムは、日本国内用に設計されています。電圧や電話交換方式の異なる海外では使用できません。
●本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因による、発信や通話などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
●本製品の設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもとになりますので絶対におやめください。
●本製品を分解したり改造したりすることは、法律で禁止されていますので絶対にしないでください。
●必ずこの取扱説明書をよく読み、理解したうえでお使いください。

２　対処のしかた

次のようなときは、お買い上げの販売店または付属の「お問い合わせ窓口のご案内」の営業所などへご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

⚠警告

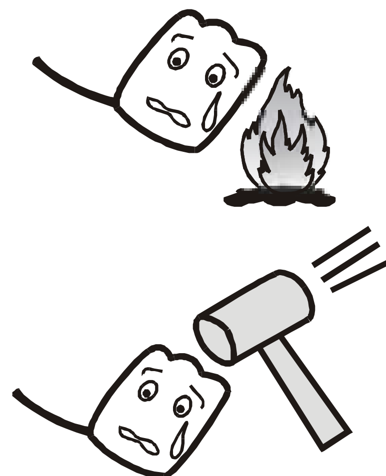


①万一、煙がでている、へんな臭いがするなどの異常状態のままで使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
②万一、本製品が破損した場合、主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。そのままで使用すると、火災、感電の原因となります。
③万一、内部に水などが入った場合は、まず主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。そのままで使用すると、火災、感電の原因となります。
④万一、異物が入った場合は、まず主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。そのままで使用すると、火災、感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
⑤電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると、電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。
⑥ＷＳ子機やデジタルコードレス電話機(以降、「ＤＣ子機」と略す)および充電器が、上記①～④と同じ現象が発生した場合は、直ちに充電をやめ、ACアダプタを電源コンセントから抜いてください。そのままで使用すると、火災、感電の原因となります。

３　液漏れ、発熱などを避けるために

ＷＳ子機の電池（型名：ＢＰ３６６Ｎ－Ａ）やＤＣ子機の電池パック（型名：ＢＰ３７４２Ｌ－Ａ）について、誤った取り扱いをすると、爆発、発熱、破裂、液漏れ、発火の恐れがあります。必ず下記の注意事項をよくお読みになってからご使用ください。

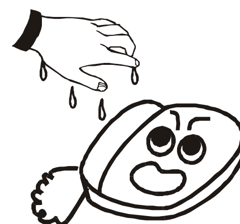
⚠危険



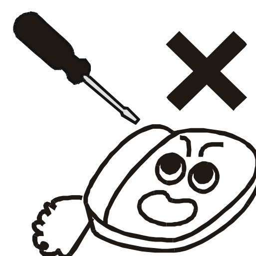
①火の中に投げ入れたり、加熱しないでください。
②直接ハンダ付けしないでください。
③万一、電池内部の液が眼に入ったときは、失明の恐れがあります。こすらずに、すぐきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
④針を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたり、投げつけたりしないでください。
⑤電池や電池パックおよび充電器は必ず専用のものをご使用ください。
⑥分解や改造は絶対にしないでください。
⑦電池をＷＳ子機に、電池パックをＤＣ子機に接続するときは、電池コネクタの方向を確認してから正しく接続してください。

４　火災、感電などを避けるために

⚠警告



①本製品の上や近くに、水などの入った容器（花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）または、小さな金属物などを置かないでください。
②テーブルタップや分岐コンセントおよび分岐ソケットを使用した、たこあし配線は使用しないでください。
③本製品の分解、改造はしないでください。
④一般家庭用電源（ＡＣ１００Ｖ）以外は、使用しないでください。
⑤ぬれた手で電源プラグやＡＣアダプタを抜き差ししないでください。
※ＡＣアダプタは必ず付属のＡＣアダプタをご使用ください。それ以外は絶対に使用しないでください。
⑥近くで雷が発生したとき、電源プラグやＡＣアダプタを電源コンセントから抜いてご使用を控えてください。
⑦ＷＳ子機やＤＣ子機および充電器の充電端子は、金属などでショートさせないでください。また、充電端子に水滴などがついたままで充電しないでください。



⚠注意

①湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
②調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたるような場所には、置かないでください。
③ぐらついた台の上などの不安定な場所には、置かないでください。

※本製品の清掃は、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を布にしみこませ、かたく絞ってからふいてください。ベンジンやシンナーなどでふかないでください。変色や変形の原因となることがあります。

５　ＷＳ２３０、ＤＣ２３０電話機の使用上について



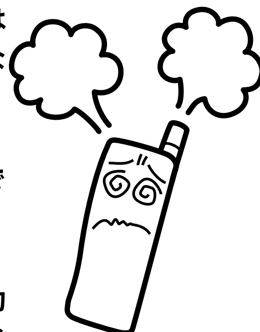
警告

①引火・爆発の恐れがある場所での使用および充電はしないでください。本電話機は防爆型ではありません。プロパンガス、ガソリン、引火性ガスなどの発生するような場所では、絶対に使用および充電しないでください。本電話機の電源を必ず切ってください。

②高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くで、本電話機を使用しないでください。電子機器が誤作動したりするなどの影響を与える可能性があります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、ペースメーカ、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。ペースメーカ、その他医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認ください。



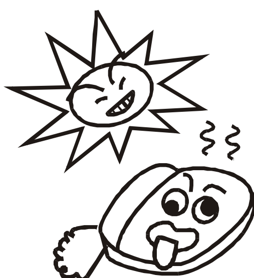
- ＤＣ子機の側面に取り付けられたゴムキャップを取り外さないでください。
  ゴムキャップが無いまま、ぬれた手でお使いになると、故障や感電の原因となります。
- 寒い戸外から急に暖かい室内に本電話機を持ち込むと、急激な温度変化により、本電話機内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が生じたときは電源を切って水滴が蒸発するまでしばらく放置しておいてください。結露したままでお使いになると、故障の原因となります。
- 本電話機の通話は盗聴されにくくなっていますが、電波を利用している為、通常の手段を超えた方法で第三者が故意に通話の内容を傍受する場合が、全くないとはいえません。この点を十分に留意してご使用ください。

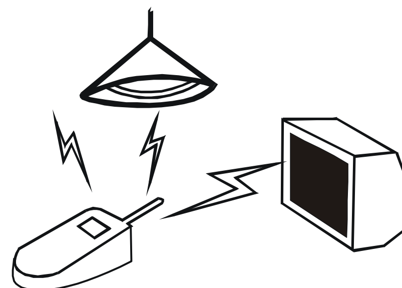
6　設置場所について

次のような場所には、設置しないでください。

⚠注意

①直射日光があたる場所や、暖房器具の近くなど、温度があがる場所（４０℃以上）
②著しく温度が下がる場所（０℃以下）
③振動が多い場所や不安定な場所
④スピーカボックスなど磁気を帯びたものに近い場所
⑤テレビ、ラジオなどに近い場所（受信障害を起こす可能性があります。）
⑥電気雑音を発生するものに近い場所（通話に雑音が入ったり、使用できなくなることがあります。）





＜電気雑音が発生する原因としては＞

●車やオートバイが近くを通る場合
●放送局や無線局（アマチュア無線、ＣＢ無線など）の近くで使用する場合
●テレビ、ラジオ、蛍光灯、ＯＡ機器、電子レンジ、電気コタツなどの近くで使用する場合
●高周波溶接機、高周波ミシン、電気溶接機、ワイヤカッタなどの工作機械の近くで使用する場合

7　使用上のご注意

⚠注意

①本製品は日本国内専用です。海外では使用できません。
②ＷＳ子機・ＷＳ親機（ＷＳ２３０）やＤＣ子機・接続装置（ＤＣ２３０）のアンテナをあやまって目にささないようにしてください。また、アンテナに無理な力を加えないでください。（折れたり、曲がったりします。）

ご使用にあたってのお願い

このシステムをご使用にあたって、ＮＴＴのレンタル電話機が不要となる場合はＮＴＴへご連絡ください。詳しくは局番なしの１１６番（無料）へお問い合わせください。

準備編	●取扱説明書について

この取扱説明書は、次のフォーマットをベースに記載してあります。

第○章を記載

オプション編	見出しを記載
ドアホン	
TD130, TD230, FD200	

関連項目を記載

関連する機器を記載

操作説明パート	補足説明パート	表示説明パート

MEMO 関連項目や注意点を説明

ページ

—○—

略図の説明

この取扱説明書では、次の表のとおり操作説明を略図で表します。

略図	操作説明
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ＊ ＃	ダイヤルボタンを押す
	受話器をあげる（DC子機は機能別に指定の操作をする）
	WS子機を充電器から持ちあげる
	電話機スピーカから音が鳴る（DC子機にはスピーカがありません）

略図	操作説明
保留 発信 会議 機能 短縮 リダイヤル フラッシュ 応答 スピーカ	各機能名称のボタンを押す
	受話器をおく（DC 子機は 電源 を押す）
	WS子機を充電器におく

※ＴＤ１３０、ＴＤ２３０、ＰＦ２３０、ＦＤ２００電話機は受話器をおいている状態を、ＷＳ子機は充電器においている状態を、ＤＣ子機は充電器からあげている状態を基本とします。

●ＴＤ１３０電話機

●外線ボタン、オートダイヤル

ボタン１～１６は、外線ボタンとして利用できます。また、未使用外線は、オートダイヤルボタンとして利用できます。

●スピーカ

呼出音やスピーカ受話の音が聞こえます。

●受話器

●ダイヤルボタン

ダイヤル時やカナ文字入力などに使います。

●リダイヤルボタン

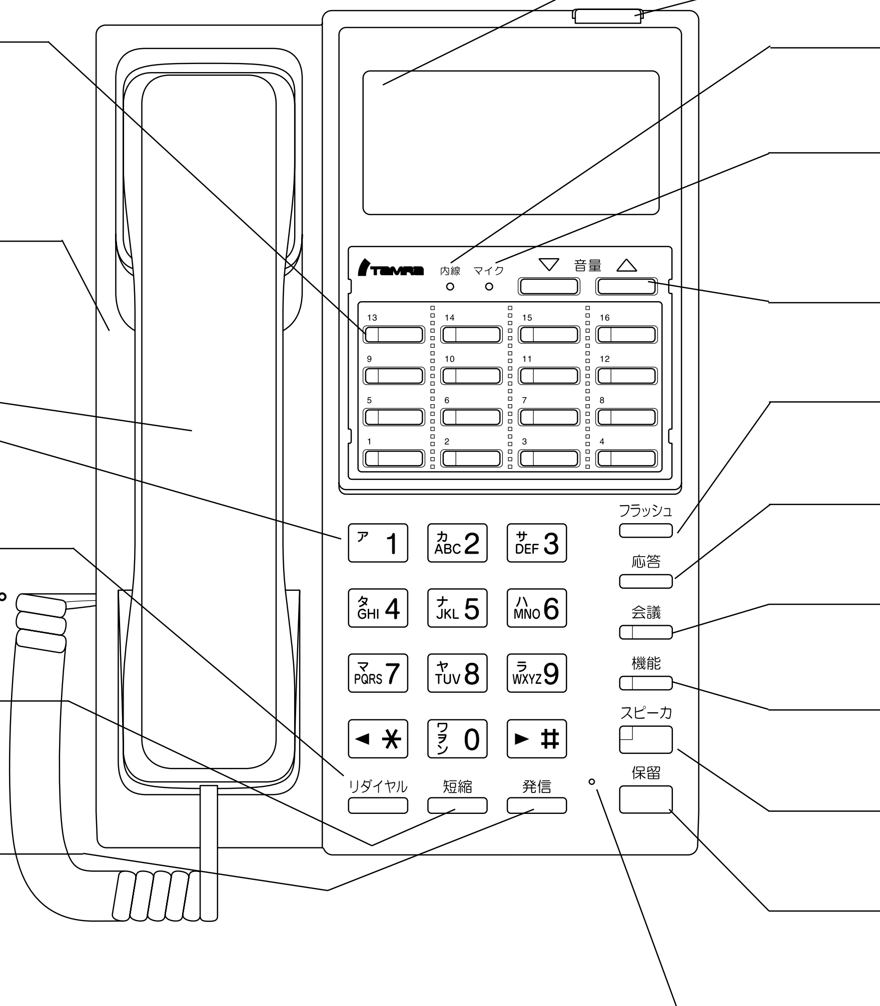
同じ番号へ再度かけるときなどに使います。

●短縮ボタン

短縮ダイヤルで電話をかけるときなどに使います。

●発信ボタン

電話をかけるときに発信ボタンを押すと、未使用の外線を自動的につかみます。



（短縮早見表ホルダーの取付図）
下図のように電話機に取り付けてご利用ください。
※短縮早見表ホルダーは、別売品です。



●表示部(３４ページ)

●着信ランプ

外線着信と内線個別呼出のとき点滅します。

●内線ランプ

内線着信中は点滅、内線通話が始まると点灯します。

●マイクランプ

ランプが点灯のときにハンズフリー通話とパーソナルハンズフリー通話ができます。消灯のときはハンズフリー通話ができません。

●音量ボタン

受話音量、着信音量およびスピーカ受話音量などを別々に調節するときに使います。

●フラッシュボタン

キャッチホンサービスなどを受けるときに使います。

●応答ボタン

受話器をあげて応答ボタンを押したときに外線通話ができます。

●会議ボタン／ランプ（赤色）

外線・内線の会議通話をするときに使います。会議通話中に点灯します。

●機能ボタン／ランプ（赤色）

短縮ダイヤルの登録などをするときに使います。

●スピーカボタン／ランプ（赤色）

スピーカ受話などをするときに使います。

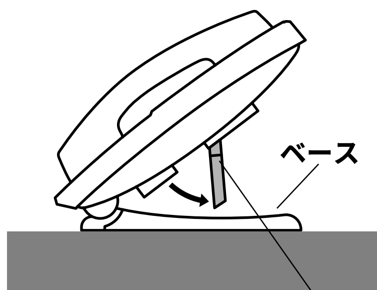
●保留ボタン

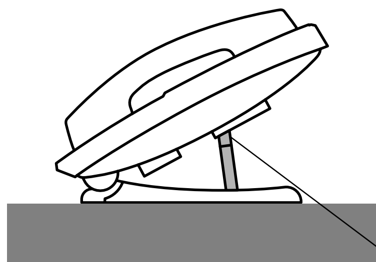
外線、内線通話を保留にするときに使います。

●マイク

ハンズフリー、パーソナルハンズフリー通話のときに使用します。

ＴＤ１３０電話機角度調節のしかた





高角度スタンド　　**高角度スタンドをベースにセットする。（２段階）**

※高角度スタンドを取り外すときは、ベースを押さえて、電話機を引き上げてください。（無理に引き上げると破損する恐れがあります。）

※電話機を壁に取りつけるときは、購入された販売店にご相談ください。

●ＴＤ２３０電話機
●ＰＦ２３０電話機

ＰＦ２３０電話機の外観寸法、形状、および通常の使い方は、ＴＤ２３０電話機と同じです。
（以降、「ＴＤ２３０電話機」のみ記載します。）停電の際は、ＰＦ２３０電話機で発着信できます。

●外線ボタン、オートダイヤル

ボタン１～１８、３１、３２は、外線ボタンとして利用できます。また未使用外線と残りのボタンは、オートダイヤルボタンとして利用できます。

●スピーカ

呼出音やスピーカ受話の音が聞こえます。

●受話器

●ダイヤルボタン

ダイヤル時やカナ文字入力などに使います。

●リダイヤルボタン

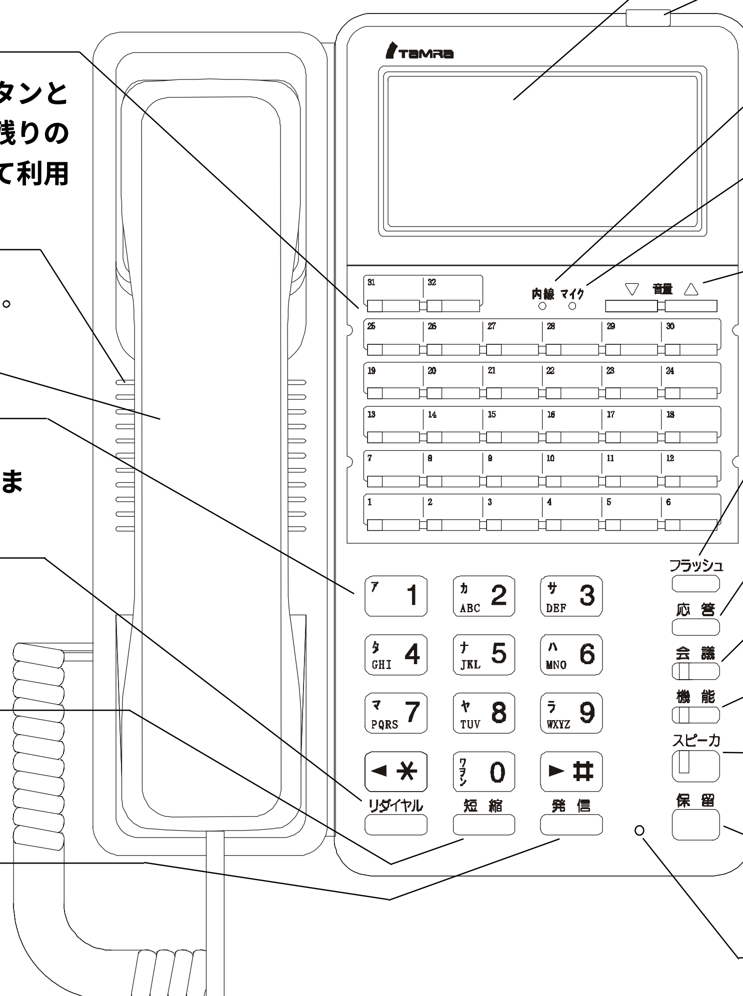
同じ番号へ再度かけるときなどに使います。

●短縮ボタン

短縮ダイヤルで電話をかけるときなどに使います。

●発信ボタン

電話をかけるときに発信ボタンを押すと、未使用の外線を自動的につかみます。



（短縮早見表ホルダーの取付）
下図のように電話機に取り付けてご利用ください。
※短縮早見表ホルダーは、別売品です。



●表示部(３４ページ)

●着信ランプ

外線着信と内線個別呼出のとき点滅します。

●内線ランプ

内線着信中は点滅、内線通話が始まると点灯します。

●マイクランプ

ランプが点灯のときにハンズフリー通話とパーソナルハンズフリー通話ができます。消灯のときはハンズフリー通話ができません。

●音量ボタン

受話音量、着信音量およびスピーカ受話音量などを別々に調節するときに使います。

●フラッシュボタン

キャッチホンサービスなどを受けるときに使います。

●応答ボタン

受話器をあげて応答ボタンを押したときに外線通話ができます。

●会議ボタン／ランプ（赤色）

外線・内線の会議通話をするときに使います。会議通話中に点灯します。

●機能ボタン／ランプ（赤色）

短縮ダイヤルの登録などをするときに使います。

●スピーカボタン／ランプ（赤色）

スピーカ受話などをするときに使います。

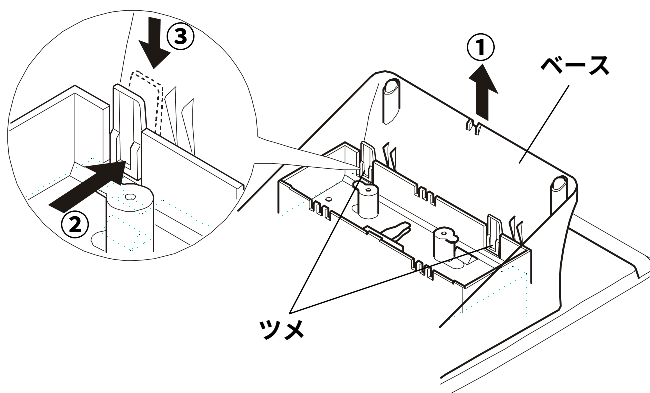
●保留ボタン

外線、内線通話を保留にするときに使います。

●マイク

ハンズフリー、パーソナルハンズフリー通話のときに使用します。

TD230電話機角度調節のしかた（ PF230も同様です）



<電話機角度を上げる>

- **ベースを①の矢印方向に（上）引き上げます。このときベースが止まる位置まで引き上げてください。（「カチッ」と音がします。）**

<電話機角度を下げる（元に戻す）>

- **ベースを戻すには、ツメの根元を両方とも②の矢印方向に指で押しながらベースを③の矢印方向に押しこみます。**

※電話機を壁に取り付けるときは、購入された販売店にご相談ください。

●ＦＤ２００電話機

●外線ボタン、オートダイヤル

ボタン１～１６は、外線ボタンとして利用できます。また、未使用外線は、オートダイヤルボタンとしても利用できます。

●電話帳ボタン

カナ文字 / 英字 / 数字で検索し、電話をかけるときなどに使います。（電話帳検索）

●確定ボタン

短縮番号の名前登録などの確定ボタンとして使います。

●スピーカ

呼出音やスピーカ受話の音が聞こえます。

●受話器

●ダイヤルボタン

ダイヤル時やカナ文字入力などに使います。

●リダイヤルボタン

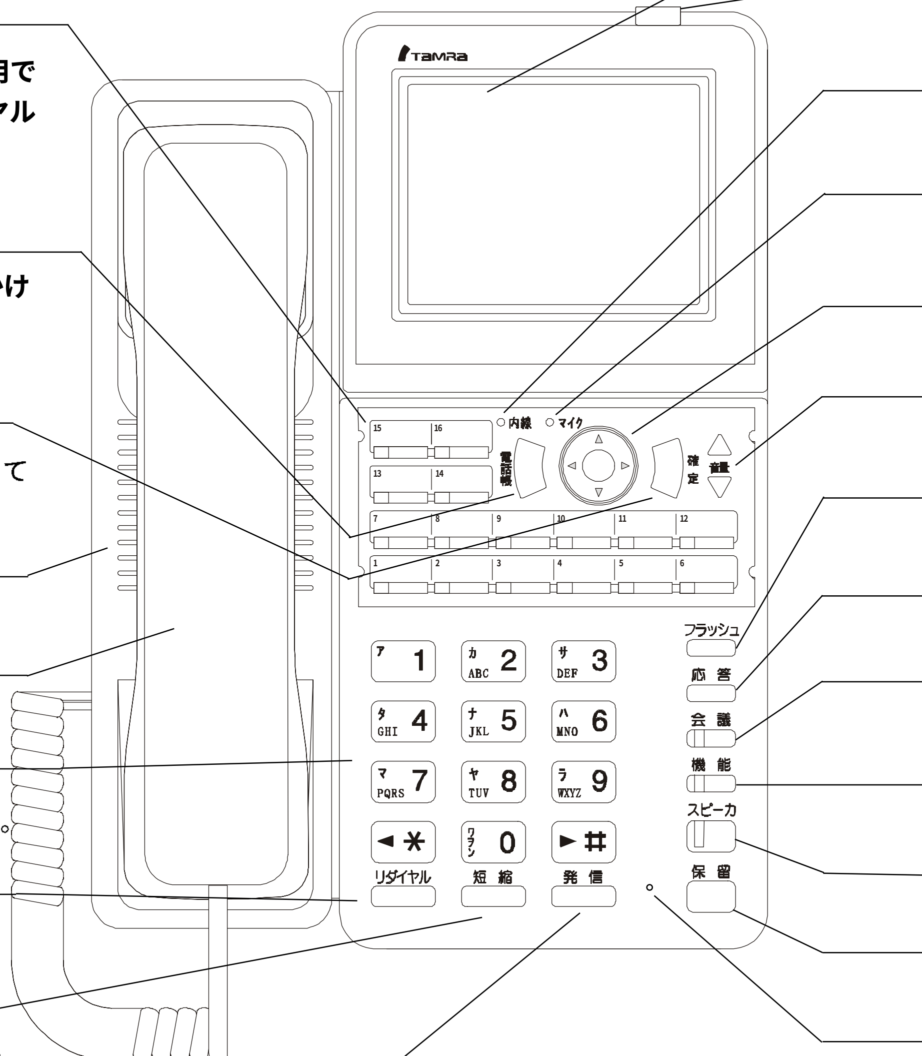
同じ番号へ再度かけるときなどに使います。

●短縮ボタン

短縮ダイヤルで電話をかけるときなどに使います。

●発信ボタン

電話をかけるときに発信ボタンを押すと、未使用の外線を自動的につかみます。



●表示部(３６ページ)

●着信ランプ　外線着信と内線個別呼出のとき点滅します。

●内線ランプ　**内線着信中は点滅、内線通話が始まると点灯します。**

●マイクランプ　ランプが点灯のときにハンズフリー通話とパーソナルハンズフリー通話ができます。消灯のときはハンズフリー通話ができません。

●ＭＦキー　表示部のメニュー選択や、電話帳検索のスクロールキーなどに使います。

●音量ボタン　受話音量、着信音量およびスピーカ受話音量などを別々に調節するときに使います。

●フラッシュボタン　キャッチホンサービスなどを受けるときに使います。

●応答ボタン　受話器をあげて応答ボタンを押したときに外線通話ができます。

●会議ボタン／ランプ（赤色）　外線・内線の会議通話をするときに使います。会議通話中に点灯します。

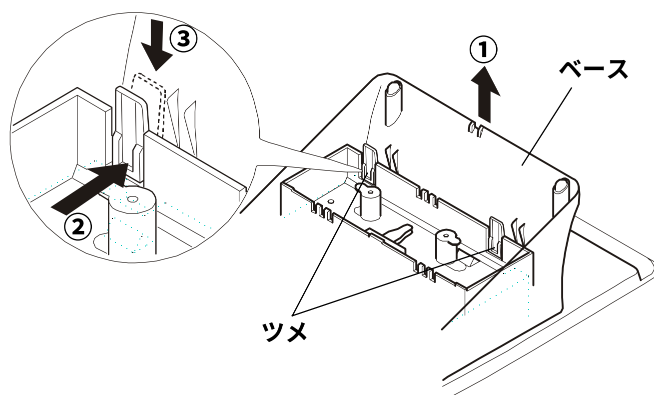
●機能ボタン／ランプ（赤色）　短縮ダイヤルの登録などをするときに使います。

●スピーカボタン／ランプ（赤色）　スピーカ受話などをするときに使います。

●保留ボタン　外線、内線通話を保留にするときに使います。

●マイク　ハンズフリー、パーソナルハンズフリー通話のときに使用します。

FD200電話機角度調節のしかた

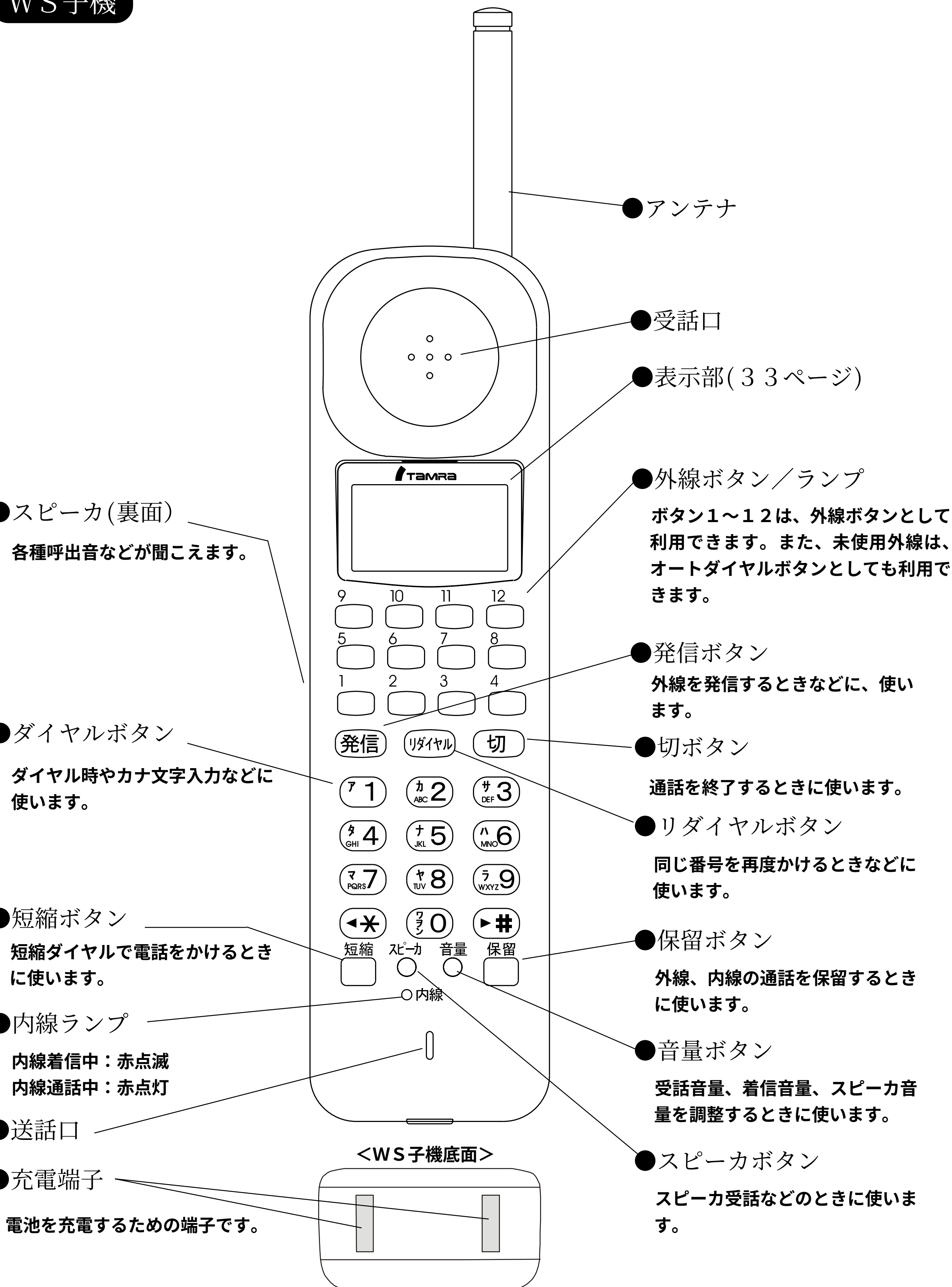


＜電話機角度を上げる＞
- **ベースを①の矢印方向に（上）引き上げます。このときベースが止まる位置まで引き上げてください。（「カチッ」と音がします。）**

＜電話機角度を下げる（元に戻す）＞
- **ベースを戻すには、ツメの根元を両方とも②の矢印方向に指で押しながらベースを③の矢印方向に押しこみます。**

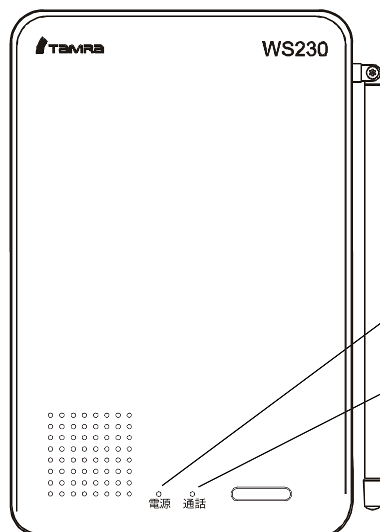
※電話機を壁に取り付けるときは、購入された販売店にご相談ください。

●ＷＳ２３０電話機



ＷＳ子機
●アンテナ
●受話口
●表示部(３３ページ)
●外線ボタン／ランプ
ボタン１～１２は、外線ボタンとして利用できます。また、未使用外線は、オートダイヤルボタンとしても利用できます。
●スピーカ(裏面)
各種呼出音などが聞こえます。
TAMRA
9
10
11
12
5
6
7
8
1
2
3
4
発信
リダイヤル
切
●発信ボタン
外線を発信するときなどに、使います。
●ダイヤルボタン
ダイヤル時やカナ文字入力などに使います。
●切ボタン
通話を終了するときに使います。
●リダイヤルボタン
同じ番号を再度かけるときなどに使います。
●短縮ボタン
短縮ダイヤルで電話をかけるときに使います。
短縮
スピーカ
音量
保留
内線
●保留ボタン
外線、内線の通話を保留するときに使います。
●内線ランプ
内線着信中：赤点滅
内線通話中：赤点灯
●音量ボタン
受話音量、着信音量、スピーカ音量を調整するときに使います。
●送話口
＜ＷＳ子機底面＞
●充電端子
電池を充電するための端子です。
●スピーカボタン
スピーカ受話などのときに使います。

ＷＳ親機



●アンテナ
５段階まで伸ばせます。
（アンテナは立てて伸ばしてお使いください。）

●電源ランプ（赤色）
通電中に点灯します。

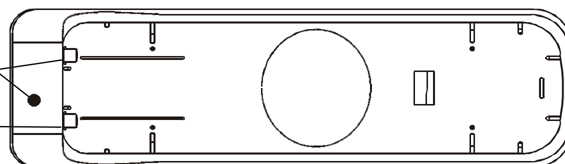
●通話ランプ（緑色）
ＷＳ子機が通話中のとき緑点灯します。
（※点滅のときは、ご使用できません。販売店へご相談ください。）

充電器

＜充電器正面＞

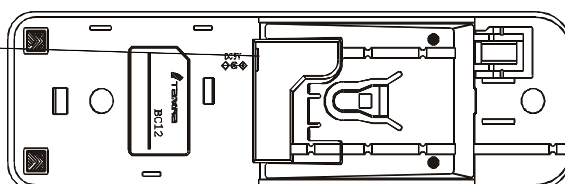
●充電ランプ
ＷＳ子機を充電器に置くと赤点灯します。（充電中）

●充電端子
ＷＳ子機を充電するための端子です。



＜充電器裏面＞

●電源ジャック
付属のＡＣアダプタを接続します。
（21 ページ参照）



●ＤＣ２３０電話機

デジタルコードレス電話機（以降、「ＤＣ子機」と略す）

着信／メッセージ／充電ランプ
着信のときに赤ランプが早く点滅します。ボイスメールの通知のときに赤ランプがゆっくり点滅します。また、充電中は赤ランプが点灯し、充電完了で緑ランプが点灯します。

受話口

アンテナ
伸縮式です。

表示部（３３ページ）

サウンダ
着信音や呼出音などが聞えます。

音量ボタン
着信音量や受話音量を調節するときに押します。

ゴムキャップ
※爪先などで、矢印方向（↓）へ押してゴムキャップを持ち上げるとイヤホンマイクジャックがあります。

イヤホンマイクジャック
イヤホンマイクを接続します。

（発信／応答）ボタン／ランプ（緑色）
電話をかけるときや電話を受けるときに押します。電話をかけるときに　　を押すと、未使用の外線を自動的につかみ、ランプは外線通話中に点灯します。

（内線）ボタン／ランプ（緑色）
内線をかけるときなどに押します。ランプは内線通話中に点灯します。

（切）ボタン
通話を終了するときなどに押します。また、電源を入れたり、切るときに長く押し続けます。

※通常は電源を入れた状態で使用します。長時間お使いにならないときは電源を切ってください。

送話口

ダイヤルボタン
電話番号をダイヤルするときやメモリダイヤルの名前を登録するときなどに押します。

（アスタリスク）ボタン
メモリダイヤルの名前や電話番号を逆順に表示させるときなどに押します。

（シャープ）ボタン
メモリダイヤルの名前や電話番号を順番に表示させるときなどに押します。

充電端子（2ヶ所）
電池パックを充電するための端子です。

外線ボタン／ランプ

外線1～6ボタンは外線をかけるときなどに押します。自分が使用中のときは緑色、他人が使用中のときは赤色で点灯します。また、各種機能のボタンとして設定できます。

※保留したあとに（電源）ボタンを押したときなどのランプ表示は変化することがあります。

外部接続端子

メンテナンスのときだけ使用しますのでさわらないでください。

充電コネクタ

電池パックのコードを接続するためのコネクタです。

電池カバー

Li-ion

（フック）／機能／クリアボタン

（フック）：キャッチホンサービスなどを受けるときに押します。
機能：待機状態で、ダイヤルボタンと組み合わせて便利な端末機能を選ぶときなどに押します。
クリア：登録したメモリダイヤルを消去するときなどに押します。

（コール）／文字／Ｐボタン

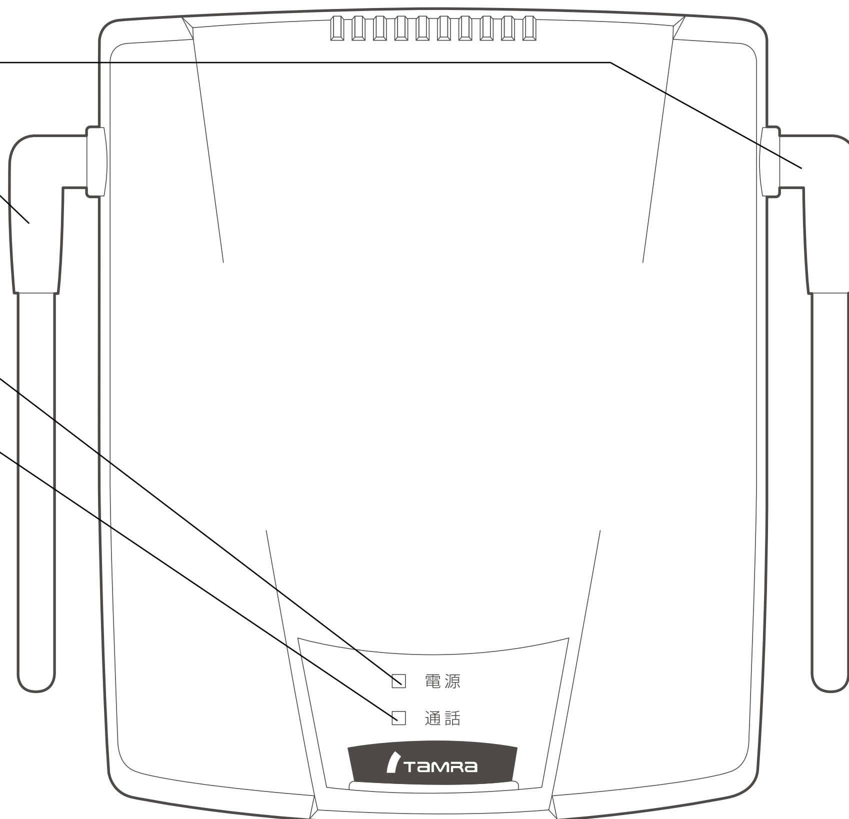
（コール）：メモリダイヤルに名前や電話番号を登録したり、登録したメモリダイヤル（最大300件）の内容を表示させ発信するときなどに押します。
文字：メモリダイヤルの登録や検索をする場合、カナ／英字／数字のいずれかに切り替えるときに押します。
Ｐ：メモリダイヤルにポーズを登録するときなどに押します。

（保留）／再送／決定ボタン

（保留）：外線・内線の通話を保留するときなどに押します。
再送：リダイヤル（５０ページ）のメモリの呼び出しなどに使います。
決定：端末機能の設定や、メモリダイヤルの登録／検索で入力したデータを決定するときなどに押します。

●ＤＣ２３０電話機

接続装置



アンテナ
アンテナは立ててお使いください。

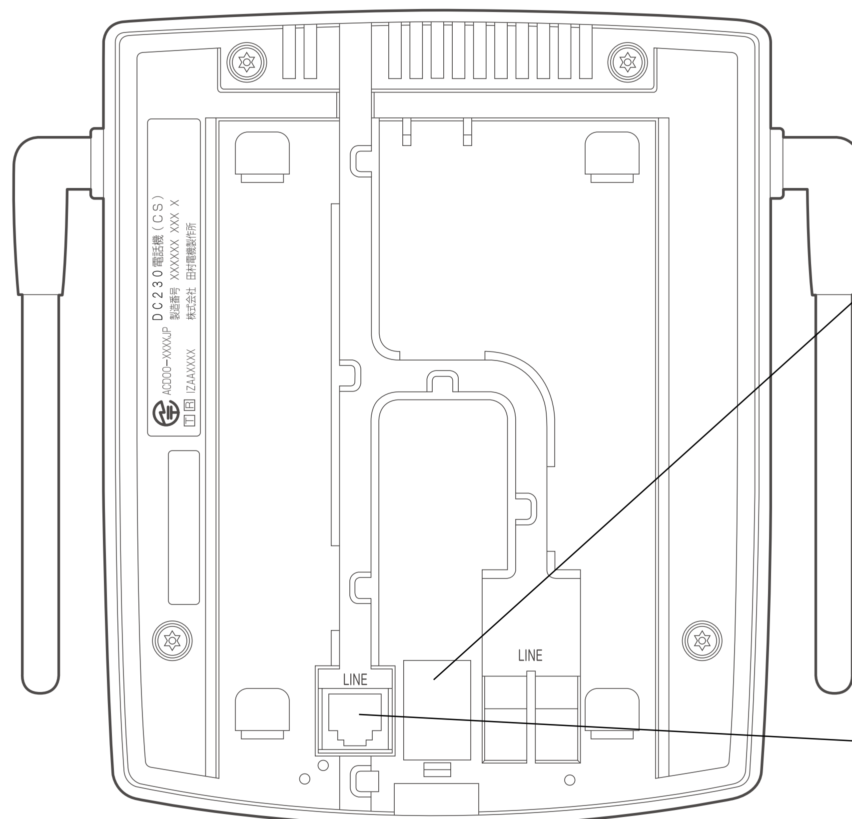
電源ランプ（赤色）
通電中に点灯します。
※消灯のときは電源が供給されていません。
※電源供給直後は一時的に点滅します。

通話ランプ（緑色）

緑　色	点灯：正常状態です。
	点滅：無線のチャンネルを使用している状態です。（通話中などのとき、点滅します）

※ 電源供給直後は数秒間点滅します。
※ 両ランプの点灯または点滅パターンが上記以外か、消灯している場合は、故障の可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。

（裏面）

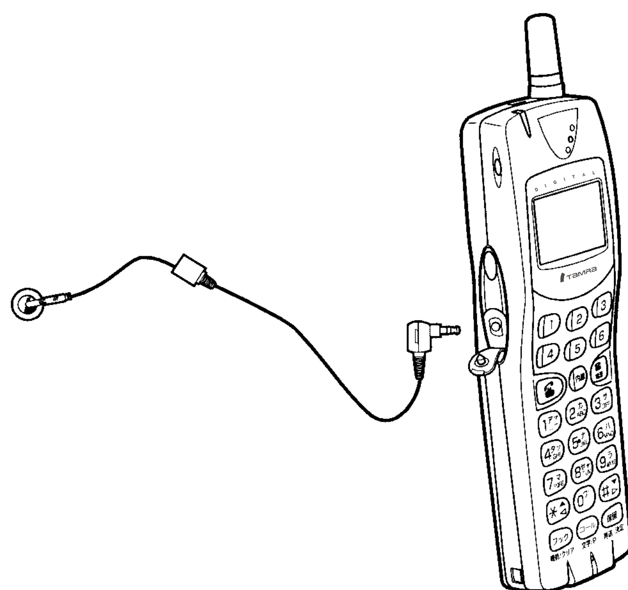


ディップスイッチ
工事担当以外は、さわらないでください。
※お買い上げ時は1：ON，2：OFFです。

モジュラージャック
電話機コードのモジュラー部を差し込みます。
主装置と接続されます。

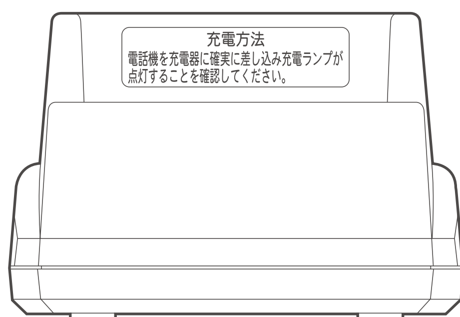
イヤホンマイク用ジャック

Ø2.5㎜ タイプ(イヤホン：32 Ω3 極ミニプラグ)のイヤホンマイク(市販品)を接続して使用できます。



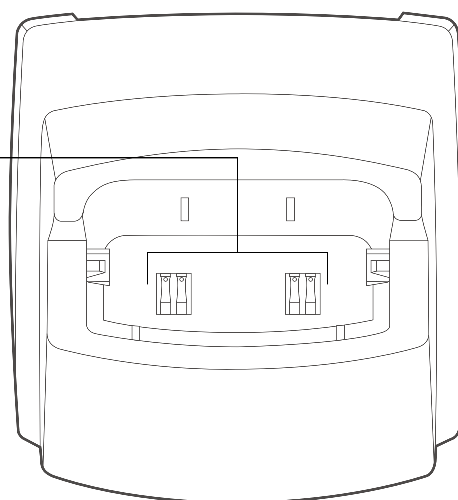
充電器

正面

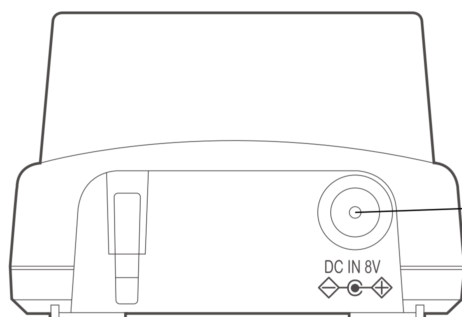


上面

充電端子（2ヵ所）



背面



電源ジャック
ＡＣアダプタ（ＴＥ－815Ｌ）を接続します。

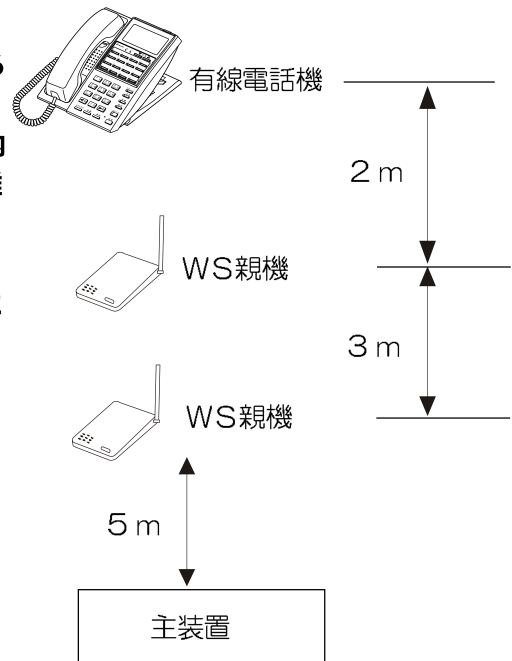
１　WＳ２３０電話機使用上のご注意

①WＳ子機は、お使いになる前に充電してください。
※約１５時間以上の充電で連続通話が約５時間できます。
②WＳ親機のうえに、物を載せないでください。雑音がはいることがあります。
③WＳ親機のアンテナは、垂直に立てて伸ばした状態でお使いください。
④WＳ子機は、通話中に保留を押したときや通話を終了するときなど相手に「シュボ」という音が聞こえることがありますが、故障ではありません。

２　無線に関するご注意

①この製品はマルチチャンネルアクセス（複数の電波を利用する技術）により傍受されにくくなっておりますが、電波を使用しているため、通常の手段を越えた方法で第三者が故意に通話の内容を傍受する場合がまったくないとは言えません。このWＳ２３０電話機で採用した盗聴防止機能（スクランブル機能）は音声を特殊加工したのち電波を送信する方法です。従って、電波が第三者によって傍受されても通話内容のもれを防ぐことができます。しかし、第三者が特殊手段を講じた場合は、盗聴を完全に防ぐことはできません。この点について十分配慮してご使用ください。機密が必要な通話は、ＴＤ１３０、ＴＤ２３０、ＦＤ２００電話機のいずれかをご使用することをおすすめします。

②移動しながら使用するときは、位置や向きによって雑音が入ることがあります。
③WＳ子機とWＳ親機は、通常半径１００m（見通し距離）以内でご使用できますが、環境条件により雑音が入ったり通話距離が短くなったりすることがあります。
④WＳ親機は、主装置から５m以上、有線電話機から２m以上、他のWＳ親機から３m以上離して設置してください。通話中に雑音が入ることがあります。



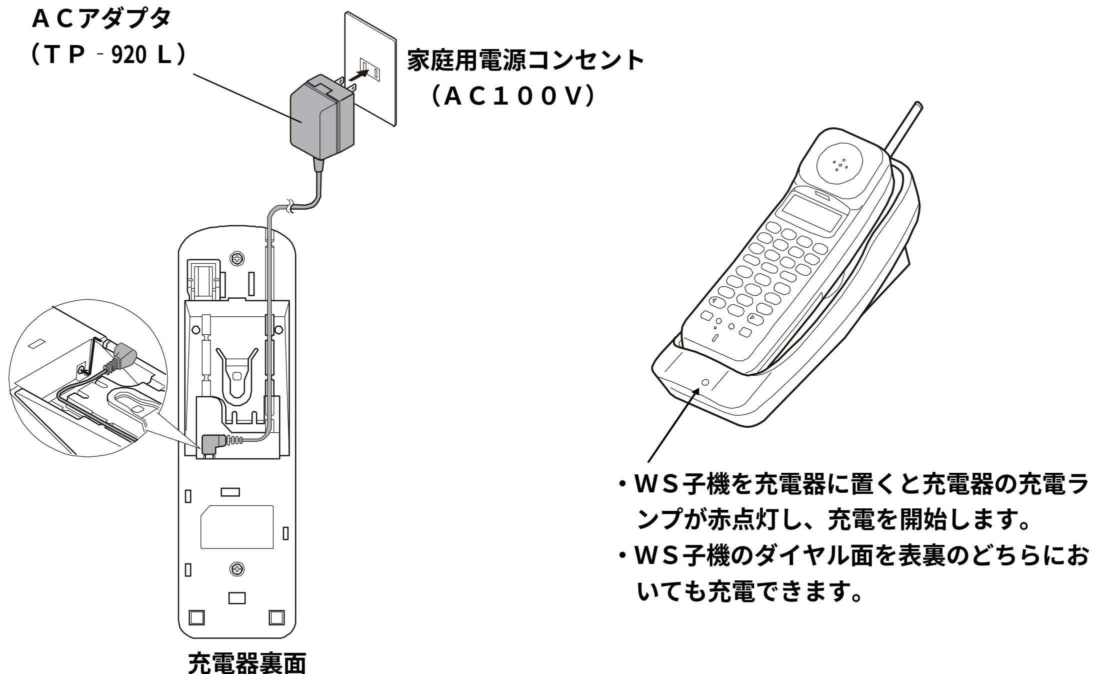
３　WＳ子機が通話圏外にでると

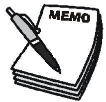
①通話中に、WＳ子機とWＳ親機の距離が遠くなりWＳ子機が通話圏外にでると、WＳ子機の表示部に「圏外」が表示されたり、雑音が大きくなったり、通話が途切れて、通話圏外警告音「ピーピーピー…」が鳴ります。警告音が鳴り始めてから、１０秒間そのままでいると通話が切れます。
②通話圏外では電話をかけることも、受けることもできません。
※電話をかけたとき、エラー音「ピーピー…」が鳴ります。
※電話がかかってきたときは、着信音が鳴りません。

４　接続と充電のしかた

ＡＣアダプタの接続とＷＳ子機の充電は、下図のようにしてください。

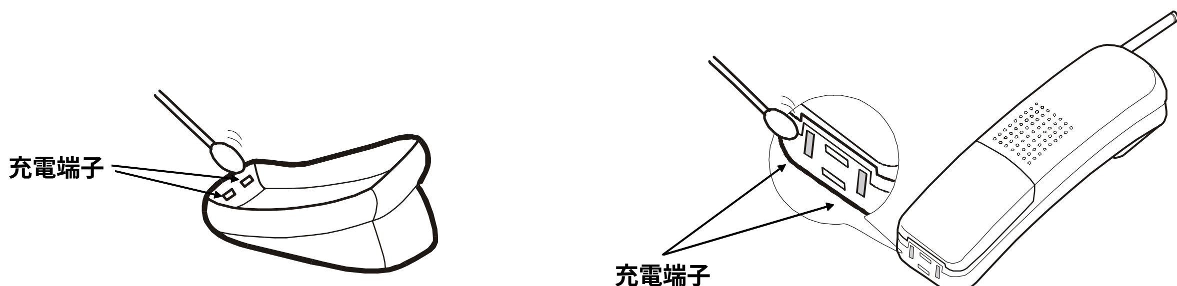
①ＷＳ子機は、お買上げ時電池が接続されておりません。お使いになる前に電池を接続してください。（22 ページ参照）
②はじめてお使いになるときは、約１５時間以上充電してください。





※ＷＳ子機を使用していないときは、充電器においてください。
※充電中や充電直後にＷＳ子機の電池ふた付近が（22 ページ参照）温かいことがありますが異常ではありません。
※満充電後の使用時間は、次の通りです。
連続通話する場合・・・・約５時間
連続待受けの場合・・・・約１００時間

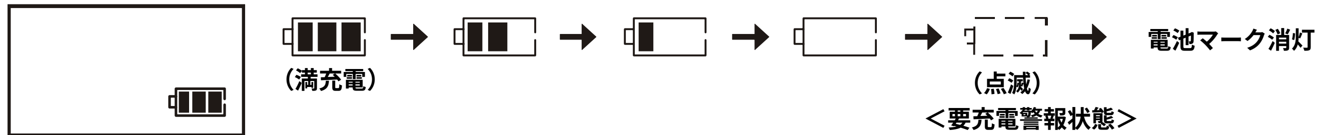
５　充電端子のお手入れ



①充電器とＷＳ子機の充電端子（金属部分）はいつもきれいに保つようにしてください。
②端子が汚れていると充電できなくなることがありますので、月に１回以上、乾いた綿棒で清掃してください。
※シンナー、ベンジンなどを使用すると表面を傷めたり、変色したりすることがありますので使用しないでください。

６　電池残量

ＷＳ子機の表示部に電池残量を下図のように５段階表示しますので充電の目安としてお使いください。



①要充電状態のときは、約１０秒ごとに要充電警報音「プープー」が鳴ります。
②電池残量が少なくなると、通常使用状態になるまで急速充電をします。
※要充電警報音が鳴ってから充電すると約２．５時間で通常の使用状態になります。この場合、約３時間の連続通話ができます。
※通話中に要充電警報音が鳴り始めると、約５分で通話が切れます。
※電池を取り外した状態で充電器におかないでください。
※要充電警報状態のまま充電せずに放置すると警報音が止まり、外線１から外線５のボタンはオレンジ色、外線６ボタンは赤点灯しますが、故障ではありません。充電器において充電してください。

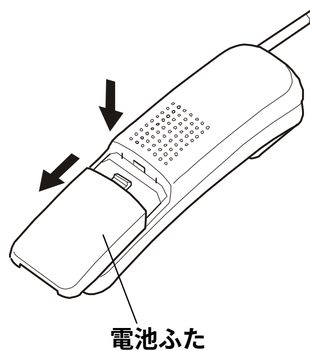
７　電池交換

ＷＳ子機の電池は、消耗品です。いっぱいに充電しても、続けて通話できる時間が極端に短くなった場合は、新しい電池（型名：ＢＰ３６６Ｎ－Ａ）をお買い求めのうえ交換してください。
使用頻度によっても異なりますが、電池交換の目安は約２年です。

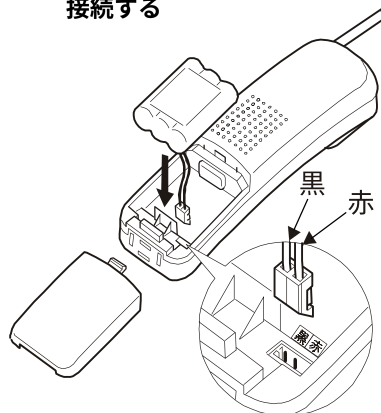
※電池の購入方法などについては、お買上げになった販売店または付属の「お問い合わせ窓口のご案内」の営業所などへお問い合わせください。

※電池の抜き差しを行うと、一時的に　が表示されますが、故障ではありません。

（１）電池ふたを開ける



（２）古い電池をはずし、新しい電池を接続する



（３）　電池ふたを閉じてから充電器において約１５時間以上充電する



□　リサイクル推進へのお願い

電池（型名：ＢＰ３６６Ｎ－Ａ）はリサイクル可能な貴重な資源です。電池交換などで使用済みの電池の廃棄に際しては、お買上げになった販売店または、お近くのニカド電池リサイクル協力店へお持ちいただき、リサイクル推進にご協力をお願い致します。

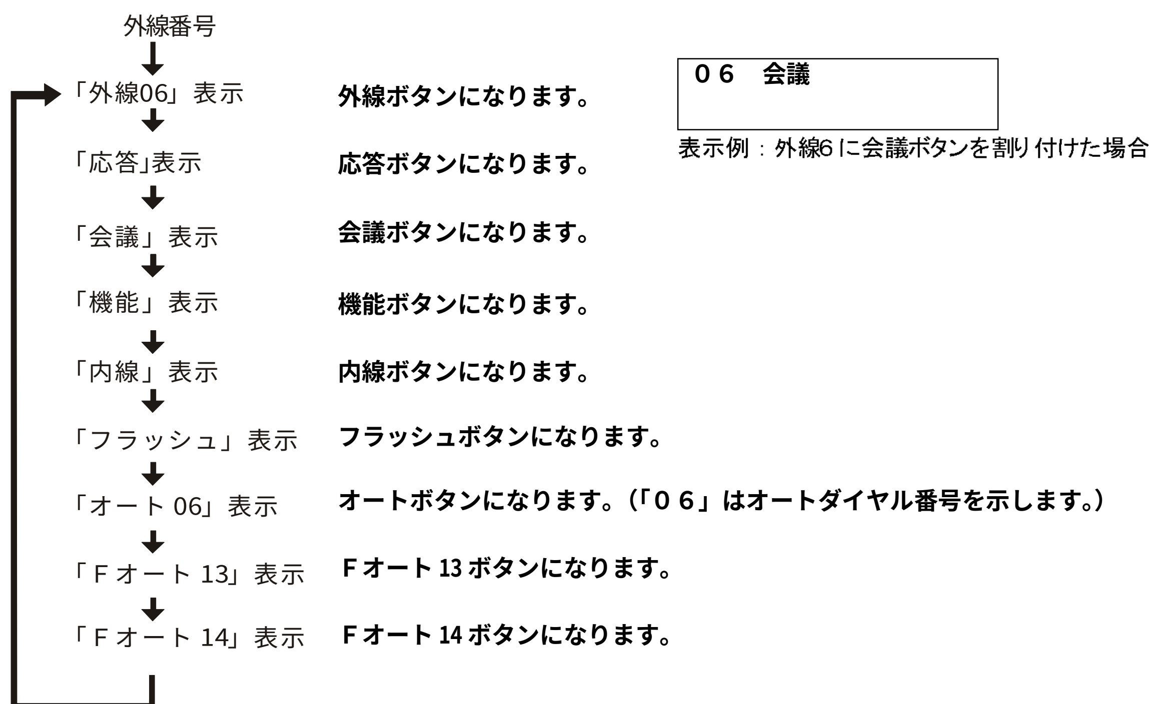


8　ＷＳ子機の[外線]に各種機能のボタンを割り付ける

ＷＳ子機の未使用[外線]に[機能]、[会議]、[オート]、[フラッシュ]などを下記の方法で割り付けると、各種機能の設定・変更などがＷＳ子機からでも操作できるようになります。
※お買い上げ時は、外線ボタンです。

登録のしかた

[保留]を押しながら、割付をしたい[外線]を１回押すと、現在の割付状態が表示します。さらに、[保留]を押したまま[外線]を押すたびに、割付内容がかわります。割り付けしたいボタンの名称が表示されたら[保留]を離し、割付が終了します。



※新たに割り付けられたボタンは、外線ボタンとして使用できません。

※添付シールの[会議]、[フラッシュ]などを貼ると便利です。

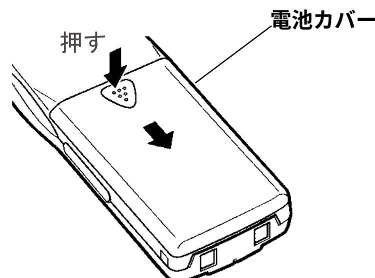
確認のしかた

[保留]を押しながら、割付した[外線]を１回押します。

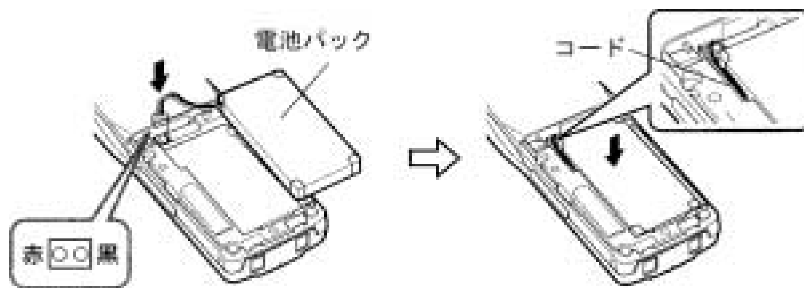
ＤＣ２３０電話機

１　電池パックを取り付ける

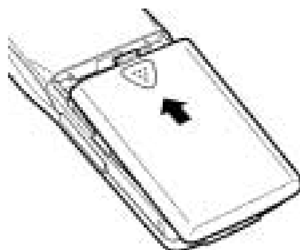
①電池カバーを押しながら、スライドさせて電池カバーを取り外します。

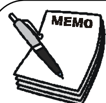


②電池パックを取り付けます。
※コードはしっかりと差し込み、図のように挟まないように注意して収納してください。



③電池カバーを取り付けます。





※ＤＣ子機の電源が入ったままで電池パックを外すと、故障の原因になります。

電池パックの交換

電池パックの交換は、必ず電源を切ってから行ってください。
電池パックは消耗品です。いっぱいに充電しても、続けて通話できる時間が極端に短くなった場合は新しい当社指定の電池パック（BP3742L-A）をお買い求めのうえ交換してください。
※電池パックの購入方法などについては、お買い上げになった販売店などへお問い合わせください。

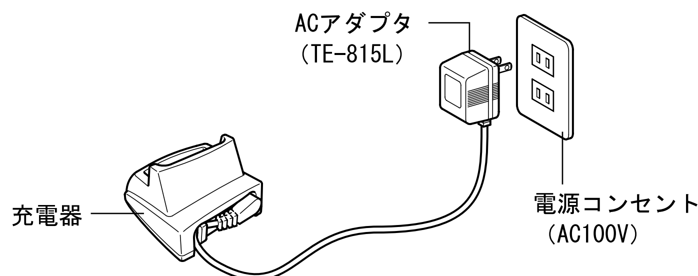
■リサイクル推進へのお願い
電池パックはリサイクル可能な貴重な資源です。電池交換等で使用済みの電池の廃棄に際しては、お買い上げになった販売店または、お近くのリチウムイオン電池リサイクル協力店へお持ちいただき、リサイクル推進に協力をお願い致します。



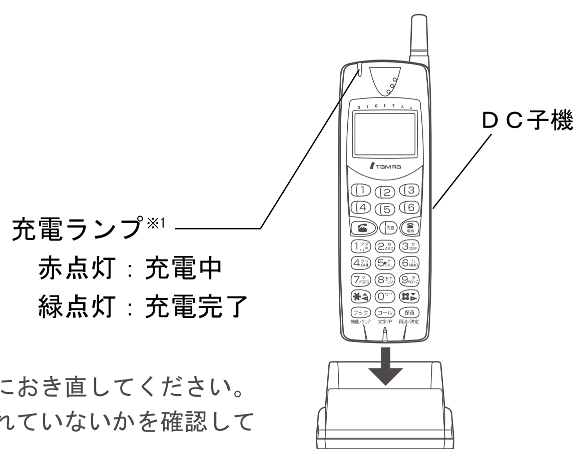
2　充電する

ＡＣアダプタの接続およびＤＣ子機の充電は、次のようになります。
はじめてお使いになるときや、新しい電池パックに交換したときは、必ず3.5時間以上、充電してください。

①ＡＣアダプタを充電器と電源コンセントに差し込みます。



②図のようにＤＣ子機を充電器に置きます。
- **充電を開始します。**
- **ＤＣ子機を充電器に置くとき、方向を間違えると充電できません。**



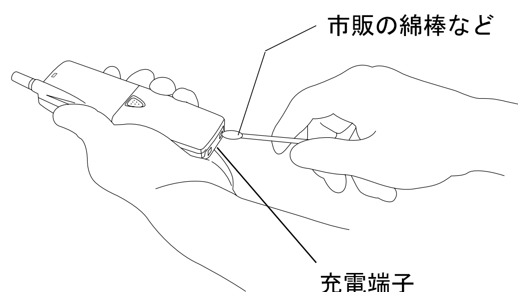
※1　充電ランプが点灯しない場合は、再度ＤＣ子機を充電器におき直してください。それでも、充電ランプが点灯しない場合、充電端子が汚れていないかを確認してください。



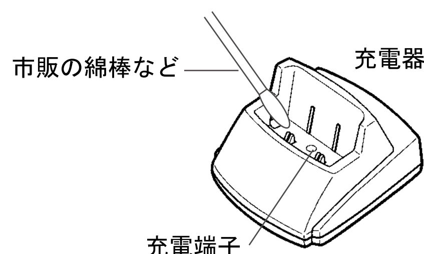
※充電中のＤＣ子機や充電器、およびＡＣアダプタは温かくなりますが、異常ではありません。
※満充電後の使用可能時間
　連続通話をする場合……約５時間、連続待ち受けの場合……約150時間 ※2
　　※2　通話をしないで電源が入った状態で、接続装置の電波だけを正常に受信できる平均的な時間です。それ以外は短い時間となります。
※充電器は平らなところに置いてください。充電器が傾いていると充電できない場合があります。

■充電端子のお手入れ

①ＤＣ子機と充電器の充電端子（金属の部分）は、いつもきれいに保つようにしてください。



②充電端子が汚れていると充電できなくなることがありますので、月に１回または汚れているときは、やわらかい布でからぶきするか、市販の綿棒などでふいてください。
- **シンナー、ベンジンなどを使用すると表面を痛めたり、変色するときがありますので使用しないでください。**



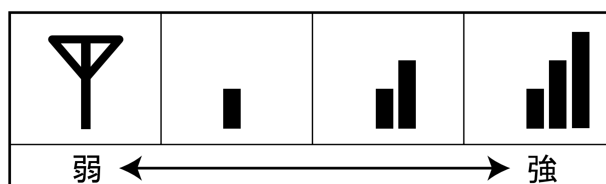
3　電源を入れる

充電してから電源ボタンを
長く押し続けると、電源が
入り表示部が点灯します。



■ 電波の強さ

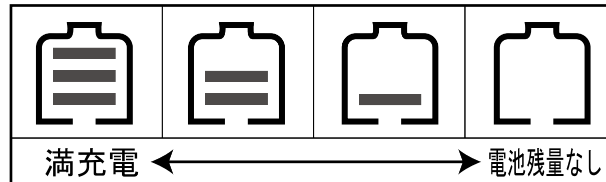
接続装置（18ページ）からの電波状態を４段階で表します。
※電話をかける前に電波の強さを確認してください。



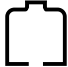
（強）……受信状態が良好です。
（弱）……電話がかかりにくくなったり、通話が切れることがあります。（電波状態の良い場所へ移動してください）
圏外……電話をかけることも受けることもできません。また、一時的に圏外となっている場合は、発信できることもあります。
※圏外に近づくと、警告音「ピッ　ピッ……（断続）」が鳴り、圏外に出ると通話が切れます。

■電池残量

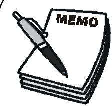
電池残量を４段階で表示しますので充電の目安としてお使いください。



……満充電です。

……電池残量なしの状態です。

※通話中に電池残量なしの状態になると、電池切れ警告音が「ピーッピーッ」と30秒ごとに鳴ります。

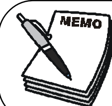


※ＤＣ子機の内線番号や名前などの待機時表示を変更しても、その内容が更新されないときは、再度、発信捕捉したあとに切る操作をしてください。
- ・他の電話機を使って変更したときも、対象となるＤＣ子機で上記の操作をしてください。

※ＤＣ子機の時計データ（年月日、曜日、時分）は、システムから自動的にダウンロードされます。
- ・他の電話機の時計表示とは一致しないことがあります。（誤差が生じます。）
- ・待機状態のカレンダー・時計表示形式は、他の電話機と異なります。
- ・システムのカレンダー・時計設定をしたときや電池パックを取り外したときなどは、ＤＣ子機で発信捕捉し、その状態での時刻（分）表示が変わるのを待って切る操作をすると、時計データをすぐに更新することができます。

電源を切る

再度、電源ボタンを長く押し続けます。その場合、表示が消えます。



※ＤＣ子機は、電源が「入」・「切」のどちらでも充電できます。

４　ＤＣ子機の外線に各種機能のボタンを割り付ける

未使用外線に会議、機能(F)、短縮、オートなどを割り付けると、各種機能の設定・変更などが、ＤＣ子機からでも操作できるようになります。
※お買い上げ時は、外線ボタンです。

登録のしかた

①内線 ＃ を押します。

②外線１～外線６のいずれかを押します。

→ 表示例：外線５（短縮ボタン）

外線5
短縮

③＃（または＊）で割り付けるボタンを選びます。

→＃を押すたびにボタン表示が順番に切り替わります。

（＊は逆順に切り替わります）



④ を押します。
→割り付け完了
⑤割り付けを終えるときは電源を押します。
※続けて他の外線に割り付けるときは、電源を押さずに、操作②から押します。



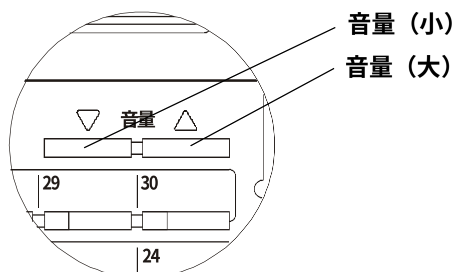
※同じ機能のボタンを重複して割り付けたときは、後からの割り付けが有効となり、前の割り付けは外線ボタンに戻ります。

確認のしかた

内線→＃→外線１～外線６のいずれかを押す→

●各種音量の調節

TD130、TD230 電話機の音量ボタン





音量を押すことで、音量ピクト表示が増減します。
※最大８段階のピクト表示です。
※最小段階のピクトは、各種音量調節によって異なります。
※音量を２回押すたびに１個のピクトが表示、または消灯します。

・着信音量の調節

受話器をおいたままの状態(電話機未使用時)で、音量を押すことにより、外線の着信音、内線の呼出音、ドアホン呼出音の調節ができます。
調節は、２段目（最小）～８段目（最大）
上記操作以外に、次のように操作しても着信音量の調節ができます。





表示例：最小（２段目）

・スピーカ受話音量の調節

スピーカ受話中に、音量を押すことによりスピーカ受話音量の調節ができます。
調節は、２段目（最小）～８段目（最大）



表示例：最大（８段目）

・ハンズフリー音量の調節

各種ハンズフリー通話中に、音量を押すことによりスピーカから聞こえる相手の音声の大きさを調節できます。
調節は、２段目（最小）～８段目（最大）



表示例：５段目

・受話音量の調節

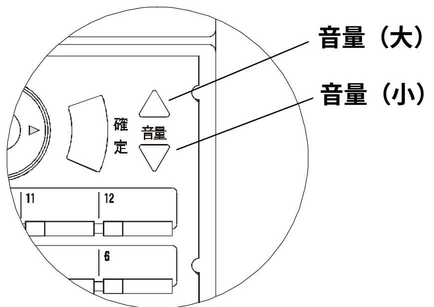
受話器で通話中（外線通話、内線通話、ドアホン通話など）に、音量を押すことにより受話器から聞こえる相手の音声の大きさを調節できます。
調節は、２段目（最小）～８段目（最大）



表示例：最小（２段目）

各種音量の調節

ＦＤ２００電話機の音量ボタン





音量を押すことで、音量ピクト表示が増減します。
※最大８段階のピクト表示です。
※最小段階のピクトは、各種音量調節によって異なります。

※音量を２回押すたびに１個のピクトが表示、または消灯します。

・着信音量の調節

受話器をおいたままの状態（電話機未使用時）で、音量を押すことにより、外線の着信音、内線の呼出音、ドアホン呼出音の調節ができます。
調節は２段目（最小）～８段目（最大）
上記操作以外に、次のように操作しても着信音量の調節ができます。

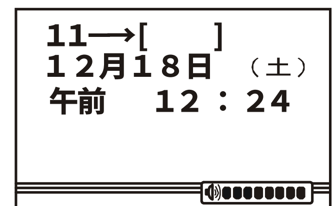




表示例：最小（２段目）

・スピーカ受話音量の調節

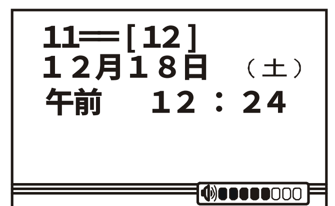
スピーカ受話中に、音量を押すことによりスピーカ受話音量の調節ができます。
調節は２段目（最小）～８段目（最大）



表示例：最大（８段目）

・ハンズフリー音量の調節

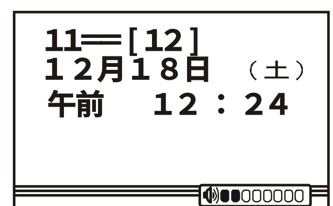
各種ハンズフリー通話中に、音量を押すことによりスピーカから聞こえる相手の音声の大きさを調節できます。
調節は２段目（最小）～８段目（最大）



表示例：５段目

・受話音量の調節

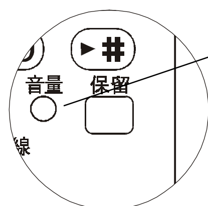
受話器で通話中（外線通話、内線通話、ドアホン通話など）に、音量を押すことにより受話器から聞こえる相手の音声の大きさを調節できます。
調節は２段目（最小）～８段目（最大）



表示例：最小（２段目）

各種音量の調節

ＷＳ子機の音量ボタン



音量ボタン

［音量］を押すことで着信音量、スピーカ音量、受話音量を調節できます。

・着信音量の調節

電話機未使用時に［音量］を押すと、外線の着信音、内線の呼出音、ドアホン呼出音を「小・中・大」の３段階で調節できます。

※外線の着信音量を「切」に設定することもできます。電話機未使用時に、［保留］を押しながら［切］を押すと切り替わります。内線の呼出音、ドアホン呼出音は鳴動します。

着信音 ▂▄▆

表示例：着信音量「大」

S

表示例：外線着信音量「切」

・スピーカ音量の調節

スピーカ受話中に、［音量］を押すことによりスピーカ受話音量の調節ができます。「小・中・大」の３段階切替で調節できます。

11 ⟶ [　]
スピーカ ▂▄

表示例：スピーカ音量「中」

・受話音量の調節

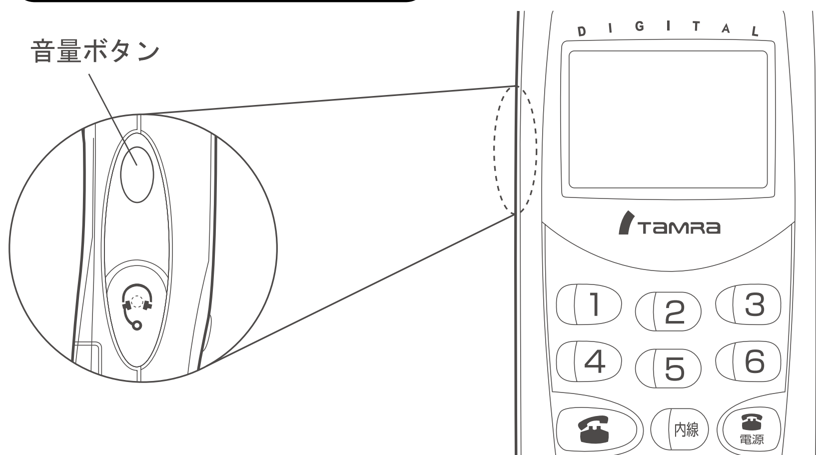
外線通話、内線通話、ドアホン通話などのときに、［音量］を押すことによりＷＳ子機から聞こえる相手の音声の大きさを調節できます。「小・中・大」の３段階切替で調節できます。

11 ＝[12]
受話 ▂▄

表示例：受話音量「中」

各種音量の調節

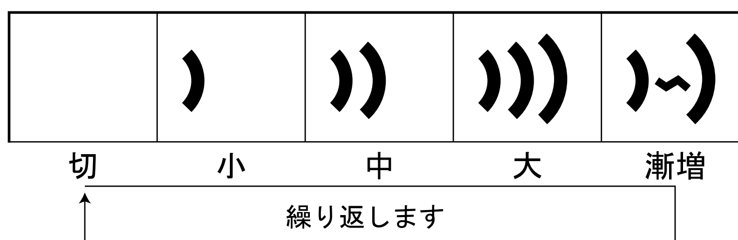
ＤＣ子機の音量ボタン



音量ボタンを押すことで着信音量、受話音量を調節できます。

・着信音量の調節

電話機未使用時で音量ボタンを押すと、外線着信音、内線呼出音、ドアホン呼出音などを「切、小、中、大、漸増(ぜんぞう)」の５段階で調節できます。
※お買い上げ時は「小」です。

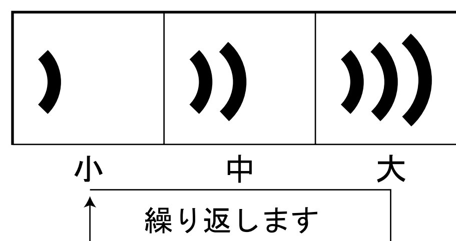




※ドアホン呼出音以外の着信音は、その鳴動中に［電源］を押すと、着信音が停止します。
※着信音量を「切」に設定すると、システムの設定や工事設定に関係なく着信音は鳴動しません。
　また、夜間モードの設定状態表示（システムで着信音を鳴動する／しないの設定をした場合）については、発信捕捉状態にすると確認できます。
※外線着信、内線呼出、ドアホン呼出などの着信後に、「着信あり」の表示が残ることがありますが、［電源］を押すと待機時表示に戻ります。

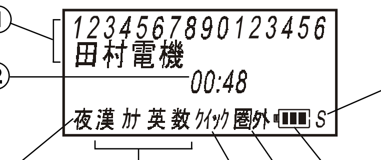
・受話音量の調節

外線通話、内線通話、ドアホン通話などの通話中に音量ボタンを押すことにより、ＤＣ子機から聞こえる相手の音声の大きさを「小・中・大」の３段階で、調節できます。
※お買い上げ時は「中」です。



●各部の名称とはたらき

ＷＳ子機の表示部



番号	表　示	内　容
①	1234567890123456	名前、電話番号、内線番号などを表示する
②	00:48	通話時間、各種音量表示をする
③	夜	夜間モードに設定されると表示する
④	漢　カナ　英　数	文字入力時のモードを表示する
⑤	クイック	クイック通話モードに設定すると表示する
⑥	圏外	ＷＳ子機とＷＳ親機の距離が離れすぎると表示する
⑦	(電池アイコン)	電池残量を5段階で表示する
⑧	S	外線の着信音を止めると表示する

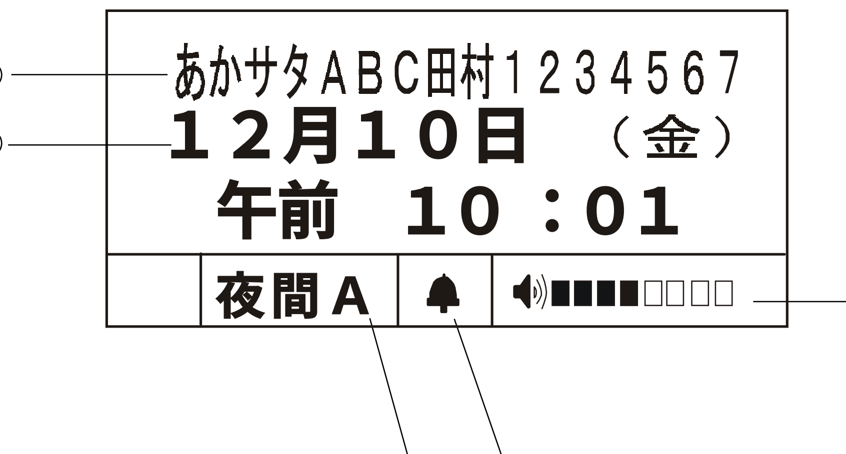
ＤＣ子機の表示部



番号	表　示	内　容
①	(アンテナアイコン)	接続装置の電波を受信し着信可能な待ち受け状態になったときに表示されます。
②	(電波強度アイコン)	4段階の電波の強さ（電界強度）が表示されます。
③	家庭	この表示は使用しません。
④	(アイコン)	この表示は使用しません。
⑤	圏外	電波の届かない場所にいると表示されます。
⑥	(鍵アイコン)	不正利用防止のためのパスワードロックを設定しているときに表示されます。
⑦	(電池アイコン)	4段階の電池残量が表示されます。
⑧	表示例： 10/10(火)11:10AM 田村電機　内線 10	カレンダー、時刻、ダイヤルした番号、メッセージ、内線番号、通話料金などが表示されます。
⑨	123456	外線（または機能割り付け）ランプと連動して表示されます。（点灯および遅点滅のみ）
⑩	ｶﾅ(またはAB)	メモリダイヤルの登録や検索のときの入力モードが表示されます。
⑪	(バイブアイコン)	バイブレータを設定しているときに表示されます。
⑫	(音量アイコン)	待ち受け中または着信中は５段階の着信音量が表示されます。通話中は３段階の受話音量が表示されます。

各部の名称とはたらき

ＴＤ１３０電話機、ＴＤ２３０電話機の表示部



番号	表示例	内容
①	あかサタABC田村1234567	電話番号、電話帳、内線名前、通話時間、通話料金などを表示する
②	12月10日 （金） 午前10：01	カレンダー、時計を表示する
③	夜間A	夜間モードに設定すると表示する
④	🔔	アラームが設定されたときに表示する
⑤	🔊■■■■□□□□	各種音量の大きさを調整すると表示が変わる

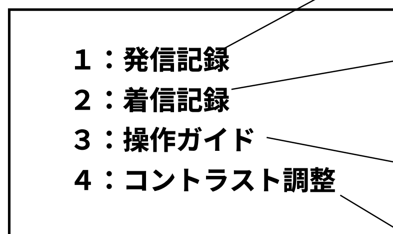
ＴＤ１３０電話機、ＴＤ２３０電話機の画面構成

[保留]を押してメニュー画面を呼び出し、上（ダイヤル[＊]）または下（ダイヤル[＃]）項目を選択し、[発信]を押します。

待機画面（内線１１番子機）



メニュー画面



《発信記録》
０１：田村テレコム
０２：０３３２１１１２３４
０３：田村デンワ

《発信記録画面》

《着信記録》
００１：田村電機製作所
００２：東京電子
００３：田村ビジネス

《着信記録画面》

《操作ガイドメニュー》
１：機能特番一覧
２：内線特番一覧
３：短縮ダイヤル登録 / 確認

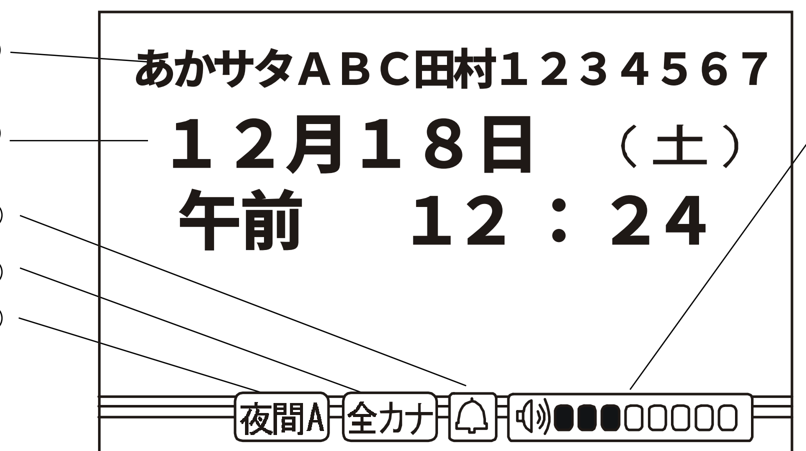
《操作説明画面》

《コントラスト調整》
△：濃くする
▽：薄くする
音量ボタンで調整

《コントラスト調整画面》

各部の名称とはたらき

ＦＤ２００電話機の表示部



番号	表示例	内容
①	あかサタＡＢＣ田村１２３４５６７	電話番号、電話帳、内線名前、通話時間、通話料金等を表示する
②	１２月１８日　（土） 午前　　１２：２４	カレンダー、時計を表示する
③	（ベルのアイコン）	アラームが設定されたときに表示する
④	全カナ	全角かな、全角カナ、英、数字の文字入力モードを表示する
⑤	夜間A	夜間モードに設定すると表示する
⑥	（音量表示のアイコン）	各種音量の大きさを調整すると表示が変わる

ＦＤ２００電話機の画面構成

◀▲▼▶（ＭＦキー）の下操作でメニュー画面を呼び出し、上または下項目を選択し（項目反転）、確定を押します。

次の操作も同様に行います。

待機画面　（内線１１番子機）

内線11
12月18日（土）
午前　12：24

メニュー画面 1/2

《メインメニュー》　1／2
1：電話帳
2：発信記録
3：着信記録
4：内線番号一覧
5：CTI

メニュー画面 2/2

《メインメニュー》　2／2
6：操作ガイド
7：コントラスト調整
#：終了（フラッシュ）

《電話帳検索》
検索文字[　　　　]

《電話帳検索画面》

《発信記録》
01:田村テレコム　[110]
02:　0332111234
03:田村デンワ　[112]
04:　0821112222
05:　0331113333

《発信記録画面》

《着信記録》
001:田村電機製作所　0312345678
12月18日（土）午前 10:10　佐藤
002:東京電子　0331112222
12月18日（土）午前 10:15　田中

《着信記録画面》

《内線番号一覧》　1／7
1：内線１０　田村太郎
2：内線１１　山田太郎
3：内線１２　田村花子
4：内線１３　接続なし
5：内線１４　受付電話

《内線番号一覧》

《 操作ガイドメニュー 》　1/1
1:機能特番一覧
2:内線特番一覧
3:短縮ダイヤル登録/確認
4:オートダイヤル登録/確認
#:終了

《操作説明画面》

《 コントラスト調整 》
Δ:濃くする
∇:薄くする

音量ボタンで調整

《コントラスト調整画面》

●カレンダー・時計設定

1 機能

・機能を押します。

→機能ランプ：赤点灯

[表示例は TD130、TD230 の場合]

2 9 #

・9 #を押します。

午後 12:24
12月10日 （日）
午後　12：24

→機能ランプ：赤点滅

3 ダイヤルボタンで時刻を設定する

・ダイヤルボタンで時刻を押します。
（例）　９時１０分のとき
0 9 1 0と押します。

午後 09:10
12月10日 （日）
午後　12：24

4 午前、午後をフラッシュで設定する

・午前、午後をフラッシュで設定します。
フラッシュを押すたびに表示（午前、午後）が切り替わります。
0：午前、1：午後で入力することができます。

午前 09:10
12月10日 （日）
午後　12：24

5 保留

・保留を押します。（この時点で、時計表示は切り替わります。）

2000年12月10日(日)
12月10日 （日）
午前　9：10

6 ダイヤルボタンで西暦（下２桁）を設定する

・ダイヤルボタンで西暦（下２桁）を押します。
（例）２００２：0 2

2002年12月10日(日)
12月10日 （日）
午前　9：10

次ページへ

7 ダイヤルボタンで月、日を設定する

・[0][1]～[1][2]のいずれかで月を入力します。

・[0][1]～[3][1]のいずれかで日を入力します。

2002年04月10日(日)
12月10日 （日）
午前 9：10



8 曜日を[フラッシュ]で設定する

月→火→水→木
↑　　　　　　↓
日←土←金←

曜日入力は、[1]：月、[2]：火
[3]：水、[4]：木、[5]：金、
[6]：土、[0]：日で、入力することもできます。

2002年04月10日(水)
12月10日 （日）
午前 9：10

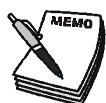


9 [機能]

内線 11
4月10日 （水）
午前 9：10



→機能ランプ：消灯



※時計データ入力時に[＊]または[＃]を押すことで、カーソルを移動することができます。
※工事設定により時計表示を 12 時間表示（午前 12：00 ～午後 11：59）から 24 時間表示（00：00 ～ 23：59）に変更することができます。24 時間表示の場合は、操作 4 を省略して設定します。

●メインメニューについて（メインメニュー）

1 保留

・保留を１回押します。

１：発信記録
２：着信記録
３：操作ガイド
４：コントラスト調整

《メインメニューの概要》

１：発信記録　：最後にかけた電話番号から１０件まで記録（各電話機ごと）し、その１０件の中から選んでかけ直すことができます。(102 ページ参照)

２：着信記録　：「発信者番号通知サービス」で表示された電話番号を最新の記録からシステムで１００件までを記録し表示することができます。また、表示された電話番号へ発信することができます。(108 ページ参照)

３：操作ガイド　：本システムで使用する機能特番、内線特番、短縮ダイヤル（登録、確認)、オートダイヤル(登録、確認）の操作をディスプレイから確認し一部機能についてはそのまま実行することもできます。

４：コントラスト調整　：電話機の画面のコントラストを調整することができます。(41 ページ参照)

終了（フラッシュ）　：各画面から、フラッシュを押すと初期画面に戻ります。

●コントラスト調整

1 保留

・保留を押します。

1：発信記録
2：着信記録
3：操作ガイド
4：コントラスト調整

2 ＃（３回押下）

・＃を３回押します。

・4を押して直接コントラスト調整を選択することもできます。その後、操作４から行います。

1：発信記録
2：着信記録
3：操作ガイド
4：コントラスト調整

3 発信

・発信を押します。

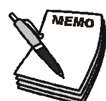
4 △または▽(音量ボタン)

・音量ボタンにより最適なコントラストに調整してください。

《コントラスト調整》
△：濃くする
▽：薄くする
音量ボタンで調整

5 発信

・発信を押します。
調整したコントラストになります。



※上記操作以外に、次のように操作してもコントラスト調整できます。

→ｽﾋﾟｰｶ→9 9 7 2→△または▽（音量ボタン）→ｽﾋﾟｰｶ

準備編
コントラスト調整
WS

コントラスト調整

1　[機能]＋[音量]

・[機能]を押しながら[音量]を押すたびに「１(淡い)～８(濃い)」の８段階の調整ができます。

コントラスト調整５

→表示はコントラスト 調整「 ５→6 →7 →8 →1 →2 →3 →4 」を繰り返す



※未使用[外線]に[機能]を登録します。(23 ページ参照)

準備編
バックライト
WS

●バックライトの設定

表示部のバックライトをやめるように設定ができます。
※お買い上げ時、バックライトは「ＯＮ」です。

1　[保留]＋[発信]

・[保留]を押しながら[発信]を押すたびに「ＯＮ」／「ＯＦＦ」の設定を切り替えます。

ＬＣＤバックライト機能　ＯＦＦ

●未使用外線を自動的につかむ（自動選局発信）

基本編
電話をかける
TD130,TD230,FD200,WS,DC

発信を押すだけで未使用外線をつかみます。
外線自動選局を行う場合、お買い上げ時は老番の未使用外線番号から選びます。
発信ボタンなどを押した場合、指定した種別の外線（お買い上げ時は局線）を捕捉します。
※ＤＣ子機は、☎または外線に割り付けた発信(２８ページ参照)を押すと未使用外線をつかみます。

[表示例は TD130、TD230 の場合]

1 発信

- 発信を押します。
- （外線ダイヤルトーン）
- ＤＣ子機は☎を押します。

```
０４：
```

表示例：外線4を自動選択
→発信音：「 ツー」
→老番の未使用外線ランプ：緑点灯
→スピーカランプ：赤点灯

2 電話番号

- 電話番号を押します。

```
０３３４９３５１１１
```

表示例：0334935111をダイヤル

3 ＃

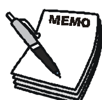
- ＃を押します。
- ＃を押すとすぐに電話がかかります。
- ＃を押さなくても約５秒後に電話がかかります。
- アナログ回線は＃を押しません。

```
０３３４９３５１１１＃
```

表示例：#を付けて発信

4

- 受話器をあげて通話します。（ＷＳ子機は充電器からあげます。）
- 受話器をおいたままの場合は、スピーカから相手の声が聞こえます。（ＷＳ子機は充電器においたままの場合）
- 通話終了後、受話器をおくと約５秒後にカレンダー・時計表示に戻ります。（ＷＳ子機は約１０秒後に通話時間表示が消えます。）
- 通話終了後、ＷＳ子機はまたは切を押します。（ＤＣ子機は☎電源を押します）



※外線捕捉後、最初のダイヤルボタンを押してから次の電話番号を押す間隔は５秒以内にしてください。
５秒以上になると、相手につながらないことがあります。（デジタル回線）
※構内交換機（ＰＢＸ）に接続している場合の外線発信は、相手の電話番号の前にＰＢＸへアクセスする番号を押します。

●受話器をおいたままで電話をかける（オンフックダイヤル）

受話器をおいたまま（ＷＳ子機は充電器においたまま）で、発信できます。

［表示例は TD130、TD230 の場合］

1 外線

・外線を押します。

・（外線ダイヤルトーン）

０４：

表示例：外線4を捕捉
→発信音：「 ツー」
→スピーカランプ：赤点灯
→外線ランプ：緑点灯

2 電話番号

・電話番号を押します。
・電話番号が１７桁以上(ＷＳ子機は１１桁以上)になると、下１６桁(ＷＳ子機は下１０桁)を表示します。

０３３４９３５１１１

表示例：0334935111 をダイヤル

3 ＃

・＃を押します。

・＃を押すとすぐに電話がかかります。

・＃を押さなくても約５秒後に電話がかかります。

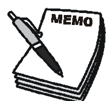
・アナログ回線の場合は＃を押しません。

０３３４９３５１１１#

表示例：#を付けて発信

4

・受話器をあげて通話します。（ＷＳ子機は充電器からあげます。）
・受話器をおいたままの場合は、スピーカから相手の声が聞こえます。（ＷＳ子機は充電器においたままの場合）
・通話終了後、受話器をおくと約５秒後にカレンダー･時計表示に戻ります。（ＷＳ子機は約１０秒後に通話時間表示が消えます。）



※操作２の動作中に機能 ４を押すとポーズ「Ｐ」表示（待ち時間：お買い上げ時は約３秒）がはいり、そのあとのダイヤルはプッシュ信号で送出されます。
ポーズ時間は工事設定で１秒に変更することもできます。
デジタル回線からの発信では、電話番号の途中にポーズをいれないでください。相手につながらないことがあります。

※機能 ４（特殊番号）は、電話機のオートに登録できます。（263 ページ参照）

登録後は、オートを押します。ＷＳ子機は未使用外線ボタンに登録できます。

※外線捕捉後、最初のダイヤルボタンを押してから次の電話番号を押す間隔は５秒以内にしてください。
５秒以上になると、相手につながらないことがあります。（デジタル回線）

※工事設定により、外線発信または応答すると電話機に外線の電話番号を表示させることができます。

●受話器をあげて電話をかける（オフフックダイヤル）

基本編
電話をかける
TD130,TD230,FD200,WS,DC

受話器をあげてから発信します。（ＷＳ子機は充電器からあげて発信します。）

[表示例は TD130、TD230 の場合]

1 （受話器）

・受話器をあげます。
（ＷＳ子機は充電器からあげます。）

```
１０⟶［ ］
```

表示例：内線10
→内線発信音：「 ピッピッ…」

2 発信

・発信（または外線）を押します。
・ＤＣ子機は（☎）（または外線）を押します。

```
０４：
```

表示例：外線4を捕捉
→発信音：「 ツー」
→外線ランプ：緑点灯

3 電話番号

・電話番号を押します。
・電話番号が１７桁以上(ＷＳ子機は１１桁以上)になると、下１６桁(ＷＳ子機は下１０桁)を表示します。

```
０３３４９３５１１１
```

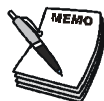
表示例：0334935111 をダイヤル

4 ＃

・＃を押します。
・＃を押すとすぐに電話がかかります。
・＃を押さなくても約５秒後に電話がかかります。
・アナログ回線は＃を押しません。

```
０３３４９３５１１１＃
```

表示例：#を付けて発信



※電話機の外線が赤点灯の場合は、他の電話機がその外線を使用しています。
使用中の外線を押すと話中音「プープー…」が鳴り、使用中の内線番号が表示されます。
※ＷＳ子機がクイック通話（113 ページ参照）設定されているとき、充電器からあげたときは、操作３から行ってください。
※ＷＳ子機が充電器においていない未使用状態のときは、操作２から行ってください。

基本編
電話をかける
TD130,TD230,FD200

●受話器をあげるだけで外線をつかむ（発信プリセット）

工事設定により、受話器をあげてすぐに発信できるように設定できます。

1 

・受話器をあげます。

```
04：
```

表示例：外線4を自動選択
→老番の未使用外線ランプ：緑点灯
→発信音：「 ツー」

2 電話番号

・電話番号を押します。

```
0334935111
```

表示例：0334935111をダイヤル

3 

・＃を押します。

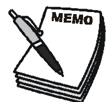
・＃を押すとすぐに電話がかかります。

・＃を押さなくても約５秒後に電話がかかります。

・アナログ回線は＃を押しません。

```
0334935111#
```

表示例：＃を付けて発信



※発信プリセットができるように工事設定されたあとに、内線通話などを行うときは、スピーカを押してから受話器をあげます。
※外線自動選択を行うとき、お買い上げ時は老番の外線番号から選びます。工事設定により若番から選ぶことができます。

基本編
電話をかける
TD130,TD230,FD200

●受話器をあげるだけで電話をかける（オフフック発信）

工事設定により、プリセットダイヤルのあと受話器をあげるだけで、発信できるように設定できます。

1 電話番号

・電話番号を押します。

```
0334935111
```

表示例：0334935111をダイヤル

2 

・受話器をあげます。
・未使用外線を選択して、発信します。

```
0334935111
```

→外線ランプ：緑点灯



※外線自動選択を行うとき、老番の外線番号から選びます。工事設定により若番から選ぶことができます。

●電話番号を押してから電話をかける（プリセットダイヤル）	基本編
	電話をかける
	TD130,TD230,FD200,WS,DC

受話器をおいたまま（WS子機は充電器においたまま）で、電話番号をダイヤルしてから、発信します。

[表示例はTD130、TD230の場合]

1 電話番号

・**電話番号を押します。**

0334935111

表示例：0334935111をダイヤル

2 [発信]

・**[発信]（または[外線]）を押します。**
・**DC子機は[☎]（または[外線]）を押します。**
・**デジタル回線からの発信時、電話番号の後に[#]を付けなくてもすぐに発信します。（DC子機は[#]が必要です。）**

0334935111

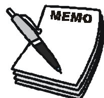
→スピーカランプ：赤点灯
→外線ランプ：緑点灯

3

・**受話器をあげて通話します。（WS子機は充電器からあげます。）**
・**受話器をおいたままの場合は、スピーカから相手の声が聞こえます。（WS子機は充電器においたままの状態で相手の声が聞こえます。）**
・**通話終了後、受話器をおくと約５秒後にカレンダー・時計表示に戻ります。（WS子機は、約１０秒後に通話時間表示が消えます。）**
・**通話終了後、WS子機はまたは[切]を押します。（DC子機は[☎電源]を押します）**

次ページへ 

電話番号を押してから電話をかける（プリセットダイヤル）



※プリセットダイヤルの操作１で電話番号を途中で間違えたときは、会議を押すたびに最後の番号から1つづつ消去されます。フラッシュを押すと、入力したすべての番号が消去されます。

※ＷＳ子機は未使用外線に、会議とフラッシュを登録します。（23 ページ参照）

※プリセットダイヤルの電話番号を押す間隔は、１０秒以内に行ってください。１０秒以上あけると、入力したすべての番号が消えます。

※外線自動選択を行うとき、お買上げ時は老番の外線番号を選びます。

※ TD130、TD230、FD200電話機は、操作１の電話番号の後に短縮押下して短縮番号を入力して発信することができます。（122 ページ参照）

※プリセットダイヤル時は、ポーズを入れることはできません。

※ＤＣ子機は次の操作ができます。ただし、プリセット中に着信などがあると、入力中のダイヤルはキャンセルされます。また、待機状態でないときは、プリセットダイヤルができません。

・操作１で電話番号を押し間違えた場合

フック機能/クリアを押すと、最後の１桁の電話番号が消えます。そこから正しい電話番号を押します。

☎電源を押すと、すべての電話番号が消えます。最初から正しい電話番号を押します。

・ポーズ（待ち時間）は操作１のダイヤル中に、コール文字/Pを押すとポーズが入力され、そのあとポーズ後のダイヤルをします。操作２の☎(または外線）を押してからのポーズ入力はできません。ただし、デジタル回線からの発信では、電話番号の途中にポーズを入れないでください。相手につながらないことがあります。

●再度かけ直す（リダイヤル）

基本編
電話をかける
TD130,TD230,FD200,WS

最後にかけた相手に、もう一度簡単な操作でかけ直すことができます。

かけかた

[表示例は TD130、TD230 の場合]

1 発信

・発信（または外線）を押します。

・（外線ダイヤルトーン）

０４：

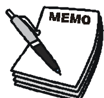
表示例：外線４を自動選択
→発信音：「ツー」
→老番の未使用外線ランプ：緑点灯
→スピーカランプ：赤点灯

2 リダイヤル

・リダイヤル（または短縮、＃）を押します。
・最後にかけた電話番号へ自動発信します。
・電話番号が１４桁以上の場合は確認できません。
・発信履歴がない場合は、「０１：データナシ」を表示します。

０１：０３３４９３５１１１

表示例：最後にかけた電話番号



※名前が登録してあると、電話をかけたときに電話機に名前が表示されます。
名前の登録は「短縮ダイヤル、電話帳を登録する」を参照ください。(82、85、181 ページ参照)

※リダイヤルを押すだけでも最後にかけた電話番号へ自動発信します。(ＷＳ子機は→リダイヤル)この場合はオートリピートダイヤルとなります。(51 ページ参照)

●再度かけ直す（リダイヤル）

最後にかけた相手に、もう一度簡単な操作でかけなおすことができます。

かけかた

1 [短縮]

・[短縮]を押します。

:

2 [＃]

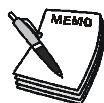
・[＃]を押します。
・電話番号が表示されます。
・[短縮]が緑点滅しているときには押さないでください。
・電話番号が１４桁以上の場合は、[会議]を押すと続きの電話番号が表示されます。
・発信履歴がない場合は、「０１：データナシ」を表示します。

≪発信記録≫
0 1 : 0 3 3 4 9 3 5 1 1 1

表示例：最後にかけた電話番号

3 [☎]

・[☎]を押します。



※名前が登録してあると、電話をかけたときに電話機に名前が表示されます。
名前の登録は「短縮ダイヤル、電話帳を登録する」を参照ください。（87 ページ参照）
※未使用[外線]に[短縮]と[会議]を登録します。（28 ページ参照）

ＤＣ子機が持つ、リダイヤル機能を利用することもできる

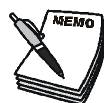
1 [保留 再送/決定]

・[保留]を押します。
・[保留]を押すごとにリダイヤル０～９までを表示します。
・[＊]または[＃]を押すと、リダイヤル０～９を移動します。

リダイヤル　0
0 3 1 2 3 4 5 6 7 8

2 [☎]

・[☎]を押します。



※ＤＣ子機が持つ、リダイヤル機能の留意事項について
・プリセットダイヤル（47 ページ）で発信したときのみ記憶されます。
・電池が無くなるとリダイヤルに記憶された電話番号が消える場合があります。
・短縮ダイヤル（87 ページ）および指定外線捕捉（118 ページ）の電話番号は、リダイヤルの電話番号として記録されません。

●繰り返しかけ直す（オートリピートダイヤル）

相手が話し中などのときに、電話機が自動的に繰り返しかけ直します。

かけかた

1 相手が話中

2 [リダイヤル]

・[リダイヤル]を押します。

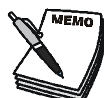
[表示例は TD130、TD230 の場合]

```
01:0334935111
```

表示例：最後にかけた電話番号
→スピーカランプ：赤点灯
→機能ランプ：赤点滅

3 自動的にオートリピートを行う

・途中でオートリピートダイヤルを解除するときは、[スピーカ]を押します。（ＷＳ子機は[切]を押します。）



※工事設定によりオートリピートダイヤルの呼び出し時間、待ち時間、回数を変更できます。

呼出時間（秒）	待ち時間（秒）	回数
30	3	15 → お買い上げ時の設定
30	10	15
30	60	100
30	30	15
40	60	15
120	90	15

※オートリピート中は、プッシュ信号を送出できません。

基本編
電話を受ける
TD130,TD230,FD200,WS

●受話器をあげるだけで応答する（着信自動応答）

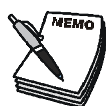
[表示例は TD130、TD230 の場合]

ＩＳＤＮ　　　１　着信

1　着信音が鳴る

・（着信音）

表示例：外線1
→外線ランプ：赤点滅

2 

・受話器をあげます。
（ＷＳ子機は充電器からあげます。
また、充電器においていないときは
外線を押します。）

→外線ランプ：緑点灯

※外線通話中の電話機に、別の外線着信が鳴ったときは、外線着信中の外線を押すと通話ができます。ただし、前の外線との通話は切れます。
※外線通話中の電話機を保留して、別の外線着信の相手と通話するときは、次の操作を行ってください。
保留、外線着信中の外線、外線着信の相手と通話、終話、保留中の外線（ＷＳ子機の場合は切を押してから保留中の外線）を押します。最初の相手と通話できます。
※工事設定により、外線着信音を８種類の着信音、または１１曲のメロディ（55 ページ参照）から選択して利用できます。ただし、メロディにした場合、ＷＳ子機は着信音５で鳴動します。
※工事設定により、外線着信音を停止する電話機や自動応答しないように設定できます。

●電話がかかってきたら外線ボタンを押す（任意外線応答）

基本編
電話を受ける
TD130,TD230,FD200,WS,DC

外線着信音が鳴動または停止にかかわらず、外線ボタンを押すと応答できます。
※かかってきた外線に対応するボタンがないときや、各種機能を割り付けた外線ボタン(23、28ページ)については、指定外線捕捉(118ページ)またはコールピックアップ(119ページ)の操作をします。

[表示例は TD130、TD230 の場合]

1 着信音が鳴る

・(着信音)

ＩＳＤＮ　　　１　着信

表示例：外線1
→外線ランプ：赤点滅

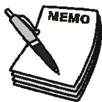
2 外線

・外線を押します。

→外線ランプ：緑点灯

3

・受話器をあげます。
（ＷＳ子機は充電器からあげます。）



※ＤＣ子機やＷＳ子機(充電器に置いていない)は、操作１，２で相手と通話できます。

●電話がかかってきたら発信／応答ボタンを押す（自動選局応答）

基本編
電話を受ける
DC

未使用外線に割り付けた応答(28ページ)を押しても同様に応答できます。

1 着信音が鳴る

・着信音が鳴ります。

ＩＳＤＮ　　　１　着信

→外線ランプ：赤点滅
→着信ランプ：赤点滅

2

・を押すと相手と通話できます。

→外線ランプ：緑点灯
→ランプ：緑点灯
→着信ランプ：消灯

●外線通話を保留にする（外線保留）

外線通話を保留するとき、メロディを流して待ってもらうことができます。（お買い上げ時の曲は「別れの曲」です。）

1 保留

- 外線通話中に保留を押します。
- 外線相手に保留音を流します。
- 保留後３分経過すると保留警報音「プープー…（連続）」が鳴ります。工事設定により１分、２分、４分、無制限のいずれかに変更できます。

→外線ランプ：緑点滅
→内線ランプ：赤点灯
→DC子機の内線ランプ（緑点灯）は以降、略します。

2

- 受話器をおきます。
- ＷＳ子機は、または切を押します。（内線ランプ消灯後、外線ランプも消灯）
- ＤＣ子機は電源を押します。

→内線ランプ：消灯

保留再応答のしかた

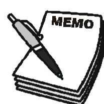
3

- 受話器をあげます。
- 発信プリセット（46ページ参照）のときは保留中の外線を押してから受話器をあげます。
- ＷＳ子機はクイック通話（113ページ参照）のとき、スピーカを押下後、保留中の外線を押したのち充電器からあげます。
- ＷＳ子機が充電器においていない場合は、スピーカ を押下後、保留中の外線を押します。

4 外線

- 保留中の外線を押します。

→外線ランプ：緑点灯



※保留音をメロディ（１１曲）から選択して利用できます。（158ページ参照）
※外線保留の保留音は内線保留の保留音と共通です。
※工事設定により、ドア・ページングユニットを接続し、外部保留音源と組合せると保留音を外部保留音にすることができます。
※ＤＣ子機は操作１のあと、電源を押すと、外線ランプの緑（点滅）は赤（点滅）に変わります（点滅周期も変わります）。なお、外線ランプは電源を押してから約10秒後、自動的に消灯しますが、この時に電源などのボタンを押すことで再度、約10秒間表示させることができます。発信操作や着信があった場合の外線ランプは、通常通りの表示となります。充電器に置いているときの外線ランプは常時表示となります。
・アンテナの表示が消えている間（電源を押したあとなど）の外線ランプは消灯します。外線に対応する外線ボタンがないときや、複数の外線を保留したときは、「内線→9 6 2」の操作で最後に保留した外線に再応答します。その後は、保留されている外線の若番から順番に再応答します。

●外線着信音メロディを切替える（着信音メロディ切替え）

工事設定により、外線着信音をメロディに設定することができます。
また、次の操作でメロディを切り替えることができます。

1 [機能] →機能ランプ：赤点灯

2 [8] →機能ランプ：赤点滅

3 [＊]
- [＊]を押すと現在設定されている着信音メロディが流れます。
- （メロディ）

4 [＃]または[＊]
- [＃]を押すと１つ後のメロディに切り替わります。
- [＊]を押すと設定されているメロディから１つ前のメロディに切り替わります。

[表示例はTD130、TD230の場合]

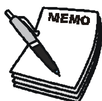
♪チャクシン　メロディ　８

表示例：[＊]押下で着信音メロディを変更

5 [機能] →機能ランプ：消灯

＜着信音メロディ曲名一覧表＞

①別れの曲　②春　③赤鼻のトナカイ　④守ってあげたい　⑤オリビアを聴きながら
⑥イエローサブマリン　⑦愛の賛歌　⑧ It's a small world　（お買い上げ時の設定）
⑨ミッキーマウスマーチ　⑩ランナー　⑪ We wish you a Merry Christmas



※１～３の操作は、[着信メロディ]として電話機の[オート]に登録できます。(267ページ参照)
付属のステッカ「着信メロディ」シールを貼ると便利です。
([短縮]→[オート]→[機能]→[＃][8][＊]→[機能]の操作で[着信メロディ]は登録できます。)

基本編
電話を受ける
TD130,TD230,FD200,WS,DC

●内線通話後に外線を転送する（自動転送）

転送する側の操作（例：内線１２）

[表示例は TD130、TD230 の場合]

1 保留

- 外線通話中に保留を押します。
- 外線相手に保留音が流れます。

```
１２⟶ [    ]
```

表示例：外線を保留中
→外線ランプ：緑点滅

2 内線番号

- 内線番号を押します。
- ＷＳ子機は呼出音が鳴らないことがあります。

```
１２⟶ [１５]
```

表示例：内線12から内線15を呼出し
→呼出音：「プー」

3 内線通話

- 内線相手と通話をします。
「例：…さんから電話です！」

```
１２ ＝ [１５]
```

表示例：内線15が応答

4

- 受話器をおくと、外線が自動的に転送されます。
- ＷＳ子機は または 切 を押します。
- ＤＣ子機は 電源 を押します。

→外線ランプ：赤点灯

転送される側の操作（例：内線１５）

1 呼出音

- 呼出音「ブブブ」が鳴り、音声が聞こえます。
- （呼出音）
- ＤＣ子機は、内線呼出音が鳴ります。

```
１５⟵ [１２]
```

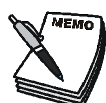
表示例：転送される側（内線15）

2

- 受話器をあげて内線相手と通話をします。
- 相手が通話を切ると、外線が自動的に転送されます。
- ＷＳ子機は にて応答します。（充電器においていないときは スピーカ を押して応答します。）
- ＤＣ子機は 内線 を押します。

```
１５ ＝ [１２]
```

表示例：内線12と内線通話状態



※内線番号は オート に登録できます。ＷＳ子機、ＤＣ子機は未使用 外線 に登録できます。（262 ページ参照）

※内線番号を登録したあと、転送する側の操作１、２の代わりに外線通話中に オート などを直接押し、保留、内線呼び出しがワンタッチで可能になります。
※工事設定により、自動転送が停止できます。

●内線通話をしないで直接外線を転送する （強制転送）	基本編 電話を受ける TD130,TD230,FD200,WS,DC

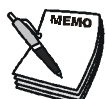
転送する側の操作（例：内線１２）

[表示例は TD130、TD230 の場合]

1	保留	・外線通話中に保留を押します。 ・外線相手に保留音が流れます。	１２⟶ [ ] 表示例：外線を保留中 →外線ランプ：緑点滅
2	内線番号	・内線番号を押します。	１２⟶ [１５] 表示例：転送する側（内線１２） →呼出音：「プー」
3	（受話器をおく）	・受話器をおきます。 ・ＷＳ子機は（充電器におく）または切を押します。 ・ＤＣ子機は電源を押します。	→外線ランプ：赤点滅
4	転送先が外線捕捉		→外線ランプ：赤点灯

（転送先が３０秒以内に応答しないと）

1	呼出音	・呼出音「プーッ、プーッ…（連続）」が鳴ります。 ・（呼出音） ・ＤＣ子機の呼出音は、「プルル、プルル･･･（断続）」が鳴ります。	ホリュウ：１ 表示例：外線１を保留 →外線ランプ：緑点滅
2	（受話器をあげる）	・受話器をあげます。 ・ＷＳ子機は（充電器からあげる）にて応答します。（充電器においていないときは次の操作３を行います。）	
3	外線	・外線を押します。	→外線ランプ：緑点灯
4	外線通話	・再度、外線相手と通話します。	



※内線番号は電話機のオートに、ＷＳ子機、ＤＣ子機の場合は未使用外線に登録できます。（262 ページ参照）

※内線番号を登録したあと、転送する側の操作１、２の代わりに外線通話中にオートなどを直接押し、保留、転送がワンタッチで可能になります。

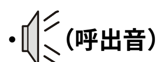
※工事設定により、強制転送が停止できます。

基本編
電話を受ける
TD130,TD230,FD200,WS,DC

内線通話をしないで直接外線を転送する（強制転送）

転送される側の操作（例：内線１５）

1 呼出音

- **呼出音「ププププ」が鳴る。**
- **転送されたことを表す呼出音「プルルプルル…（連続）」が鳴ります。**
- **（呼出音）**
- **ＤＣ子機は、内線呼出音が鳴ります。**
- **約３０秒経過した場合には、呼出音がなくなり、カレンダー・時計表示にもどります。**
- **このとき転送する側（57 ページ参照）に呼び出し音が鳴ります。**

[表示例は TD130、TD230 の場合]

```
 １５←― ［１２］ テンソウ
```

表示例：内線12から内線15への強制転送

→外線ランプ：緑点滅

2

- **３０秒以内に受話器をあげると、自動的に外線とつながります。**
- **ＷＳ子機は または 外線 を押します。**
- **ＤＣ子機は 外線 を押します。**

→外線ランプ：緑点灯

3 外線通話

- **外線相手と通話します。**

●相手に呼びかけて転送する（口頭転送）

基本編
電話を受ける
TD130,TD230,FD200,WS,DC

転送する側（例：内線１２）

[表示例は TD130、TD230 の場合]

1 保留

- 外線通話中に保留を押します。
- 外線相手に保留音が流れます。

１２⟶ [　　]

表示例：外線を保留中

→外線ランプ：緑点滅

2 （受話器をおく）

- 受話器をおきます。
- WS子機は充電器におかないときは切を押します。
- ＤＣ子機は電源を押します。

内線１２

3 口頭で呼びかける

- 口頭で呼びかけます。
  「例：…さんから電話です！」

転送される側（例：内線１５）

1 （受話器をあげる）

- 受話器をあげます。（ＷＳ子機は充電器からあげます。充電器においていないときは、ｽﾋﾟｰｶ押下後、次の操作２を行います。）
- ＤＣ子機は電源を押します。

→外線ランプ：赤点滅

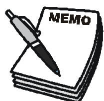
2 外線

- 保留中の外線を押します。

→外線ランプ：緑点灯

3 外線通話

- 外線相手と通話します。



※ＤＣ子機は「転送される側」の操作１で、外線ランプが消えているときは、先に電源を押すと、外線ランプの状態が分かります。また、「転送する側」の操作３で、口頭で呼びかけるときに、保留した外線が何番か伝えるようにしてください。

基本編
内線通話
TD130,TD230,FD200,WS,DC

●受話器をあげて内線をかける（内線オフフック発信）

受話器をあげて内線をかけます。

[表示例は TD130、TD230 の場合]

1 

- **受話器をあげます。（ＷＳ子機は充電器からあげて、[スピーカ]を押します。）**
- **ＤＣ子機は[内線]を押します。**

12→[　]

表示例：内線12
→内線ランプ：赤点灯

2 内線番号

- **相手の内線番号を押します。**

12→[15]

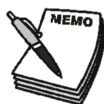
表示例：内線12が内線15を呼出し

3 内線通話

- **相手が出たら通話します。**

12＝[15]

表示例：内線12と内線15で内線通話



※工事設定により内線呼び出しは、音声の他に信号音でも呼び出せます。（初期設定：音声）
※内線発信でダイヤルを操作しないで、約３分経過するとビジートーン「プープー…」音が鳴り、更に約２０秒経過するとハウラ音「ピピピ…（連続）」音が鳴ります。

基本編
内線通話
TD130,TD230,FD200,WS

●受話器を置いたままで内線呼び出しする（内線オンフック発信）

受話器を置いたまま内線へかけます。（内線オンフック発信）

[表示例は TD130、TD230 の場合]

1 

- **[スピーカ]を押します。**
- **（内線ダイヤルトーン）**

12→[　]

表示例：内線12
→内線ランプ：赤点灯

2 内線番号

- **相手の内線番号を押します。**

12→[15]

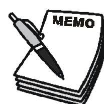
表示例：内線12が内線15を呼出し

3 

- **相手が出たら受話器をあげ、通話します。（ＷＳ子機は充電器からあげて、通話します。充電器においていないときは、[スピーカ]を押して応答します。）**

12＝[15]

表示例：内線12と内線15で内線通話



※工事設定により内線呼び出しは、音声の他に信号音でも呼び出せます。（初期設定：音声）
※内線発信でダイヤルを操作しないで、約３分経過するとビジートーン「プープー…」音が鳴り、更に約２０秒経過するとハウラ音「ピピピ…（連続）」音が鳴ります。

●内線呼び出し音を切替える （音声／信号音切替え）	基本編
	内線通話
	TD130,TD230,FD200,WS,DC

内線の呼び出し音は、音声での呼び出しと信号音での呼び出しを自由に切り替えることができます。
初期は音声です。

[表示例はTD130、TD230の場合]

1 （受話器）

・受話器をあげます。（ＷＳ子機は充電器からあげて、［ｽﾋﾟｰｶ］を押します。）
・ＤＣ子機は［内線］を押します。

１２⟶[　]

表示例：内線12
→内線ランプ：赤点灯

2 内線番号

・相手の内線番号を押します。
・内線呼出し中です。

１２⟶[１５]

表示例：内線12が内線15を呼出し

3 ［＊］

・［＊］を押します。また［＊］押すたびに音声→信号音→音声に切り替わります。



※内線通話が終わると、内線呼出音の切り替えは初期に戻ります。
※工事設定により、信号音を単音から、複合音（低）、複合音（中）、複合音（高）に変更できます。
※工事設定により、初期を音声呼出から信号音呼出に変更できます。
※ＤＣ子機を呼び出すときは、工事設定に関係なく信号音の内線呼出音が鳴ります。

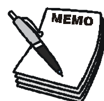
基本編
内線通話
TD130,TD230,FD200,WS,DC

●内線を簡単に呼び出す（内線オートダイヤル）

内線番号（または内線特番）や特殊番号を［オート］に登録しておくと、ワンタッチで内線呼出などができます。お買い上げ時の［オート］の登録と消去は、全電話機共通です。

登録のしかた

	操作	説明	表示・ランプ
1	［短縮］	・［短縮］を押します。	→会議ランプ：赤点滅
2	［オート］（または未使用［外線］）	・［オート］（または、未使用［外線］）を押します。	[表示例は TD130、TD230 の場合] ０１：登録なし 表示例：TD230 オート１９の場合 →会議ランプ：消灯
3	［機能］	・［機能］を押します。 ・ＤＣ子機は［機能(F)］を押します。	→機能ランプ：赤点滅
4	［1］	・内線番号（または内線特番）を登録するときは、［1］を押します。 （特殊番号を登録するときは、［＃］を押します。）	０１：１：
5	内線番号（または内線特番）	・内線番号（または内線特番）を押します。 ・特殊番号を登録するときは、特殊番号を押します。	０１：１：１５ 表示例：内線15を選んだ場合
6	［機能］	・［機能］を押します。 ・ＤＣ子機は［機能(F)］を押します。	→機能ランプ：消灯



※ＷＳ子機は未使用［外線］に［機能］と［オート］を登録します。（23 ページ参照）

※ＤＣ子機は未使用［外線］に［短縮］と［オート］と［機能(F)］を登録します。（28 ページ参照）

内線を簡単に呼び出す（内線オートダイヤル）	基本編
	内線通話
	TD130,TD230,FD200,WS,DC

受話器をおいたままで、オート を押すと内線発信（または内線特番操作）ができます。

かけかた

1 オート（または未使用 外線）

・内線番号（または内線特番）へ自動発信したり、特殊番号で設定または解除ができます。

[表示例は TD130、TD230 の場合]

```
１２⟶[１５]
```

表示例：内線12から15を呼び出す
→内線ランプ：赤点灯

確認のしかた

1 短縮

・短縮 を押します。

→会議ランプ：赤点滅

2 オート

・オート を押します。
・オートダイヤルの表示は約２０秒後に、カレンダー・時計表示に戻ります。

```
０１：１：１５
```

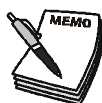
表示例：TD230 オート 19 の場合

消去のしかた

「登録のしかた」の操作１、２、３、会議、６をします。（62 ページ参照）

変更のしかた

内線オートダイヤルの登録内容を変更するときは、上記の「消去のしかた」を行ったうえ、62 ページの「登録のしかた」を行ってください。



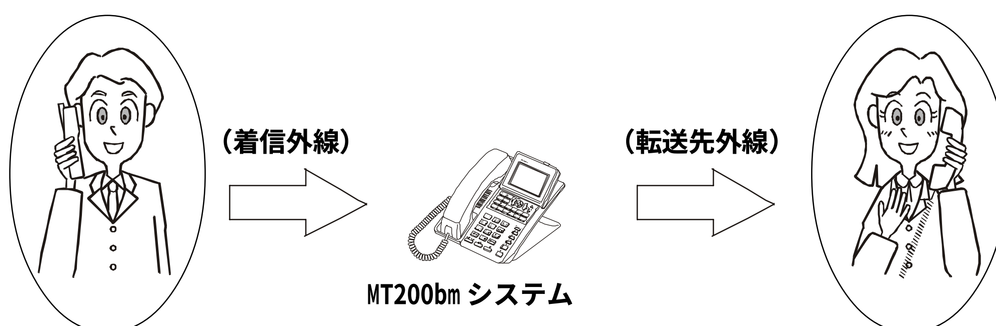
※ＷＳ子機は未使用 外線 に オート と 会議 を登録します。（23 ページ参照）
※ＤＣ子機は未使用 外線 に オート と 会議 と 短縮 を登録します。（28 ページ参照）

●外線転送について

本システムは、外線からかかってきた電話を外出先などの電話に転送する、外線転送機能が利用できます。
※転送先が一般回線または遠方の場合、転送先で電話に応答しても、初めの約２秒間の通話が途切れる場合があります。

手動転送と自動転送

- **外線転送は着信応答後、転送先を呼び出して転送する外線手動転送と、工事設定で指定した外線に着信があった場合、あらかじめ登録した転送先に自動的に転送する外線自動転送とがあります。ＭＴ２００ｂｍは同時に３組の転送が可能です。(デジタル回線が３回線収容の場合)**



デジタル回線による外線転送

・本システムにデジタル回線が収容されている場合のみで、アナログ回線を利用する場合の外線転送はできません。

外線転送機能の種類

サービス名	内容
外線自動転送	かかってきた電話を転送先外線から、あらかじめ登録された転送先に自動転送します。外線自動転送には「転送1～3」があり、MT２００bmは同時に3組の転送が可能です。(デジタル回線が3回線収容の場合)
一次応答付き外線自動転送	オプションの録音ユニット（REC200）を接続すると、電話をかけてきた相手にメッセージを流しながら、転送先へ自動転送できます。一次応答メッセージは次の固定内蔵メッセージ「ただ今電話を転送いたします。すこしお待ちください。」もしくは、ご自身が入れていただいたメッセージが流れます。
外線手動転送	通話中の電話をダイヤル操作により、転送先へ転送します。
リモコン機能	外出先の電話機から、リモコン操作で外線自動転送セットまたは解除したり、転送先電話番号の変更などができます。
外線転送コールバック	外線転送の通話終了後、電話をかけてきた相手が先に受話器をおろし、転送先相手がそのまま待っていると、MT200bm転送先外線が着信状態になり、応答すると通話ができます。

●指定先番号へ自動転送する（転送先電話番号の登録）

転送先は最大６ヵ所まで登録できます。外線自動転送をセットする際、ここで登録した中から転送先を選んで転送をセットすることができます。この機能を使用される場合は工事設定が必要です。

転送先電話番号登録のしかた

1 機能

・機能を押します。

・ＤＣ子機は機能(F)を押します。

→機能ランプ：赤点灯

2 6 3

・6 3をダイヤルします。

[表示例は TD130、TD230 の場合]

テンソウサキ[　]セット

→機能ランプ：赤点滅

3 1～6 いずれか

・転送先指定番号1～6のいずれか選択し押します。

テンソウサキ[１]⟶

表示例：転送先指定番号1 の登録

4 転送先電話番号

・転送先電話番号（最大２４桁）を市外局番から押します。

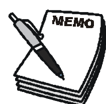
[１]⟶０３３４９３５１１１

5 機能

・機能を押します。

・ＤＣ子機は機能(F)を押します。

→機能ランプ：消灯



※電話番号を誤って入力した場合は、会議で消去してから入力し直してください。

※フラッシュ（ＤＣ子機はフック 機能/クリア）を押すと「－」（ハイフン）を入力することができます。

※１～５の操作は、電話機のオート（ＷＳ子機、ＤＣ子機は未使用外線）に登録できます。（265 ページ参照）

※登録後はオートを押すだけで転送先電話番号が登録できます。

※転送先電話番号の途中にポーズを入れないでください。相手につながらないことがあります。

※ＷＳ子機は未使用外線に機能と会議とフラッシュを登録します。（23 ページ参照）

※ＤＣ子機は未使用外線に機能(F)と会議を登録します。（28 ページ参照）

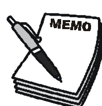
応用編
外線転送機能
TD130,TD230,FD200,WS,DC

指定先番号へ自動転送する（転送先電話番号の確認／変更／消去）

転送先電話番号確認のしかた

登録されている転送先電話番号を確認します。

	キー操作	説明	表示・ランプ
1	機能	・機能を押します。 ・ＤＣ子機は機能(F)を押します。	→機能ランプ：赤点灯
2	6 4	・6 4を押します。	[表示例は TD130、TD230 の場合] テンソウサキ[　]カクニン →機能ランプ：赤点滅
3	1～6 いずれか	・転送先指定番号1～6のいずれかを選択し押します。	テンソウサキ[１]カクニン 表示例：転送先指定番号1を確認
4	機能	・機能を押します。 ・ＤＣ子機は機能(F)を押します。	[１]⟶０３３４９３５１２２ 表示例：転送先電話番号を表示 →機能ランプ：消灯 →約20 秒後にカレンダー時計表示に戻る



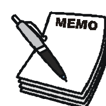
※転送先の電話番号が１２桁以上(ＷＳ子機は１４桁以上)のときは、転送先表示中に会議を押して番号のつづきを確認してください。
※転送先が登録されていない場合は「ミセッテイ」と表示されます。
※１～４の操作は電話機のオート(ＷＳ子機、ＤＣ子機は未使用外線）に登録できます。（265 ページ参照）
※登録後はオートを押すだけで転送先電話番号が確認できます。
※ＷＳ子機は未使用外線に機能と会議を登録します。（23 ページ参照）
※ＤＣ子機は未使用外線に機能(F)と会議を登録します。（28 ページ参照）

転送先電話番号変更のしかた

「転送先電話番号登録のしかた」と同じ操作をします。（65 ページ参照）

転送先電話番号消去のしかた

「転送先電話番号の登録のしかた」の操作１、２、３、５をします。（65ページ参照）



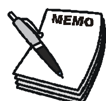
※外線自動転送がセットされているときには、「転送先電話番号登録のしかた」の操作５でＴＤ１３０、ＴＤ２３０、ＷＳ子機の場合は「ＥＲＲＯＲ」が表示、ＦＤ２００、ＤＣ子機の場合は「Ｅｒｒｏｒ」が表示され、転送先電話番号の変更はできませんので、外線自動転送を解除してから転送先電話番号を変更してください。

指定先番号へ自動転送する （外線自動転送セット／変更）	応用編 外線転送機能 TD130,TD230,FD200,WS,DC

外線自動転送セットのしかた

外線自動転送を行うときのセットの方法です。転送１～３を同時にセットすることができます。

	操作	説明	表示
1	機能	・機能を押します。 ・ＤＣ子機は機能(F)を押します。	→機能ランプ：赤点灯
2	6 1	・6 1を押します。	[表示例は TD130、TD230 の場合] テンソウ　セット　　［ － ］ →機能ランプ：赤点滅
3	1～3 いずれか	・セットする転送の番号1～3のいずれかを選択し押します。	テンソウ　セット　　［1－ ］ 表示例：転送セット1を選択
4	1～6 いずれか	・転送先指定の番号1～6を押します。	テンソウ　セット　　［1－4］ 表示例：転送セット１、転送先番号４
5	機能	・機能を押します。 ・ＤＣ子機は機能(F)を押します。 ・発信側に指定された外線の外線ランプが赤で点灯し、着信側に指定された外線の外線ランプが赤で点滅します。	［1→4］ 表示例：転送１は転送先４でセット →機能ランプ：消灯



※転送先相手が（発信側）話し中のとき、電話にでないときは６０秒呼び出したあと、自動的に電話を切って約１０秒後に再度かけ直します。（合計３回）
※外線自動転送中に着信があったときでも転送先（発信側）または転送元（着信側）、どちらからでも応答できます。
※外線自動転送後の通話中に「電話をかけた相手」と「転送先相手」との通話が、工事設定による通話時間を経過すると両方の相手に「ピー」音が聞こえ３０秒後に電話が切れます。工事設定により３０分、１時間、２時間、３時間のいずれかに設定できます。お買い上げ時は２時間です。
※着信側外線は通常どおり発信、着信できます。転送先（発信側）外線は発信できません。ただし、着信は受けることができます。
※転送先の電話番号が登録されていない場合はセットされません。
※工事設定により、着信してから転送先を呼び出すまでの時間を遅らせることができます。
※工事設定により、転送の着信側外線に着信が入ったとき、電話機から着信音を鳴動しないように変更することができます。
※１～５の操作は、電話機のオート（ＷＳ子機、ＤＣ子機は未使用外線）に登録できます。（264 ページ参照）
※付属のステッカ「外線自動転送１」、「外線自動転送２」、「外線自動転送３」シールを貼ると便利です。
※登録後は、オートを押すだけで、外線自動転送のセット／解除ができます。
※ＷＳ子機は未使用外線に機能を登録します。（23 ページ参照）
※ＤＣ子機は未使用外線に機能(F)を登録します。（28 ページ参照）

外線自動転送セット変更のしかた

「外線自動転送セットのしかた」と同じ操作をします。

指定先番号へ自動転送する（外線自動転送解除）

解除のしかた

外線自動転送を解除して、普通の着信に戻します。

1 機能

・機能を押します。

・ＤＣ子機は機能(F)を押します。

→機能ランプ：赤点灯

2 6 2

・6 2を押します。

[表示例は TD130、TD230 の場合]

テンソウリセット　[　]

→機能ランプ：赤点滅

3 1〜3 いずれか

・解除する転送セット番号1〜3のいずれかを選択します。

テンソウリセット　[1]

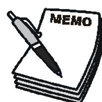
表示例：転送セット１をリセット

4 機能

・機能を押します。

・ＤＣ子機は機能(F)を押します。

→機能ランプ：消灯



※外線自動転送を解除しても、登録してある転送先の電話番号は消去されません。

※ＷＳ子機は未使用外線に機能を登録します。（23 ページ参照）

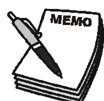
※ＤＣ子機は未使用外線に機能(F)を登録します。（28 ページ参照）

●外線自動転送を時刻指定で利用する （外線自動転送の時刻登録）	応用編 外線転送機能 TD130,TD230,FD200,WS,DC

決まった時刻に外線自動転送のセット・解除を自動的に行います。

登録のしかた

	キー操作	説明	表示
1	機能	・機能を押します。 ・ＤＣ子機は機能(F)を押します。	→機能ランプ：赤点灯
2	6 ＊	・6 ＊を押します。	[表示例は TD130、TD230 の場合] テンソウ　ジコク　セット →機能ランプ：赤点滅
3	1～3 いずれか	・セットする転送番号1～3のいずれかを選択し押します。	[1→　]00：00−00：00 表示例：転送セット1を選択
4	1～6 いずれか	・転送先指定番号1～6を押します。	[1→4]00：00−00：00 表示例：転送セット1、転送先番号4
5	時刻入力	・開始時刻と終了時刻を入力します。（２４時間制）	[1→4]18：00−22：00 表示例：18 時から 22 時に設定
6	機能	・機能を押します。 ・ＤＣ子機は機能(F)を押します。	→機能ランプ：消灯 →約５秒後に表示が消えます。



※外線自動転送の時刻登録は、電話機のオート（ＷＳ子機、ＤＣ子機は未使用外線）に登録できます。（267 ページ参照）

※ＷＳ子機は未使用外線に機能を登録します。（23 ページ参照）

※ＤＣ子機は未使用外線に機能(F)を登録します。（28 ページ参照）

外線自動転送を時刻指定で利用する（外線自動転送の時刻確認／解除）

確認のしかた

1 機能

・機能を押します。

・ＤＣ子機は機能(F)を押します。

→機能ランプ：赤点灯

2 6 #

・6 #を押します。

[表示例は TD130、TD230 の場合]

テンソウ　ジコク　カクニン

→機能ランプ：赤点滅

3 1～3 いずれか

・確認する転送番号1～3のいずれかを選択し押します。

テンソウ１　ジコク　カクニン

表示例：転送セット１を選択

4 機能

・機能を押します。

・ＤＣ子機は機能(F)を押します。

[1→4] 18：00－22：00

表示例：転送セット１を確認
→約５秒後に表示が消えます。
→機能ランプ：消灯

解除のしかた

1 機能

・機能を押します。

・ＤＣ子機は機能(F)を押します。

→機能ランプ：赤点灯

2 6 ✱

・6 ✱を押します。

[表示例は TD130、TD230 の場合]

テンソウ　ジコク　セット

→機能ランプ：赤点滅

3 1～3 いずれか

・解除する転送番号1～3のいずれかを選択し押します。

[1→　] 00：00－00：00

表示例：転送セット１を選択

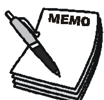
4 機能

・機能を押します。

・ＤＣ子機は機能(F)を押します。

テンソウ１　ジコク　リセット

→約５秒後に表示が消えます。
→機能ランプ：消灯



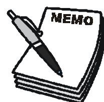
※確認のしかたは、電話機のオート（ＷＳ子機、ＤＣ子機は未使用外線）に登録できます。（267 ページ参照）

※ＷＳ子機は未使用外線に機能を登録します。（23 ページ参照）

※ＤＣ子機は未使用外線に機能(F)を登録します。（28 ページ参照）

●一次応答付き外線自動転送	応用編
	外線転送機能

オプションの録音ユニット（ＲＥＣ２００）を接続すると、本システムにかけてきた相手に、一次応答メッセージを送出しながら外線自動転送をすることができます。この機能を使用される場合は工事設定が必要です。
一次応答メッセージの録音／確認／消去のしかたは留守番機能の各種メッセージの録音のしかたを参照してください。**（193、194 ページ参照）**



※一次応答メッセージは、次の固定内蔵メッセージ「ただいま電話を転送いたします。すこしお待ちください。」も用意してあります。
※工事設定により、着信してから転送先を呼び出すまでの時間を遅らせることができます。

●識別着信転送	応用編
	外線転送機能

オプションの録音ユニット（ＲＥＣ２００）を接続し、留守番と外線自動転送を同時にセットしている場合、共通短縮番号に識別着信として登録されている番号からの着信は、「識別着信留守番」（200 ページ参照）で留守番応答せずに、外線自動転送で転送し、それ以外の着信は全て留守番応答することができます。この機能を使用される場合は工事設定が必要です。

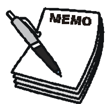


※識別着信転送機能は、外線自動転送と留守番を、同時にセットすることによってできる機能のため、留守番応答回数を1回に設定（191ページ参照）しないと留守番が応答するまでの時間は、全ての着信に対して転送先を呼び出してしまいます。

●外線通話中に外線を転送する（外線手動転送）

外線着信に応答後、かかってきた電話を転送先を呼び出して転送します。

手順	操作	説明	ランプ
1	外線通話中		→外線ランプ1 ：緑点灯
2	保留	・保留を押します。	→外線ランプ1 ：緑点滅
3	外線	・未使用の外線を押します。	→外線ランプ2 ：緑点灯
4	転送先電話番号	・転送先番号を押します。	
5	転送先と通話	・転送先相手が応答したら転送することを話します。	
6	機能	・機能を押します。 ・ＤＣ子機は機能(F)を押します。	→機能ランプ ：赤点灯
7	ﾌﾗｯｼｭ	・ﾌﾗｯｼｭを押します。 ・ＤＣ子機はﾌｯｸ(機能/クリア)を押します。 ・着信側、転送側の外線ランプが点灯します。	→機能ランプ ：消灯
8	（受話器）	・受話器をおきます。 ・ＷＳ子機は充電器におきます。（もしくは、切を押します。） ・ＤＣ子機は電源を押します。	→外線ランプ1 ：赤点灯 →外線ランプ2 ：赤点灯



※電話番号を誤って入力した場合は、ﾌﾗｯｼｭ（ＤＣ子機はﾌｯｸ(機能/クリア)）で消去してから再度入力し直してください。

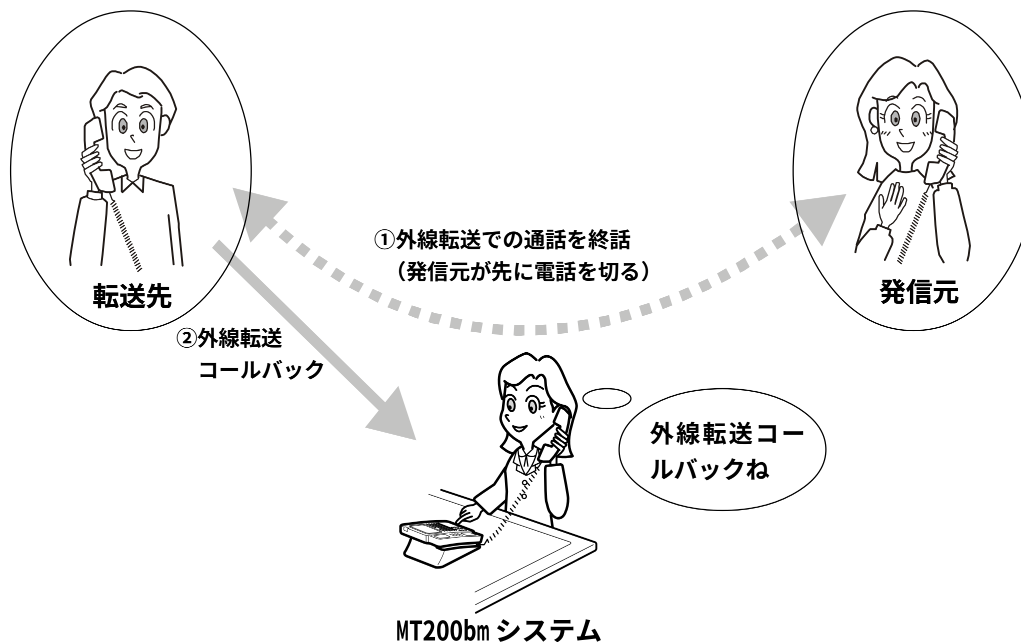
※６、７の操作は、電話機のｵｰﾄ（ＷＳ子機、ＤＣ子機は未使用外線）に、登録できます。（269 ページ参照）

※ＷＳ子機は未使用外線に機能とﾌﾗｯｼｭを登録します。（23 ページ参照）

※ＤＣ子機は未使用外線に機能(F)を登録します。（28 ページ参照）

●外線転送後に再度通話する （外線転送コールバック）	応用編 外線転送機能

外線転送（手動／自動）の通話が終了後、電話をかけてきた相手が先に電話を切った場合、転送先の通話者が電話を切らずにそのまま待っていると、転送先から本システムへの外線着信となり、本システムが呼び出されます。



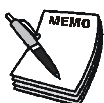
1　外線転送通話中
「電話をかけてきた相手」と「転送先相手」が通話しています。

2　通話が終わって「電話をかけてきた相手」が受話器をおろします。

3　転送先相手はそのまま待っていると（受話器はあげたまま）
約４秒間、ビジートーン「プープー…（連続）」が聞こえます。

4　２秒後※1に本システムに着信音が鳴る
※１　お買い上げ時は２秒です。工事設定により０（コールバックしない）～６秒のいずれかに変更できます。

5　本システムの電話機で応答すると転送先相手と通話できる。

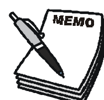


※外線自動転送、外線手動転送のどちらも外線転送コールバックができますが、お買い上げ時は外線手動転送のみです。工事設定により、外線自動転送を「コールバックする」に設定できます。

●外出先から外線転送の設定・解除を行う（リモコン機能）

外出先のプッシュ信号の送出できる電話機から、リモコン操作で外線自動転送セットまたは解除をしたり、転送先電話番号の変更などができます。この機能を使用される場合は工事設定が必要です。
外線自動転送のリモコン機能には次の３種類があります。

1　ダイレクト リモコン **（76 ページ参照）**	**・発信者番号通知（216 ページ参照）を利用して、転送先番号に登録されている番号と通知された番号が一致すると、暗証番号を入力しなくてもリモコン操作ができます。**	転送先に登録された電話番号からだけ利用できます。
2　サブアドレス　リモコン **（77 ページ参照）**	**・サブアドレス通知（215 ページ参照）を利用して、リモコン用サブアドレス（９０）を通知して、リモコン操作ができます。**	ＩＣカード公衆電話機、デジタル公衆電話機、ＰＨＳ、デジタル回線に接続された電話機だけが利用できます。
3　自動着信リモコン **（78 ページ参照）**	**・外線自動転送の発信側外線（転送セット中のとき、赤点灯になる外線）に指定回数着信させて、リモコン操作ができます。**	プッシュ信号の送出できるどの電話機からでも利用できます。



※サブアドレスリモコン、自動着信リモコンを利用するには、暗証番号の登録（75 ページ参照）が必要です。



リモコン操作で転送セット／解除





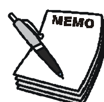
MT200bm システム

外出先から外線転送の設定・解除を行う （暗証番号の登録／変更／消去）	応用編
	外線転送機能
	TD130,TD230,FD200,WS,DC

暗証番号登録のしかた

リモコン操作を行うために必要な暗証番号を登録します。

1	機能	・機能を押します。 ・ＤＣ子機は機能(F)を押します。	→機能ランプ：赤点灯
2	6 6	・6 6 を押します。	[表示例は TD130、TD230 の場合] テンソウアンショウ→ →機能ランプ：赤点滅
3	暗証番号	・暗証番号（４桁「0000～9999」）を押します。	テンソウアンショウ→＊＊＊＊ 表示例：「＊＊＊＊」
4	機能	・機能を押します。 ・ＤＣ子機は機能(F)を押します。	→機能ランプ：消灯



※１～４の操作は、電話機のオート（ＷＳ子機、ＤＣ子機は未使用外線）に登録できます。（265 ページ参照）

※ＷＳ子機は未使用外線に機能を登録します。（23 ページ参照）

※ＤＣ子機は未使用外線に機能(F)を登録します。（28 ページ参照）

※暗証番号の確認はできません。

※暗証番号を忘れたときは、再度登録し直してください。

暗証番号変更のしかた

「暗証番号登録のしかた」と同じ操作をします。

暗証番号消去のしかた

「暗証番号登録のしかた」の操作１、２、４をします。

●発信者番号通知を利用してリモコン操作をする（ダイレクトリモコン）

発信者番号通知を利用して、転送先番号に登録されている番号と通知された番号が一致すると、リモコン操作ができます。この機能を使用する場合は、工事設定が必要です。

1 外出先から電話をかける

・プッシュ信号送出と発信者番号通知ができる外出先の電話機から、本システムのデジタル回線へ電話をかけます。

2 自動応答する

→受付音「ピッピッピッ…」が聞こえます。
・すぐに、本システムが自動応答します。

3 操作するリモコン番号

→受付音「ピッピッ」が聞こえます。
・操作したいリモコン番号は「リモコン操作一覧表」を参照ください。（79、80ページ参照）

4 [＊][0]（終了）

・[＊][0] を押します。

→終了音「ピー」が聞こえ、リモコン操作が完了します。



※転送先に登録された電話番号からだけ利用できます。
※暗証番号の登録は必要ありません。
※外線自動転送の転送先電話から発信者番号を通知して、本システムのデジタル回線へ電話をかけると、外線転送のセット状態または解除状態にかかわらずリモコン状態に入ります。
※外線自動転送の転送先電話から、本システムのデジタル回線へリモコン以外の用事で電話をかけるときは、電話番号の前に「１８４」をダイヤルします。（発信者番号を通知不可にして電話をかけます）
※受付音「ピッピッ」が鳴ってから約２０秒以内にリモコン番号を押さないと、自動的に電話が切れます。
※転送先の電話がアナログ回線の場合、ＩＮＳナンバーディスプレイサービスに加入しないと利用できません。
※携帯電話からリモコン操作をする場合は、携帯電話の設定を「発信者番号通知あり」にしてください。

●サブアドレス通知を利用してリモコン操作をする（サブアドレスリモコン）	応用編 外線転送機能

デジタル回線の基本サービスであるサブアドレス通知を利用して（215ページ参照）、外線自動転送機能のリモコン操作ができます。このサブアドレスを付加すれば、システムのどのデジタル回線にかけてもリモコン操作が可能です。

1 サブアドレス［9］［0］を付加して電話をかける。

- プッシュ信号送出とサブアドレスが通知できる外出先の電話機から、本システムのデジタル回線へサブアドレス番号「［9］［0］」を付加して電話をかける。
- ＩＣカード公衆電話機、デジタル公衆電話機からかける場合は､｢電話番号→サブアドレスボタン→９０→スタートボタン｣の順にダイヤルします。

2 自動応答する

→受付音｢ピッピッピッ…｣
- システムがすぐに自動応答します。

3 暗証番号を押す

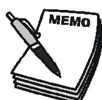
→受付音｢ピッピッ｣
- 自動応答後、２０秒以内に暗証番号の１桁目を押し、続けて残りの３桁を押します。
- 暗証番号が間違っていると、エラー音｢プププ｣がなります。再度正しい暗証番号を押します。

4 操作するリモコン番号

- 操作したいリモコン番号は、「リモコン操作一覧表」を参照します。（79､80ページ参照）

5 ［＊］［0］(終了)

- ［＊］［0］ を押します。終了音｢ピー｣が聞こえ、リモコン操作が完了します。



※暗証番号は３回まで受け付けます。それ以上間違えると自動的に電話を切ります。
※サブアドレス通知ができる電話機からだけ利用できます。
※サブアドレス通知ができる電話機は、ＩＣカード公衆電話機、デジタル公衆電話機、ＰＨＳ、デジタル回線に接続された電話機だけです。携帯電話は、サブアドレス通知できません。
※リモコン操作で、暗証番号など次のダイヤルする間隔が２０秒以上経過すると自動的に電話が切れます。

●自動着信機能を利用してリモコン操作をする（自動着信リモコン）

外線自動転送の転送先外線（転送セット中のとき、赤点灯になる外線）に指定回数着信させて、リモコン操作ができます。

1 転送先外線へ電話をかける

- **プッシュ信号が送出できる外出先の電話機から本システムの転送先外線へ電話をかけます。**

2 自動応答する

→受付音「ピッピッピッ …」

- **14回（初期値）呼出後、本システムが自動応答します。**

3 暗証番号を押す

→受付音「ピッピッ」

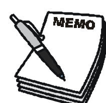
- **自動応答後、２０秒以内に暗証番号の１桁目を押し、続けて残りの３桁を押します。**
- **暗証番号が間違っていると、エラー音「ププププ」がなります。再度正しい暗証番号を押します。**

4 操作するリモコン番号

- **操作したいリモコン番号は、「リモコン操作一覧表」を参照します。（79、80ページ参照）**

5 [＊][0]（終了）

- **[＊][0] を押します。終了音「ピー」が聞こえ、リモコン操作が完了します。**



※暗証番号は３回まで受け付けます。それ以上間違えると自動的に電話を切ります。
※工事設定により自動応答する回数を１～９９回のいずれかに設定できます。（０回に設定すると自動応答しません。）
※リモコン操作で、暗証番号など次のダイヤルする間隔が２０秒以上経過すると自動的に電話が切れます。

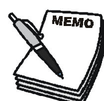
●リモコン操作一覧

種類		リモコン番号	動作内容
自動転送１セット	転送先1	* 1 1	自動転送１で転送先１をセット
	転送先2	* 1 2	自動転送１で転送先２をセット
	転送先3	* 1 3	自動転送１で転送先３をセット
	転送先4	* 1 4	自動転送１で転送先４をセット
	転送先5	* 1 5	自動転送１で転送先５をセット
	転送先6	* 1 6	自動転送１で転送先６をセット
自動転送２セット	転送先1	* 2 1	自動転送２で転送先１をセット
	転送先2	* 2 2	自動転送２で転送先２をセット
	転送先3	* 2 3	自動転送２で転送先３をセット
	転送先4	* 2 4	自動転送２で転送先４をセット
	転送先5	* 2 5	自動転送２で転送先５をセット
	転送先6	* 2 6	自動転送２で転送先６をセット
自動転送３セット	転送先1	* 3 1	自動転送３で転送先１をセット
	転送先2	* 3 2	自動転送３で転送先２をセット
	転送先3	* 3 3	自動転送３で転送先３をセット
	転送先4	* 3 4	自動転送３で転送先４をセット
	転送先5	* 3 5	自動転送３で転送先５をセット
	転送先6	* 3 6	自動転送３で転送先６をセット
自動転送１解除		* 5 1	自動転送１を解除
自動転送２解除		* 5 2	自動転送２を解除
自動転送３解除		* 5 3	自動転送３を解除
転送先電話番号の登録（変更）	転送先1	* 6 1 ▼ 転送先電話番号を押す（最大24桁） ▼ # #	転送先１の電話番号の登録（変更）
転送先電話番号の登録（変更）	転送先2	* 6 2 ▼ 転送先電話番号を押す（最大24桁） ▼ # #	転送先２の電話番号の登録（変更）
転送先電話番号の登録（変更）	転送先3	* 6 3 ▼ 転送先電話番号を押す（最大24桁） ▼ # #	転送先３の電話番号の登録（変更）

次ページへ 

リモコン操作一覧

種　　類		リモコン番号	動作内容
転送先電話番号の登録（変更）	転送先4	＊ 6 4 ▼ 転送先電話番号を押す（最大24桁）▼ # #	転送先４の電話番号の登録（変更）
	転送先5	＊ 6 5 ▼ 転送先電話番号を押す（最大24桁）▼ # #	転送先５の電話番号の登録（変更）
	転送先6	＊ 6 6 ▼ 転送先電話番号を押す（最大24桁）▼ # #	転送先６の電話番号の登録（変更）
終了		＊ 0	リモコン操作終了 (＊ 0 を押さないで受話器をおろすと、自動的に切ります。)



※操作できないリモコン番号を押すとエラー音「ププププ」が聞こえます。
　約２０秒以内に正しいリモコン番号を押してください。

※操作を途中で間違えたときは、＊ ＊ (訂正) を押してから正しいリモコン番号を押してください。

●オートダイヤルに電話帳ボタンを登録する（電話帳ボタンの登録）	応用編
	外線の便利な機能
	TD130,TD230,WS,DC

本システムは、短縮ダイヤルに電話番号と、名前を登録することができます。名前のカナから、短縮番号を検索（電話帳検索）することもできます。名前の登録や電話帳検索には、オートダイヤルボタンに電話帳ボタンを設定する必要があります。

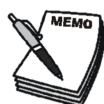
[電話帳]は、お買い上げ時、次のとおり設定されています。ＷＳ子機は[外線12]に[オート12]を登録(23ページ参照)、ＤＣ子機は[外線6]に[オート6]を登録(28ページ参照)すると[電話帳]になります。登録を変更する場合は、工事設定が必要になる場合があります。

＜お買い上げ時＞

	ＴＤ１３０電話機	ＴＤ２３０電話機	ＷＳ２３０電話機	ＤＣ２３０電話機
電話帳ボタン	外線１２	オート２４	オート１２	オート６

登録のしかた

		操作	表示
1	[短縮]	・[短縮]を押します。	： →会議ランプ：赤点滅
2	[オート]	・電話帳ボタンを登録する[オート]を押します。	１３：登録なし 表示例：ＴＤ２３０電話機オートダイヤル１３に登録 →会議ランプ：消灯
3	[機能]	・[機能]を押します。 ・ＤＣ子機は[機能(F)]を押します。	１３： →機能ランプ：赤点滅
4	[2]	・[2]を押します。	１３：２：
5	[1][6]	・[1][6]を押します。	１３：２：１６
6	[機能]	・[機能]を押します。 ・ＤＣ子機は[機能(F)]を押します。	→機能ランプ：消灯



※付属のステッカ「電話帳」シールを貼ると便利です。

※ＴＤ２３０電話機の[オート19]、[オート20]（ＷＳ子機、ＤＣ子機は[オート1]、[オート2]）には登録しないでください。
一部[電話帳]として使用できません。（カーソル移動ボタンとして使用）

※ＷＳ子機は未使用[外線]に[機能]と[オート]を登録（23ページ参照）してから、[電話帳]の登録をします。

※ＤＣ子機は未使用[外線]に[短縮]と[機能(F)]と[オート]を登録（28ページ参照）してから、[電話帳]の登録をします。

●短縮ダイヤル、電話帳を登録する（電話帳登録）

電話番号と名前を合わせて電話帳として登録することができます。電話番号をあらかじめ登録しておくと、簡単な操作で電話がかけられます。登録できる短縮ダイヤルの数を変更するには工事設定が必要です。

種類	お買い上げ時	変更時	変更時
個別短縮	なし	80～99（20ヵ所）	なし
全電話機共通短縮	00～99（100ヵ所）	00～79（80ヵ所）	000～999（1000ヵ所）

電話帳を登録

※ＷＳ子機は 85 ページ、ＤＣ子機は 87 ページ、ＦＤ２００電話機は 181 ページをご覧ください。

1 [短縮]
- [短縮]を押します。

→会議ランプ：赤点滅

2 短縮番号
- 個別短縮番号、共通短縮番号、[＊]のいずれかを押します。
- [＊]を押すと、共通短縮番号の未登録番号を若番から検索し表示します。

```
００：登録なし
```

→会議ランプ：消灯

3 [機能]
- [機能]を押します。

→機能ランプ：赤点滅

4 電話番号
- 電話番号を入力します（最大２４桁）
- 電話番号が１７桁以上になると下１６桁を表示します。（短縮番号２桁の場合）
- 内線番号の登録はできません。
- 電話番号登録後、名前以降を登録しない場合は、84 ページの操作１２へ進み終了します。

```
００：０３３４９３５１１１

着音：
```

5 [発信]

6 名前を登録
- 名前を登録せずにカナを登録する場合は、続けて[発信]を押します。
- [電話帳]（81 ページ）で文字入力モードを変更します。

→[全角かな]→[全角カナ]→[全角英字]→[全角数字]→（[全角かな]へ戻る）

- 文字入力には、ダイヤルボタンから入力します。（文字数は、全角で最大１０文字）
- 入力できる文字は、次の表のとおりです。（かな文字や漢字も入力できます。）

ダイヤルボタン	カナ	英字	数字
[1]	アイウエオ　ァィゥェォ	スペース（空き）	1
[2]	カキクケコ	ＡＢＣ　ａｂｃ	2
[3]	サシスセソ	ＤＥＦ　ｄｅｆ	3
[4]	タチツテトッ	ＧＨＩ　ｇｈｉ	4
[5]	ナニヌネノ	ＪＫＬ　ｊｋｌ	5
[6]	ハヒフヘホ	ＭＮＯ　ｍｎｏ	6
[7]	マミムメモ	ＰＱＲＳ　ｐｑｒｓ	7
[8]	ヤユヨャュョ	ＴＵＶ　ｔｕｖ	8
[9]	ラリルレロ	ＷＸＹＺ　ｗｘｙｚ	9
[0]	ワヲン゛゜ー・！？、。	＠.～／：＿！？’－＆（）”＄％＋ ，；＜＝＞［￥］＾｀｛｜｝「」＊＃	0
[＊]	カーソル左移動で文字消去（またはカーソル位置の文字消去）		
[＃]	カーソル右移動（同じ文字を続けて入力するときなどに押します。）		
[ﾌﾗｯｼｭ]	入力した文字を全て消去		

次ページへ

短縮ダイヤル、電話帳を登録する（電話帳登録）

（かな文字を漢字に変換する）

(例) たむら　と入力後

・名前登録時に「全角かな」モードで入力されたかな文字を、漢字に変換します。

00：0334935111
たむら
着音：　　[全角かな]

らと■を交互に点滅

7 短縮

・短縮を押すと変換候補の漢字を表示します。

00：0334935111
田村
着音：　　[全角かな]

点滅

8 保留

・変換候補を確定するときは、保留を押してください。
・表示された候補の次を表示させるときは、短縮を押すと次の変換候補を表示します。
・変換候補で、確定する漢字が表示されないときは、 電話帳 を押したあとにかな文字で、変換文字を変更して確認してください。

00：0334935111
田村
着音：　　[全角かな]

9 発信

・発信を押すと確定した漢字を入力したときのかな文字をカナ文字に変更して自動で表示されます。
・編集を行うときは # で右にカーソル移動、＊でカーソル上の文字を消去できます。（最大１６文字入力できます。）
・英字の半角小文字は入力できません。

00：0334935111
田村
タムラ
着音：　　[半角カナ]

タと■を交互に点滅

10 発信

・発信を押します。
・カナ登録後、識別着信音を登録しない場合は、操作12へ進み終了します。

00：0334935111
田村
タムラ
着音：

次ページへ

短縮ダイヤル、電話帳を登録する（電話帳登録）

11 識別着信音の登録 ※1

・各種着信音に対応した番号を押します。

1：着信音１	6：着信音６
2：着信音２	7：着信音７
3：着信音３	8：着信音８
4：着信音４	9：着信メロディ
5：着信音５	

・個別短縮のときは、識別着信音の登録ができません。

※１ 89ページの識別着信をご覧ください。

００：０３３４９３５１１１
田村
タムラ
着音：1

1と■を交互に点滅

表示例：識別着信音１

12 機能

・機能を押します。

→機能ランプ：消灯



※電話番号入力時に以下のこともできます。

・ポーズ（Ｐ表示）（待ち時間：お買い上げ時は約３秒）は短縮を押します。
電話番号の途中にポーズを入れないでください。相手につながらないことがあります。（デジタル回線）
（登録されたポーズの後の番号は、相手応答がなくても続けて番号を送出します。）

・ﾌﾗｯｼｭを押すと「ー」（ハイフン）を入力することができます。（名前およびカナ入力時は、全消去になります。）

・会議を押すと最後の１桁（またはカーソル位置）を削除します。

・電話機のｵｰﾄに◀を登録することでカーソルが左に移動します。また、▶を登録することでカーソルが右に移動します。（269 ページ参照）

短縮ダイヤル、電話帳を登録する（電話帳登録）

応用編
外線の便利な機能
WS

電話帳を登録

1 短縮
・短縮を押します。

2 短縮番号
・個別短縮番号、共通短縮番号、＊のいずれかを押します。
・＊を押すと、共通短縮番号の未登録番号を若番から検索し表示します。

００：登録なし

3 機能
・機能を押します。

4 電話番号
・電話番号を入力します（最大24桁）
・電話番号が１７桁以上になると下１６桁を表示します。（短縮番号２桁の場合）
・内線番号の登録はできません。

００：０３３４９３５１１１

5 発信
・電話番号登録後、名前以降を登録しない場合は、操作１２へ進み終了します。

6 名前を登録
・名前を登録します。（全角で最大１０文字）
・名前を登録せずにカナを登録する場合は、続けて発信を押します。
・電話帳（81 ページ）で文字入力モードを変更します。

漢 → カナ → 英 → 数

・82 ページの「カナ・漢字一覧表」を見ながらダイヤルボタンを押して１文字ずつ登録します。

００：０３３４９３５１１１
たむら

ら と ■ を交互に点滅

表示例：たむら

7 短縮
・短縮を押すと変換候補の漢字を表示します。

００：０３３４９３５１１１
田村

点滅

次ページへ


短縮ダイヤル、電話帳を登録する（電話帳登録）

8 保留

・変換候補を確定するときは、保留を押してください。
・表示された候補の次を表示させるときは、短縮を押すと次の変換候補を表示します。
・変換候補で、確定する漢字が表示されないときは、電話帳を押したあとにかな文字で、変換文字を変更して確認してください。

００：０３３４９３５１１１
田村

9 発信

・発信を押すと確定した漢字を入力したときのかな文字をカナ文字に変更して自動で表示されます。
・編集を行うときは＃で右カーソル移動、＊でカーソル上の文字を消去します。（最大１６文字入力できます。）
・電話帳で文字入力モードを変更します。
→カナ→英→数→（カナへ戻る）

００：０３３４９３５１１１
田村
タムラ
→タと■を交互に点滅

10 発信

・発信を押します。
・カナ登録後、識別着信音を登録しない場合は、操作12へ進み終了します。

田村
タムラ
着音：■
→点滅

11 識別着信音の登録

・84ページの操作１１の各種着信音に対応した番号を押します。

田村
タムラ
着音：１
→１と■を交互に点滅

12 機能

・機能を押します。



※未使用外線に機能と電話帳を登録します。（23、81ページ参照）
※電話番号入力時は84ページの「メモ欄」をご覧ください。

短縮ダイヤル、電話帳を登録する（電話帳登録）

電話帳を登録

1 短縮

・短縮を押します。

表示：「：」

2 短縮番号

・個別短縮番号、共通短縮番号、＊のいずれかを押します。
・＊を押すと、共通短縮番号の未登録番号を若番から検索し表示します。

表示：「００：登録なし」

3 機能(F)

・機能(F)を押します。

表示：「００：０３３４９３５１１１」

4 電話番号

・電話番号を入力します（最大24桁）
・電話番号が１３桁以上になると下１２桁を表示します。（短縮番号２桁の場合）
・内線番号の登録はできません。
・電話番号登録後、名前と識別着信音を登録しない場合は操作９へ進みます。

5 ☎

・☎を押します。
・電話帳（81ページ）を押すと、カナモジ→エイモジ→表示なし（数字）の順にモードが切り替わります。
・名前を登録しない場合は操作７へ進みます。

表示：「カナモジ」→「エイモジ」

6 名前を登録
（カナ文字入力のみ）

・名前を登録します。（全角で最大16文字）
・下表を見ながらダイヤルボタンを押して１文字ずつ登録します。
（88ページメモ欄の「登録例：ＫＫタムラ」を参照してください。）

表示：「ＫＫタムラ
カナモジ」

登録できる文字・数字一覧表

ダイヤルボタン	カナ	英字	数字
1	アイウエオ　ァィゥェォ	スペース（空き）	1
2	カキクケコ	ＡＢＣ　ａｂｃ	2
3	サシスセソ	ＤＥＦ　ｄｅｆ	3
4	タチツテトッ	ＧＨＩ　ｇｈｉ	4
5	ナニヌネノ	ＪＫＬ　ｊｋｌ	5
6	ハヒフヘホ	ＭＮＯ　ｍｎｏ	6
7	マミムメモ	ＰＱＲＳ　ｐｑｒｓ	7
8	ヤユヨャュョ	ＴＵＶ　ｔｕｖ	8
9	ラリルレロ	ＷＸＹＺ　ｗｘｙｚ	9
0	ワヲン゛゜ー・！？、。	＠.～　／：＿！？’－＆（）”＄％＋ ，；＜＝＞［￥］＾｀｛｜｝「」＊＃	0
＊	カーソル左移動で文字消去（またはカーソル位置の文字消去）		
＃	カーソル右移動（同じ文字を続けて入力するときなどに押します。）		
フック	入力した文字を全て消去		

次ページへ

短縮ダイヤル、電話帳を登録する（電話帳登録）

7 [☎]

・[☎]を押します。
・識別着信音を登録しない場合は操作９へ進みます。

着音：

8 識別着信音の登録

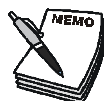
・84ページの操作１１の各種着信音に対応した番号を押します。
・ＤＣ子機では、識別着信音で鳴動しません。着信音種の選択（251ページ）で選択した着信音で鳴動します。

着音：1

表示例：識別着信1

9 [機能(F)]

・[機能(F)]を押します。



※[フック 機能/クリア]を押すと「－」（ハイフン）を入力することができます。
※電話番号入力時は、84ページの「メモ欄」をご覧ください。
※カナ文字入力時に以下のこともできます。

・[会議]を押すと最後の１桁（またはカーソル位置）を削除します。
・[フック 機能/クリア]を押すと全削除します。
・[内線]を押すと、右にカーソル移動します。

※構内交換機（ＰＢＸ）に接続している（ＰＢＸと一般回線との混在収容も含む）ときは、必ずＰＢＸから外線へのアクセスする番号を登録します。（アクセスする番号の後にポーズを登録する必要はありません。）
※入力モードが「数字」の場合に「＊」および「＃」は、入力できません。「英文字」モードで入力します。
例：操作６および操作７により「ＫＫタムラ」を登録します。
各ボタンを括弧内の回数押してください。

[電話帳]、([5] 2回)、[内線]、([5] 2回)、([電話帳] 2回)、([4] 1回)、([7] 3回)、([9] 1回)
↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
「エイモジ」「K」カーソル右移動「K」「カナモジ」「タ」「ム」「ラ」

※未使用[外線]に[機能(F)]と[会議]と[短縮]と[オート]([電話帳])を登録します。（28、81ページ参照）

●識別着信

応用編
外線の便利な機能
TD130,TD230,FD200

あらかじめ短縮ダイヤルに識別着信音種別（１～８、着信メロディ）を登録しておくことにより、ＩＳＤＮ外線への着信時に発信者番号と短縮ダイヤルに登録されている電話番号が一致した場合､短縮ダイヤルに登録されている着信音種別にて着信音を鳴動させることができます。

●名前を検索して電話をかける（電話帳から発信）

応用編
外線の便利な機能
TD130,TD230

※ＷＳ子機は 90 ページ、ＤＣ子機は 91 ページ、ＦＤ２００電話機は 183 ページをご覧ください。

1 電話帳

・電話帳を押します。

・電話帳を再度押すと文字入力モードが次のように変更されます。

半角カナ → 半角英字 → 半角数字 →（半角カナに戻る）

《 電話帳検索 》
検索文字[　　　　　　]
[半角カナ]

→機能ランプ：赤点滅

2 検索する名前を先頭から５文字以内で入力

・検索する文字を入力してください。（検索は、カナ文字登録での検索になります。）

・検索できる文字数は最大５文字までです。

・カーソルを右に移動させるには、ＴＤ２３０ではオート20を、ＴＤ１３０では▶（269ページ参照）を押します。

3 ＃(または＊)

・＃(または＊）を押します。

・候補がない場合は、登録されている名前の優先順位の一つ後の名前を表示します。

・カーソルを上下に移動するには、＃(または＊)で移動します。

《電話帳》
00:田村電機
06:田村ビジネス
08:田村ＡＢＣ

表示例：「 タ」で検索

・保留を押と詳細な内容が表示されます。

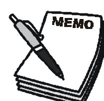
《電話帳》
短縮：００
田村電機
0334935111

〈 詳細表示〉

4 発信

・発信(または外線）を押します。

・未使用外線を自動選択し選択されている電話番号へ発信します。



※電話帳検索で、文字の表示優先順位は、次のとおりです。

「ー（バー)」→「゛（濁点)」→「゜（半濁点)」→「ア」→「ァ」→「イ」→「ィ」→（中略）→「ヲ」→「ン」→「Ａ」→「ａ」→「Ｂ」→「ｂ」→（中略）→「Ｚ」→「ｚ」→「０」→「１」→「２」→（中略）→「９」→「！」→「"」→「＃」→「＄」→「％」→「＆」→「'」→「(」→「)」→「＊」→「＋」→「,」→「－（マイナス)」→「.」→「／」→「：」→「；」→「<」→「=」→「>」→「？」→「@」→「[」→「￥」→「]」→「＾」→「＿」→「｀」→「{」→「｜」→「}」→「~」→「。」→「「」→「」」→「、」→「・」→「 （スペース)」

名前を検索して電話をかける（電話帳から発信）

1 電話帳

・電話帳を押します。

・電話帳を再度押すと文字入力モードが次のように変更されます。

→カナ→英→数

《 電話帳検索 》
検索文字[ ]

2 検索する名前を先頭から５文字以内で入力

・検索する文字を入力してください。（検索は、カナ文字登録での検索になります。）
・検索できる文字数は最大５文字までです。
・内線を押すと、右にカーソル移動します。会議でカーソル上の文字を削除できます。

3 ＃(または＊)

・＃（または＊）を押します。
・候補がない場合は、登録されている名前の優先順位の一つ後の名前を表示します。
・カーソルを上下に移動するには、＃（または＊）で移動します。

《電話帳》
00:田村電機
06:田村ビジネス

表示例：「 タ」で検索

・保留を押すと詳細な内容が表示されます。

≪電話帳≫
短縮：００
田村電機

〈 詳細表示〉

・保留のあとに表示切替を押すと、別の詳細な内容が表示されます。

短縮：００
田村電機
0334935111

〈 詳細表示〉

4 発信

・発信（または外線）を押します。
・未使用外線を自動選択し選択されている電話番号へ発信します。



※電話帳検索で、文字の表示優先順位は、89 ページの「メモ欄」をご覧ください。

※未使用外線に内線と会議を登録します。(23 ページ参照)

※詳細表示のときに、表示可能な桁を超過した内容（→が表示されます）については、会議で切り替えることができます。未使用外線に会議を登録します。(28 ページ参照)

※未使用外線にオートと機能を登録(23 ページ)してから、表示切替を登録します。

表示切替の登録方法は、短縮→オート→機能→２ １ ７→機能です。(269ページ参照) 付属のステッカ「表示切替」シールを貼ると便利です。

名前を検索して電話をかける（電話帳から発信）

1 電話帳

・電話帳を押します。

・電話帳を再度押すと文字入力モードが次のように変更されます。

→「カナモジ」→「エイモジ」→表示なし(数字)

検索文字[ ]
カナモジ

2 検索する名前を先頭から５文字以内で入力

・検索できる文字数は最大５文字までです。

・内線を押すと、右にカーソル移動します。会議でカーソル上の文字を削除できます。

3 ＃(または＊)

・＃(または＊) を押します。

・候補がない場合は、登録されている名前の優先順位の一つ後の名前を表示します。

・後（または前）の候補を選択するには、＃(または＊) で移動します。

《電話帳》
00:田村電機

表示例：「 タ」で検索

・保留(再送/決定)を押すと詳細な内容が表示されます。

短縮：００
田村電機

〈 詳細表示〉

・保留(再送/決定) のあとに表示切替 を押すと、別の詳細な内容が表示されます。

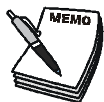
0334935111

〈 詳細表示〉

4 ☎

・☎(または外線) を押します。

・未使用外線を自動選択し選択されている発信記録先へ自動発信します。



※電話帳検索で、文字の表示優先順位は、89 ページの「メモ欄」をご覧ください。

※詳細表示のときに、表示可能な桁を超過した内容（⇨が表示されます）については、会議で切り替えることができます。未使用外線に会議を登録します。(28 ページ参照)

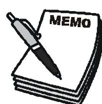
※未使用外線にオートと機能(F)と短縮を登録(28 ページ)してから、表示切替を登録します。

表示切替の登録方法は、短縮→オート→機能(F)→2 1 7→機能(F)です。（269 ページ参照）

●短縮ダイヤルで電話をかける（短縮発信）

かけかた

1	発信	・発信（または外線）を押します。 ・受話器をおいたままで外線を押してもできます。ＷＳ子機の場合は充電器においたままできます。 ・（外線ダイヤルトーン） ・ＤＣ子機は☎（または外線）を押します。	→発信音：「ツー」 →老番の未使用外線ランプ：緑点灯 →スピーカランプ：赤点灯
2	短縮	・短縮を押します。	[表示例は TD130、TD230 の場合] サイ［#］ ／ タン［＿＿］ 表示例：短縮番号入力待ち
3	短縮番号	・個別短縮番号または共通短縮番号を押します。 ・表示された電話番号へ自動発信します。	００：０３３４９３５１１１ 田村電機 表示例：短縮番号00に登録された0334935111の田村電機



※短縮番号が未登録の場合は、「登録なし」を表示します。

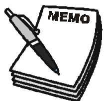
※ＤＣ子機は未使用外線に短縮を登録します。(28 ページ参照)

●短縮ダイヤルから簡易検索してかける（短縮簡易検索発信）

短縮番号から簡易検索してかける

[表示例は TD130、TD230 の場合]

操作	説明	表示例
1 [短縮]	・[短縮]を押します。	→点滅 ▮： 表示例：短縮番号入力待ち →会議ランプ：赤点滅
2 短縮番号	・個別短縮番号または共通短縮番号を押します。 ・TD130、TD230、WS 子機は、電話番号が１７桁以上（ＤＣ子機は１４桁以上）の場合[会議]を押すと続きの電話番号が表示されます。（短縮番号３桁の場合は１６桁、ＤＣ子機は１３桁以上、ＦＤ２００は１６桁以上） ・短縮番号等の表示は約２０秒後に、カレンダー・時計表示に戻ります。	００：０３３４９３５１１１ 田村電機 タムラデンキ 着音：１ 表示例：短縮番号００ →会議ランプ：消灯
3 [＃]（または[＊]）	・[＃]（または[＊]）を押します。 ・[＃]を押すと表示されている短縮番号の一つ後の短縮番号が表示されます。 ・[＊]を押すと表示されている短縮番号の一つ前の短縮番号が表示されます。	００：０３３４９３５１１１ 田村電機 タムラデンキ 着音：１ 表示例：[＃]を押した場合
4 [発信]	・[発信]（または[外線]）を押します。 ・ＤＣ子機は[☎]（または[外線]）を押します。	→外線ランプ：緑点灯 →スピーカランプ：赤点灯 →機能ランプ：赤点滅



※ＷＳ子機は未使用[外線]に[会議]を登録します。（23 ページ参照）

※ＤＣ子機は未使用[外線]に[会議]と[短縮]を登録します。(28 ページ参照)

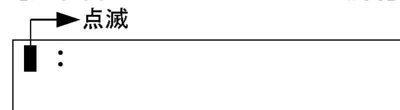
●短縮ダイヤルの確認／消去／変更

確認のしかた

[表示例は TD130、TD230 の場合]

1 短縮

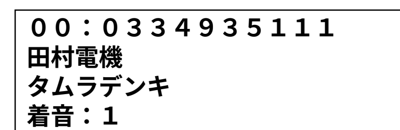
・短縮を押します。



表示例：短縮番号入力待ち
→会議ランプ：赤点滅

2 短縮番号

・個別短縮番号または共通短縮番号を押します。
・TD130、TD230、WS 子機は、電話番号が１７桁以上（ＤＣ子機は１４桁以上）の場合会議を押すと続きの電話番号が表示されます。（短縮番号３桁の場合は１６桁、ＤＣ子機は１３桁以上ＦＤ２００は１６桁以上）
・約２０秒後にカレンダー・時計表示に戻ります。
・ＤＣ子機は名前が９文字以上の場合、会議を押すと続きの名前が表示されます。
・ＷＳ子機は操作２の後に表示切替を押すと、識別着信音を確認できます。ＤＣ子機は操作２の後に表示切替を押すと、名前(カナ)と識別着信音を確認できます。



表示例：短縮番号００を表示
→会議ランプ：消灯

消去のしかた

電話番号を消去する場合

ＴＤ１３０，ＴＤ２３０（82 ページ）、ＷＳ子機（85 ページ）は「電話帳を登録」の操作１、２、３、会議・・・会議※、１２の順に行います。ＤＣ子機(87 ページ)は、「電話帳を登録」の操作１、２、３、会議・・・会議※、９の順に行います。

※電話番号が１０桁の場合、会議を１０回押します。

※電話番号を消去して名前登録が残った場合、電話番号のところに＜メッセージ＞と表示されます。再度電話番号を登録すると＜メッセージ＞の表示は消えます。

名前を消去する場合

ＴＤ１３０、ＴＤ２３０(82 ページ)、ＷＳ子機（85 ページ）、ＦＤ２００（181 ページ）は、「電話帳を登録」の操作１、２、３、５、フラッシュ、９、フラッシュ、１２の順に行います。ＤＣ子機（87 ページ）は、「電話帳を登録」の操作１、２、３、５、フック(機能/クリア)、９の順に行います。

※「電話番号」と「名前」の消去は、同時にできません。

識別着信音を消去する場合

ＴＤ１３０、ＴＤ２３０(82 ページ)、ＷＳ子機（85 ページ）、ＦＤ２００（181 ページ）は、「電話帳を登録」の操作１、２、３、５、９、１０、会議、１２の順に行います。ＤＣ子機（87 ページ）は、「電話帳を登録」の操作１、２、３、５、７、＊、９の順に行います。

※「電話番号」、「名前」、「識別着信音」の消去は、同時にできません。

短縮ダイヤルの確認／消去／変更

変更のしかた

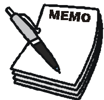
電話番号を変更する場合

ＴＤ１３０、ＴＤ２３０(82ページ)、ＷＳ子機（85ページ）は、「電話帳を登録」の操作１、２、３、会議・・・会議※、＊新しい電話番号を入力、１２の順に行います。ＤＣ子機(87ページ)は、「電話帳を登録」の操作１、２、３、会議・・・会議※、＊新しい電話番号を入力、９の順に行います。

※変更前の電話番号が消えるまで会議を押します。

名前を変更する場合

ＴＤ１３０、ＴＤ２３０(82ページ)、ＷＳ子機（85ページ）、ＦＤ２００（181ページ）は、「電話帳を登録」の操作１、２、３、５、ﾌﾗｯｼｭ(名前消去)、６、７、８、９、１２の順に行います。ＤＣ子機（87ページ）は、「電話帳を登録」の操作１、２、３、５、フック(機能/クリア)(名前消去)、６、９の順に行います。



※ＷＳ子機は未使用外線に会議とﾌﾗｯｼｭと表示切替を登録します。(23、269ページ参照)

※ＤＣ子機は未使用外線に会議と短縮と表示切替を登録します。(28、269ページ参照)

●着信記録からの短縮ダイヤル登録

「発信者番号サービス」で表示された電話番号を最新の記録からシステムで１００件まで記録し、短縮ダイヤルに登録することができます。着信記録を表示させるにはあらかじめオートダイヤルに[着信記録]を登録する必要があります。（下記メモ参照）

着信記録からの登録のしかた

1 [短縮]

- [短縮]を押します。

→会議ランプ：赤点滅

2 登録する短縮番号

- 登録する短縮番号または[＊]のいずれかを押します。
- [＊]を押すと、共通短縮番号の未登録番号を若番から検索し表示します。

[表示例は TD130、TD230 の場合]

７０：登録なし

表示例：短縮番号70に登録
→会議ランプ：消灯

3 [機能]

- [機能]を押します。
- ＤＣ子機は[機能(F)]を押します。

→機能ランプ：赤点滅

4 [着信記録]

- [着信記録]を押します。
- [着信記録]を押すたびに記録されている電話番号が表示されます。

７０：０３３４９３５１１１
着音：

5 [発信]

- [発信]を押します。
- ＤＣ子機は[☎]を押します。

6 名前を登録

- 名前を登録します。（最大１０桁）
- 登録方法の詳細は、82ページ「電話帳を登録」の操作６～９をご覧ください。(ＷＳ子機は85ページの操作６～９、ＤＣ子機は87ページの操作６、ＦＤ２００は181ページの操作６～９です）

次ページへ 

着信記録からの短縮ダイヤル登録

7 発信

・発信を押します。

・ＤＣ子機は☎を押します。

8 識別着信音の登録

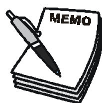
・各種着信音に対応した番号を押します。

・登録方法の詳細は、84 ページ「電話帳を登録」の操作11をご覧ください。(ＷＳ子機は86ページの操作１１、ＤＣ子機は88ページの操作８、ＦＤ２００は 181 ページの操作 11 です。)

9 機能

・機能を押します。　→機能ランプ：消灯

・ＤＣ子機は機能(F)を押します。



※ 着信記録の登録方法

短縮→オート→機能(ＤＣ子機は機能(F)) →2 1 4→機能(ＤＣ子機は機能(F))

付属のステッカの「着信記録」シールを貼ると便利です。

ＴＤ２３０電話機のオート19、オート20(ＷＳ子機、ＤＣ子機はオート1、オート2)には登録しないでください。

一部着信記録として使用できません。(カーソル移動ボタンとして使用)

※ＷＳ子機は未使用外線に機能とオートを登録します。(23 ページ参照)

※ＤＣ子機は未使用外線に機能(F)とオートと短縮を登録します。(28 ページ参照)

●ワンタッチで電話をかける

電話番号や短縮番号をオートダイヤルボタンに登録できるボタンは、各電話機ごとに下表のようになります。
名前を登録すると、電話をかけたとき名前が表示されます。
TD130,TD230,FD200,WS230,DC230電話機の外線ボタン・オートダイヤルボタンの関係は、271ページをご覧ください。

ＴＤ１３０電話機

▽ △

外線ボタンまたはオートダイヤルボタン				
	13	14	15	16
	9	10	11	12
	5	6	7	8
	1	2	3	4

ＴＤ２３０電話機

▽ △

外線ボタンまたはオートダイヤルボタン	31	32				
オートダイヤルボタン	25	26	27	28	29	30
	19	20	21	22	23	24
外線ボタンまたはオートダイヤルボタン	13	14	15	16	17	18
	7	8	9	10	11	12
	1	2	3	4	5	6

ＦＤ２００電話機

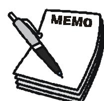
外線ボタンまたはオートダイヤルボタン						
	15	16				
	13	14				
	7	8	9	10	11	12
	1	2	3	4	5	6

ＷＳ２３０電話機

外線ボタンまたはオートダイヤルボタン				
	9	10	11	12
	5	6	7	8
	1	2	3	4

ＤＣ２３０電話機

外線ボタンまたはオートダイヤルボタン			
	1	2	3
	4	5	6



※　**未使用［外線］は、［オート］として使用できます。**
※　**ＷＳ子機は未使用［外線］に［オート］を登録します。（23 ページ参照）**
※　**ＤＣ子機は未使用［外線］に［オート］を登録します。（28 ページ参照）**

ワンタッチで電話をかける（ワンタッチ登録）

[オート]に電話番号または短縮番号を登録することでワンタッチで発信できます。
お買い上げ時の[オート]の登録と消去は全電話機共通です。

登録のしかた

全電話機共通のときは、指定子機（初期設定は、内線１０または１１）から登録します。

1 [短縮]

・[短縮]を押します。

→会議ランプ：赤点滅

2 [オート]

・[オート]を押します。

[表示例は TD130、TD230 の場合]

１０：登録なし

表示例：TD230 電話機オートダイヤル28の場合
→会議ランプ：消灯

3 [機能]

・[機能]を押します。
・ＤＣ子機は[機能(F)]を押します。

→機能ランプ：赤点滅

4 [＊]または[0]

・次のボタンから選択します。
[＊]：電話番号を登録したい場合
[0]：短縮番号を登録したい場合

点滅

１０：＊：■

表示例：電話番号を登録

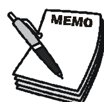
5 登録したい番号

・登録したい電話番号（最大２４桁）または、短縮番号を押します。
・電話番号または短縮番号の登録後、名前を登録しないときは操作８へ進みます。

点滅

１０：＊：０３３４９３５１１１■

表示例：033493511を登録



※登録したい番号入力するときに以下のこともできます。
- **ポーズ（Ｐ表示）（待ち時間：お買い上げ時は約３秒）は[短縮]を押します。（電話番号登録時）デジタル回線からの発信では、電話番号の途中にポーズを入れないでください。相手につながらないことがあります。（登録されたポーズの後の番号は、相手の応答がなくても続けて番号を送出します）**
- **[フラッシュ]（ＤＣ子機は[フック 機能/クリア]）を押すと「－」（ハイフン）を入力することができます。**
- **ダイヤル回線（ＤＰ）で、「プッシュモード」を登録するときは[＊]、[＃]を押します。（電話番号登録時）**
- **[会議]を押すと最後の１桁（または、カーソル位置）を削除します。**
- **電話機の[オート]（ＷＳ子機、ＤＣ子機の場合は、未使用[外線]）に[◀]を登録することでカーソルが左に移動します。また、[▶]を登録することでカーソルが右に移動します。（269 ページ参照）**

※工事設定により、登録指定を全電話機共通から電話機ごとの設定にできます。
※短縮番号を登録する場合、ポーズと「－」（ハイフン）を入力することはできません。

次ページへ


ワンタッチで電話をかける（ワンタッチ登録）

6 発信

・発信を押します。

・ＤＣ子機は☎を押します。

・必要に応じて電話帳を押して入力モードを変更します。

・ＴＤ１３０、ＴＤ２３０、ＦＤ２００の場合

→「全角かな」→「全角カナ」→「全角英字」→「全角数字」

・ＷＳ子機の場合

→漢(かな)→カナ(カナ)→英→数

・ＤＣ子機の場合

→「カナモジ」→「エイモジ」→表示なし(数字)

```
１０：＊：０３３４９３５１１１
■
                「全角かな]
```

→点滅

表示例：名前入力待ち状態

7 名前の登録

・登録方法の詳細は、82ページ「電話帳を登録」の操作６～９をご覧ください。（ＷＳ子機は85ページの操作６～９、ＤＣ子機は87ページの操作６、ＦＤ２００は181ページの操作６～９です）

```
１０：＊：０３３４９３５１１１
田村電機
                「全角かな]
```

表示例：「 田村電機」を入力

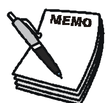
8 機能

・機能を押します。

・ＤＣ子機は機能(F)を押します。

・連続登録する場合は、操作１～８を繰り返します。

→機能ランプ：消灯



※ポーズ（Ｐ表示）（待ち時間：約３秒）はポケベルの呼出番号などのあとに登録します。
（デジタル回線で発信する場合、ポーズのあとの登録番号は、プッシュ信号で送出します。）

※構内交換機（ＰＢＸ）に接続されている（ＰＢＸと一般回線との外線混在収容も含む）ときは、必ずＰＢＸから外線へアクセスする番号を登録します。（アクセス番号のあとにポーズを登録する必要はありません。）

※登録する電話番号が２５桁以上のときは、別々のオート(例：オート１、オート２）で登録し、チェーンダイヤル（122 ページ参照）で発信します。

※ＷＳ子機は未使用外線に機能と会議とフラッシュとオートを登録します。（23 ページ参照）

※ＤＣ子機は未使用外線に機能(F)と短縮と会議とオートを登録します。（28 ページ参照）

※電話帳ボタンの登録方法は、「オートダイヤルに電話帳ボタンを登録する」(81 ページ参照）をご覧ください。

ワンタッチで電話をかける（ワンタッチで発信／確認／消去／変更）

かけかた

1 発信

・発信を押します。
・ＤＣ子機は☎を押します。

→スピーカランプ：赤点灯
→老番の未使用外線ランプ：緑点灯

2 オート

・オートを押します。

[表示例は TD130、TD230 の場合]

０３３４９３５１１１
田村電機

表示例：田村電機へ発信

※工事設定により、受話器をおいたままでオートを押すと発信できるようにすることもできます。

確認のしかた

1 短縮

・短縮を押します。

→会議ランプ：赤点滅

2 オート

・オートを押します。
・電話番号が表示桁数以上の場合は、会議を押すと続きの電話番号が表示されます。
・表示は約２０秒後に、カレンダー時計表示に戻ります。
・ＤＣ子機は、表示切替(91 ページ参照)を押すと名前(カナ)が表示されます。

[表示例は TD130、TD230 の場合]

０１：＊：０３３４９３５１１１
田村電機
タムラデンキ

→会議ランプ：消灯

消去のしかた

電話番号および短縮番号を消去する場合

「登録のしかた」（99 ページ参照）の操作１、２、３、４、会議・・・会議※、８の順に行います。
※電話番号が１０桁の場合、会議を１０回押します。
※電話番号を消去して名前登録が残った場合、電話番号のところに<メッセージ>と表示されます。再度電話番号を登録すると<メッセージ>の表示は消えます。

名前を消去する場合

「登録のしかた」（99 ページ参照）の操作１、２、３、発信、発信、フラッシュ、発信、フラッシュ、８の順に行います。
ＤＣ子機は操作１、２、３、６、フック(機能/クリア)(名前消去)、８の順に行います。
※短縮番号、電話番号、名前を同時消去するときは、「登録のしかた」（99 ページ参照）の操作１、２、３、会議、８の順に行います。

変更のしかた

電話番号および短縮番号を変更する場合

「登録のしかた」（99 ページ参照）の操作１、２、３、４、会議・・・会議※、新しい番号を入力、８の順に行います。
※変更前の電話番号または短縮番号が消去されるまで、会議を押します。

名前を変更する場合

「登録のしかた」（99 ページ参照）の操作１、２、３、発信、発信、フラッシュ(名前消去)、７、発信、フラッシュ(カナ消去)、カナ入力、８の順に行います。
ＤＣ子機は操作１、２、３、６、フック(機能/クリア)(名前消去)、７、８の順に行います。

●発信履歴から電話をかける（発信記録から発信）

最後にかけた電話番号から１０件まで記録し、その１０件の中から選んでかけ直すことができます。

かけかた ※ＷＳ子機は103ページ、ＤＣ子機は104ページ、ＦＤ２００電話機は184ページをご覧ください。

1 保留

・保留を押します。
メインメニューの発信記録が選択されます。

１：発信記録
２：着信記録
３：操作ガイド
４：コントラスト調整

2 発信

・発信を押します。
発信記録画面が表示されます。

《発信記録》
01:田村電機
02:０３３２１１１２３４
03:田村テレコム

3 ＃（または＊）

・カーソルを上下に移動するには、
＃（または＊）で移動します。

・保留を押すと詳細な内容が表示されます。

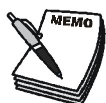
01:0334935111
田村電機

＜詳細表示＞

4 発信

・発信（または外線）を押します。
・未使用外線を自動選択し、選択されている発信記録先へ自動発信します。

→スピーカランプ：点灯
→機能ランプ：点滅
（オートリピートになる。）
→老番の未使用外線ランプ：緑点灯



※上記操作以外に、次の操作をしても発信履歴から電話をかけることができます。

会議→リダイヤル（発信履歴から選択）→発信

※１、２の操作は、発信記録として電話機のオート（ＷＳ子機の場合は、未使用外線）に登録できます。
（269ページ参照）

（短縮→オート→機能→2 1 3→機能の操作で発信記録は登録できます）

※登録後は、発信記録で最後にかけた電話番号が表示され、＃を押すたびに１件前の発信履歴が選択されます。また、＊を押すたびに１件後の発信履歴が選択されます。発信履歴の確認後、発信（または外線）の操作により発信します。
※付属のステッカ「発信記録」シールを貼ると便利です。
※発信履歴がない場合、操作２を行うと「データ　ナシ」が５秒間表示されます。
※操作３で、電話機のオートに◀や▶を登録することで、表示の次画面を表示させることができます。
（269ページ参照）

発信履歴から電話をかける（発信記録から発信）

かけかた

1 保留

・保留を押します。

1：発信記録
2：着信記録

2 発信

・発信を押します。
発信記録画面が表示されます。

《発信記録》
01:田村電機
02:０３３２１１１２３４

3 ＃(または＊)

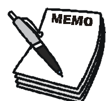
・カーソルを上下に移動するには、
＃(または＊)で移動します。
・保留を押すと詳細な内容が表示されます。

01:０３３４９３５１１１
田村電機

<詳細表示>

4 発信

・発信(または外線) を押します。
・未使用外線を自動選択し、選択されている発信記録先へ自動発信します。

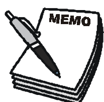


※ＷＳ電話機は 102 ページの「メモ欄」と同じです。

●発信履歴から電話をかける（発信記録から発信）

かけかた

操作	説明	表示
1 内線	・内線 を押します。	10→ [ ] 表示例：内線10
2 保留（再送/決定）	・保留を押します。	《メニュー》 1:発信記録
3 ☎	・☎を押します。 発信記録画面が表示されます。	《発信記録》 01:田村ビジネス
4 #（または✱）	・前（または後）の発信記録を選択するには、#（または✱）で移動します。 ・保留を押すと詳細な内容が表示されます。	《発信記録》 02:田村電機 02:0334935111 田村電機 ＜詳細表示＞
5 ☎	・☎（または外線）を押します。 ・未使用外線を自動選択し、選択されている発信記録先へ自動発信します。	



※操作１～３の代わりに短縮→#でも操作できます。
未使用外線に短縮を登録します。（28 ページ参照）
※１～３の操作は、発信記録としてオート（未使用外線）に登録できます。(269 ページ参照)
※表示されている発信記録は約 20 秒後に、カレンダー・時計表示に戻ります。
※発信履歴がない場合、操作３を行うと「データ　ナシ」が５秒間表示されます。

●発信履歴の消去のしかた（発信記録の一括消去）

発信記録消去のしかた（一括消去）

1 機能

・機能を押します。
・ＤＣ子機は機能(F)を押します。

→機能ランプ：赤点灯

2 5 ＃

・5 ＃を押します。

[表示例は TD130、TD230 の場合]

発信記録消去

→機能ランプ：赤点滅

3 機能

・機能を押します。
・ＤＣ子機は機能(F)を押します。

消去しました

→機能ランプ：消灯
→約５秒後に表示が消えます。



※１～３の操作は、電話機のオート（ＷＳ子機、ＤＣ子機の場合は、未使用外線）に登録できます。（264 ページ参照）

※ＷＳ子機は未使用外線に機能を登録します。（23 ページ参照）

※ＤＣ子機は未使用外線に機能(F)を登録します。（28 ページ参照）
※ＤＣ子機が持つリダイヤル（50 ページ）のメモリは、消去されません。

●発信履歴の消去のしかた（発信記録の個別消去）

発信記録消去のしかた（個別消去）

※ＤＣ電話機は 107 ページをご覧ください。

1 会議

・会議を押します。

→会議ランプ：赤点滅

2 リダイヤル

・リダイヤルを押します。

・電話番号を表示させるときは、保留を押します。そのあと会議を押すと、続きの電話番号が表示されます。

[表示例は TD130、TD230 の場合]

《発信記録》
０１：田村電機
０２：田村テクノ
０３：田村ＡＢＣ

表示例：最後にかけた電話番号

→会議ランプ：消灯

3 リダイヤル

・リダイヤルまたは＃を押すと、表示されている電話番号の１件前に発信した電話番号が選択されます。

・＊を押すと、表示されている電話番号の１件後に発信した電話番号が選択されます。

・表示されている発信履歴は約 20 秒後に、カレンダー・時計表示に戻ります。

・ＴＤ１３０、ＴＤ２３０、ＷＳ子機は保留を押すと、詳細な内容が表示されます。

《発信記録》
０１：田村電機
０２：田村テクノ
０３：田村ＡＢＣ

表示例：最新から2 番目の電話番号

4 短縮

・短縮を押します。

消去しますか？

5 機能

・機能を押します。

消去しました

→約５秒後に表示が消えます。



※操作５、機能押下で１件消去後、操作３、リダイヤルの操作に戻ることにより、連続消去ができます。

※１、２の操作は、発信記録として電話機のオート（ＷＳ子機の場合は、未使用外線）に登録できます。
（269 ページ参照）

（短縮→オート→機能→２１３→機能の操作で発信記録は登録できます）

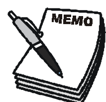
※発信履歴がなくなると「データ　ナシ」が５秒間表示されます。

※ＷＳ子機は未使用外線に機能と会議を登録してから消去します。(23 ページ参照)

発信履歴の消去のしかた（発信記録の個別消去）

発信記録消去のしかた（個別消去）

	操作	説明	表示
1	内線	・内線 を押します。	１０→［　　　］ 表示例：内線１０
2	保留 再送/決定	・保留を押します。	《メニュー》 １:発信記録
3	☎	・☎を押します。 発信記録画面が表示されます。	《発信記録》 01:田村ビジネス
4	＃（または＊）	・前（または後）の発信記録を選択するには、＃（または＊）で移動します。 ・保留を押すと詳細な内容が表示されます。 ・電話番号が１４桁以上の場合は、会議を押すと続きの電話番号が表示されます。	《発信記録》 02:田村電機 02:0334935111 田村電機 ＜詳細表示＞
5	短縮	・短縮を押します。	消去しますか？
6	機能(F)	・機能(F)を押します。	消去しました



※操作１～３の代わりに短縮→＃でも操作できます。
※表示されている発信記録は約20秒後に、カレンダー・時計表示に戻ります。
※操作６の機能(F)押下で１件消去後、操作４の＃の操作に戻ることにより、連続消去ができます。
※発信記録がなくなると、「データ　ナシ」が５秒間表示されます。
※操作１～３は、発信記録としてｵｰﾄ（未使用外線）に登録できます。(269ページ参照)
※ＤＣ子機が持つリダイヤル(50ページ)のメモリは消去されません。
※未使用外線に短縮、機能(F)、会議を登録します。(28ページ参照)

●着信履歴から電話をかける（着信記録から発信）

「発信者番号通知サービス」で表示された電話番号を最新の記録からシステムで１００件までを記録し、表示することができます。また、表示された電話番号へ自動発信することができます。
※名前が登録してある共通短縮ダイヤルと電話番号が一致している場合には、名前が表示されます。
※着信記録には、最後にその通話に応答した内線番号が記録されます。
※ＩＮＳナンバーディスプレイ契約時、公衆電話機からの発信や相手非通知、サービス提供不可なども着信記録に残ります。工事設定により、残らないようにすることもできます。

かけかた

※ＷＳ子機は110ページ、ＤＣ子機は111ページ、ＦＤ２００電話機は185ページをご覧ください。

1 保留

・保留を押します。
メインメニューが表示されます。

1：発信記録
2：着信記録
3：操作ガイド
4：コントラスト調整

2 ＃

・＃を押します。
メインメニューの着信記録が選択されます。

1：発信記録
2：着信記録
3：操作ガイド
4：コントラスト調整

3 発信

・発信を押します。
着信記録画面が表示されます。
・2でも選択できます。
・着信記録の詳細な内容を確認しないで発信する場合は、操作５へ進みます。
・保留を押すと詳細な内容がを表示されます。

《着信記録》
００１：田村電機
００２：田村電機
００３：田村電機

001:0334935111
田村電機
７月　７日（金）ＡＭ１０：１０
内線４１

<詳細表示>

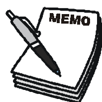
4 発信

・発信（または外線）を押します。
・未使用外線を自動選択し、選択されている着信記録先へ自動発信します。

→スピーカランプ：点灯
→機能ランプ：点滅
（オートリピートになる。）
→老番の未使用外線ランプ：緑点灯

次ページへ

着信履歴から電話をかける
（着信記録から発信）



※ 108 ページの操作以外に、次の操作をしても着信履歴から電話をかけることができます。

会議→応答（着信履歴から選択）→発信

※着信履歴を一括消去する場合は機能→5 ＊→機能で消去できます。

※消去する操作は、電話機のオートに登録できます。（264 ページ参照）

※ 108 ページの操作１～３は、着信記録として電話機のオートに登録できます。
（269 ページ参照）・付属のステッカ「着信記録」シールを貼ると便利です。

（短縮→オート→機能→2 1 4→機能の操作で着信記録は登録できます）

※登録後は、着信記録で最新の着信履歴が表示され、＃を押すたびに１件前の着信履歴を選択します。また、＊を押すたびに１件後の着信履歴を選択します。着信履歴の確認後、発信（または外線）の操作により発信します。

※着信履歴表示の状態から、保留を押すとその通話への最後に対応した内線番号（または内線名前）と相手先電話番号を確認することができます。
※着信履歴がない場合、操作３を行うと「データ　ナシ」が５秒間表示されます。
※ＩＮＳネームディスプレイ（235 ページ）の着信記録は、例「００１＞田村電機」が表示されます。

※ 108ページの操作３で、電話機のオートに ◀や ▶を登録することで、表示の次画面を表示させることができます。（269 ページ参照）

着信履歴から電話をかける（着信記録から発信）

かけかた

1 保留

・保留を押します。

1：発信記録
2：着信記録

2 ＃

・＃を押します。

1：発信記録
2：着信記録

3 発信

・発信を押します。
着信記録画面が表示されます。

・2でも選択できます。

《着信記録》
001:田村電機
002:０３３２１１１２３４

<詳細表示>

・保留を押すと詳細な内容が表示されます。

001:０３３４９３５１１１
田村電機
７月　７日（金）AM１０：１０

<詳細表示>

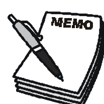
・保留のあとに表示切替を押すと、別の詳細内容が表示されます。

田村電機
７月　７日（金）AM１０：１０
内線４１

<詳細表示>

4 発信

・発信(または外線）を押します。
・未使用外線を自動選択し、選択されている着信記録先へ自動発信します。



※ＷＳ電話機は 109 ページの「メモ欄」をご覧ください。

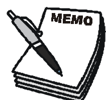
※未使用外線にオートと機能を登録（23 ページ）してから、表示切替を登録します。

表示切替の登録方法は、短縮→オート→機能→2 1 7→機能です。（269 ページ参照）付属のステッカ「表示切替」シールを貼ると便利です。

●着信履歴から電話をかける（着信記録から発信）

かけかた

手順	操作	説明	表示
1	内線	・内線 を押します。	10→［　　］ 表示例：内線10
2	保留（再送/決定）	・保留を押します。	《メニュー》 1:発信記録
3	#	・#を押します。	《メニュー》 2:着信記録
4	☎	・☎を押します。 着信記録画面が表示されます。 ・2でも選択できます。	《着信記録》 001:田村ビジネス
5	#（または＊）	・前（または後）の着信記録を選択するには、#（または＊）で移動します。	《着信記録》 002:田村電機
		・保留を押すと詳細な内容が表示されます。	002:0334935111 田村電機 ＜詳細表示＞
		・保留のあとに表示切替（91ページ参照）を押すと、別の詳細な内容が表示されます。	12/31(火)AM12:22 田村　太郎 ＜詳細表示＞
6	☎	・☎（または外線）を押します。 ・未使用外線を自動選択し、選択されている着信記録先へ自動発信します。	



※詳細表示のときに、表示可能な桁を超過した内容(⇨が表示されます)については、会議で切り替えることができます。

※操作1～4の代わりに会議→応答でも操作できます。

未使用外線に会議と応答を登録します。（28ページ参照）

※1～4の操作は、着信記録としてオート（未使用外線）に登録できます。（269ページ参照）

※表示されている着信記録は約20秒後に、カレンダー・時計表示に戻ります。

※着信履歴がない場合、操作4を行うと「データ　ナシ」が5秒間表示されます。

※DC子機の場合、繰り返しかけ直すこと(オートリピートダイヤル)ができません。

●着信履歴の消去のしかた（着信記録の個別消去）

着信履歴消去のしかた（個別消去）

1 [会議]
・[会議]を押します。
→会議ランプ：赤点滅

2 [応答]
・[応答]を押します。

[表示例は TD130、TD230 の場合]

《着信記録》
００１：田村電機
００２：田村電機
００３：田村電機

→会議ランプ：消灯

3 [#](または[*])
・前（または後）の着信記録を選択するには、[#]（または[*]）で移動します。

4 [短縮]
・[短縮]を押します。

消去しますか？

5 [機能]
・[機能]を押します。
・ＤＣ子機は[機能(F)]を押します。

消去しました

→約２秒後に表示が消えます。



※操作５、[機能]（ＤＣ子機は[機能(F)]）押下で１件消去後、操作３、[#]の操作に戻ることにより、連続消去ができます。

※操作１，２の[会議]、[応答]は、[着信記録]として電話機の[オート]（ＷＳ子機、ＤＣ子機は未使用[外線]）に登録できます。（269 ページ参照）

※着信履歴がなくなると「データ　ナシ」が５秒間表示されます。

※ＷＳ子機は未使用[外線]に[会議]と[応答]と[機能]を登録します。(23 ページ参照)

※ＤＣ子機は未使用[外線]に[会議]と[応答]と[機能(F)]と[短縮]を登録します。(28 ページ参照)

●充電器からあげてすぐにダイヤルできる（クイック通話）

お買い上げ時は、クイック通話ではありません。
※外線自動選択を行うとき、お買い上げ時は老番の外線番号から選びます。

設定のしかた

1 

・充電器からＷＳ子機をあげます。
・充電器においたままの場合は、操作２を行います。

2 

・保留 を押しながら 0 を押すと「クイック通話」が設定されます。
・同じ操作を繰り返すと「クイック通話」が解除されます。

クイック

表示例：クイック通話に設定
→受付音：「ピッピッ」

3 

・ＷＳ子機を充電器におきます。

かけかた

1 

・充電器からＷＳ子機をあげます。

０４：
クイック

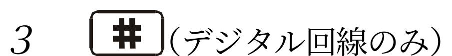
表示例：外線4
→老番の未使用外線ランプ：緑点灯
→発信音：「ツー」

2 電話番号

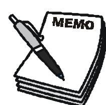
・電話番号を押します。
・電話番号の１桁目は、外線 が点灯してから１０秒以内に押してください。
・５秒すぎると警報音「プルプル」が鳴り、10秒経過すると発信音「ツー」がとまり、外線 が消灯します。

０３３４９３５１１１
クイック

表示例：電話番号

3 

・＃ を押します。
・アナログ回線は ＃ を押しません。
・＃ を押さなくても約５秒後に発信します。（デジタル回線）



※クイック通話に設定したあと、内線通話などを行うときは、スピーカ を押してからＷＳ子機をあげます。
※外線捕捉後、最初のダイヤルボタンを押してから次の電話番号を押す間隔は５秒以内にしてください。
５秒以上になると、相手につながらないことがあります。（デジタル回線）

●最後にかけた電話番号を個別短縮ダイヤルに登録する（再発信メモリ）

個別短縮を利用するには、工事設定により「共通短縮ダイヤル指定」の設定を「共通８０ヵ所／個別２０ヵ所」に変更が必要です。（初期設定は、「共通１００ヵ所／個別 なし」です。）

登録のしかた

手順	操作	説明	表示・ランプ
1	短縮	・短縮を押します。	→会議ランプ：赤点滅
2	個別短縮番号	・個別短縮番号（８０～９９）を押します。	[表示例は TD130、TD230 の場合] ８０：登録なし 表示例：短縮８０の場合 →会議ランプ：消灯
3	機能	・機能を押します。	→機能ランプ：赤点滅
4	スピーカ	・スピーカを押します。 ・スピーカを押すたびに１つ前にかけた電話番号が表示されます。	８０：０３３４９３５１１１ 表示例：最後にかけた電話番号
5	発信		
6	名前を登録	・TD130、TD230(82 ページ)、WS 子機(85 ページ)、FD200(181 ページ)は、「電話帳を登録」の操作６～９を参照。	
7	機能	・機能を押します。	→機能ランプ：消灯

かけかた

「短縮ダイヤルで電話をかける」を参照してください。（92 ページ参照）

確認のしかた

短縮ダイヤルの確認を参照してください。（94 ページ参照）

●こちらの声を相手に聞こえなくする（送話ミュート）

外線、内線通話中にこちらの音声が相手に聞こえず、相手の音声のみが聞こえるようになります。
※送話ミュート状態から通話が終了すると自動的に解除されます。

送話ミュートの設定のしかた

1 外線・内線通話中

2 [機能]

・[機能]を押します。
・ＤＣ子機は[機能(F)]を押します。

→機能ランプ：赤点灯

3 [2]

・[2]を押します。
表示は５秒後に消えます。
・同じ操作を繰り返すと「送話ミュート」が解除されます。

セット　ソウワミュート

表示例：送話ミュート設定
→機能ランプ：消灯



※操作２、３は、電話機の[オート]に登録できます。（263 ページ参照）

登録後は、外線・内線通話中に[オート]を押します。ＷＳ子機、ＤＣ子機の場合は、未使用[外線]に登録します。

※ＴＤ１３０、ＴＤ２３０、ＦＤ２００電話機は未使用状態（受話器）からの「送話ミュート」の設定方法は次の操作を行います。

[機能]→[2]→（５秒以内）受話器

※ＷＳ子機、ＤＣ子機は未使用状態から「送話ミュート」の設定ができません。

※ＷＳ子機は未使用[外線]に[機能]を登録します。（23 ページ参照）

※ＤＣ子機は未使用[外線]に[機能(F)]を登録します。（28 ページ参照）

応用編
外線の便利な機能
TD130,TD230,FD200,WS,DC

●複数の短縮番号などを組み合わせて発信する（ネスティングダイヤルの登録）

短縮ダイヤルに、いくつかの短縮ダイヤルを組み合わせて登録しておくと、１回の短縮ダイヤル発信操作で長い電話番号へかけることで通話ができます。１つの短縮番号には最大５つの短縮番号を登録できます。

登録のしかた

1 短縮

・短縮を押します。

→会議ランプ：赤点滅

[表示例は TD130、TD230 の場合]

2 短縮番号

・短縮番号を押します。

００：登録なし

表示例：短縮番号00

→会議ランプ：消灯

3 機能

・機能を押します。

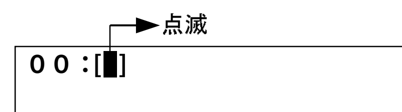
・ＤＣ子機は機能(F)を押します。



→機能ランプ：赤点滅

4 応答

・応答を押します。



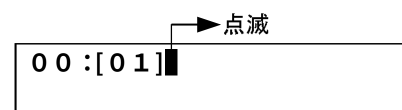
表示例：短縮番号入力待ち

5 短縮番号

・ネスティングさせたい短縮番号を押します。

・名前を登録したいときは、ネスティングさせたい最後の短縮番号を押したあとに発信（ＤＣ子機は☎）、ダイヤルボタンなどを押す操作を行います。(82、85、87 ページ参照)

・短縮番号を２つ以上ネスティングさせる場合は、操作４、５を繰り返します。



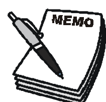
表示例：短縮００に短縮０１を登録

6 機能

・機能を押します。

・ＤＣ子機は機能(F)を押します。

→機能ランプ：消灯



※次のような登録はできません。

１．短縮Ａに短縮Ａ（ネスティングさせたい短縮番号）を登録することはできません。

短縮、短縮番号Ａ、機能(赤点灯)、応答、短縮番号Ａ（ネスティングさせたい番号）

２．共通短縮番号に個別短縮番号を登録することはできません。

※共通短縮ダイヤルは、工事設定により次のいずれかのモードに切替えることができます。

種類	お買い上げ時	変更時	変更時
個別短縮	なし	80～99（20ヵ所）	なし
全電話機共通短縮	00～99（100ヵ所）	00～79（80ヵ所）	000～999（1000ヵ所）

※名前を登録すると、電話をかけたとき名前が表示されます。

※ＷＳ子機は未使用外線に機能と応答と会議を登録します。(23 ページ参照)

※ＤＣ子機は未使用外線に機能(F)と応答と会議と短縮を登録します。(28 ページ参照)

複数の短縮番号などを組み合わせて発信する（ネスティングダイヤルの発信／消去／確認）

応用編
外線の便利な機能
TD130,TD230,FD200,WS,DC

かけかた

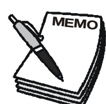
1	発信	・発信（または外線） を押します。 ・（外線ダイヤルトーン） ・ＤＣ子機は☎(または外線)を押します。	→外線ランプ：緑点灯 →発信音：「 ツー」
2	短縮	・短縮を押します。	サイ［#］ ／ タン［___］ 表示例：短縮番号入力待ち
3	短縮番号	・短縮番号を押します。	

消去のしかた

1	短縮	・短縮を押します。	→会議ランプ：赤点滅
2	短縮番号	・短縮番号を押します。	００：[０１][０２] 表示例:短縮００に短縮０１と０２をネスティングしている場合
3	機能	・機能を押します。 ・ＤＣ子機は機能(F)を押します。	→会議ランプ：消灯 →機能ランプ：赤点滅
4	会議・・・会議	・登録内容が全て消えるまで会議を何回か押します。	
5	機能	・機能を押します。 ・ＤＣ子機は機能(F)を押します。	→機能ランプ：消灯

確認のしかた

1	短縮	・短縮を押します。	→会議ランプ：赤点滅
2	短縮番号	・短縮番号を押します。	００：[０１][０２] 表示例:短縮００に短縮０１と０２をネスティングしている場合 →会議ランプ：消灯



※ＷＳ子機は未使用外線に機能と会議を登録します。（23 ページ参照）

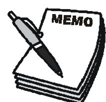
※ＤＣ子機は未使用外線に機能(F)と短縮と会議を登録します。（28 ページ参照）

●ダイヤル操作で外線をつかむ（指定外線捕捉）

外線発信時、ダイヤル操作で使用したい外線番号を指定して捕捉することができます。

特に該当する[外線]のない電話機（ＤＣ子機など）で外線をつかむときに便利です。

手順	操作	説明	ランプ
1	（受話器）	・受話器をあげます。（ＷＳ子機は、充電器からあげたあとに[スピーカ]を押します。） ・ＤＣ子機は[内線]を押します。	→内線ランプ：赤点灯
2	[9][6][3]	・[9][6][3]を押します。 ・ＷＳ子機、ＤＣ子機は、[＊]（または[9][6][3]）を押します。	→内線ランプ：消灯
3	外線番号	・ダイヤルボタンで使用したい外線番号（０１～２０）を押します。	→外線ランプ：緑点灯
4	電話番号	・電話番号を押します。	



※２、３の操作は、電話機の[オート]（ＷＳ子機、ＤＣ子機は未使用[外線]）に登録できます。
（262 ページ参照）

登録後は、[オート]を押すだけで、外線をつかめます。

●自動応答できない外線着信に応答する（コールピックアップ）

着信応答できない設定の電話機でも、コールピックアップの番号をダイヤルすると着信の外線に応答できます。

外線着信中

1		・外線着信中に受話器をあげます。（ＷＳ子機は充電器からあげたあとに［スピーカ］を押します。） ・ＤＣ子機は［内線］を押します。	→内線ランプ：赤点灯
2	内線特番	・ダイヤルボタンを押します。 ［9］［6］［6］：自テナント ［9］［6］［0］：他テナント	
3	外線通話	・外線相手と通話します。	→外線ランプ：緑点灯 →内線ランプ：消灯



※操作２の内線特番は、電話機の［オート］（ＷＳ子機、ＤＣ子機は未使用［外線］）に登録できます。
（262 ページ参照）

応用編
外線の便利な機能
TD130,TD230,FD200,WS,DC

●他の外線通話中の通話に割り込む（外線通話割込）

工事設定により「割り込み可能」に設定した電話機は、外線通話を行っている他の電話機に割り込むことができます。

他の電話機が外線通話中

1

- 他の電話機で外線通話が行われているときに、受話器をあげます。
- ＷＳ子機は充電器からあげたあとに［ｽﾋﾟｰｶ］を押します。
- ＤＣ子機は［内線］を押します。

→内線ランプ：赤点灯

2 ［機能］

- ［機能］を押します。
- ＤＣ子機は［機能Ⓕ］を押します。

→機能ランプ：赤点灯

3 ［会議］

- ［会議］を押します。

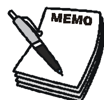
ワリコミ→［ ］

表示例：［外線］入力待ち
→機能ランプ：赤点滅

4 ［外線］

- 割り込む［外線］を押します。

→内線ランプ：消灯
→外線ランプ：緑点灯
→会議ランプ：赤点灯



※ＷＳ子機は未使用［外線］に［会議］と［機能］を登録します。（23 ページ参照）

※ＤＣ子機は未使用［外線］に［会議］と［機能Ⓕ］を登録します。（28 ページ参照）

※該当する［外線］のない電話機は、次の操作でも外線通話割り込みができます。

①［ｽﾋﾟｰｶ］※1→［機能］※2→［会議］→［＊］→ダイヤルボタンで外線番号（０１～２０）いずれかを押す→［機能］※2を押す。

②［ｽﾋﾟｰｶ］※1→［機能］※2→［会議］→ダイヤルボタンで割り込む外線を使用している内線番号（１０～８９）のいずれかを押す→［機能］※2を押す。

※１　ＤＣ子機は［内線］を押します。

※２　ＤＣ子機は［機能Ⓕ］を押します。

●他の外線通話に受話だけで割り込む（送話ミュート付き外線通話割込）	応用編
	外線の便利な機能
	TD130,TD230,FD200,WS,DC

工事設定によりこちらの声が外線通話中の相手に聞こえないように割り込むことができます。（外線通話割込指定）

他の電話機が外線通話中

1

・他の電話機で外線通話が行われているときに、受話器をあげます。
・ＷＳ子機は充電器からあげたあとに スピーカ を押します。
・ＤＣ子機は 内線 を押します。

→内線ランプ：赤点灯

2 9 8 6

・9 8 6 を押します。

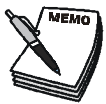
ワリコミ→［　］　ミュート

表示例：外線 入力待ち
→機能ランプ：赤点滅
→内線ランプ：消灯

3 外線

・割り込む 外線 を押します。

→外線ランプ：緑点灯
→会議ランプ：赤点灯
→機能ランプ：消灯



※操作２の内線特番は、電話機の オート（ＷＳ子機、ＤＣ子機は未使用 外線）に登録できます。
（263 ページ参照）登録後は次のような操作になります。

→ オート → 割り込みたい 外線 を押す。

ＷＳ子機は  → スピーカ → オート →割り込みたい 外線 を押す。

ＤＣ子機は オート → 割り込みたい 外線 を押す

※「割り込む 外線 を押す」代わりに次のように操作しても外線通話割り込みができます。

① ＊ → ダイヤルボタンで割込む外線番号（０１～２０）いずれかを押す→ 機能（ＤＣ子機は 機能(F)）を押す。

②ダイヤルボタンで割り込む外線を使用している内線番号（１０～８９）のいずれかを押す→ 機能（ＤＣ子機は 機能(F)）を押す。

●短縮番号等を続けて発信する（チェーンダイヤル）

普通のダイヤル、短縮ダイヤル操作を連続してダイヤルすることができます。

＜例＞普通のダイヤル操作後、短縮番号を続けてダイヤルする

1	[0]～[9]	・普通のダイヤル番号を押します。	184 表示例：184をダイヤル
2	[短縮]	・[短縮]を押します。	184 [ ] 表示例：短縮番号入力待ち
3	短縮番号	・短縮番号を押します。	184 [000] 表示例：短縮番号［ 000 ］
4	[発信]	・[発信]（または[外線]）を押します。 ・ＤＣ子機は[☎]（または[外線]）を押します。	→外線ランプ：緑点灯 →スピーカランプ：赤点灯



※短縮ダイヤルを[オート]に登録することで、[オート]でもチェーンダイヤルを利用することができます。

・[オート]に短縮ダイヤルを登録する

[短縮]→[オート]→[機能]→[＊]→[応答]→登録する短縮番号→[機能]

※ＤＣ子機は、未使用[外線]に[短縮]を登録します。(28 ページ参照)

●使用しない外線を話中にする （話中設定）	応用編
	外線の便利な機能
	TD130,TD230,FD200,WS,DC

使用しない外線（ＩＳＤＮ）を一時的に話中状態（発信、着信ともに不可）にできます。

設定のしかた

	操作	説明	表示
1	機能	・機能を押します。 ・ＤＣ子機は機能(F)を押します。	→機能ランプ：赤点灯
2	8 4	・8 4を押します。	ガイセン　ワチュウ　セッテイ →機能ランプ：赤点滅
3	外線番号 （または外線）	・外線番号(または外線)を押します。 ・外線番号は２桁(01～20)で押します。 ・複数の外線を設定する場合は、連続で押します。	ガイセン　０１　＝　ヘイソク
4	機能	・機能を押します。 ・ＤＣ子機は機能(F)を押します。	→機能ランプ：消灯 →外線ランプ：赤点灯



※設定のしかた、および解除のしかたの操作１～４は電話機のオート（ＷＳ子機、ＤＣ子機は未使用外線）に登録できます。（267 ページ参照）

※ＷＳ子機は未使用外線に機能を登録します。（23 ページ参照）

※ＤＣ子機は未使用外線に機能(F)を登録します。（28 ページ参照）

使用しない外線を話中にする（話中設定）

解除のしかた

1 [機能]
- ・[機能]を押します。
- ・ＤＣ子機は[機能(F)]を押します。

→機能ランプ：赤点灯

2 [8][4]
- ・[8][4]を押します。

ガイセン　ワチュウ　セッテイ

→機能ランプ：赤点滅

3 外線番号（または[外線]）
- ・外線番号(または[外線])を押します。
- ・外線番号は２桁(01～20)で押します。
- ・複数の外線を解除する場合は、連続で押します。

ガイセン　０１　＝　カイツウ

4 [機能]
- ・[機能]を押します。
- ・ＤＣ子機は[機能(F)]を押します。

→機能ランプ：消灯
→外線ランプ：消灯



※ＷＳ子機は未使用[外線]に[機能]を登録します。（23 ページ参照）

※ＤＣ子機は未使用[外線]に[機能(F)]を登録します。（28 ページ参照）

●内線／ドアホンを名前で表示する（内線／ドアホン名前表示）

あらかじめ内線／ドアホン番号に対応させて名前を漢字登録（最大８文字）しておくと、内線の発着信時、他の人が使用している外線ボタンを押下した時に登録されている内容が表示されます。電話機未使用時に名前が表示されます。

登録のしかた ※ＷＳ子機は127ページ、ＤＣ子機は129ページ、ＦＤ２００電話機は186ページをご覧ください。

1 機能

・機能を押します。

→機能ランプ：赤点灯

2 9 6

・9 6を押します。

内線[　]名前登録

→機能ランプ：赤点滅

3 登録する内線／ドアホン番号

・内線名前を登録する内線番号を押します。
・内線番号は１０～８９の間で割り付けられています。
ドアホン番号は０１～０３の間で割り付けられています。

内線：１０
[全角かな]

表示例：内線番号10の名前を登録

4 名前を入力

・名前を入力します。(全角で最大８文字)
・電話帳（81ページ）で文字入力モードを変更します。

→全角かな→全角カナ→全角英字→全角数字→（全角かなへ戻る）

・文字入力には、ダイヤルボタンから入力します。
・入力できる文字は、次の表のとおりです。

ダイヤルボタン	カナ	英字	数字
1	アイウエオ　ァィゥェォ	スペース（空き）	1
2	カキクケコ	ＡＢＣ　ａｂｃ	2
3	サシスセソ	ＤＥＦ　ｄｅｆ	3
4	タチツテトッ	ＧＨＩ　ｇｈｉ	4
5	ナニヌネノ	ＪＫＬ　ｊｋｌ	5
6	ハヒフヘホ	ＭＮＯ　ｍｎｏ	6
7	マミムメモ	ＰＱＲＳ　ｐｑｒｓ	7
8	ヤユヨャュョ	ＴＵＶ　ｔｕｖ	8
9	ラリルレロ	ＷＸＹＺ　ｗｘｙｚ	9
0	ワヲン゛゜ー・！？、。	＠.～／：＿！？’－＆（）”＄％＋ ，；＜＝＞［￥］＾｀｛｜｝「」＊＃	0
＊	カーソル左移動で文字消去（またはカーソル位置の文字消去）		
＃	カーソル右移動（同じ文字を続けて入力するときなどに押します。）		
ﾌﾗｯｼｭ	入力した文字を全て消去		

次ページへ

内線／ドアホンを名前で表示する（内線／ドアホン名前表示）

（かな文字を漢字に変換する）

（例）たむら　と入力後

・名前登録時に「全角かな」モードで入力されたかな文字を、漢字に変換します。

内線：１０
たむら
［全角かな］
→ らと■を交互に点滅

5 短縮

・短縮を押すと変換候補の漢字を表示します。

内線：１０
田村
［全角かな］
→ 点滅

6 保留

・変換候補を確定するときは、保留を押してください。
・表示された候補の次を表示させるときは、短縮を押すと次の変換候補を表示します。
・変換候補で、確定する漢字が表示されないときは、電話帳を押したあとにかな文字で、変換文字を変更して確認してください。

内線：１０
田村
［全角かな］

7 発信

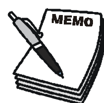
・発信を押すと確定した漢字を入力したときのかな文字をカナ文字に変更して自動で表示されます。
・編集を行うときは、＃で右にカーソル移動、＊でカーソル上の文字を消去できます。（最大７文字の入力ができます。）
・英字の半角小文字は入力できません。

内線：１０
田村
タムラ
［半角カナ］
→ タと■を交互に点滅

8 機能

・機能を押します。

→機能ランプ：消灯



※入力モードで、ﾌﾗｯｼｭを押すと文字を全消去します。会議を押すとカーソル上の文字を消去します。

内線／ドアホン名前消去のしかた

「登録のしかた」(125ページ)の操作１、２、３、ﾌﾗｯｼｭ、発信、ﾌﾗｯｼｭ、機能の順に行います。

●内線／ドアホンを名前で表示する（内線／ドアホン名前表示）

漢字登録は最大８文字です。
電話機未使用時に名前は表示されません。

登録のしかた

	操作	説明	表示
1	機能	・機能を押します。	
2	9 6	・9 6を押します。	内線[　]名前登録
3	登録する内線／ドアホン番号	・内線名前を登録する内線番号を押します。 ・内線番号は１０～８９の間で割り付けられています。 ドアホン番号は０１～０３の間で割り付けられています。	内線：１０ 表示例：内線番号10
4	名前を入力	・名前を入力します。（全角で最大８文字） ・電話帳（81ページ）で文字入力モードを変更します。 ・125ページの「カナ・英字一覧表」を見ながらダイヤルボタンを押して１文字ずつ入力します。 →漢→カナ→英→数	内線：１０ たむら →らと■を交互に点滅 表示例：たむら
5	短縮	・短縮を押すと変換候補の漢字を表示します。	内線：１０ 田村 →点滅
6	保留	・変換候補を確定するときは、保留を押してください。 ・表示された候補の次を表示させるときは、短縮を押すと次の変換候補を表示します。 ・変換候補で、確定する漢字が表示されないときは、電話帳を押したあとにかな文字で、変換文字を変更して確認してくだい。	内線：１０ 田村

次ページへ

内線／ドアホンを名前で表示する（内線／ドアホン名前表示）

7 発信

・発信を押すと確定した漢字を入力したときのかな文字をカナ文字に変更して自動で表示されます。

・編集を行うときは、＃で右へカーソル移動、＊でカーソル上の文字を消去できます。
(最大７文字の入力ができます。)

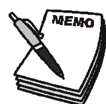
内線：１０ 田村 タムラ

8 機能

・機能を押します。

内線／ドアホン名前消去のしかた

「登録のしかた」(127 ページ)の操作１、２、３、フラッシュ、発信、フラッシュ、機能の順に行います。



※未使用外線に機能を登録します。（23ページ参照）

●内線／ドアホンを名前で表示する（内線／ドアホン名前表示）

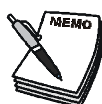
名前登録は最大７文字（半角）です。漢字（全角）での登録は、他の電話機を使用してください。

登録のしかた

手順	操作	説明	表示
1	機能(F)	・機能(F)を押します。	
2	9 6	・9 6を押します。	内線[ ]名前登録
3	登録する内線／ドアホン番号	・内線名前を登録する内線番号を押します。 ・内線番号は１０～８９の間で割り付けられています。 ドアホン番号は０１～０３の間で割り付けられています。	内線１０＝ カナモジ 表示例：内線10
4	名前を入力 (カナ文字入力のみ)	・名前を入力します。（最大７文字） ・電話帳（81 ページ）を押すと、カナモジ→エイモジ→表示なし（数字）の順に入力モードが切替ります。 ・87 ページの「文字・数字一覧表」を見ながらダイヤルボタンを押して１文字ずつ入力します。	内線１０＝タムラ カナモジ 表示例：タムラ
5	機能(F)	・機能(F)を押します。	タムラ　内線１０

消去のしかた

上記の「登録のしかた」の操作１、２、３、フック(機能/クリア)、５の順に行います。



※未使用外線に機能(F)を登録します。（28ページ参照）

応用編
内線の便利な機能
TD130,TD230,FD200,WS,DC

●続けて別の内線を呼び出す（リセットコール）

内線呼出ししている相手が話中または不応答のとき、別の内線番号をダイヤルすると、次の内線番号の電話機を呼び出します。

（例）　内線１０の電話機から内線番号１１を呼出したが、不応答のため、続けて内線１２を呼び出す。

（内線１０の電話機）

1

- **受話器をあげます。**
- **ＷＳ子機は充電器からあげたあとに［スピーカ］を押します。**
- **ＤＣ子機は［内線］を押します。**

１０→［　］

表示例：内線10
→内線ランプ：赤点灯

2　［1］［1］

- **［1］［1］を押します。**

１０→［１１］

表示例：内線10から内線11を呼出し

（内線１１不応答）

3　［1］［2］

- **［1］［2］を押します。**

１０→［１２］

表示例：内線10から内線12を呼出し

（内線１２応答）

4　通話

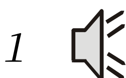
１０＝［１２］

表示例：内線10が内線12と通話

●他の内線着信に応答する（内線代理応答）

応用編
内線の便利な機能
TD130,TD230,FD200,WS,DC

呼び出されている他の内線の代わりに自内線で応答できます。

1 

・**他の内線が呼び出されています。**

2 

・**受話器をあげます。**
・**WS子機は充電器からあげたあとに[スピーカ]を押します。**
・**DC子機は[内線]を押します。**

1 2 ⟶ [　]

表示例：内線12
→内線ランプ：赤点灯

3 

・**[9][6][1]を押します。**

1 2 ══ [1 5]

表示例：内線12が内線15を代理応答したとき

4 
通話

・**通話します。**

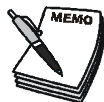


※操作３は電話機の[オート]（WS子機、DC子機は未使用[外線]）に登録できます。 **（262ページ参照）**
※付属のステッカ「内線代理応答」シールを貼ると便利です。
※自テナント内の内線のときだけ内線代理応答できます。

●話中の内線への内線着信を他の内線へ着信させる（スライド着信）

工事設定により代表番号を呼び出したとき、内線の代表番号が話中の場合は、工事設定で指定した電話機を呼び出します。
あらかじめ工事設定で内線のグループ編成をし、内線代表電話機の設定ができます。

手順	操作	説明	表示
1	（受話器）	・受話器をあげます ・ＷＳ子機は充電器からあげたあとに［ｽﾋﾟｰｶ］を押します。 ・ＤＣ子機は［内線］を押します。	１２⟶［　］ 表示例：内線12 →内線ランプ：赤点灯
2	内線代表番号	・内線代表番号を押します。	１２⟶［２０］ 表示例：内線12が内線20を呼び出したとき
3	相手話中	・かけた相手が話中だった場合には、内線グループ内の次の内線番号を呼び出します。	１２⟶［２２］テンソウ 表示例：内線12が転送先の内線22を呼び出したとき
4	（通話）	・相手が出たら通話します。	１２＝［２２］ 表示例：内線22が応答した場合



※内線代表番号は、［ｵｰﾄ］(ＷＳ子機、ＤＣ子機は未使用［外線］）に登録できます。（262ページ参照）

●全ての内線を呼び出す（一斉呼出・電話機グループ呼出）	応用編
	内線の便利な機能
	TD130,TD230,FD200,WS,DC

電話機から未使用の電話機へ一斉またはグループ呼出をします。
※グループ呼出を行う場合、電話機および構内放送ごとにグループＡ～Ｃのいずれかに工事設定します。
構内放送を呼出す場合は、ドア・ページングユニットが必要です。

呼び出す側

1 [スピーカ]

・[スピーカ]を押します。
・ＤＣ子機は[内線]を押します。

１２→［　］

表示例：内線12
→内線ランプ：赤点灯
→スピーカランプ：赤点灯

2 [9][7][0]（一斉呼出のとき）

・[9][7][0]：一斉呼出
・[9][7][1]：グループＡ呼出
・[9][7][2]：グループＢ呼出
・[9][7][3]：グループＣ呼出
・[9][7][7]：未使用の全電話機と構内放送を同時に行う

イッセイ

表示例：一斉呼出

グループ［Ｂ］

表示例：グループＢ呼出

3 （受話器）

・受話器をあげ、呼びかけます。
・ＷＳ子機は充電器からあげたあとに呼びかけます。

→スピーカランプ：消灯

受ける側

［表示例は TD130、TD230 の場合］

1 （スピーカ音）

・呼出音「プー」が鳴り相手の声が聞こえます。
・ＤＣ子機は内線呼出音が鳴ります。

イッセイ

2 （受話器）

・受話器をあげます。
・ＷＳ子機は充電器からあげます。また、充電器においていないときは[スピーカ]を押します。
・ＤＣ子機は[内線]を押します。

１５→［　］

表示例：内線15
→内線ランプ：赤点灯

3 [9][7][4]

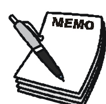
・[9][7][4]を押し、応答します。

１５＝［１２］

表示例：内線12からの呼出を内線15が応答したとき

4 （通話）

・通話します。



※呼び出す側の操作および、受ける側の操作は、電話機の[オート]（ＷＳ子機、ＤＣ子機は未使用[外線]）に登録できます。（262 ページ参照）
※付属のステッカ「一斉呼出」、「呼出応答」シールを貼ると便利です。
※工事設定により、グループ呼出をしたときに、各グループごとに外部スピーカから音声を出すように変更することもできます。
※工事設定により、「音声呼」を「信号呼」に変更できます。
※個別の着信中の一斉着信についての表示は、個別着信のままになります。

●内線通話を保留する（内線独占保留）

内線通話を保留にすることができます。
（例）内線１０と内線１１が内線通話中に内線１０が保留操作を行い、保留を解除して再応答する。

内線独占保留のしかた

（内線１０）

1 内線通話中

・内線１０と内線１１で通話中

１０ ＝＝［１１］

表示例：内線10
→内線ランプ：赤点灯

2 保留

内線独占保留中

・保留を押します。
・内線１１へ保留音が流れます。
・保留音は、外線保留音と同じ曲が流れます。

１０ ─→［　］

表示例：内線10
→会議ランプ：赤点滅

再応答のしかた

1

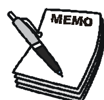
・受話器をあげます。
・ＷＳ子機は、充電器からあげたあとにスピーカを押します。
・ＤＣ子機は内線を押します。

2 会議

・会議を押します。
・内線１１と再度通話ができます。

１０ ＝＝［１１］

表示例：内線10
→会議ランプ：消灯



※内線独占保留操作後に受話器をおいても内線独占保留は切れません。
※内線通話を保留にした電話機のみ、再通話の操作ができます。
※ＷＳ子機は未使用外線に会議を登録します。（23 ページ参照）
※ＤＣ子機は未使用外線に会議を登録します。（28 ページ参照）

●内線通話を保留して、他の子機で再応答する（内線システム保留）

内線通話を保留にしても、内線通話を保留にした電話機以外でも再通話ができます。
（例）内線１０と内線１１が内線通話中に内線１０が保留操作を行い、内線１２が保留解除して内線１１と再通話する。

内線システム保留のしかた

（内線１０）

1 内線通話中

- 内線１０と内線１１で通話中

１０ ═ [１１]

表示例：内線10
→内線ランプ：赤点灯

2 [機能][3]

- [機能][3]を押します。
- ＤＣ子機は[機能(F)][3]を押します。

１０ → [　]

表示例：内線10

内線システム保留中

- 内線１１へ保留音が流れます。
- 保留音は、外線保留音と同じ曲が流れます。

再応答のしかた

（内線１２）

1 (受話器)

- 受話器をあげます。
- ＷＳ子機は充電器からあげたあとに[ｽﾋﾟｰｶ]を押します。
- ＤＣ子機は[内線]を押します。

１２ → [　]

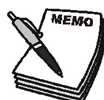
表示例：内線12
→内線ランプ：赤点灯

2 [機能][3]

- [機能][3]を押します。
- ＤＣ子機は[機能(F)][3]を押します。
- 内線１１と通話ができます。

１２ ═ [１１]

表示例：内線12



※内線システム保留及び再応答の操作２は、電話機の[ｵｰﾄ]（ＷＳ子機、ＤＣ子機は未使用[外線]）に登録できます。（263 ページ参照）
※付属のステッカ「内線保留」シールを貼ると便利です。
※ＷＳ子機は未使用[外線]に[機能]を登録します。（23 ページ参照）
※ＤＣ子機は未使用[外線]に[機能(F)]を登録します。（28 ページ参照）

●内線を受けられないようにする（不在設定）

席を離れるときなどに内線呼出し音をストップするようセットします。

設定のしかた

1 [機能]
・[機能]を押します。
・ＤＣ子機は[機能Ⓕ]を押します。
→機能ランプ：赤点灯

2 [6][0]
・[6][0]を押します。

フザイ １２⟶[　]

表示例：内線12
→機能ランプ：赤点滅

3 [機能]
・[機能]を押します。
・ＤＣ子機は[機能Ⓕ]を押します。

フザイ

→機能ランプ：赤遅点滅
→約5 秒後に表示が消えます。

解除のしかた

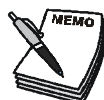
1 [機能]
・[機能]を押します。
・ＤＣ子機は[機能Ⓕ]を押します。
→機能ランプ：赤点灯

2 [6][9]
・[6][9]を押します。
→機能ランプ：赤点滅

3 [機能]
・[機能]を押します。
・ＤＣ子機は[機能Ⓕ]を押します。

フザイ カイジョ

→機能ランプ：消灯
→約５秒後に表示が消えます。



※設定のしかたおよび解除のしかたの操作１、２、３は、電話機の[オート]（ＷＳ子機、ＤＣ子機は未使用[外線]）に登録できます。（264 ページ参照）

※すべての電話機の不在設定を解除するときは[6][9]の代わりに[6][8]を押します。

※ＷＳ子機は未使用[外線]に[機能]を登録します。（23 ページ参照）

※ＤＣ子機は未使用[外線]に[機能Ⓕ]を登録します。（28 ページ参照）

●不在時の内線呼出を他の電話機に転送する （不在転送）	応用編 内線の便利な機能 TD130,TD230,FD200,WS,DC

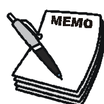
不在時の内線呼出しを他の電話機へ転送するようにセットします。

設定のしかた

1	機能	・機能を押します。 ・ＤＣ子機は機能(F)を押します。	→機能ランプ：赤点灯
2	6 0	・6 0を押します。	フザイ １０⟶[　] 表示例：内線10 →機能ランプ：赤点滅
3	内線番号	・転送先内線番号を押します。	フザイ １０⟶[１２] 表示例：転送先が内線12
4	機能	・機能を押します。 ・ＤＣ子機は機能(F)を押します。	→機能ランプ：赤遅点滅

解除のしかた

1	機能	・機能を押します。 ・ＤＣ子機は機能(F)を押します。	→機能ランプ：赤点灯
2	6 9	・6 9を押します。	→機能ランプ：赤点滅
3	機能	・機能を押します。 ・ＤＣ子機は機能(F)を押します。	フザイ カイジョ →機能ランプ：消灯 →約５秒後に表示が消えます。



※「設定のしかた」の一連の操作は 不在転送 として、電話機のオート（ＷＳ子機、ＤＣ子機は未使用外線）に登録できます。（264 ページ参照）

※オートに登録した 不在転送 を押すごとに、不在転送設定／解除となります。

※ＷＳ子機は未使用外線に機能を登録します。（23 ページ参照）

※ＤＣ子機は未使用外線に機能(F)を登録します。（28 ページ参照）

●通話中の電話機を呼び出す（話中呼出）

話中の相手に呼び出し中であることを知らせます。
※単独電話機およびWS子機、DC子機を話中呼出することはできません。

通知をする

1 （受話器）

・受話器をあげます。
・WS子機は、充電器からあげたあとに[スピーカ]を押します。
・DC子機は[内線]を押します。

```
10→[  ]
```

表示例：内線10
→内線ランプ：赤点灯

2 内線番号

・内線番号を押します。
相手が通話中のときは話中音「プープー（連続）」が鳴ります。

```
10→[12]
```

表示例：内線10が内線12を呼出したとき

3 [＊]

・[＊]を押します。
相手のスピーカに待機中通知音「プー」音がでます。

```
10→[12] ＊
```

→待機中通知音「プー」音がでます。

応答する

1 （スピーカ）

・内線、外線通話中に待機中通知音「プー」音がでます。

```
12←[10] ＊
```

表示例：内線10から通知
→内線ランプ、着信ランプ：赤点滅

2 [保留]

・[保留]を押します。
それまでの通話を保留し待機者と通話します。

```
12＝[10]
```

表示例：待機者の内線１０が内線１２と通話
→着信ランプ：消灯
→内線ランプ：赤点灯
→会議ランプ：点滅（内線通話中の場合）
→外線ランプ：点滅（外線通話中の場合）

●話中のときはそのまま待って相手を呼び出す（コールウェイティング）	応用編
	内線の便利な機能
	TD130,TD230,FD200,WS,DC

内線を呼び出して相手が話中のとき、そのまま待っていれば、相手の通話が終わりしだい呼出します。

1

・**内線呼び出して相手が話中のとき話中音「プープー…（連続）」が聞こえます。**
・**ＷＳ子機は充電器からあげます。**

１０⟶［１１］

表示例：内線1０が１１を内線呼出し
→内線ランプ：赤点灯

2　相手話中そのまま待つ

・**相手の通話が終わるまでそのまま待ちます。**

3　（通話）

・**相手の通話が終わりしだい呼出します。**
相手がでたら通話します。

１０══［１１］

表示例：内線1０が１１と内線通話

●外線・内線で会議をする（外１＋内２／外１＋内３）

「外線１人と内線２～３人」または「外線２人と内線１～２人」の会議通話ができます。会議通話は最大２組（内線会議通話と外線会議通話）まで同時に行うことができます。

外線会議通話（外線１人・内線２人）

外線通話中に、もうひとりの内線を参加させたい場合。
操作例：内線１０が外線通話中にもう１人を会議に参加させる。

1 保留

・外線通話中に保留を押します。

→外線ランプ：緑点滅
→内線ランプ：赤点灯

2 内線番号

・会議に加えたい内線番号を押して、内線通話します。

```
１０ ══ [１１]
```

表示例：内線10と11が内線通話中

3 会議

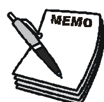
・会議することを伝え、会議を押します。
ここまでは三者通話（外線１人・内線２人）となります。

```
[１２]     Ｌ１   ０：３０
```

表示例：内線12が会議に参加
→内線ランプ：消灯
→外線ランプ：緑点灯
→会議ランプ：赤点灯

外線会議通話（外線１人・内線３人）

外線会議中（外線１人・内線２人）に、もう１人の内線を参加させたい場合、上項の「外線１人と内線２人」と同じ操作をします。



※ＷＳ子機は未使用外線に会議を登録します。（23ページ参照）

※ＤＣ子機は未使用外線に会議を登録します。（28ページ参照）

外線・内線で会議をする（外２＋内１／外２＋内２）

応用編
会議通話
TD130,TD230,FD200,WS,DC

外線会議通話（外線２人・内線１人）

外線通話中（外線１人・内線１人）に、もう１人の外線を参加させたい場合。

1 **保留**

・外線通話中に保留を押します。

→外線ランプ1 ：緑点滅
→内線ランプ ：赤点灯

2 **外線**

・空いている外線を押します。

→外線ランプ2 ：緑点滅
→内線ランプ ：消灯

3 電話番号

・会議に加えたい外線相手の電話番号を押します。

4 **会議**

・相手が応答したら、会議することを伝え、会議を押します。
ここまでは三者通話（外線２人・内線１人）となります。

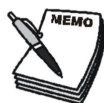
[表示例は TD130、TD230 の場合]

```
L１　L２　　０：３０
```

表示例：外線１，２で会議通話
→外線ランプ１：緑点灯
→外線ランプ２：緑点灯
→会議ランプ：赤点灯

外線会議通話（外線２人・内線２人）

外線会議中（外線２人・内線１人）に、もう１人の内線を参加させたい場合、140 ページの外線会議通話（外線１人と内線２人）と同じ操作をします。



※外線どうしの通話音量は局線の状態により小さくなることがあります。
※ＷＳ子機は未使用外線に会議を登録します。（23 ページ参照）
※ＤＣ子機は未使用外線に会議を登録します。（28 ページ参照）

応用編
会議通話
TD130,TD230,FD200,WS,DC

●内線で会議をする（内線会議通話）

内線で会議通話ができます。会議通話は最大４組（内線会議通話と外線会議通話）まで同時に行うことができます。

内線会議通話（内線３人）

内線通話中に、もう１人の内線を参加させたい場合

1 保留
・内線通話中に保留を押します。
→内線ランプ：赤点灯
→会議ランプ：赤点滅

2 内線番号
・会議に加えたい内線番号を押して、内線通話します。

```
１０ ══[１３]
```

表示例：内線10と13 が内線通話中

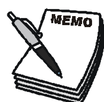
3 会議
・会議することを伝え、会議を押します。ここまでは三者通話（内線３人）となります。

```
[１２][１３]
```

表示例：内線13 が会議に参加
→会議ランプ：赤点灯

内線会議通話（内線４人）

内線会議通話中（内線３人）にもう１人の内線を参加させる場合、上項と同じ操作をします。



※ＷＳ子機は未使用外線に会議を登録します。（23 ページ参照）

※ＤＣ子機は未使用外線に会議を登録します。（28 ページ参照）

応用編
会議通話
TD130,TD230,FD200,WS,DC

●外線会議通話から外線手動転送に移行する（外線会議転送）

外線会議転送（外線２人・内線１人）

デジタル回線で、外線会議中（外線２人・内線１人）に、内線１人が終話する（ぬける）と外線２人がそのまま外線転送状態になります。

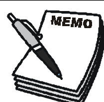
[表示例は TD130、TD230 の場合]

1 外線会議通話中
・外線２人・内線１人が外線会議通話中

```
Ｌ１　Ｌ２　０：３０
```

表示例：外線1 、2と内線10 が外線会議通話
→外線ランプ1 ：緑点灯
→外線ランプ2 ：緑点灯
→会議ランプ：赤点灯

2 （受話器）
・内線１人が通話を終了します。外線２人が外線転送状態に移行します。
・ＷＳ子機は充電器におきます。（または切を押します。）
・ＤＣ子機は電源を押します。
→外線ランプ：２外線赤点灯



※上記内容は外線会議通話中の外線２人・内線１人の場合のみ機能する内容です。（デジタル回線のみ）

●受話器を置いたままで相手と話す（外線ハンズフリー通話）

外線発着信のときに、受話器を取らずに発信／応答ができます。この機能を使用される場合は工事設定が必要です。

ハンズフリーセット、解除

マイクランプ点灯はハンズフリー可能状態で、消灯は不可です。マイクランプを確認のうえ、以下の操作でハンズフリーセット（点灯）、解除（消灯）してください。初期はハンズフリー可能（マイクランプ点灯）です。

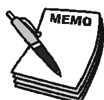
	操作	説明	表示
1	機能	・機能を押します。	→機能ランプ：赤点灯
2	1	・1を押します。 ・機能、1の繰り返しでハンズフリーセット→解除→セットになります。	→マイクランプ：赤点灯→消灯 消灯→赤点灯

外線に電話をかける

	操作	説明	表示
1	発信	・発信(または外線）を押します。	→外線ランプ：緑点灯 →マイクランプ：赤点灯
2	電話番号	・相手の電話番号を押します。	0334935111 表示例：0334935111 へ発信
3	（ハンズフリー通話）	・相手が応答したら電話機のマイクに向かって話します。	

外線の電話を受ける

	操作	説明	表示
1	外線着信中		→外線ランプ：赤点滅 →マイクランプ：赤点灯
2	外線	・外線(または応答）を押して応答します。	→外線ランプ：緑点灯
3	（ハンズフリー通話）	・電話機のマイクに向かって話します。	



※ハンズフリーセット / 解除の操作１、２の操作は、電話機のオートに登録できます。（263 ページ参照）
※ハンズフリー通話中に受話器をあげると、そのまま受話器で通話ができます。
※音声の反響がなく、騒がしい所は避けてください。
※電話機の正面から約３０ｃｍ離れて通話してください。大声や極端に小さな声で話すと相手に聞こえにくいことがあります。
※相手と交互にお話しください。同時に話すと相手の声が途切れる場合があります。

応用編
その他の便利な機能
TD130,TD230,FD200,WS

●内線着信時に受話器を置いたままで応答する（パーソナルハンズフリー通話）

内線通話の音声呼出をされたときだけ（応答側のみ）ハンズフリーができます。

ハンズフリーセット、解除

外線ハンズフリー通話の「ハンズフリーセット、解除」（143 ページ）と同じ操作をします。

内線の電話を受ける

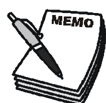
1 内線呼出（受ける）

- **音声呼出しで内線着信を受けます。**

→内線ランプ：赤点滅
→マイクランプ：赤点灯

2 （ハンズフリー通話）

- **電話機マイクに向かって話します。**



※ハンズフリーセット / 解除の操作１、２の操作は、電話機の［オート］に登録できます。（263 ページ参照）
※ハンズフリー通話中に受話器をあげると、そのまま受話器で通話ができます。
※音声の反響がなく、騒がしい所は避けてください。
※電話機の正面から約３０ｃｍ離れて通話してください。大声や極端に小さな声で話すと相手に聞こえにくいことがあります。

※ＷＳ子機は未使用［外線］に［機能］を登録します。（23 ページ参照）

応用編
その他の便利な機能
TD130,TD230,FD200,WS

●通話中に相手の声をスピーカから聞く（スピーカ受話）

外線または内線通話の途中から受話専用にします。

1 ［スピーカ］

- **［スピーカ］を押します。**
- **ＷＳ子機は、スピーカ受話となります。**

→スピーカランプ：赤点灯

2 （受話器を置く）

- **受話器をおきます。**
  スピーカ受話になり、こちらの声が相手に流れません。

3 （受話器をあげる）

- **通話を再開する場合、受話器をあげて再度、相手と通話します。**
- **ＷＳ子機は再度［スピーカ］を押すと相手と通話できます。**

→スピーカランプ：消灯

●ボタン押し下げ音を停止する（キー押下音）	応用編
	その他の便利な機能
	TD130,TD230,FD200,WS

ダイヤルボタンおよび他のボタンを押したときの押下音を電話機ごとに止めることができます。
初期は押下音がでます。
ＤＣ子機は、キータッチトーンの設定（252 ページ）をご覧ください。

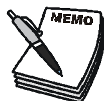
1 【機能】
・【機能】を押します。
→機能ランプ：赤点灯

2 【＊】
・【＊】を押します。
・【機能】【＊】の繰り返しでキー押下音を停止→解除→停止になります。

[表示例は TD130、TD230 の場合]

キーオウカオン　リセット

表示例：キー押下音停止
→機能ランプ：消灯



※操作１、２は、電話機の【オート】に登録できます。（263 ページ参照）
※ＷＳ子機は【保留】を押しながら【＊】を押すことで、キー押下音の停止（または解除）ができます。

●外線着信音を停止する（外線着信鳴動拒否）	応用編
	その他の便利な機能
	TD130,TD230,FD200,WS,DC

外線着信鳴動拒否機能をセットすることにより、電話機ごとに外線着信音を鳴動しないようにすることができます。

セット／解除のしかた

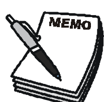
1 【機能】
・【機能】を押します。
・ＤＣ子機は【機能(F)】を押します。
→機能ランプ：赤点灯

2 【6】【5】
・【6】【5】を押します。
→機能ランプ：赤点滅

3 【機能】
・【機能】を押します。
・ＤＣ子機は【機能(F)】を押します。
・操作１～３の繰り返しで、セット→解除→セットになります。

チャクシンオン　キョヒ　セット

表示例：外線着信鳴動拒否セット
→機能ランプ：赤遅点滅



※操作１～３は、電話機の【オート】に登録できます。（265 ページ参照）
※ＷＳ子機は未使用【外線】に【機能】を登録します。（23 ページ参照）
※ＤＣ子機は未使用【外線】に【機能(F)】を登録します。（28 ページ参照）
※ＷＳ子機は、【保留】を押しながら【切】を押し、「Ｓ」表示でも可能です。（31 ページ参照）
※外線着信鳴動拒否機能セット時、サブアドレスなどの個別着信、内線呼出、ドアホン着信音は鳴動します。

●夜に指定した電話機だけ鳴動させる（夜間モード切替）

システム全体の昼間モード⇔夜間モード（着信音の鳴る電話機等）の切り替えができます。夜間モードには夜間モードＡ／Ｂの２種類があり、選択し切り替えることができます。夜間モード切り替え時間が毎日同じ場合は、自動的に切り替えることもできます。（夜間モード自動切替は夜間Ａモードのみで工事設定が必要です。）
初期は、昼間モードでは「全電話機が鳴動する」、夜間モードＡ／Ｂでは、「内線１０、１１のみ鳴動する」です。
昼間モードと夜間モードＡ／Ｂは工事設定で鳴動する電話機の変更と、発信を規制する電話機の変更ができます。
以下、操作の繰り返しで →夜間モードＡ　夜間モードＢ　夜間モード解除 モード切替えします。

夜間モードＡセット

	操作	説明	結果
1	機能	・機能を押します。 ・ＤＣ子機は機能(F)を押します。	→機能ランプ：赤点灯
2	8 0	・8 0を押します。	→機能ランプ：赤点滅
3	機能	・機能を押します。 ・ＤＣ子機は機能(F)を押します。 ・「セット　ナイト　モードＡ」表示は、５秒後に消えます。 ・TD130、TD230、FD200は、「夜間Ａ」または「夜間Ｂ」が表示されます。 ・ＷＳ子機は、夜間ＡＢともに「夜」が表示されます。ただし待機状態のときは、表示されません。 ・ＤＣ子機は、時計表示横に夜間モードを示すＡ（またはＢ）が表示されます。なお、Ａ（またはＢ）の表示については、待機状態では表示されませんが、内線または外線の発信捕捉状態のときなどに表示されます。	**[表示例は TD130、TD230 の場合]** セット　ナイト　モード　Ａ 夜間Ａ 表示例：夜間モードＡ セット 中 →機能ランプ：消灯 夜間Ａ 表示例：夜間モードＡ セット 中

夜に指定した電話機だけ鳴動させる （夜間モード切替）	応用編
	その他の便利な機能
	TD130,TD230,FD200,WS,DC

夜間モードＢセット

「夜間モードＡセット」状態から続けて、「夜間モードＡセット」と同じ操作をします。

[表示例は TD130、TD230 の場合]

セット ナイト モードＢ 夜間Ｂ

表示例：夜間モードＢセット 中

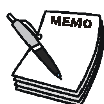
夜間モード解除

「夜間モードＢセット」状態から続けて、「夜間モードＡセット」と同じ操作をします。

[表示例は TD130、TD230 の場合]

リセット ナイト モード

表示例：夜間モード解除
→約５秒後に表示が消えます。



※夜間モードセット／解除の操作は、電話機の［オート］（ＷＳ子機、ＤＣ子機は未使用［外線］）に登録できます。（267 ページ参照）

※登録後は、受話器をおいたまま［オート］を押します。
※付属のステッカ「夜間設定」シールを貼ると便利です。

※ＷＳ子機は未使用［外線］に［機能］を登録します。（23 ページ参照）

※ＤＣ子機は未使用［外線］に［機能(F)］を登録します。（28 ページ参照）
※夜間モードＢがセットされている場合は、夜間モードＡの自動切替時刻になっても、夜間モードＢが優先されます。また、夜間モードＡ／Ｂのときに、外線発信できる電話機の変更もできます。

応用編
その他の便利な機能
TD130,TD230,FD200,WS,DC

●通話時間を表示する（通話時間表示）

電話をかけて、相手が応答すると時間表示されます。
ＤＣ子機は外線着信に応答して、通話を終了すると時間表示されます。

1 相手応答

・通話時間（分、秒）表示を１秒づつカウントします。

[表示例は TD130、TD230 の場合]

２：１０

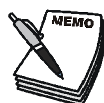
表示例：２分１０秒の通話

・ＷＳ子機は、最後のダイヤルボタンを押してから１０秒後に時間表示します。
・通話時間（分、秒）表示を１秒づつカウントします。

[表示例は WS230 の場合]

０２：１０

表示例：２分１０秒の通話



※構内交換機（ＰＢＸ）に接続してあると、通話時間が表示されない場合があります。
※通話時間は目安としてご利用ください。

応用編
その他の便利な機能
TD130,TD230,FD200,WS,DC

●通話料金を表示する（通話料金表示）

ＩＳＤＮ回線の料金情報サービス（基本サービス）を利用して通話料金を電話機に表示させることができます。
通話終了後、その通話にかかった料金が表示されます。

1 相手応答

・通話時間を表示します。
（ＤＣ子機は表示しません）

[表示例は TD130、TD230 の場合]

１：０５

表示例：通話時間１分５秒

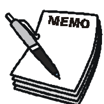
2 （受話器を置く）

・通話を終了します。
（ＷＳ電話機は充電器に戻します。
または、[切]ボタンを押します。
ＤＣ電話機は[電源]を押します。）

[表示例は WS 子機の場合]

９円

表示例：料金９円



※国際電話をかけたときは通話時間表示になります。
※１０４電話番号案内、携帯電話、ＰＨＳ、船舶無線、ダイヤルＱ^{2}などにかけたときは通話料金が表示されなかったり、正しく表示されないことがあります。
※マイライン・マイラインプラスでＮＴＴグループ以外をご契約された場合は、料金表示されません。

●通話料金を集計する （通話料金集計、システム／テナント）	応用編 その他の便利な機能 TD130,TD230,FD200,WS,DC

いままでに電話をかけた通話料金集計をシステム全体、テナントごと、および電話機ごとに表示できます。
※通話料金集計表示とＮＴＴで集計した料金の内容が異なることがあります。同一料金とは限りません。あくまで目安としてご利用ください。（最大 9,999,999 円まで表示されます。）

システム全体の通話料金集計の場合

1 [機能]
・[機能]を押します。
・ＤＣ子機は[機能(F)]を押します。
→機能ランプ：赤点灯

2 [9][0][0]
・[9][0][0]を押します。
[表示例は TD130、TD230 の場合]
シュウケイ　　システム
→機能ランプ：赤点滅

3 [機能]
・[機能]を押します。
・ＤＣ子機は[機能(F)]を押します。
システム　　　　１００００円
表示例：システム全体10000 円
→機能ランプ：消灯
→約５秒後に表示が消えます。

テナントごとの通話料金集計の場合

1 [機能]
・[機能]を押します。
・ＤＣ子機は[機能(F)]を押します。
→機能ランプ：赤点灯

2 [9][0][9]
・[9][0][9]を押します。
[表示例は TD130、TD230 の場合]
シュウケイ　テナント
→機能ランプ：赤点滅

3 [0]～[3]※1
いずれか
※１：つづけて、各テナント番号を選択し押します。番号を指定しないと自テナントの集計を表示します。
・[0]：テナント０　・[1]：テナント１
・[2]：テナント２　・[3]：テナント３
シュウケイ　テナント　１
表示例：テナント1

4 [機能]
・[機能]を押します。
・ＤＣ子機は[機能(F)]を押します。
テナント１　　　　１０００円
表示例：テナント1 の集計は1000 円
→機能ランプ：消灯
→約5 秒後に表示が消えます。



※通話料金集計の操作は、電話機の[オート]（ＷＳ子機、ＤＣ子機は未使用[外線]）に登録できます。
（268 ページ参照）
※ＷＳ子機は未使用[外線]に[機能]を登録します。（23 ページ参照）
※ＤＣ子機は未使用[外線]に[機能(F)]を登録します。（28 ページ参照）

通話料金を集計する（通話料金集計、外線／電話機）

外線ごと通話料金集計の場合

1 機能

・機能を押します。
・ＤＣ子機は機能(F)を押します。

→機能ランプ：赤点灯

2 9 0 ✱

・9 0 ✱を押します。

[表示例はTD130、TD230の場合]

シュウケイ　ガイセン

→機能ランプ：赤点滅

3 外線番号

・外線番号（0 1～2 0）を押します。

シュウケイ　ガイセン　０１

表示例：外線１

4 機能

・機能を押します。
・ＤＣ子機は機能(F)を押します。

Ｃ０　０１　　　　１０００円

表示例：外線1 は1000 円
→機能ランプ：消灯
→約５秒後に表示が消えます。

電話機ごと通話料金集計の場合

1 機能

・機能を押します。
・ＤＣ子機は機能(F)を押します。

→機能ランプ：赤点灯

2 9 0

・9 0を押します。

[表示例はTD130、TD230の場合]

シュウケイ

→機能ランプ：赤点滅

3 内線番号

・内線番号を押します。
1 0～8 9を押します。
・自電話機の通話料金集計を表示させる場合は、自内線番号を押す必要はありません。

シュウケイ　ＴＥＬ　１０

表示例：内線10

4 機能

・機能を押します。
・ＤＣ子機は機能(F)を押します。

ＴＥＬ１０　　　　１０００円

表示例：内線10　1000 円
→機能ランプ：消灯
→約5 秒後に表示が消えます。



※通話料金集計の操作は、電話機のオート（ＷＳ子機、ＤＣ子機は未使用外線）に登録できます。
（268 ページ参照）
※ＷＳ子機は未使用外線に機能を登録します。（23 ページ参照）
※ＤＣ子機は未使用外線に機能(F)を登録します。（28 ページ参照）

●通話料金集計を消去する（通話料金集計の消去、システム／テナント）	応用編 その他の便利な機能 TD130,TD230,FD200,WS,DC

システム全体の通話料金集計クリア

1 機能
・機能を押します。
・ＤＣ子機は機能(F)を押します。
→機能ランプ：赤点灯

2 9 2 0
・9 2 0を押します。
→機能ランプ：赤点滅

3 機能
・機能を押します。
・ＤＣ子機は機能(F)を押します。

クリア　システム

→機能ランプ：消灯
→約５秒後に表示が消えます。

テナントごとの通話料金集計クリア

1 機能
・機能を押します。
・ＤＣ子機は機能(F)を押します。
→機能ランプ：赤点灯

2 9 2 9
・9 2 9を押します。
→機能ランプ：赤点滅

3 0～3 ※1
いずれか

※１：つづけて、各テナント番号を選択し、押します。
番号を指定しないと自テナントの集計を消去します。

・0：テナント０　・1：テナント１
・2：テナント２　・3：テナント３

4 機能
・機能を押します。
・ＤＣ子機は機能(F)を押します。

クリア　テナント　１

表示例：テナント1
→機能ランプ：消灯
→約５秒後に表示が消えます。



※通話料金集計のクリア操作は電話機のオート（ＷＳ子機、ＤＣ子機は未使用外線）に登録できます。（268 ページ参照）

※ＷＳ子機は未使用外線に機能を登録します。（23 ページ参照）

※ＤＣ子機は未使用外線に機能(F)を登録します。（28 ページ参照）

通話料金集計を消去する
（通話料金集計の消去、外線／電話機）

外線ごと通話料金集計のクリア

1	機能	・機能を押します。 ・ＤＣ子機は機能(F)を押します。	→機能ランプ：赤点灯
2	9 2 ＊	・9 2 ＊を押します。	→機能ランプ：赤点滅
3	外線番号	・外線番号（0 1～2 0）を押します。	
4	機能	・機能を押します。 ・ＤＣ子機は機能(F)を押します。	クリア　ガイセン　０１ 表示例：外線1をクリア **→機能ランプ：消灯** **→約５秒後に表示が消えます。**

電話機ごと通話料金集計のクリア

1	機能	・機能を押します。 ・ＤＣ子機は機能(F)を押します。	→機能ランプ：赤点灯
2	9 2	・9 2を押します。	クリア →機能ランプ：赤点滅
3	内線番号	・内線番号を押します。 ・自電話機の通話料金集計をクリアさせる場合は、自内線番号を押す必要はありません。	クリア　ＴＥＬ　１０ 表示例：内線10をクリア
4	機能	・機能を押します。 ・ＤＣ子機は機能(F)を押します。	**→機能ランプ：消灯** **→約５秒後に表示が消えます。**



※通話料金集計のクリア操作は電話機のオート（ＷＳ子機、ＤＣ子機は未使用外線）に登録できます。（268 ページ参照）

※ＷＳ子機は未使用外線に機能を登録します。（23 ページ参照）

※ＤＣ子機は未使用外線に機能(F)を登録します。（28 ページ参照）

●指定した電話機からアラーム音を出す （時刻アラームの登録／確認／変更）	応用編 その他の便利な機能 TD130,TD230,FD200

あらかじめセットした時刻に、電話機から約１０秒間、時刻アラーム音「ピピピ…（連続）」を鳴らすことができます。
時刻アラーム１は、１度時刻アラーム音が鳴ると自動的にリセットされます。
時刻アラーム２は、リセットされません。（毎日、定刻に鳴ります。）

登録のしかた

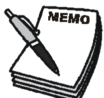
	操作	説明	表示
1	機能	・機能を押します。	→機能ランプ：赤点灯
2	5 2 または 5 5	・5 2：アラーム１のセット ・5 5：アラーム２のセット	アラーム １　００：００ 表示例：アラーム1 →機能ランプ：赤点滅
3	時刻	・時刻（２４時間制で４桁）を押します	アラーム １　１２：０７ 表示例：午後12 時7 分
4	機能	・機能を押します。	 表示例：ＴＤ130,TD230 の場合 →機能ランプ：消灯 →ＦＤ 200 の場合、[ベル] と [ベル] が交互に表示されます。

確認のしかた

	操作	説明	表示
1	機能	・機能を押します。	→機能ランプ：赤点灯
2	5 0 または 5 3	・5 0：アラーム１の確認 ・5 3：アラーム２の確認	→機能ランプ：赤点滅
3	機能	・機能を押します。	アラーム １　１２：０７ 表示例：午後１２時７分 →機能ランプ：消灯 →約５秒後に表示が消えます。

変更のしかた

「登録のしかた」と同じ操作をします。



※「登録」、「確認」、「変更」における、一連の操作は電話機のオートに登録できます。（264 ページ参照）

応用編
その他の便利な機能
TD130,TD230,FD200

指定した電話機からアラーム音を出す（時刻アラームの解除）

解除のしかた

1 機能

・機能を押します。

→機能ランプ：赤点灯

2 5 1 または 5 4 または 5 8

・5 1：アラーム１の解除

・5 4：アラーム２の解除

・5 8：全電話機のアラーム１と２を解除します。

→機能ランプ：赤点滅

3 機能

・機能を押します。

アラーム　１　カイジョ

表示例：アラーム1 解除

→機能ランプ：消灯

→約５秒後に表示が消えます。

MEMO

※解除の操作は、電話機のオートに登録できます。（264 ページ参照）

●外線を再捕捉する（フラッシュ機能）

アナログ回線でキャッチホンサービスなどを受けるときや、相手の番号を押し間違えてかけ直すときなどに便利です。

キャッチホンサービスを受ける

1 外線通話中

・通話中にキャッチホン信号が聞こえたら…「プルルプップッ…（連続）」

2 [フラッシュ]

・[フラッシュ]を押します。押すたびに、通話相手が切り替わります。

・ＷＳ子機は[フラッシュ]を押した後[スピーカ]を押します。

・ＤＣ子機は[フック 機能/クリア]を押します。

キャッチホンサービス

・キャッチホンサービスとはお話中に他から電話がかかってきたときに、通話相手を切り替えることができるＮＴＴのサービスです。
・現在は、従来のキャッチホンとコールウェイティングを総称してキャッチホンと呼びます。
・キャッチホンサービスのご依頼は、最寄のＮＴＴ窓口にお問い合わせください。
・デジタル回線でキャッチホンサービスを受ける場合は、217 ページを参照してください。
（ＷＳ子機、ＤＣ子機は、デジタル回線でのキャッチホンサービスを受けることができません。）

続けて電話をかける

話しが終わって、続けて電話をかけるときや相手番号を押し間違えてかけ直すときなどは、受話器を上げたままでかけ直すことができます。

1 外線通話中

・受話器をあげたまま（ＷＳ子機は充電器からあげたまま）

2 [フラッシュ]

・[フラッシュ]を押します。

・ＷＳ子機は[フラッシュ]を押した後[スピーカ]を押します。

・ＤＣ子機のは[フック 機能/クリア]を押します。



※キャッチホンサービスを受けていないときや、キャッチホン信号が聞こえないときに[フラッシュ]（ＤＣ子機は[フック 機能/クリア]）を押すと通話が切れることがあります。

※ＷＳ子機は未使用[外線]に[フラッシュ]を登録します。（23 ページ参照）

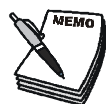
●ダイヤル回線からプッシュ信号を送出する（プッシュ信号送出）

ダイヤル（DP）回線をお使いの方でも、外線発信のときに電話がつながると自動的にプッシュ信号（PB）に切り替わり、｢ピポパポ｣音が送出されます。（自動PB切り替え）銀行の残高照会、航空券予約などのサービス、ディスプレイポケベルの操作などができます。また、自動でプッシュ信号に切り替わった後、通話中にダイヤル（DP）に戻す場合［リダイヤル］を押します。（［＊］、［＃］を押すと再度、プッシュ信号（PB）になります。）
※ＤＣ子機は、ＰＢダイヤルからＤＰダイヤルに切り替えることができません。

1　電話をかける
・**サービス提供先等に電話をかけます。**

2　相手につながる
・**サービス提供先等に電話がつながります。**

3　ダイヤルボタンを押す
・**サービス提供先等の指示にしたがってダイヤルボタンを押します。**



※ＪＲの指定席予約（＃９５００）やＮＴＴの伝言ダイヤルなどのサービスは、プッシュ回線（ＰＢ）専用ですのでダイヤル回線（ＤＰ）では利用できません。
※外線着信、ＮＴＴへのお問い合わせ｢１１３｣､｢１１６｣(局番なし)、およびフリーダイヤル０１２０などは自動ＰＢ切り替えになりません。この場合、通話中に［＊］、［＃］を押すとプッシュ信号に切り替わります。
※構内交換機（ＰＢＸ）に接続している場合は、自動ＰＢ切り替えができないこともあります。

●盗聴防止機能
（スクランブル）

ＷＳ２３０電話機を使っての通話は電波を使用する為、第三者に受信されたり盗聴される恐れがあります。
この盗聴防止（スクランブル）機能は、第三者が盗聴しても通話内容を聞き取りにくくする機能です。
初期は盗聴防止（スクランブル）機能が設定されています。
※盗聴防止（スクランブル）機能を解除したほうが、音声をより鮮明に聞き取れることがあります。

1 

・ＷＳ子機は充電器においたままにします。（充電器においていないときは、操作２から行います。）

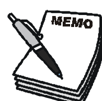
2 

・機能を押しながら＃で解除

・機能を押しながら＊でセット

無線秘話　ＯＦＦ

表示例：スクランブル解除
→約５秒後に表示が消えます。



※未使用外線に機能を登録します。（23 ページ参照）

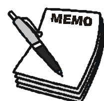
●保留音メロディを切替える（保留音メロディ切替え）

保留音メロディの曲を切り替えることができます。

1	機能	・機能を押します。	→機能ランプ：赤点灯
2	8	・8を押します。	→機能ランプ：赤点滅
3	＃	・＃を押すと現在設定されている着信音メロディが流れます。 ・（メロディ）	
4	＃または＊	・＃を押すと1つ後のメロディに切り替わります。 ・＊を押すと設定されているメロディから1つ前のメロディに切り替わります。	♪ホリュウメロディ　6 表示例：＃押下で保留音メロディを変更
5	機能	・機能を押します。	→機能ランプ：消灯

＜保留音メロディ曲名一覧表＞

①別れの曲（お買い上げ時）　②春　③赤鼻のトナカイ　④守ってあげたい　⑤オリビアを聴きながら
⑥イエローサブマリン　⑦愛の賛歌　⑧ It's a small world　⑨ミッキーマウスマーチ
⑩ランナー　⑪ We wish you a Merry Christmas



※１～３の操作は、保留メロディとして電話機のオートに登録できます。（267ページ参照）
付属のステッカ「保留メロディ」シールを貼ると便利です。
（短縮→オート→機能→＃ 8 ＃→機能の操作で保留メロディは登録できます）

●内線優先モードの使い方

※単独電話機をお使いになりたい場合には、１台接続できます。
（認定品の単独電話機を接続してください。）

・２台以上単独電話機をお使いになりたい場合には、オプションにてＳＬＴアダプタを接続してください。
・ＳＬＴアダプタ１台で単独電話機が１台接続できます。
・使用できる単独電話機はダイヤル式（ＤＰ）またはプッシュ式（ＰＢ）があります。
・お買い上げ時の「発信優先モード指定」の設定は「外線優先モード」です。
・ＳＬＴアダプタ接続時は「内線優先モード」です。
・工事設定により「外線優先モード」に変更できます。

応用編	内線優先モードの使い方 （外線発信）
単独電話機	
単独電話機 ,SLT	

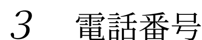
外線に電話をかけます。

1 

・受話器をあげます。　→内線発信音：「 プップッ…（ 連続）」

2 

・0を押します。　→外線発信音：「 ツー」

3 

・電話番号を押します。

4 

・#を押します。

・#を押すとすぐに電話がかかります。

・#を押さなくても約５秒後に電話がかかります。

・アナログ回線は#を押しません。

5 

・相手先が応答したら通話をします。



※外線捕捉後、最初のダイヤルボタンを押してから次の電話番号を押す間隔は５秒以内にしてください。
５秒以上になると、相手につながらないことがあります。

内線優先モードの使い方（リダイヤル）

応用編
単独電話機
単独電話機 ,SLT

最後にかけた相手に再度かけ直すことができます。

1	（受話器）	・受話器をあげます。	→内線発信音：「プップッ…（連続）」
2	9 8 4	・9 8 4を押します。 ・プッシュ式の単独電話機の場合は、9 8 4 もしくは、# を押します。	→内線発信音：消音
3	外線通話	・相手先が応答したら通話をします。	

内線優先モードの使い方（指定外線捕捉）

応用編
単独電話機
単独電話機 ,SLT

外線発信時、いずれかの外線を選んで捕捉できます。

1	（受話器）	・受話器をあげます。	→内線発信音：「プップッ…（連続）」
2	9 6 3	・9 6 3を押します。	→内線発信音：消音
3	外線番号	・いずれかの外線番号を押します。 0 1：一般回線（外線１） ～ 2 0：一般回線（外線２０）	
4	電話番号	・電話番号を押します。	
5	#	・#を押します。	

応用編
単独電話機
単独電話機 ,SLT

内線優先モードの使い方（短縮ダイヤル）

簡単な操作で電話をかけることができます。

※ダイヤル式（ＤＰ）の単独電話機では、ご利用になれません。

登録のしかた

1 （受話器をあげる） ・**受話器をあげます。** →内線発信音：「 プップッ…（ 連続）」

2 [9][8][5] ・**[9][8][5]を押します。** →内線発信音：消音

3 短縮番号 ・**個別短縮番号または共通短縮番号を押します。**

4 電話番号 ・**電話番号（最大２４桁）を押します。**

5 （受話器をおく） ・**受話器をおきます。**

かけかた

1 （受話器をあげる） ・**受話器をあげます。** →内線発信音：「 プップッ…（ 連続）」

2 [＊] ・**[＊]を押します。** →内線発信音：消音

3 短縮番号 ・**個別短縮番号または共通短縮番号を押します。**

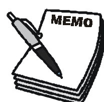
消去のしかた

1 （受話器をあげる） ・**受話器をあげます。** →内線発信音：「 プップッ…（ 連続）」

2 [9][8][5] ・**[9][8][5]を押します。** →内線発信音：消音

3 短縮番号 ・**個別短縮番号または共通短縮番号を押します。**

4 （受話器をおく） ・**受話器をおきます。**



※工事設定により共通短縮ダイヤルの登録モードを次のいずれかに変更できます。

種類	お買い上げ時	変更時	変更時
個別短縮	なし	80～99（20ヵ所）	なし
全電話機共通短縮	00～99（100ヵ所）	00～79（80ヵ所）	000～999（1000ヵ所）

内線優先モードの使い方
（外線着信）

応用編
単独電話機
単独電話機 ,SLT

外線の電話を受けます。

1 着信音
・着信音が鳴ります。
→外線着信音：「 プルル…（ 断続）」

2 （受話器）
・受話器をあげます。
・外線相手と通話をします。
→外線着信音：消音

内線優先モードの使い方
（コールピックアップ）

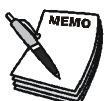
応用編
単独電話機
単独電話機 ,SLT

無鳴動の外線着信のときに応答します。

1 外線着信
・外線に着信がはいります。

2 （受話器）
・受話器をあげます。
→内線発信音：「 プップッ…（ 連続）」

3 内線特番
・内線特番を押します。
[9][6][6]：自テナント
→内線発信音：消音



※ＳＬＴアダプタに接続された単独電話機は「自テナント：[9][6][6]」または「他テナント：[9][6][0]」の操作ができます。

応用編
単独電話機
単独電話機 ,SLT

内線優先モードの使い方（外線保留）

外線を保留します。

外線通話中

1 、

- **受話器をおいてすぐに（0.8秒以内）受話器をあげると保留になります。**
- **受話器を0.8秒以上おいていると電話が切れます。**
- **この時の保留はシステム保留です。**
- **保留中は相手に保留音が流れます。**

→内線発信音：「ピッピッ…（連続）」

再通話したい場合は

2 、

- **受話器をおいてからすぐに（0.8秒以内）受話器をあげると外線相手と再通話できます。**
- **受話器を0.8秒以上おいていると、保留警報音がなります。**

→保留警報音：「プルルプルル…（連続）」



※どの電話機からでも再通話できます。

内線優先モードの使い方（自動転送）

応用編
単独電話機
単独電話機 ,SLT

内線通話後に外線を転送します。

転送する側（単独電話機側）

外線通話中（※音声個別呼出の場合）

1	（受話器をおく）、（受話器をあげる）	・受話器をおいてすぐに（0.8秒以内）受話器をあげると保留（システム保留）になります。 ・受話器を0.8秒以上おいていると電話が切れます。 ・保留中は相手に保留音が流れます。	→内線発信音 :「 ピッピッ…（ 連続）」
2	内線番号	・内線番号を押します。	→内線発信音 : 消音
3	内線通話	・相手が応答したら通話します。 「例：…さんから電話です！」	
4	（受話器をおく）	・受話器をおくと、外線が自動的に転送されます。	

転送される側

1	呼出音	・呼出音が鳴ります。 ・（呼出音）	→呼出音 :「 プププ」
2	（受話器をあげる）	・受話器をあげ、内線相手と通話します。 ・内線相手が通話を切ると、外線が自動的に転送されます。	



※信号音個別呼出の場合には、呼出音 :「プープー…（連続）」がなります。

応用編
単独電話機
単独電話機 ,SLT

内線優先モードの使い方 （強制転送）

内線から内線へ外線を直接転送します。

転送する側（単独電話機側）

外線通話中

1	、	・受話器をおいてすぐに（0.8 秒以内）受話器をあげると保留（システム保留）になります。 ・受話器を 0.8 秒以上おいていると電話が切れます。 ・保留中は相手に保留音が流れます。	→内線発信音 :「 ピッピッ…（ 連続）」
2	内線番号	・内線番号を押します。	→内線発信音 : 消音
3		・受話器をおくと、外線が自動的に転送されます。	

転送される側が約３０秒経過しても受話器をあげないと

4	保留警報音	・保留警報音が鳴ります。	→保留警報音 : 「 プルルプルル…（ 連続）」
5		・受話器をあげると、再度外線相手と通話できます。	→保留警報音 : 消音

転送される側

1	呼出音	・呼出音が鳴ります。 ・（呼出音）	→呼出音 :「 プププ」
2		・受話器をあげると、外線が自動的に転送されます。	

内線優先モードの使い方
（外線会議通話）

応用編
単独電話機
単独電話機 ,SLT

外線１人と内線３人まで会議通話ができます。（最大４人）

外線１人と内線２人で会議する場合

外線通話中

1	、	・受話器をおいてすぐに（0.8 秒以内）受話器をあげると保留になります。 ・受話器を 0.8 秒以上おいていると電話が切れます。 ・保留中は相手に保留音が流れます。	→内線発信音 :「 ピッピッ…（ 連続）」
2	内線番号	・内線番号を押します。	→内線発信音 : 消音
3	内線通話	・相手が応答したら通話します。	
4	、	・受話器をおいてすぐに（0.8秒以内）受話器をあげると会議通話できます。 ・受話器を0.8秒以上おいていると自動転送（165ページ参照）されます。 ・内線を３人参加の場合も１～４を繰り返してください。	

会議に参加する側

1	呼出音	・呼出音が鳴ります。	→呼出音 :「 プププ」
2		・受話器をあげ、内線相手と通話します。 ・内線相手の単独電話機が受話器を上げ下げすると会議通話になります。	

応用編
単独電話機
単独電話機 ,SLT

内線優先モードの使い方（内線通話）

内線を呼出して通話をします。

音声個別呼出の場合

1	（受話器）	・受話器をあげます。	→内線発信音：「 ピッピッ…（ 連続）」
2	内線番号	・内線番号を押します。	→内線発信音：消音 →呼出音：「 プププ」
3	内線通話	・相手が応答したら通話します。	



※信号音個別呼出の場合、呼出音が「プープー…（連続）」となります。

応用編
単独電話機
単独電話機 ,SLT

内線優先モードの使い方（音声／信号音切替え）

音声個別呼出／信号音個別呼出の切替
※ダイヤル式（ＤＰ）の単独電話機では、ご利用になれません。

音声個別呼出中

→音声個別呼出音：「 プププ」

1	＊	・＊を押すと「信号個別呼出音」に替わります。 ＊を押すたびに音声→信号音→音声に切り替わります。	→信号個別呼出音： 「 プープー…（ 連続）」

内線優先モードの使い方（リセットコール）

応用編
単独電話機
単独電話機 ,SLT

内線呼び出している相手が話中または不応答の時、別の内線番号をダイヤルすると次の内線番号の電話機を呼び出します。

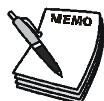
1  ・**受話器をあげます。** →内線発信音：「ピッピッ（連続）」

2 内線番号 ・**内線番号を押します。** →内線発信音：消音

（相手不応答）

3 別の内線番号 ・**内線番号を押します。**

4 通話



※ＰＢ式の一般電話機から行っている場合は、呼び出し操作後２０秒以内に別の内線番号を押してください。

内線優先モードの使い方（一斉／グループ呼出）

応用編
単独電話機
単独電話機 ,SLT

電話機一斉／電話機グループで呼び出します。

1  ・**受話器をあげます。** →内線発信音：「ピッピッ（連続）」

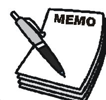
2 内線特番 ・**内線特番を押します。** →内線発信音：消音

- [9][7][0]：**一斉呼出**
- [9][7][1]：**グループA**
- [9][7][2]：**グループB**
- [9][7][3]：**グループC**
- [9][7][7]：**未使用の全電話機と構内放送の呼び出しを同時に行います。**

応答のしかた

1  ・**受話器をあげます。** →内線発信音：「ピッピッ（連続）」

2 [9][7][4] ・[9][7][4]**を押すと内線通話ができます。** →内線発信音：消音



※単独電話機は電話機一斉／グループ呼出をされたときは、着信鳴動しません。

応用編
単独電話機
単独電話機 ,SLT

内線優先モードの使い方（構内放送）

構内放送をします。（ドア・ページングユニットが必要です。）

放送のしかた

1 （受話器）
・受話器をあげます。
→内線発信音：「 ピッピッ…（ 連続）」

2 内線特番
・内線特番を押します。
9 7 5 : 構内放送１
9 7 6 : 構内放送２
9 7 8 : 構内放送一斉
→内線発信音：消音

応答のしかた

1 （受話器）
・受話器をあげます。
→内線発信音：「 ピッピッ…（ 連続）」

2 9 7 4
・9 7 4 を押すと、内線通話ができます。
→内線発信音：消音

応用編
単独電話機
単独電話機 ,SLT

内線優先モードの使い方（コールウェイティング）

内線相手が通話中にそのまま待っていると、相手の通話が終わりしだい呼び出します。

単独電話機側

1 （受話器）
・受話器をあげます。
→内線発信音：「 プップッ…（ 連続）」

2 内線番号
・内線番号を押します。
・内線相手が通話中の場合、ビジートーンが鳴ります。
→内線発信音：消音
→ビジ―ト ーン：「 プープー…（ 連続）」

そのまま待っていると
・内線相手が通話終了後呼出音が鳴ります。
・相手が応答したら通話をします。
→ビジ―ト ーン：消音
→呼出音：「 プププ」

内線相手側

1 呼出音
・通話が終わると呼出音が鳴ります。
→呼出音：「 プププ」

2 （受話器）
・受話器をあげると単独電話機と通話ができます。

内線優先モードの使い方
（内線代理応答）

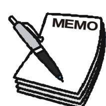
応用編
単独電話機
単独電話機 ,SLT

すべての内線の代わりに応答ができます。

他の内線に着信がはいったとき

1 （受話器をあげる）
・受話器をあげます。
→内線発信音：「 プップッ…（ 連続）」

2 [9][6][1]
・[9][6][1]を押すと代理応答して内線通話ができます。
→内線発信音：消音



※ＳＬＴアダプタに接続された単独電話機は、自テナント内の内線のときだけ内線代理応答できます。

内線優先モードの使い方
（内線保留）

応用編
単独電話機
単独電話機 ,SLT

内線を保留します。

内線通話中

1 （受話器をおく）、（受話器をあげる）
・受話器をおいてすぐに（0.8 秒以内）受話器をあげると保留になります。
・受話器を 0.8 秒以上おいていると電話が切れます。
・保留中は相手に保留音が流れます。
→内線発信音：「 プップッ…（ 連続）」

保留再応答のしかた

2 （受話器をおく）、（受話器をあげる）
・受話器をおいてすぐに（0.8 秒以内）受話器をあげると内線相手と再通話できます。
・受話器を 0.8 秒以上おいていると、保留警報音が鳴ります。
→保留警報音：「 プルルプルル（ 連続）」

応用編
単独電話機
単独電話機 ,SLT

内線優先モードの使い方（内線保留転送）

内線通話後、別の内線に転送します。

転送する側（単独電話機）

内線通話中（※音声個別呼出の場合）

1 

- **受話器をおいてすぐに（0.8 秒以内）受話器をあげると保留になります。**
- **受話器を 0.8 秒以上おいていると内線通話が切れます。**
- **保留中は相手に保留音が流れます。**

→内線発信音 :「 プップッ…（ 連続）」

2 内線番号

- **他の内線番号を押します。**

→内線発信音 : 消音

3 内線通話

- **相手が応答したら通話します。**
  「例：…さんの電話を転送します。」

4 

- **受話器をおくと電話が転送されます。**

転送される側

1 呼出音

- **呼出音が鳴ります。**

→呼出音 :「 プププ」

2 

- **受話器をあげ、内線通話します。**
- **相手が通話を切ると自動的に別の内線が転送されます。**



※信号音個別呼出の場合には、呼出音 :「プープー…（連続）」がなります。

内線優先モードの使い方
(待機中通知)

応用編
単独電話機
単独電話機 ,SLT

内線相手が通話中のときに、自分が待っていることを内線相手に待機中通知音で知らせてくれます。
※プッシュ式の単独電話機のときだけ待機中通知ができます。

待機中通知する側(単独電話機)

1	(受話器)	・**受話器をあげます。**	→内線発信音 :「 プップッ…(連続)」
2	内線番号	・**内線番号を押します。** ・**内線相手が通話中の場合にビジートーンが鳴ります。**	→内線発信音 : 消音 →話中音 :「 プープー…(連続)」
3	*	・***を押すと通話中の内線相手のスピーカから待機中通知音が鳴ります。**	

待機中通知される側

通話中

1	待機中通知音	・**通話中に待機中通知音が鳴ります。**	→待機中通知音 :「 プー」

応答するときは

2	保留	・**保留を押すと待機中通知した相手(単独電話機)と通話できます。**

内線優先モードの使い方（内線会議通話）

内線４人までの会議通話ができます。

内線通話中

1 （受話器をおく）、（受話器をあげる）

・受話器をおいてすぐに（0.8 秒以内）受話器をあげると保留になります。
・0.8 秒以上受話器をおいていると電話が切れます。
・保留中は相手に保留音が流れます。

→内線発信音：「 ピッピッ（ 連続）」

2 内線番号

・別の内線番号を押します。
・相手が応答したら内線通話します。

→内線発信音：消音

3 （受話器をおく）、（受話器をあげる）

・受話器をおいてすぐに（0.8 秒以内）受話器をあげると会議通話ができます。
・0.8 秒以上受話器をおいていると内線保留転送（172 ページ参照）されます。
・４人参加の場合も１～３を繰り返してください。

会議に参加する側

1 呼出音

・呼出音が鳴ります。

→呼出音：「 プププ」

2 （受話器をあげる）

・受話器をあげると内線通話ができます。
・相手（単独電話機）が受話器を上げ下げすると会議通話になります。

内線優先モードの使い方 （ドアホン通話）	応用編
	単独電話機
	単独電話機

ドアホンと通話ができます。ドア・ページングユニットが必要です。

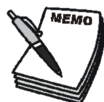
ドアホンのボタンが押されると

1 呼出音

・ドアホン呼出音が鳴ります。

2

・ドアホン呼出音が鳴り始めてから約１５秒以内に受話器をあげるとドアホン通話ができます。



※ＳＬＴアダプタで接続された単独電話機は、ドアホン通話ができません。

内線優先モードの使い方 （ドアホンモニタ）	応用編
	単独電話機
	単独電話機

ドアホンモニタができます。ドア・ページングユニットが必要です。

1

・受話器をあげます。

→内線発信音：「 ピッピッ…（ 連続）」

2 内線特番

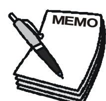
・次の内線特番を押すとドアホンモニタができます。

[9][8][1]**：ドアホン１**

[9][8][2]**：ドアホン２**

[9][8][3]**：ドアホン３**

→内線発信音：消音



※ＳＬＴアダプタで接続された単独電話機は、ドアホンモニタができません。

応用編
単独電話機
単独電話機 ,SLT

●外線優先モードの使い方

※受話器をあげると外線発信音が聞こえます。

・内線を呼び出す場合は下記の操作を行います。

	操作	説明	音
1	（受話器をあげる）	・受話器をあげます。	→外線発信音：「 ツー」
2	（受話器をおく）、（受話器をあげる）	・受話器をおいてすぐに（0.8 秒以内）受話器をあげますと内線発信音が聞こえます。	→内線発信音：「 ピッピッ…（ 連続）」
3	内線番号	・内線番号を押します。 ・相手が応答したら通話できます。	→内線発信音：消音



※単独電話機から電話をかけるときは未使用の空き外線を自動的につかみます。
※単独電話機はＮＴＴのキャッチホンサービスなどが受けられません。

応用編
単独電話機
単独電話機 ,SLT

外線優先モードの使い方（外線発信）

外線に電話をかけます。

	操作	説明	音
1	（受話器をあげる）	・受話器をあげます。	→外線発信音：「 ツー」
2	電話番号	・相手の電話番号を押します。 ・相手が応答したら通話ができます。	
3	＃	・＃を押します。 ・＃を押すとすぐに電話がかかります。 ・＃を押さなくても約５秒後に電話がかかります。 ・アナログ回線は＃を押しません。	



※単独電話機から電話をかけるときは、未使用の空き外線を自動的につかみます。
※外線捕捉後、最初のダイヤルボタンを押してから次の電話番号を押す間隔は５秒以内にしてください。
５秒以上になると、相手につながらないことがあります。

外線優先モードの使い方
（外線着信）

応用編
単独電話機
単独電話機 ,SLT

外線の電話を受けます。

1	着信音	**・外線着信音が鳴ります。**	→外線着信音 :「 プルル…（ 断続）」
2	（受話器）	**・受話器をあげると外線の相手と通話ができます。**	→外線着信音 : 消音

外線優先モードの使い方
（内線優先モードと共通操作）

応用編
単独電話機
単独電話機 ,SLT

次の機能は内線優先モードの使い方と同じ操作手順です。

・外線保留　　　（164 ページ参照）
・自動転送　　　（165 ページ参照）
・強制転送　　　（166 ページ参照）
・外線会議通話　（167 ページ参照）

●外線着信をＦＡＸに転送する（ＦＡＸ転送）

単独電話機用ポートおよびＳＬＴアダプタにＦＡＸを接続できます。
※ＦＡＸの送信はお使いのＦＡＸの操作方法に従ってください。
※ＦＡＸの無鳴動着信の受付けはできません。
※電話とＦＡＸを共用してご利用される場合は、ダイヤルインサービスまたはｉ・ナンバーサービスを利用してのＦＡＸ接続をお勧めします。

かかってきた電話がＦＡＸ送信のとき、ＦＡＸへ転送できます。

外線着信　→外線着信音：「プルル…（断続）」

1 （受話器をあげる）
- 受話器をあげます。
- ＷＳ子機は充電器からあげます。充電器においていないときは［外線］を押します。
- ＤＣ子機は［☎］（または［外線］）を押します。

→外線着信音：消音

2 ＦＡＸ送信音（「ポ…ポ」）が聞こえる

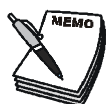
3 ［保留］
- ［保留］を押します。

→内線発信音：「ピッピッ…（連続）」

4 ＦＡＸの内線番号
- 単独電話機用ポートの場合、［4］［2］（または［9］［9］［9］）を押します。
- ＳＬＴアダプタにＦＡＸを接続した場合は、ＳＬＴアダプタを接続した内線番号を押します。

→内線発信音：消音

5 （受話器をおく）
- 受話器をおくと、ＦＡＸに自動で転送されます。
- ＷＳ子機は（充電器におく）（または、［切］を押します。）
- ＤＣ子機は［☎電源］を押します。



※３，４の操作は電話機の［オート］（ＷＳ子機、ＤＣ子機は未使用［外線］）に登録できます。（263 ページ参照）
登録後は次の操作をします。

（受話器をあげる）→［オート］→（受話器をおく）　（ＷＳ子機は（充電器からあげる）→［オート］→（充電器におく）。ＤＣ子機は［外線］→［オート］→［☎電源］）

※付属のステッカ「ＦＡＸ」シールを貼ると便利です。
※保留転送後、転送先が約３０秒経過しても応答しない場合は、保留警報音が鳴ります。

●メインメニューについて（メインメニュー）

ＦＤ２００電話機は、大型表示機能と画面のカーソルを移動して選択したりできるＭＦキー、漢字表示などを備えた多機能ボタン電話機です。

1 ◀▲▼▶（ＭＦキー下） ・▼を１回押します。

《メインメニュー 》 1/2
1:電話帳
2:発信記録
3:着信記録
4:内線番号一覧
5:ＣＴＩ

2 ◀▲▼▶（ＭＦキー右） ・▶を１回押します。

《メインメニュー 》 2/2
6:操作ガイド
7:コントラスト調整
＃:終了（フラッシュ）

《メインメニューの概要》

１：電話帳 ：名前と合わせて登録された電話番号を名前から検索して、電話をかけることができます。

２：発信記録 ：最後にかけた電話番号から１０件まで記録（各電話機ごと）し、その１０件の中から選んでかけ直すことができます。

３：着信記録 ：「発信者番号通知サービス」で表示された電話番号を最新の記録からシステムで１００件までを記録し表示することができます。また、表示された電話番号へ発信することができます。

４：内線番号一覧 ：本システムの内線電話機の接続状況と内線名前が表示されます。内線相手を選択して、呼出すことができます。

５：ＣＴＩ ：本システムに接続されたＣＴＩサーバのアプリケーションが提供する機能を利用することができます。（※ＣＴＩについては、ＣＴＩに付属の取扱説明書をご覧下さい。）

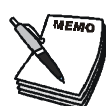
６：操作ガイド ：本システムで使用する機能特番、内線特番、短縮ダイヤル（登録、確認）、オートダイヤル（登録、確認）の操作をディスプレイから確認し一部機能についてはそのまま実行することもできます。

７：コントラスト調整 ：ＦＤ２００電話機の画面のコントラストを調整することができます。

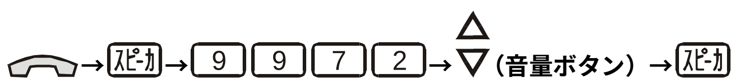
＃：終了（フラッシュ） ：各画面から、[フラッシュ]を押すと初期画面に戻ります。

●コントラスト調整

操作	説明	表示
1 ◀▲▼▶（ＭＦキー下）	・▼を１回押します。	《メインメニュー　》　1/2 1:電話帳 2:発信記録 3:着信記録 4:内線番号一覧 5:ＣＴＩ
2 ◀▲▼▶（ＭＦキー右）	・▶を１回押します。 ・[7]を押して直接コントラスト調整を選択することもできます。その後、操作５から行います。	《メインメニュー　》　2/2 6:操作ガイド 7:コントラスト調整 ＃:終了（フラッシュ）
3 ◀▲▼▶（ＭＦキー下）	・▼を１回押します。 ・コントラスト調整を選択します。	《メインメニュー　》　2/2 6:操作ガイド 7:コントラスト調整 ＃:終了（フラッシュ）
4 [確定]	・確定ボタンを押します。	《　コントラスト調整　》 △：濃くする ▽：薄くする 音量ボタンで調整
5 △▽（音量ボタン）	・音量ボタンにより最適なコントラストに調整してください。	
6 [確定]	・確定ボタンを押します。 調整したコントラストになります。	



※上記操作以外に、次のように操作してもコントラスト調整できます。



●短縮ダイヤル、電話帳を登録する（電話帳登録）

電話番号と名前を合わせて電話帳として登録することができます。電話番号をあらかじめ登録しておくと、簡単な操作で電話がかけられます。登録できる短縮ダイヤルの数を変更するには工事設定が必要です。

種類	お買い上げ時	変更時	変更時
個別短縮	なし	80～99（20ヵ所）	なし
全電話機共通短縮	00～99（100ヵ所）	00～79（80ヵ所）	000～999（1000ヵ所）

電話帳を登録

1 短縮

・短縮を押します。

→会議ランプ：赤点滅

2 短縮番号

・個別短縮番号、共通短縮番号、＊のいずれかを押します。

・＊を押すと、共通短縮番号の未登録番号を若番から検索し表示します。

短縮：００
番号：登録なし
名前：
カナ：
着音：

→会議ランプ：消灯

3 機能

・機能を押します。

→機能ランプ：赤点滅

4 電話番号

5 ◀▲▼▶（ＭＦキー下）

・電話番号を入力します（最大２４桁）
・電話番号が１６桁以上になると下１５桁を表示します。
・内線番号の登録はできません。
・電話番号登録後、名前以降を登録しない場合は、182 ページの操作１２へ進み終了します。

短縮：００
番号：０３３４９３５１１１
名前：
カナ：
着音：

6 名前を登録

・名前を登録せずにカナを登録する場合は、続けて▼を押します。
・電話帳キーで文字入力モードを変更します。

→全かな→全カナ→全英→全数

・文字入力には、ダイヤルボタンから入力します。（文字数は、全角で最大10文字）
・入力できる文字は、次の表のとおりです。（かな文字や漢字も入力できます。）

ダイヤルボタン	カナ	英字	数字
1	アイウエオ　ァィゥェォ	スペース（空き）	1
2	カキクケコ	ＡＢＣ　ａｂｃ	2
3	サシスセソ	ＤＥＦ　ｄｅｆ	3
4	タチツテトッ	ＧＨＩ　ｇｈｉ	4
5	ナニヌネノ	ＪＫＬ　ｊｋｌ	5
6	ハヒフヘホ	ＭＮＯ　ｍｎｏ	6
7	マミムメモ	ＰＱＲＳ　ｐｑｒｓ	7
8	ヤユヨャュョ	ＴＵＶ　ｔｕｖ	8
9	ラリルレロ	ＷＸＹＺ　ｗｘｙｚ	9
0	ワヲン゛゜ー・！？、。	＠．～ ／：＿！？’－＆（）”＄％＋ ，；＜＝＞［￥］＾｀｛｜｝「」＊＃	0
＊	カーソル左移動で文字消去（またはカーソル位置の文字消去）		
＃	カーソル右移動（同じ文字を続けて入力するときなどに押します。）		
ﾌﾗｯｼｭ	入力した文字を全て消去		

次ページへ

短縮ダイヤル、電話帳を登録する（電話帳登録）

（かな文字を漢字に変換する）

（例）たむら　と入力後

・名前登録時に「全かな」モードで入力されたかな文字を、漢字に変換します。

短縮：００
番号：０３３４９３５１１１
名前：たむら
カナ：
着音：

7 ◀▲▼▶（ＭＦキー下）

・ＭＦキー▼を押すと変換候補の漢字を表示します。

短縮：００
番号：０３３４９３５１１１
名前：田村
カナ：
着音：

8 確定

・変換候補を確定するときは、確定ボタンを押してください。
・表示された候補の次を表示させるときは、▼を押すと次の変換候補を表示します。

短縮：００
番号：０３３４９３５１１１
名前：田村
カナ：
着音：

・変換候補で、確定する漢字が表示されないときは、 電話帳ボタンを押したあとにかな文字で、変換文字を変更して確認してください。

9 ◀▲▼▶（ＭＦキー下）

・ＭＦキー▼を押すと確定した漢字を入力したときのかな文字をカナ文字に変更して自動で表示されます。
・編集を行うときは、 ◀　▶左右キーでカーソルを移動して編集できます。(最大１６文字入力できます。)

短縮：００
番号：０３３４９３５１１１
名前：田村
カナ：タムラ
着音：

10 ◀▲▼▶（ＭＦキー下）

・ＭＦキー▼を押します。
・カナ登録後、識別着信音を登録しない場合は、操作 12 へ進み終了します。

短縮：００
番号：０３３４９３５１１１
名前：田村
カナ：タムラ
着音：

11 識別着信音の登録 ※１

・各種着信音に対応した番号を押します。

1：着信音１	6：着信音６
2：着信音２	7：着信音７
3：着信音３	8：着信音８
4：着信音４	9：着信メロディ
5：着信音５	

※１　89 ページの識別着信をご覧ください。

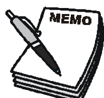
短縮：００
番号：０３３４９３５１１１
名前：田村
カナ：タムラ
着音：１

表示例：識別着信音１

12 機能

・機能を押します。

→機能ランプ：消灯

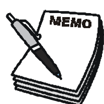


※電話番号入力時に以下のこともできます。
・ポーズ（Ｐ表示）（待ち時間：お買い上げ時は約３秒）は短縮を押します。
電話番号の途中にポーズを入れないでください。相手につながらないことがあります。（デジタル回線）
（登録されたポーズの後の番号は、相手応答がなくても続けて番号を送出します。）
・ﾌﾗｯｼｭを押すと「－」（ハイフン）を入力することができます。（名前入力時は、全消去になります。）
・ＭＦキー◀　▶でカーソルを移動して編集できます。
・会議を押すと最後の１桁（またはカーソル位置）を削除します。

※名前およびカナの入力モードで、ﾌﾗｯｼｭを押すと文字を全消去します。会議を押すとカーソル上の文字を消去します。
※短縮ダイヤルの確認／消去／変更のしかたは、94､95 ページを参照してください。

●名前を検索して電話をかける（電話帳から発信）

手順	操作	説明	表示
1	電話帳（電話帳）	・電話帳を押します。 ・電話帳を再度押すと文字入力モードが次のように変更されます。 →全カナ→全英→全数	《 電話帳検索 》 検索文字[　　　　　] →機能ランプ：赤点滅
2	検索する名前を先頭から５文字以内で入力	・検索する文字を入力してください。（検索は、カナ文字登録での検索になります。） ・検索できる文字数は最大５文字までです。	
3	確定（確定キー）	・確定キーを押します。 ・候補がない場合は、登録されている名前の優先順位の一つ後の名前を表示します。	《電話帳》 05:田村電機　0334935111 06:田村ビジネス　0987654321 08:田村ＡＢＣ　0123456789 18:田村Ｃ商事　9876543210 53:田村ＮＥＴ　0345678901 表示例：「 タ」で検索
4	◀▲▼▶（ＭＦキー）	・カーソルを上下に移動するには、ＭＦキーの▲▼で移動します。 ・検索された次画面を表示するには、	
5	発信	・発信（または外線）を押します。 ・未使用外線を自動選択し選択されている電話番号へ発信します。	



※電話帳検索で、文字の表示優先順位は、次のとおりです。

「－（バー）」→「゛（濁点）」→「゜（半濁点）」→「ア」→「ァ」→「イ」→「ィ」→（中略）→「ヲ」→「ン」→「A」→「a」→「B」→「b」→（中略）→「Z」→「z」→「0」→「1」→「2」→（中略）→「9」→「！」→「“」→「＃」→「＄」→「%」→「&」→「‘」→「(」→「)」→「＊」→「+」→「,」→「－（マイナス）」→「.」→「／」→「：」→「；」→「<」→「=」→「>」→「？」→「@」→「[」→「¥」→「]」→「＾」→「＿」→「｀」→「{」→「｜」→「}」→「~」→「。」→「「」→「」」→「、」→「・」→「 （スペース）」

●発信履歴から電話をかける（発信記録から発信）

最後にかけた電話番号から１０件まで記録（各電話機ごと）し、その１０件の中から選んでかけ直すことができます。

1 (ＭＦキー下)

・ＭＦキーの▼を２回押します。メインメニューの発信記録が選択されます。

・ＭＦキーの▼を１回、2でも選択できます。

《メインメニュー　》	1/2
1:電話帳	
2:発信記録	
3:着信記録	
4:内線番号一覧	
5:ＣＴＩ	

2 (確定キー)

・確定を押します。発信記録画面が表示されます。

《 発信記録 》	
01:田村電機	[100]
02:	0123456789
03:	0987654321
04:	117
05:	177

3 (ＭＦキー)

・カーソルを上下に移動するには、ＭＦキーの▲▼で移動します。

・表示の次画面を表示するには、Ｍ

4 発信

・発信(または外線）を押します。

・未使用外線を自動選択し、選択されている発信記録先へ自動発信します。

→スピーカランプ：点灯
→機能ランプ：点滅
（オートリピートになる。）
→老番の未使用外線ランプ：緑点灯

●着信履歴から電話をかける（着信記録から発信）

「発信者番号通知サービス」で表示された電話番号を最新の記録からシステムで１００件までを記録し、表示することができます。また、表示された電話番号へ自動発信することができます。
※名前が登録してある共通短縮ダイヤルと電話番号が一致している場合には、名前と電話番号が表示されます。
※ＩＮＳナンバーディスプレイ契約時、公衆電話機からの発信や相手非通知、サービス提供不可なども着信記録に残ります。（235 ページ参照）工事設定により、残らないようにすることもできます。

1 ◀▲▼▶(ＭＦキー下)

・ＭＦキーの▼を３回押します。メインメニューの着信記録が選択されます。
・ＭＦキーを１回、[3]でも選択できます。

《メインメニュー　》　1/2
1:電話帳
2:発信記録
3:着信記録
4:内線番号一覧
5:ＣＴＩ

2 

・[確定]を押します。着信記録画面が表示されます。

《 着信記録 》	
001:田村電機	0334935111
7月 7日(金)午前 10:10	内線４１
002:田村電機	0987654321
7月 7日(金)午前 10:01	山田

表示例：最新の着信記録

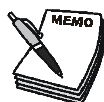
3 ◀▲▼▶(ＭＦキー)

・カーソルを上下に移動するには、ＭＦキーの▲▼で移動します。
・表示の次画面を表示するには、ＭＦキーの◀ ▶で移動できます。

4 [発信]

・[発信]（または[外線]）を押します。
・未使用外線を自動選択し、選択されている発信記録先へ自動発信します。

→スピーカランプ：点灯
→機能ランプ：点滅
（オートリピートになる。）
→老番の未使用外線ランプ：緑点灯



※着信記録に表示された、内線番号（または内線名前）は、最後に通話した内線番号が記録されます。
※ＩＮＳネームディスプレイ（235 ページ）の着信記録は、例「００１>田村電機」が表示されます。

●内線／ドアホンを名前で表示する（内線／ドアホン名前表示）

あらかじめ内線／ドアホン番号に対応させて名前を漢字登録（最大８文字）しておくと、内線の発着信時や、ドアホン着信時、他の人が使用している外線ボタンを押下した時など登録されている名前を表示します。

登録のしかた

1 [機能]

・[機能]を押します。

→機能ランプ：赤点灯

2 [9][6]

・[9][6]を押します。

```
内線 [  ] 名前  登録
  6月21日 （木）
  午後  12：56
```

表示例：内線／ドアホン番号入力待ち
→機能ランプ：赤点滅

3 登録する内線／ドアホン番号

・内線名前を登録する内線番号をダイヤルします。
・内線番号は１０～８９の間で割り付けられています。
・ドアホン番号は０１～０３の間で割り付けられています。

```
内線：１０
名前：█
カナ：
```

表示例：内線番号１０の名前を登録

4 名前を入力

・[電話帳]（81ページ）で文字入力モードを変更します。

→[全かな]→[全カナ]→[全英]→[全数]→（先頭に戻る）

・文字入力には、ダイヤルボタンから入力します。（文字数は、全角で最大８文字）
・入力できる文字は、次の表のとおりです。

ダイヤルボタン	カナ	英字	数字
[1]	アイウエオ　ァィゥェォ	スペース（空き）	1
[2]	カキクケコ	ＡＢＣ　ａｂｃ	2
[3]	サシスセソ	ＤＥＦ　ｄｅｆ	3
[4]	タチツテトッ	ＧＨＩ　ｇｈｉ	4
[5]	ナニヌネノ	ＪＫＬ　ｊｋｌ	5
[6]	ハヒフヘホ	ＭＮＯ　ｍｎｏ	6
[7]	マミムメモ	ＰＱＲＳ　ｐｑｒｓ	7
[8]	ヤユヨャュョ	ＴＵＶ　ｔｕｖ	8
[9]	ラリルレロ	ＷＸＹＺ　ｗｘｙｚ	9
[0]	ワヲン゛゜ー・！？、。	＠.～／：＿！？’－＆（）”＄％＋ ，；＜＝＞［￥］＾｀｛｜｝「」＊＃	0
[＊]	カーソル左移動で文字消去（またはカーソル位置の文字消去）		
[＃]	カーソル右移動（同じ文字を続けて入力するときなどに押します。）		
[フラッシュ]	入力した文字を全て消去		

次ページへ

内線／ドアホンを名前で表示する（内線／ドアホン名前表示）

（かな文字を漢字に変換する）

（例）たむら　と入力後

・名前登録時に「全かな」モードで入力されたかな文字を、漢字に変換します。

内線：１０
名前：たむら
カナ：

5 ◀▲▼▶（ＭＦキー下）

・ＭＦキー▼を押すと変換候補の漢字を表示します。

内線：１０
名前：田村
カナ：

6 

・変換候補を確定するときは、確定キーを押してください。
・表示された候補の次を表示させるときは、▼を押すと次の変換候補を表示します。

内線：１０
名前：田村
カナ：

・変換候補で、確定する漢字が表示されないときは、 電話帳キーを押したあとにかな文字で、変換文字を変更して確認してください。

7 ◀▲▼▶（ＭＦキー下）

・ＭＦキー▼を押すと確定した漢字を入力したときのかな文字をカナ文字に変更して自動で表示されます。
・編集を行うときは、◀　▶左右キーでカーソルを移動して編集できます。（最大７文字の入力ができます）

内線：１０
名前：田村
カナ：タムラ

8 機能

・機能を押します。

→機能ランプ：消灯



※入力モードで、フラッシュを押すと文字を全消去します。会議を押すとカーソル上の文字を消去します。

内線／ドアホン名前消去のしかた

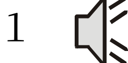
「登録のしかた」(186 ページ)の操作１、２、３、フラッシュ、◀▲▼▶（ＭＦキー下）、フラッシュ、機能の順に行います。

●ドアホンからの呼出しで通話をする（ドアホン通話）

本システムは、ドアホンと通話することができます。ドア・ページングユニットが必要です。



・ドアホンから呼出し

1 

・スピーカから呼出音が鳴ります。

ドアホン１

表示例：ドアホン1 から呼出

2 

・受話器をあげて応答後、ドアホンと通話できます。
・ＷＳ子機は充電器からあげます。充電器においていないときは、[スピーカ]を押します。
・ＤＣ子機は[内線]を押します。

１２ ══ ドアホン１

表示例：内線12で応答
→内線ランプ：赤点灯



※ドアホン呼出音の選択は、工事設定になります。
※ＷＳ子機、ＤＣ子機のドアホン呼出音は、ＴＤ１３０，ＴＤ２３０，ＦＤ２００の通常の呼出音と異なります。
※ドアホン呼出音が鳴り始めてから、１５秒以内に応答してください。１５秒過ぎると応答できません。
※ドアホンは、最大３台まで接続できます。但し、同時通話は１台です。
※外線通話中または内線通話中にドアホン着信があると、スピーカから呼出音が鳴ります。（ＷＳ子機は受話口から呼出音が小さく聞こえます。ＤＣ子機は鳴りません。）通話を終了するか保留してから応答してください。
※工事設定により、ドアホン着信にオフフックしただけで自動応答できなくすることもできます。

●ドアホンの周囲をモニタする（ドアホンモニタ）

オプション編
ドアホンモニタ
TD130,TD230,FD200,WS,DC

ドア・ページングユニットが必要です。

1 スピーカ
- スピーカを押します。
- ＤＣ子機は内線を押します。

12→[_]

表示例：内線12
→スピーカランプ：赤点灯
→内線ランプ：赤点灯

2 9 8
- 9 8を押します。

3 1～3 いずれか
- ドアホンの番号を押します。
  1：ドアホン１
  2：ドアホン２
  3：ドアホン３

12 ═ ドアホン　1

表示例：内線12 ドアホン1

4 ドアホンモニタ

5 スピーカ(終了)
- モニタを終了するには、スピーカを押します。
- ＷＳ子機は切を押します。
- ＤＣ子機は電源を押します。

→スピーカランプ：消灯



※２、３の操作は電話機の オート（ＷＳ子機、ＤＣ子機は未使用外線）に登録できます。（263 ページ参照）
※付属のステッカ「ドア１モニタ」、「ドア２モニタ」、「ドア３モニタ」シールを貼ると便利です。
※ドアホン呼出音を停止している電話機でも、ドアホンモニタできます。

●玄関などのドアの鍵を解除する（ドアロック解除）

オプション編
ドアロック解除
TD130,TD230,FD200,WS,DC

工事設定により、ドアホン通話中に電気錠などを解除します。ドア・ページングユニットが必要です。

1 ドアホン通話中

2 機能
- 機能を押します。
- ＤＣ子機は機能(F)を押します。

→機能ランプ：赤点灯

3 6
- ドアロックを解除します。

ドアホン１　カイジョ

→機能ランプ：消灯



※２、３の操作は電話機の オート（ＷＳ子機、ＤＣ子機は未使用外線）に登録できます。（263 ページ参照）
※付属のステッカ「ドアロック」シールを貼ると便利です。
※ＷＳ子機は未使用外線に機能を登録します。（23 ページ参照）
※ＤＣ子機は未使用外線に機能(F)を登録します。（28 ページ参照）

●留守番の概要

録音ユニット（ＲＥＣ２００）を接続することで留守番機能を利用できます。

1　応答録音（留守録）

留守番セット中にかかってきた電話に応答録音メッセージを流して相手の用件を録音します。
用件が録音されると、電話機表示部に用件録音の件数が表示されます。
応答録音には、３つのモードがあります。モードによって応答録音メッセージを切り替えることができます。
モード１メッセージは次の固定内蔵メッセージも用意してあります。
「ただいま、留守にしております。ピーという音のあとにご用件をお話ください。」が流れます。

2　応答専用（お知らせ）

留守番セット中にかかってきた電話に応答専用メッセージを流して、通話を終了します。（相手の用件は、録音しません。）
応答専用には、３つのモードがあります。モードによって応答専用メッセージを切り替えることができます。

＜モードの種類によるメッセージ例＞
①モード１　・・・「本日の業務は終了いたしました。・・・・」
②モード２　・・・「・・・・営業開始時間は、朝９：００からとなっております。・・・」
③モード３　・・・「・・・・本日は、休業となっております。後日あらためて・・・・」
モード１メッセージは次の固定内蔵メッセージも用意してあります。
「ただいま、留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください。」が２回流れます。

3　手動応答（お待たせメッセージ応答）

外線通話中のときに、他の外線へ着信があっても応答できる人がいないときなど通話中の電話機操作で、お待たせメッセージを流して応答させることができます。メッセージ送出後に、自動的に保留状態になります。
お待たせメッセージは次の固定メッセージを用意してあります。「ただいま電話が混み合っております。恐れ入りますが、そのままお待ちいただくか、のちほどおかけ直しください。」が流れます。

4　追っかけ転送

留守番セット中に用件が録音されると、あらかじめ登録された転送先の携帯電話などへ自動的に電話をかけます。電話を受けて、そのまま携帯電話などからリモコン操作により用件を再生することができます。

5　ダブル留守番

録音ユニット（ＲＥＣ２００）１枚で、留守番機能を2系統（ダブル）で利用することができます。留守番電話機２台分の機能が使えます。工事設定によります。ただし、非通知着信メッセージ応答機能を使うと、留守番２の留守番機能は、すべて利用できません。

6　その他

①用件一括消去　・・・・　一度再生した用件は、次回留守番セットされたときに自動的に一括消去することができます。工事設定によります。
②用件自動再生　・・・・　留守番セットを解除すると録音された用件を自動再生します。自動再生するときに、用件が録音された日時が電話機表示部に表示されます。

●留守番応答回数の変更

■留守番１指定電話機のみプログラム設定した場合

留守番１指定電話機の用件録音時間は約 36 分です。

応答録音 メッセージ 1件（固定）	お知らせ メッセージ 1件（固定）	応答録音（モード１）メッセージ 1件（30秒）	応答録音（モード２）メッセージ 1件（30秒）	応答録音（モード３）メッセージ 1件（30秒）	お待たせ メッセージ 1件（固定）	一次応答 メッセージ 1件（固定）

お知らせ（モード1） メッセージ 1件（３０秒）	お知らせ（モード2） メッセージ 1件（３０秒）	お知らせ（モード3） メッセージ 1件（３０秒）	お待たせ メッセージ 1件（３０秒）	一次応答 メッセージ 1件（３０秒）	用件最大５０（1件最大３分）

■留守番１・２指定電話機の両方をプログラム設定した場合

（留守番１指定電話機）

留守番１指定電話機の用件録音時間は約 16 分です。

応答録音 メッセージ 1件（固定）	お知らせ メッセージ 1件（固定）	応答録音（モード１）メッセージ 1件（30秒）	応答録音（モード２）メッセージ 1件（30秒）	応答録音（モード３）メッセージ 1件（30秒）	お待たせ メッセージ 1件（固定）	一次応答 メッセージ 1件（固定）

お知らせ（モード1） メッセージ 1件（３０秒）	お知らせ（モード2） メッセージ 1件（３０秒）	お知らせ（モード3） メッセージ 1件（３０秒）	お待たせ メッセージ 1件（３０秒）	一次応答 メッセージ 1件（３０秒）	用件最大２５件（1件最大３分）

（留守番２指定電話機）

留守番２指定電話機の用件録音時間は約１６分です。

応答録音 メッセージ 1件（固定）	お知らせ メッセージ 1件（固定）	非通知 メッセージ 1件（固定）	応答録音（モード１）メッセージ 1件（30秒）	応答録音（モード２）メッセージ 1件（30秒）	応答録音（モード３）メッセージ 1件（30秒）

お知らせ（モード１） メッセージ 1件（３０秒）	お知らせ（モード２） メッセージ 1件（３０秒）	お知らせ（モード３） メッセージ 1件（３０秒）	非通知 メッセージ 1件（３０秒）	用件最大２５件（1件最大３分）

留守番応答回数の変更

留守番モードで、着信してから留守番電話が応答するまでのベルの回数を次の操作で、０１回～９９回までのいずれかに変更できます。（初期３回）留守番１、２指定電話機で別々に設定します。

1	機能	・機能を押します。	→機能ランプ：赤点灯
2	7 5	・7 5を押します。	ＲＥＣ　オウトウ　カイスウ＝０３ 表示例：初期設定（３回）
3	0 1 ～ 9 9 いずれか	・ベルの回数を押します。	→機能ランプ：赤点滅
4	機能	・機能を押します。	→機能ランプ：消灯

●留守番指定電話機

留守番指定電話機を２台まで設定できます。
留守番指定電話機に設定されたとき、次の留守番用ボタンが自動的に割り付けられます。

電話機種別	ボタン名称			
	再生	消去	スキップ	留守
ＴＤ１３０電話機	外　線１３	外　線１４	外　線１５	外　線１６
ＴＤ２３０電話機	オート２７	オート２８	オート２９	オート３０
ＦＤ２００電話機	外　線１３	外　線１４	外　線１５	外　線１６

登録のしかた

留守番指定電話機のオートダイヤルのボタン変更をする場合、次の登録が必要です。

オートダイヤルｎへの登録	シール	内容
短縮 ➡ オートn ➡ 機能 ➡ 2 2 4 ➡ 機能	再生▶	用件を再生したり、再生中にメッセージの頭出しに使用する。
短縮 ➡ オートn ➡ 機能 ➡ 2 2 2 ➡ 機能	消去	用件、各種メッセージの消去に使用する。
短縮 ➡ オートn ➡ 機能 ➡ 2 2 3 ➡ 機能	スキップ▶▶	用件再生中に、次の用件を再生するときに使用する。
短縮 ➡ オートn ➡ 機能 ➡ 2 2 0 ➡ 機能	留守	留守番セットするときに使用する。
短縮 ➡ オートn ➡ 機能 ➡ 2 2 9 ➡ 機能	留守子機切替	留守番１指定電話機を留守番２指定電話機に切り替えて操作できます。 ※留守番２指定電話機から留守番１指定電話機も操作できます。

確認のしかた

短縮 ➡ 確認したいオートダイヤル ➡ 内容の表示

（例）オートダイヤル 19 ～ 23 ボタンに登録された場合（ＴＤ２３０の場合）

オートダイヤルボタン	表示
再生（オート19）	01：2：24
消去（オート20）	02：2：22
スキップ（オート21）	03：2：23
留守（オート22）	04：2：20
留守子機切替(オート23)	05：2：29

解除のしかた

短縮 ➡ 解除したいオートダイヤル ➡ 機能 ➡ 会議 ➡ 機能

変更のしかた

「登録のしかた」と同じ操作をします。

●各種メッセージ録音のしかた

各種メッセージを留守番指定電話機から録音します。内蔵の固定メッセージでご利用される場合は、メッセージの録音は不要です。
留守番１、２指定電話機からの操作になります。

録音のしかた

1 機能

・機能を押します。

→機能ランプ：赤点灯

2 7 0

・7 0を押します。

ロクオン

→機能ランプ：赤点滅

3 1～9 いずれか

・各種メッセージに対応した番号を押します。

ロクオン　ルスロク　1－1

表示例：応答録音モード1メッセージ
→スピーカランプ：赤点灯

<応答録音>
1：応答録音メッセージ（ﾓｰﾄﾞ１）
2：応答録音メッセージ（ﾓｰﾄﾞ２）
3：応答録音メッセージ（ﾓｰﾄﾞ３）
<応答専用>
4：お知らせメッセージ（ﾓｰﾄﾞ１）
5：お知らせメッセージ（ﾓｰﾄﾞ２）
6：お知らせメッセージ（ﾓｰﾄﾞ３）
<手動応答>
7：お待たせメッセージ
<一次応答外線転送>
8：一次応答メッセージ
<非通知着信拒否>
9：非通知着信拒否メッセージ

各種表示例：
ロクオン　ルスロク　1※1—1※2
ロクオン　ルスロク　1※1—2※2
ロクオン　ルスロク　1※1—3※2
ロクオン　オシラセ　1※1—1※2
ロクオン　オシラセ　1※1—2※2
ロクオン　オシラセ　1※1—3※2
ロクオン　オマタセ※3
ロクオン　テンソウ※3
ロクオン　ヒツウチ　キョヒ※4
※１　留守番指定電話機の１を表します。
※２　モードを表します。
※３　留守番１指定電話機で操作します。
※４　留守番２指定電話機で操作します。

4 

・受話器をあげる。

→スピーカランプ：消灯

5 機能

・録音開始の「ピー」が鳴ります。

→機能ランプ：消灯

6 受話器からメッセージを録音する

０６

表示例：残り時間６秒を表示

7 

・録音終了後すぐに受話器をおきます。



※１～５の操作は、電話機のｵｰﾄに登録できます。　（265、266 ページ参照）

登録後はオートダイヤル→マイク（もしくは、受話器）からメッセージを録音→ｽﾋﾟｰｶの操作になります。

●メッセージの確認／消去／変更のしかた

留守番１・２指定電話機からの操作になります。

確認のしかた

1 [機能]
・[機能]を押します。
→機能ランプ：赤点灯

2 [7][1]
・[7][1]を押します。

カクニン

→機能ランプ：赤点滅

3 [1]～[9]※1 いずれか
※１ 各種メッセージに対応した番号を押します。

カクニン　ルスロク　１－１

表示例:応答録音モード１メッセージ
→スピーカランプ：赤点灯

<応答録音>
- [1]：応答録音メッセージ（ﾓｰﾄﾞ1）
- [2]：応答録音メッセージ（ﾓｰﾄﾞ２）
- [3]：応答録音メッセージ（ﾓｰﾄﾞ３）

<応答専用>
- [4]：お知らせメッセージ（ﾓｰﾄﾞ1）
- [5]：お知らせメッセージ（ﾓｰﾄﾞ２）
- [6]：お知らせメッセージ（ﾓｰﾄﾞ３）

<手動応答>
- [7]：お待たせメッセージ※2

<一次応答外線転送>
- [8]：一次応答メッセージ※2

<非通知着信拒否>
- [9]：非通知着信拒否メッセージ※3

※２　留守番１指定電話機で操作します。
※３　留守番２指定電話機で操作します。

4 [機能]
→受付音：「ピッピッ」
→機能ランプ：消灯

消去のしかた

1 [機能]
・[機能]を押します。
→機能ランプ：赤点灯

2 [7][2]
・[7][2]を押します。

ショウキョ

→機能ランプ：赤点滅

3 [1]～[9]※1 いずれか
※１ 各種メッセージに対応した番号を押します。

ショウキョ　ルスロク　１－１

表示例：応答録音モード１メッセージ

4 [機能]
・[機能]を押します。

消去しました

→機能ランプ：消灯

変更のしかた

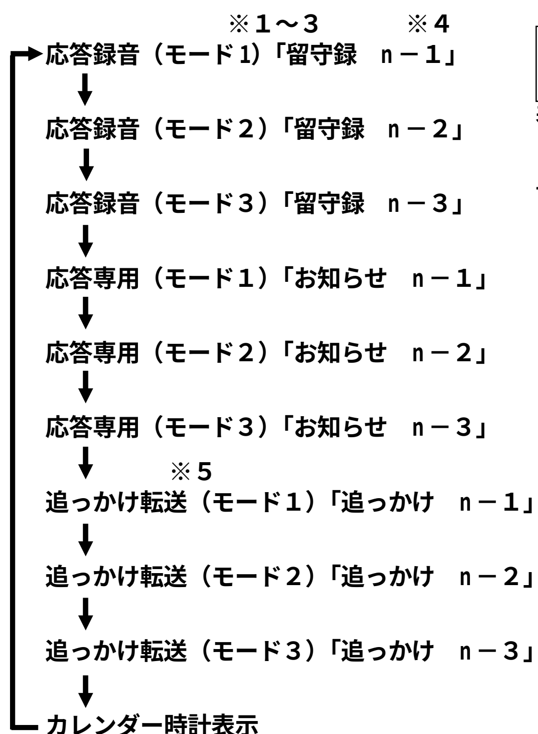
・メッセージ変更は、193 ページの「各種メッセージ録音のしかた」と同じ操作となります。

●留守番セットのしかた

オートダイヤルに登録された 留守 を押すと、留守番セット／解除の操作ができます。

1 **留守**

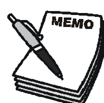
・留守 を押すたびにモードが変わります。



留守録　1－1

表示例：留守番1指定電話機で応答録音モード1
→留守ランプ：赤点灯

※1 応答録音で使うか、応答専用で使うかは工事設定によります。
※2 応答録音（モード2、3）および応答専用（モード2、3）のモードは、応答録音メッセージ（モード2、3）、応答専用メッセージ（モード2、3）が録音されている場合だけセットできます。
※3 応答録音メッセージ（モード1）または、応答専用メッセージ（モード1）が録音（193 ページ参照）されていない場合、内蔵の固定メッセージを流します。
※4「n」の表記は留守番指定電話機1の場合は「1」、留守番指定電話機2の場合は「2」を表示します。
※5 転送先電話番号の登録および、リモコン機能の暗証番号の登録がされていない場合、追っかけ転送の留守番セットはできません。（転送先電話番号の登録は 196 ページ、暗証番号の登録は 207 ページ参照）



※用件自動消去が設定されているときに、未再生録音が残っている場合、操作1を行うと用件は消去されずに留守番セットになります。
※工事設定により、非通知着信拒否機能を「あり」にした場合、留守番2指定電話機より応答録音、応答専用、追っかけ転送はできなくなります。

●追っかけ転送（転送先番号の登録 / 確認 / 変更 / 消去）

留守番１、２指定電話機で別々に操作します。

登録のしかた

留守番セットの時に、追っかけ転送をご利用される場合の転送先電話番号を登録します。

1	機能	・機能を押します。	→機能ランプ：赤点灯
2	7 3	・7 3を押します。	オッカケ１　テンソウサキ⟶ →機能ランプ：赤点滅
3	転送先電話番号	・転送先の電話番号（最大２４桁）を押します。 ・会議を押すと最後の１桁またはカーソル位置を削除します。 ・ﾌﾗｯｼｭで「－」（ハイフン）を入力できます。 ・応答を押すと短縮番号が入力できます。	
4	機能	・機能を押します。	→機能ランプ：消灯

確認のしかた

登録されている追っかけ転送の転送先電話番号を確認します。

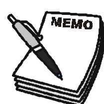
1	機能	・機能を押します。	→機能ランプ：赤点灯
2	7 4	・7 4を押します。	オッカケ１ テンソウサキカクニン →機能ランプ：赤点滅
3	機能	・機能を押します。 ・転送先電話番号が１２桁以上の場合は、転送先表示中に会議を押して続きを表示させます。	→機能ランプ：消灯

変更のしかた

「転送先電話番号登録のしかた」と同じ操作をします。

消去のしかた

「転送先電話番号登録のしかた」の操作１、２、４をします。



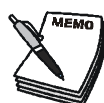
※追っかけ転送をご利用になるには、リモコン機能をご利用するための暗証番号の登録が必要です。（207 ページ参照）

※確認のしかたの操作は、電話機のｵｰﾄに登録できます。（266 ページ参照）

●電話機の留守番指定切替	オプション編
	留守番機能
	TD130、TD230、FD200

留守番１指定電話機で切り替え操作を行うことにより、留守番２指定電話機の操作を行うことができます。

1	留守子機切替	・**留守番１指定電話機で 留守子機切替 を押します。** ・**留守番２指定電話機に切り替わります。**	→留守子機切替ランプ：赤点灯
2	留守番機能の操作	・**留守子機切替 を押した後、２０秒以内に留守番機能を操作してください。**	
		・**２０秒以内に留守番機能操作を行わないと、自動的に留守番１指定電話機に戻ります。** ・**２０秒以内に 留守子機切替 を押すと、留守番１指定電話機に戻ります。**	→留守子機切替ランプ：消灯



・**切り替え操作を行うためには、あらかじめオートダイヤルに 留守子機切替 を登録する必要があります。**
（192 ページ参照）
・**留守番２指定電話機から留守番１指定電話機への切り替え操作もできます。**

●留守番セット中に電話がかかってきたら（応答録音／応答専用／追っかけ転送）

応答録音

1 電話がかかってきたら自動応答する

2 応答メッセージを流す

3 信号音「ピー」音を送出する

・応答録音用のメッセージを録音していないときは、固定応答メッセージ（ただ今、留守にしております。ピーという音の後にご用件をお話しください。）を流します。

4 用件を録音する

・用件の合計数が表示されます。

留守録　１－１　　　　６件

表示例：留守番1 指定電話機で応答録音に用件6 件あり
→留守ランプ：赤点滅

応答専用

1 電話がかかってきたら自動応答する

2 モード（1、2、3）により､メッセージが２回流れる

3 メッセージが終了すると自動的に電話を切る

・応答専用のメッセージを録音していないときは、固定応答専用メッセージ（ただいま、留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください。）を続けて２回流します。

追っかけ転送

1 留守セット中に用件録音される

・用件が満杯のときは、追っかけ転送しません。
・転送先電話番号の登録方法は、196 ページを参照してください。

2 転送先電話に自動発信

・用件が録音されると、約１分後に転送先電話番号へ自動発信します。
・約５０秒間転送先を呼出します。応答しないと電話を切ります。

3 転送先電話が応答する

・転送先が通話中のときは、３回までリダイヤルします。
・リモコンの操作は、プッシュ信号での操作になります。

4 リモコン操作で録音された用件を確認する

・転送先へは、「ピッピッ・・」音が聞こえます。
・２０秒以内に暗証番号をダイヤルするとリモコン操作ができます。



※留守機能応答後、留守番指定電話機のスピーカから相手の声が聞こえます。その時、留守番指定電話機の受話器をあげれば通話ができます。

※留守機能応答後、留守番指定電話機のスピーカから聞こえる応答メッセージや相手の音声を止めることができます。
「機能→7→7→機能」の操作を繰り返すと、スピーカから応答メッセージや相手の声を「送出する／しない」が設定されます。「送出しない」に設定すると、留守セット中の留守番指定電話機の表示に「S」が表示されます。電話機のオートに登録できます。（267 ページ参照）

※用件録音が満杯になると、応答専用に自動で切り替わります。
（固定応答専用メッセージ「ただいま留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください。」を２回流したあと、自動的に電話を切ります。用件録音できなくなります。）

※工事設定により、識別着信毎に留守番応答するか、しないかを指定できます。

●用件の再生／消去のしかた

オプション編
留守番機能
TD130,TD230,FD200

用件が録音されていれば、留守番解除をすることで、用件が自動再生されます。

用件再生のしかた

留守番セット状態から

留守録　１－１　　　７件

表示例：７件の用件録音あり
→留守ランプ：赤点滅

1 [留守]

・[留守]を押します。

・再生中の用件番号と用件が録音された日時を表示します。
・用件は、連続で再生されます。
・再生がすべて終了すると、再生ランプ、スピーカランプは消灯します。
・未再生の用件があると、再生ランプが、赤点滅します。

→受付音：「ピッピッ」
→留守ランプ：消灯
→再生ランプ：赤点灯
→スピーカランプ：赤点灯

サイセイ　ヨウケン1　０3件
１０/１２　AM　９：３０

表示例：３件目を再生

再生終了後、
→再生ランプ：消灯
→スピーカランプ：消灯

用件をもう一度初めから聞きたいとき

1 [再生]

・再生ランプが赤点滅しているときは、未再生用件があります。この場合は、未再生の用件から再生します。
・再生ランプが消灯しているときは、１件目から再生します。

用件消去のしかた（一括消去）

1 [消去]

・[消去]を押します。

ショウキョ

→機能ランプ：赤点滅

2 [0]

・[0]を押します。

ショウキョ ヨウケン

3 [機能]

・[機能]を押します。
・すべての用件を消去します。
・未再生の用件がある場合でも消去されます。

消去しました

→機能ランプ：消灯
→約５秒後に表示が消えます。



※工事設定で「用件自動消去あり」の場合、すべての用件を再生したとき、次の留守番セット時に自動消去されます。未再生の用件がある場合は、自動消去されません。

※用件再生中に、[再生]を押すと、再生が停止され今の用件を初めから再生します。

※用件再生中に、[ｽｷｯﾌﾟ]を押すと、再生が停止され次の用件を再生します。

オプション編	用件の再生／消去のしかた
留守番機能	
TD130,TD230,FD200	

用件消去のしかた（個別消去）

1 再生

・再生を押します。

2 消去

・消去を押します。

消去しますか？

3 機能

・機能を押します。
・再生中の用件を個別に消去します。
・未再生の用件がある場合でも消去されます。

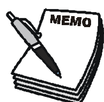
消去しました



※操作３、機能押下で１件消去後、次の用件が再生され連続消去ができます。
※未再生用件の消去も可能です。

オプション編	●識別着信留守番
留守番機能	

あらかじめ共通短縮番号に識別着信を登録している相手からの着信は、留守番セットした際、留守番応答せず着信させることができます。
識別着信による留守番応答設定は、工事設定により着信音ごとに(着信音１～８と着信メロディの９種類）それぞれ留守番応答するかしないかを指定することができます。



※留守番応答せずに着信させた場合、その着信を外線自動転送で転送することができます。(71ページ参照)

●留守番機能を日時指定で利用する（留守番機能の自動切替日時の登録）

決まった日時に留守番機能のセット・解除を自動的に行います。留守番１、２指定電話機で別々に操作します。タイマは、各曜日毎にタイマ１～４があります。

登録のしかた

	キー操作	説明	表示
1	機能	・機能を押します。	→機能ランプ：赤点灯
2	7 8	・7 8を押します。	ルスバン１　タイマ　セッテイ ヨウビ＝＿ →機能ランプ：赤点滅
3	0～6 いずれか	・曜日を設定します。 0：日、1：月、2：火 3：水、4：木、5：金 6：土	ルスバン１　タイマ　セッテイ ヨウビ＝MON　　タイマ＝＿ 表示例：月曜日に設定
4	1～4 いずれか	・セットするタイマ番号（1～4）のいずれかを選択します。	ルスバン１　タイマ　セッテイ ヨウビ＝MON　　タイマ＝１ 表示例：タイマ１に設定
5	0～6 いずれか	・他に同じタイマに設定する曜日がある場合、その曜日を設定します。 0：日、1：月、2：火 3：水、4：木、5：金 6：土	ルスバン１　タイマ　セッテイ MON１＝［－ M － － － － －
6	保留	・保留を押します。	ルスバン１　タイマ　セッテイ ジコク＝＿　：　－　：

次ページへ

留守番機能を日時指定で利用する（留守番機能の自動切替日時の登録）

7　時刻入力

・開始時刻と終了時刻を入力します。（２４時間制）
・終日の場合は、００：００～２４：００と入力してください。
・日をまたがっての時刻指定はできません。

ルスバン１　タイマ　セッテイ
ジコク＝１８：００－２２：００

表示例：１８時から２２時に設定

8　[保留]

・[保留]を押します。
・[＊]、[＃]でモード
ルスロク１※1－１※2
ルスロク１※1－２※2
ルスロク１※1－３※2
オシラセ１※1－１※2
オシラセ１※1－２※2
オシラセ１※1－３※2
オッカケ１※1－１※2
オッカケ１※1－２※2
オッカケ１※1－３※2
を決定します。

ルスバン１　タイマ　セッテイ
モード＝ルスロク　１－１

表示例：ルスロク　１－１に設定

※１ 留守番指定電話機１を表します。
※２ モードを表します。

9　[保留]

・[保留]を押します。
・[＊]、[＃]でサイレントモードのＯＮ、ＯＦＦを決定します。

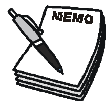
ルスバン１　タイマ　セッテイ
サイレントモード＝ＯＦＦ

表示例：サイレントモードＯＦＦに設定

10　[機能]

・[機能]を押します。
・[機能]ではなく[保留]を押すと、操作３に戻り、繰り返し登録操作ができます。

→機能ランプ：消灯



・手動で留守番セットされている場合は、指定した時刻になっても手動でセットした留守番が優先されます。

留守番機能を日時指定で利用する（留守番機能の自動切替日時の登録）

下記の【設定例】を参考にして、自動切替日時の設定を行ってください。
・「同左」の場合は、操作５で同左の曜日を設定します。

【設定例】
≪条件≫　※留守番指定電話機１の場合
・営業時間は月曜～金曜　９：００～１８：００　途中１２：００～１３：００まで昼休み
・休業日は土曜、日曜
・メッセージ内容は以下のように録音したものとします。
ルスロク１－１：「本日の営業は終了しました。月曜から金曜の９：００から営業いたします」
ルスロク１－２：「本日の営業は、９：００からとなっております。９：００以降におかけ直しください」
ルスロク１－３：「ただいまお昼休みとなっております。１３：００以降におかけ直しください」

１．日曜日と土曜日は、終日「ルスロク１－１」
２．月曜日から金曜日の０：００～６：００までは前日から引き続き「ルスロク１－１」
３．月曜日から金曜日までの６：００～９：００は「ルスロク１－２」
４．月曜日から金曜日までの１２：００～１３：００は「ルスロク１－３」
５．月曜日から金曜日までの１８：００～２４：００は「ルスロク１－１」

		日	月	火	水	木	金	土
タイマ１	時間	0:00～24:00	0:00～6:00	同左	同左	同左	同左	0:00～24:00
	モード	ルスロク1-1	ルスロク1-1					ルスロク1-1
	サイレント	ON	ON					ON
タイマ２	時間	（設定なし）	6:00～9:00	同左	同左	同左	同左	（設定なし）
	モード		ルスロク1-2					
	サイレント		ON					
タイマ３	時間	（設定なし）	12:00～13:00	同左	同左	同左	同左	（設定なし）
	モード		ルスロク1-3					
	サイレント		ON					
タイマ４	時間	（設定なし）	18:00～24:00	同左	同左	同左	同左	（設定なし）
	モード		ルスロク1-1					
	サイレント		ON					

上記の例を参考に下表に記入してから、設定すると便利です。

		日	月	火	水	木	金	土
タイマ１	時間							
	モード							
	サイレント							
タイマ２	時間							
	モード							
	サイレント							
タイマ３	時間							
	モード							
	サイレント							
タイマ４	時間							
	モード							
	サイレント							

留守番機能を日時指定で利用する（留守番機能の自動切替日時の確認）

確認のしかた

1	機能	・機能を押します。	→機能ランプ：赤点灯
2	7 9	・7 9を押します。	ルスバン１　タイマ　カクニン ヨウビ＝＿ →機能ランプ：赤点滅
3	0～6 いずれか	・曜日を設定します。 0：日、1：月、2：火 3：水、4：木、5：金 6：土	ルスバン１　タイマ　カクニン ヨウビ＝ＭＯＮ　　タイマ＝＿ 表示例：月曜日に設定
4	1～4 いずれか	・確認するタイマ番号（1～4）のいずれかを選択します。	ルスバン１　タイマ　カクニン ジコク＝１８：００－２２：００ 表示例：タイマ１に設定
5	保留	・保留を押します。	ルスバン１　タイマ　カクニン モード＝ルスロク　１－１
6	保留	・保留を押します。	ルスバン１　タイマ　セッテイ サイレントモード＝ＯＦＦ →約５秒後に機能ランプは消灯し表示も消えます。



※確認表示中に機能を押すと、その確認内容を変更、修正し登録できます。

※操作６、保留を押した後、再度、保留を押すと操作２に戻り、連続確認できます。

●留守番機能を日時指定で利用する （留守番機能の自動切替日時の消去）	オプション編 留守番機能 TD130,TD230,FD200

消去は、各曜日ごとタイマごとに消去します。

消去のしかた

手順	キー	操作	表示
1	機能	・機能を押します。	→機能ランプ：赤点灯
2	7 8	・7 8を押します。	ルスバン１　タイマ　セッテイ ヨウビ＝_ →機能ランプ：赤点滅
3	0～6 いずれか	・曜日を設定します。 0：日、1：月、2：火 3：水、4：木、5：金 6：土	ルスバン１　タイマ　セッテイ ヨウビ＝ＭＯＮ　　タイマ＝_ 表示例：月曜日に設定
4	1～4 いずれか	・消去するタイマ番号（1 ～ 4）のいずれかを選択します。	ルスバン１　タイマ　セッテイ ヨウビ＝ＭＯＮ　　タイマ＝１ 表示例：タイマ１に設定
5	0～6 いずれか	・消去する曜日を設定し、日～土まで表示しないようにします。 0：日、1：月、2：火 3：水、4：木、5：金 6：土	ルスバン１　タイマ　セッテイ ＭＯＮ１＝［－－－－－－－－］
6	機能	・機能を押します。	消去しました →機能ランプ：消灯 →約５秒後に表示が消えます。

●お待たせメッセージ応答（手動応答のしかた）

外線通話中に別外線に電話がかかってきたとき、すぐに応答できない場合は、外線通話中の電話機の操作により、お待たせメッセージを別外線の相手に１回流したあと、保留音を流します。

（例）外線１で通話中に、外線２に着信が入ったときの操作

基本的な操作

1 機能

- 機能を押します。
- ＤＣ子機は機能(F)を押します。

→機能ランプ：赤点灯

2 外線（外線２ボタン）

- 着信が入った外線２ボタンを押します。
- 外線２の相手にお待たせメッセージを１回流したあと、保留音を流します。
- 外線１の通話終了後に、保留中の外線を押し、外線２の相手と通話することができます。

→機能ランプ：消灯
→外線2ランプ：緑点滅

ワンタッチでの操作

オートダイヤルにお待たせボタンを登録しておくと、ワンタッチでの手動応答操作が可能となります。お待たせボタンの登録方法は、269 ページを参照してください。

1 お待たせ

- お待たせを押します。
- 外線２の相手にお待たせメッセージを１回流したあと、保留音を流します。
- 外線１の通話終了後に、保留中の外線を押し、外線２の相手と通話することができます。

→外線2ランプ：緑点滅



※留守番指定電話機が他の留守番機能を操作中のとき、お待たせ応答は使用できません。
※外線通話中以外に、内線通話中、ドアホン通話中、未使用状態からでも操作できます。
※お待たせ応答できる外線は、着信鳴動している外線で、お待たせメッセージ送出中に他の外線着信に対してもお待たせ応答できます。
※お待たせ応答後３分経過すると再び着信音が鳴動します。（初期設定）
（工事設定により、再び着信音が鳴動するまでの時間設定を変更できます。）
※アナログ回線でお待たせ応答中に、相手が通話を切っても保留状態のままです。一度外線を押してから切ってください。デジタル回線の場合は、相手が通話を切ると、保留中の外線は自動的に切れます。
※ＷＳ子機は未使用外線に機能を登録します。（23 ページ参照）
※ＤＣ子機は未使用外線に機能(F)を登録します。（28 ページ参照）

●リモコン機能 （暗証番号の登録／消去／変更）	オプション編 留守番機能 TD130,TD230,FD200

外出先のプッシュ信号の送出できる電話機から、リモコン操作で用件を聞いたり、各種メッセージなどの変更ができます。リモコン操作をするときは、必ず留守番１、２指定電話機で別々に暗証番号の登録が必要です。

暗証番号登録のしかた

1	機能	・機能を押します。	→機能ランプ：赤点灯
2	7 6	・7 6を押します。	ルスバンアンショウ→＿ →機能ランプ：赤点滅
3	暗証番号 （0000～9999のいずれか）	・暗証番号は必ず４桁を入力してください。	ルスバンアンショウ→＊＊＊＊ 表示例：暗証番号2222を入力
4	機能	・機能を押します。	→機能ランプ：消灯

消去のしかた

1	機能	・機能を押します。	→機能ランプ：赤点灯
2	7 6	・7 6を押します。	→機能ランプ：赤点滅
3	機能	・機能を押します。	→機能ランプ：消灯

変更のしかた

「暗証番号登録のしかた」と同じ操作をします。



※暗証番号の確認はできません。
※暗証番号が未登録のときは、リモコン機能が利用できません。
※留守番セットされていないときは、在宅時の応答回数により応答します。
※サブアドレスから直接リモコン操作ができます。

留守番１：サブアドレス 9 1

留守番２：サブアドレス 9 2

●外出先からリモコン操作をする

外出先で、プッシュ信号が送出できる電話機から、リモコン操作で用件を聞いたり、応答録音メッセージなどの変更ができます。

リモコン操作のしかた

1 外出先の電話機からシステムへ電話をかける
・外出先電話機からの操作になります。

2 システムが自動応答
・留守番セット中でのお買い上げ時の留守番応答回数は３回です。（留守番応答回数は任意に変更することができます。191 ページを参照してください。）
・留守番セットされていないときは、15 回の着信で自動応答します。この後は、操作５から操作してください。

3 応答メッセージが聞こえる
・操作４は応答メッセージ送出中に操作してください。

4 [＊]
・[＊]を押したあと、応答メッセージがとまります。

5 暗証番号
・応答メッセージ停止後、５秒以内に暗証番号を押し始めてください。
・暗証番号を押す間隔は、５秒以内で行います。

6 受付音「ピッピッ」

7 操作するリモコン番号
・詳細は 209 ページを参照してください。

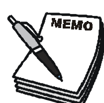
8 [＊][0]（終了）



※操作４で[＊]押下後、５秒以上経過するとしばらく無音が続いたあとに応答メッセージが聞こえ用件録音状態になります。
※応答専用（お知らせ）にセットされているときは、５秒経過すると応答専用メッセージが聞こえます。（リモコン操作ができません。）
※受付音が聞こえてから、２０秒以内にリモコン番号を押さないと、自動的に電話が切れます。
※留守番セットされていないときは、お買い上げ時は１５回の着信で自動的に応答します。（工事設定により応答回数を変更することができます。）
※暗証番号を間違えると、受付音は鳴りません。再度、正しい暗証番号を入力してください。
※暗証番号の入力は、３回まで受け付けます。それ以上、間違えると自動的に電話が切れます。
※デジタル回線で外出先からリモコン操作をしたいときは、ＭＴ２００ｂｍの電話番号にサブアドレス「９１」を付加して電話をかけると、すぐに留守番１指定電話機が自動応答します。また、サブアドレス「９２」を付加して電話をかけると、すぐに留守番２指定電話機が自動応答します。（工事設定が必要）その後、上記操作４～８を行います。

●リモコン操作一覧

機能項目			リモコン番号	動作内容
レビュー			＊ 1	1つ前の用件を再生
用件再生			＊ 2	録音された用件を再生
キュー(スキップ)			＊ 3	1つ後の用件を再生
応答録音メッセージ	モード1	再生	＊ 4 1	応答録音メッセージ(モード1)の再生
		録音(変更)	＊ 5 1	応答録音メッセージ(モード1)録音(変更)
	モード2	再生	＊ 4 2	応答録音メッセージ(モード2)の再生
		録音(変更)	＊ 5 2	応答録音メッセージ(モード2)の録音(変更)
	モード3	再生	＊ 4 3	応答録音メッセージ(モード3)の再生
		録音(変更)	＊ 5 3	応答録音メッセージ(モード3)の録音(変更)
応答専用メッセージ	モード1	再生	＊ 4 4	応答専用メッセージ(モード1)の再生
		録音(変更)	＊ 5 4	応答専用メッセージ(モード1)録音(変更)
	モード2	再生	＊ 4 5	応答専用メッセージ(モード2)の再生
		録音(変更)	＊ 5 5	応答専用メッセージ(モード2)録音(変更)
	モード3	再生	＊ 4 6	応答専用メッセージ(モード3)の再生
		録音(変更)	＊ 5 6	応答専用メッセージ(モード3)録音(変更)
追っかけ転送の転送先電話番号の登録(変更)			＊ 6 ↓ 転送先電話番号(最大24桁) ↓ # #	追っかけ転送の転送先電話番号の登録(変更)
留守番セット		応答録音	＊ 8 1	応答録音(モード1)のセット
			＊ 8 2	応答録音(モード2)のセット
			＊ 8 3	応答録音(モード3)のセット
		応答専用	＊ 8 4	応答専用(モード1)のセット
			＊ 8 5	応答専用(モード2)のセット
			＊ 8 6	応答専用(モード3)のセット
		追っかけ転送	＊ 8 7	追っかけ転送留守番(モード1)のセット
			＊ 8 8	追っかけ転送留守番(モード2)のセット
			＊ 8 9	追っかけ転送留守番(モード3)のセット
留守番セットの解除			＊ 8 0	留守番セットの解除
用件オールクリア			＊ 9 1	すべての用件を消去
終了			＊ 0	リモコン操作の終了



※各種メッセージの録音時に＊を押すと、録音を停止します。
※操作できないリモコン番号を押すとエラー音「ププププ」が聞こえます。
※リモコン操作を間違えたとき、＊(訂正) を押してから、正しいリモコン番号を押して下さい。
※用件再生中に＊を押すと、再生を停止します。

●ヘッドセット接続

受話器の代わりにヘッドセット（推奨品）を接続して通話することができます。
ヘッドセットを接続するには、工事設定が必要です。

ヘッドセットでの発信

1	電話番号	・相手先電話番号を押します。	
2	発信	・発信を押します。	→スピーカランプ：赤点灯 →外線ランプ：緑点灯
3	スピーカ（終話）	・スピーカを押します。	→スピーカランプ：消灯 →外線ランプ：消灯

ヘッドセットでの応答

外線着信に対しての応答

1	スピーカ	・スピーカを押します。 ・外線着信に応答します。	→スピーカランプ：赤点灯 →外線ランプ：緑点灯

（ヘッドセットで通話）

2	スピーカ（終話）	・スピーカを押します。	→スピーカランプ：消灯 →外線ランプ：消灯



※受話器は、置いたままの状態（オンフック状態）で、ヘッドセット通話が利用できます。
※ヘッドセットの取付方法、操作方法は、ヘッドセットに付属の説明書をご覧ください。
※ヘッドセットは、当社推奨品をご利用ください。ヘッドセットの種類によっては、うまく動作しないものがあります。
※ヘッドセットを接続した電話機からは、次の機能は利用できません。
- **スピーカ受話**
- **ハンズフリー通話**

※ヘッドセットの購入については、お買い上げの販売店にご相談ください。

ページング（構内放送）

ドア・ページングユニットを接続し、ページング（構内放送）装置と組み合わせると、電話機から構内放送ができます。

電話機から構内放送をする

1

- **受話器をあげます。**
- **ＷＳ子機は充電器からあげて［ｽﾋﾟｰｶ］を押します。**
- **ＤＣ子機は［内線］を押します。**

2 ［9］［7］［5］
（構内放送１のとき）

- **［9］［7］［5］：構内放送１**
- **［9］［7］［6］：構内放送２**
- **［9］［7］［8］：構内放送一斉**
- **予告音が聞こえます。**

スピーカ　１

表示例：構内放送呼出し1 の場合

構内放送呼び出しに応答する

1

- **受話器をあげます。**
- **ＷＳ子機は充電器からあげて［ｽﾋﾟｰｶ］を押します。**
- **ＤＣ子機は［内線］を押します。**

2 ［9］［7］［4］

- **［9］［7］［4］を押します。**



※別々の電話機から、それぞれ、構内放送１と構内放送２を同時に利用できません。
※工事設定により、構内放送からの予告音を停止するこができます。
※工事設定により、外線着信音を構内放送から流すこともできます。
※工事設定により、予告音が鳴動中に音声を送出することもできます。
※構内放送をする時の操作は、電話機の［ｵｰﾄ］(ＷＳ子機、ＤＣ子機は未使用［外線］）に登録できます。
（262 ページ参照）
※構内放送の操作を電話機の［ｵｰﾄ］(ＷＳ子機は未使用［外線］）に登録した時は、付属のステッカ「構内呼出１」、「構内呼出２」シールを貼ると便利です。

●その他の接続（アンププアダプタ / 高音量ブザー / ＢGM放送）

アンププアダプタ

アンプ・ブザー（AMP･BZ-01）をＴＤ１３０電話機、ＴＤ２３０電話機またはＦＤ２００電話機に接続すると、電話機から出るスピーカ音などが拡声されます。

・外線発信時の「ツー」音、ダイヤルボタン等を押したときのボタン押下音、およびＢＧＭ放送などは、拡声されません。

高音量ブザー

アンプ・ブザー（AMP･BZ-01）を主装置に接続すると、大きな音量で外線着信音が鳴動します。

・工事設定により、「高音量ブザー着信音指定」の設定を外線ごとに「鳴動する」にします。

ＢGM放送

ドア・ページングユニットを接続し、ＢＧＭ音源と組合せると電話機が未使用のとき、電話機のスピーカや構内放送からＢＧＭを流すことができます。工事設定が必要です。

1	機能	・機能を押します。	→機能ランプ：赤点灯
2	9 3	・１～３の操作で設定、解除ができます。	
3	機能	・機能を押します。	ＢＧＭ　ON 表示例：ＢＧＭセット →機能ランプ：消灯 →約５秒後に表示が消えます。



※ＢＧＭ放送の操作１、２、３は、電話機のオートに登録できます。（268 ページ参照）

●ＩＰ電話サービス回線で電話をかける

ＩＰ電話サービス回線を利用して発信する場合は、「プリセットダイヤル」や「オフフック発信」を利用して発信します。ＩＰ電話サービス回線を使用される場合は、工事設定が必要です。
※ＩＰ電話サービス回線をご利用するには、ＩＰ電話サービスの提供会社との契約が、別途必要です。

プリセットダイヤル

1 電話番号

・電話番号を押します。

0334935111

表示例：0334935111 をダイヤル

2 発信

・発信を押します。
・ＤＣ子機は☎を押します。
・ＩＰ電話サービスの提供エリアへの発信の場合は、自動的にＩＰ電話サービス回線を選択します。
・ＩＰ電話サービスの提供エリアでない電話番号の場合は、一般の電話回線を自動的に選択します。

0334935111
ＩＰ電話サービス　アクセス

表示例：ＩＰ電話サービス回線を選択して発信中
→スピーカランプ：赤点灯
→外線ランプ：緑点灯

オフフック発信

この機能を使用される場合は、工事設定が必要です。
ＤＣ子機は「プリセットダイヤル」と同じ操作になります。

1 電話番号

・電話番号を押します。

0334935111

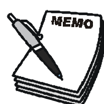
表示例：0334935111 をダイヤル

2

・受話器をあげます。
・ＷＳ子機は充電器からあげます。
・ＩＰ電話サービスの提供エリアへの発信の場合は、自動的にＩＰ電話サービス回線を選択します。
・ＩＰ電話サービスの提供エリアでない電話番号の場合は、一般の電話回線を自動的に選択します。

0334935111
ＩＰ電話サービス　アクセス

表示例：ＩＰ電話サービス回線を選択して発信中
→スピーカランプ：赤点灯
→外線ランプ：緑点灯



※電話番号の入力は、電話番号を押す以外に、電話帳や発信記録・着信記録から選んでかけることができます。

※ＩＰ電話サービス回線の外線を直接選んでから、電話番号を入力することもできますが、ＩＰ電話サービスの提供エリア以外の電話番号にはつながりませんのでご注意ください。提供エリアにつきましては、ＩＰ電話サービス提供会社にご確認ください。

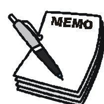
※ＩＰ電話サービス回線の外線を直接選んでから、電話番号を入力する場合は、ダイヤルとダイヤルの間が規定時間以上かかった場合つながりませんのでご注意ください。規定時間につきましては、ＩＰ電話サービス提供会社にご確認ください。

※ＩＰ電話回線をご利用しない場合は、一般の電話回線用の外線を押します。

●ＩＳＤＮサービス一覧

ＮＴＴのＩＳＤＮサービス（ＩＮＳネット６４）は、デジタル通信のメリットを生かし、通信からデータ通信、画像通信まで幅広く利用できる新しい通信網サービスです。
下記のサービスについて詳細は、最寄のＮＴＴ窓口にお問い合わせください。

サービス名		内容
基本サービス	料金情報通知	通話終了後、その通話にかかった料金が表示されます。
	サブアドレス通知	電話番号にサブアドレス（内線番号）を付加してダイヤルすることにより、指定した電話機に着信させることができます。
	発信者番号通知	ＩＳＤＮ回線へ着信の場合、かけてきた相手の番号が電話機に表示されます。
付加サービス	通話中着信通知	ＩＳＤＮ１回線において、２つの外線（情報チャンネルＢ１、Ｂ２）がふさがっているときでも、さらに他から着信があると、その着信が通知されます。
	キャッチホン（コールウェイティング）	ＩＳＤＮ１回線において、２つの外線（情報チャンネルＢ１、Ｂ２）がふさがっているときでも他から着信があると、最初の相手を保留にして、その着信に応答できます。
	迷惑電話おことわり（いたずら電話防止）	迷惑電話を受けた直後、契約者の電話機から登録操作を行なうと、以降同じ電話番号から着信がある場合、自動的にメッセージで応答します。
	ＩＮＳボイスワープ	転送元（契約者）にかかってきた電話を転送先の電話や携帯電話へ自動転送できます。
	ダイヤルイン	ダイヤルイン番号を設定することにより、指定した外線電話機に着信させることができます。システムで３２個まで使用できます。
	ＩＮＳナンバーディスプレイ	アナログ回線ユーザからの着信時も相手の発信電話番号が通知されます。発信者が番号を通知しなかった場合や番号が通知できない場合には、その理由を通知するサービスです。
	ＩＮＳネームディスプレイ	発信企業名情報を含む着信の場合、その情報を発信者名表示として表示させることができます。



※付加サービスは別途、ＮＴＴへのお申し込みが必要です。付加機能使用料（月額）がかかります。
※本システムは、スティミュラスプロトコル手順に対応しています。

●料金情報通知	ＩＳＤＮ機能編
	基本サービス
	TD130,TD230,FD200,WS,DC

通話終了後、その通話にかかった料金が表示されます。

1 電話をかける

・通話をします。

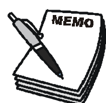
2

・通話を終了します。（ＷＳ子機は充電器に戻します。または 切 を押します。ＤＣ子機は 電源 を押します。）

［表示例は TD130、TD230 の場合］

１００円

表示例：通話料金100円



※マイライン・マイラインプラスでＮＴＴグループ以外をご契約された場合は、料金表示しません。

●サブアドレス通知	ＩＳＤＮ機能編
	基本サービス
	TD130,TD230,FD200,WS,DC

電話番号にサブアドレス（内線番号）を付加してダイヤルすることにより、内線を個別に呼び出すことができます。相手の電話設備がサブアドレスに対応している必要があります。

電話をかける場合

例）電話番号が「０３－３４９３－５１１１」でサブアドレスが「１２」の相手への発信の場合

0 3 3 4 9 3 5 1 1 1 ＊ 1 2

とダイヤルします。（通常の電話番号の後に ＊ を押します。＊ の次にサブアドレスを押します。）

電話を受ける場合

サブアドレスに対応している電話設備（ＰＨＳやＩＳＤＮ公衆電話、ＩＣカード公衆電話など）から本システムに電話をかける場合は、内線番号がサブアドレスになります。

●発信者番号通知

ＩＳＤＮ回線への着信の場合、発信者番号情報が通知されると、かけてきた相手の電話番号が電話機に表示されます。（ただし、相手が非通知発信の場合、電話番号は表示されません。）
本システムでは、通知された電話番号が共通短縮ダイヤルに漢字登録されている場合、電話番号は表示されずに登録されてる名前が表示されます。

発信時の番号通知

電話をかける場合に、自分の番号を相手に通知するかどうかを、電話をかける度に切り替えることができます。お買い上げ時は発信者番号通知は「通知する」になっています。通話が終わると番号通知は初期に戻ります。

1 

・受話器をあげます。（ＷＳ子機は、充電器からあげます。）

2 

・外線を押します。

→外線ランプ：緑点灯

3 

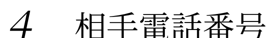
・フラッシュを押します。

・ＤＣ子機はフック(機能/クリア)を押します。

・フラッシュを押すごとに発信者番号通知を「禁止」→「許可」→「禁止」に切り替わります。

ハツバンゴウツウチ　キンシ

表示例：発番号表示禁止

4 

相手電話番号

・相手の電話番号を押します。

着信時の相手電話番号の表示

1 

（外線着信）

・漢字登録なしの場合

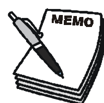
ＩＳＤＮ　　１　着信
０３３４９３５１１１

表示例：相手の発番号表示

・漢字登録ありの場合

ＩＳＤＮ　　１　着信
田村　太郎

表示例：相手の名前表示



※工事設定の「発サブアドレス通知指定」を「通知する」に指定すると自分の番号とともに、自分のサブアドレスを通知することができます。

※ＷＳ子機は未使用外線にフラッシュを登録します。（23 ページ参照）

※プリセット発信ではご利用になれません。この場合は、１８４（付加しない）または１８６（付加する）を電話番号の前に付けてダイヤルしてください。

※オートに発信者番号を登録すると、通話中の電話機で、他の外線に着信したとき発信者番号押してから、着信外線ボタンを押すと発信者番号を確認することができます。（269 ページ参照）

※付属のステッカ「発信者番号」シールを貼ると便利です。

●キャッチホン（コールウェイティング）

ＩＳＤＮ１回線において、２つの外線（情報チャンネルＢ１、Ｂ２）が使用中の場合でも、その外線への着信があると、最初の相手を保留にして、その着信に応答できます。
※別途、ＮＴＴへのお申し込みが必要です。

1　外線通話中

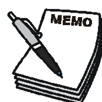
・２つの外線が使用中の場合、初めに通話を開始した電話機のスピーカから、着信音が鳴ります。

→外線ランプ：緑点滅

2　フラッシュ

・フラッシュを押します。
最初の相手が保留され、着信の相手と通話します。
フラッシュを押すたびに通話相手が切り替わります。

→外線ランプ：緑点灯



※キャッチホンで切り替えて通話している間に、もう１本キャッチホンを受けることができます。

●迷惑電話おことわり（登録）

迷惑電話を受けた直後、電話機から登録操作を行うと、以降同じ電話番号の相手から電話がかかってきても、着信音を鳴らさず、自動的にメッセージで応答します。登録できる電話番号は最大６件または３０件です。限度を超えて登録した場合は、登録された最も古い番号から自動的に解除されます。（新しい電話番号が登録されます）
※別途、ＮＴＴへのお申し込みが必要です。
登録以外の電話番号から電話がかかってきた場合、通常どおりの着信音が鳴ります。

通話中に登録する

迷惑電話と外線通話中に次の操作を行ってください。

1	機能	・機能を押します。 ・ＤＣ子機は機能(F)を押します。	→機能ランプ：赤点灯
2	0	・0を押します。	→機能ランプ：消灯
3	1 4 4 2	・1 4 4 2を押します。	
4	＃	・＃を押します。	

通話終了後に登録する

1	外線	・１分以内に、サービスを契約している外線を押します。	→外線ランプ：緑点灯 →スピーカランプ：赤点灯
2	1 4 4 2	・1 4 4 2を押します。	
3	＃	・＃を押します。 登録確認のアナウンスが流れます。	
4	スピーカ	・スピーカを押します。 ・ＤＣ子機は電源を押します。	→外線ランプ：消灯 →スピーカランプ：消灯



※「通話中に登録する」操作は、電話機のオート(ＷＳ子機、ＤＣ子機は未使用外線)に登録できます。
（268 ページ参照）
※登録された電話番号から電話がかかってくると､「こちらはｘｘｘ…（契約者の電話番号）です。この電話はお受けできません。ご了承ください。」のメッセージが流れます。
※相手が構内交換機（ＰＢＸ）経由で発信した場合は、その番号が登録できない場合があります。
※ＷＳ子機は未使用外線に機能を登録します。（23 ページ参照）
※ＤＣ子機は未使用外線に機能(F)を登録します。（28 ページ参照）

迷惑電話おことわり（解除／確認）

登録を解除する

1 [外線]
・サービスを契約している[外線]を押します。
→外線ランプ：緑点灯
→スピーカランプ：赤点灯

2 [1][4][4]
・[1][4][4]を押します。

3 [3]または[9]
・[3]または[9]を押します。
[3]：最後に登録した番号を解除します。
[9]：全ての登録を解除します。

4 [#]
・[#]を押します。
確認のアナウンスが流れます。

5 [スピーカ]
・[スピーカ]を押します。
・ＤＣ子機は[電源]を押します。
→外線ランプ：消灯
→スピーカランプ：消灯

登録を確認する

迷惑電話相手が登録後、何回かけてきたか件数をアナウンスで確認できます。

1 [外線]
・サービスを契約している[外線]を押します。
→外線ランプ：緑点灯
→スピーカランプ：赤点灯

2 [1][4][4][4]
・[1][4][4][4]を押します。

3 [#]
・[#]を押します。
確認のアナウンスが流れます。

4 [スピーカ]
・[スピーカ]を押します。
・ＤＣ子機は[電源]を押します。
→外線ランプ：消灯
→スピーカランプ：消灯

●ＩＮＳボイスワープ

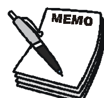
かかってきた電話をあらかじめ登録した電話番号へ自動的に転送することができます。
※別途、ＮＴＴへのお申し込みが必要です。
転送のしかたには、次の４種類があり、転送セットするときに選択します。

1 無条件転送
かかってくる電話を無条件で転送します。

2 無応答時転送
転送元で一定時間応答がない場合のみ転送します。

3 話中時転送
転送元が通話中の場合のみ転送します。

4 無応答および話中時転送
転送元で一定時間応答がない場合、および転送元が通話中、双方の場合に転送します。



※本システムが故障中の場合、ネットワーク（ＮＴＴ）が自動的にかかってきた電話を転送します。
※ＩＮＳボイスワープは、ＮＴＴの転送サービスです。ご利用の際は、ＮＴＴの「ＩＮＳボイスワープ使用説明書を併せてお読みください。
※転送先は５ヵ所まで登録できます。５ヵ所の中から一つの転送先を選びます。

ＩＮＳボイスワープ
（転送先電話番号の登録）

転送先電話番号を登録します。転送先は転送先番号リスト０～４を指定することにより、最大５ヵ所登録できます。電話番号の登録は上書き方式です。新しい電話番号を登録すると前の電話番号は消去されます。

転送先番号リスト０への登録

1	外線	・サービスを契約している外線を押します。	→外線ランプ：緑点灯 →スピーカランプ：赤点灯
2	1 4 2 2	・1 4 2 2を押します。	
3	＃	・＃を押します。 アナウンスが流れます。	
4	転送先電話番号	・転送先電話番号を押します。	
5	＃	・＃を押します。 アナウンスが流れます。	
6	スピーカ	・スピーカを押します。 ・ＤＣ子機は電源を押します。	→外線ランプ：消灯 →スピーカランプ：消灯

転送先番号リスト１～４への登録

1	外線	・サービスを契約している外線を押します。	→外線ランプ：緑点灯 →スピーカランプ：赤点灯
2	1 4 2 4	・1 4 2 4を押します。	
3	＃	・＃を押します。 アナウンスが流れます。	
4	0 ＃	・0 ＃を押します。 アナウンスが流れます。	
5	1～4 いずれか	・登録するリスト番号（1～4）を選択し、押します。	
6	＃	・＃を押します。 アナウンスが流れます。	
7	転送先電話番号	・転送先電話番号を押します。	
8	＃	・＃を押します。 アナウンスが流れます。	
9	スピーカ	・スピーカを押します。 ・ＤＣ子機は電源を押します。	→外線ランプ：消灯 →スピーカランプ：消灯

ＩＮＳボイスワープ（転送先電話番号の確認）

現在の転送先電話番号を確認します。

転送先電話番号の確認

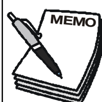
1	[外線]	・サービスを契約している[外線]を押します。	→外線ランプ：緑点灯 →スピーカランプ：赤点灯
2	[1][4][2][8]	・[1][4][2][8]を押します。	
3	[#]	・[#]を押します。 アナウンスが流れます。	
4	[0][#]	・[0][#]を押します。 アナウンスが流れます。	
5	[スピーカ]	・[スピーカ]を押します。 ・ＤＣ子機は[電源]を押します。	→外線ランプ：消灯 →スピーカランプ：消灯

ＩＮＳボイスワープ （転送先リストの指定）	ＩＳＤＮ機能編
	付加サービス
	TD130,TD230,FD200,WS,DC

登録されている転送リストの中から、実際に転送される相手を１つ指定します。

転送先リストの指定

	操作	説明	表示
1	[外線]	・サービスを契約している[外線]を押します。	→外線ランプ：緑点灯 →スピーカランプ：赤点灯
2	[1][4][2][4]	・[1][4][2][4]を押します。	
3	[＃]	・[＃]を押します。 アナウンスが流れます。	
4	[1][＃]	・[1][＃]を押します。 アナウンスが流れます。	
5	[0]～[4] いずれか	・転送先電話番号リスト番号（[0]～[4]）を選択します。	
6	[＃]	・[＃]を押します。 アナウンスが流れます。	
7	[スピーカ]	・[スピーカ]を押します。 ・ＤＣ子機は[電源]を押します。	→外線ランプ：消灯 →スピーカランプ：消灯



※ボイスワープ開始（224 ページ参照）後にこの操作を行うと、転送先を変更することができます。
※転送先リストを指定せずにボイスワープを開始した場合、リスト０の転送先に転送されます。

ＩＮＳボイスワープ（サービスの開始）

転送先電話番号の登録、および転送先リストの指定を行った上で、ボイスワープの開始を行ってください。

転送サービスの開始のしかた

1 [外線]
- サービスを契約している[外線]を押します。

→外線ランプ：緑点灯
→スピーカランプ：赤点灯

2 [1][4][2][1]
- [1][4][2][1]を押します。

3 [1]～[4] いずれか
- 転送方法を以下の（[1]～[4]）の番号で選択し、押します。
  - [1]：無条件転送
  - [2]：無応答時転送
  - [3]：話中時転送
  - [4]：無応答および話中時転送

4 [#]
- [#]を押します。アナウンスが流れます。

5 [スピーカ]
- [スピーカ]を押します。
- ＤＣ子機は[電源]を押します。

→外線ランプ：消灯
→スピーカランプ：消灯

転送サービスの停止のしかた

1 [外線]
・サービスを契約している[外線]を押します。
→外線ランプ：緑点灯
→スピーカランプ：赤点灯

2 [1][4][2][0]
・[1][4][2][0]を押します。

3 [＃]
・[＃]を押します。
アナウンスが流れます。

4 [スピーカ]
・[スピーカ]を押します。
・ＤＣ子機は[電源]を押します。
→外線ランプ：消灯
→スピーカランプ：消灯

転送サービス状態の確認のしかた

1 [外線]
・サービスを契約している[外線]を押します。
→外線ランプ：緑点灯
→スピーカランプ：赤点灯

2 [1][4][2][8]
・[1][4][2][8]を押します。

3 [＃]
・[＃]を押します。
アナウンスが流れます。

4 [スピーカ]
・[スピーカ]を押します。
・ＤＣ子機は[電源]を押します。
→外線ランプ：消灯
→スピーカランプ：消灯

ＩＮＳボイスワープ
（無応答時転送の起動時間の設定）

無応答転送を指定した場合に、転送元が何秒後応答しなかった時点で転送を行うかを指定します。

1 [外線]

・サービスを契約している[外線]を押します。

→外線ランプ：緑点灯
→スピーカランプ：赤点灯

2 [1][4][2][3]

・[1][4][2][3]を押します。

3 [#]

・[#]を押します。
アナウンスが流れます。

4 [0]～[1][1]
いずれか

・転送するまでの時間を次の（[0]～[1][1]）の番号で選択し、押します。

[0]：５秒　[1]：１０秒
[2]：１５秒　[3]：２０秒
[4]：２５秒　[5]：３０秒
[6]：３５秒　[7]：４０秒
[8]：４５秒　[9]：５０秒
[1][0]：５５秒
[1][1]：６０秒

5 [#]

・[#]を押します。
アナウンスが流れます。

6 [スピーカ]

・[スピーカ]を押します。
・ＤＣ子機は[電源]を押します。

→外線ランプ：消灯
→スピーカランプ：消灯

転送通知用トーキの設定のしかた

電話をかけてきた人に、転送を通知するアナウンスを設定することができます。アナウンスには３種類の内容があります。

1 [外線]

・サービスを契約している[外線]を押します。

→外線ランプ：緑点灯
→スピーカランプ：赤点灯

2 [1][4][2][4]

・[1][4][2][4]を押します。

3 [#]

・[#]を押します。
アナウンスが流れます。

4 [2][#]

・[2][#]を押します。
アナウンスが流れます。

5 [0]～[3]
いずれか

・アナウンスを以下の（[0]～[3]）の番号で選択し、押します。

[0]：アナウンスなし

[1]：「ただいまより電話を転送いたします」

[2]：「ただいまより電話を転送いたします。
転送先までの電話料金は当方で
負担いたします」

[3]：「ただいま電話を呼び出しております」

6 [#]

・[#]を押します。
アナウンスが流れます。

7 [スピーカ]

・[スピーカ]を押します。
・ＤＣ子機は[電源]を押します。

→外線ランプ：消灯
→スピーカランプ：消灯

ＩＮＳボイスワープ（転送通知用トーキの確認）

転送通知用トーキの確認のしかた

1 [外線]
・サービスを契約している[外線]を押します。
→外線ランプ：緑点灯
→スピーカランプ：赤点灯

2 [1][4][2][8]
・[1][4][2][8]を押します。

3 [＃]
・[＃]を押します。
アナウンスが流れます。

4 [1][＃]
・[1][＃]を押します。
アナウンスが流れます。

5 [スピーカ]
・[スピーカ]を押します。
・ＤＣ子機は[電源]を押します。
→外線ランプ：消灯
→スピーカランプ：消灯

転送元案内トーキ（転送先へのアナウンス）の設定のしかた

転送先が応答した時、転送電話であることを通知するアナウンスの設定ができます。

1 [外線]
・サービスを契約している[外線]を押します。
→外線ランプ：緑点灯
→スピーカランプ：赤点灯

2 [1][4][2][4]
・[1][4][2][4]を押します。

3 [#]
・[#]を押します。
アナウンスが流れます。

4 [4][#]
・[4][#]を押します。
アナウンスが流れます。

5 [0]または[1]
・[0]または[1]の番号でアナウンスの有無を選択し、押します。

[0]：アナウンスなし

[1]：「この電話は（転送元電話番号）から転送されました」

6 [#]
・[#]を押します。
アナウンスが流れます。

7 [スピーカ]
・[スピーカ]を押します。
・ＤＣ子機は[電源]を押します。
→外線ランプ：消灯
→スピーカランプ：消灯

ＩＮＳボイスワープ（転送元案内トーキの確認）

転送元案内トーキ（転送先へのアナウンス）の確認のしかた

1 外線
・サービスを契約している 外線 を押します。
→外線ランプ：緑点灯
→スピーカランプ：赤点灯

2 1 4 2 8
・1 4 2 8 を押します。

3 ＃
・＃ を押します。
アナウンスが流れます。

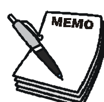
4 3 ＃
・3 ＃ を押します。
アナウンスが流れます。

5 スピーカ
・スピーカ を押します。
・ＤＣ子機は 電源 を押します。
→外線ランプ：消灯
→スピーカランプ：消灯

リモートコントロール機能を利用して、本システム外の電話からでもボイスワープの開始、停止および転送先変更の操作ができます。

暗証番号の設定

1	外線	・サービスを契約している外線を押します。	→外線ランプ：緑点灯 →スピーカランプ：赤点灯
2	1 4 2 4	・1 4 2 4を押します。	
3	#	・#を押します。 アナウンスが流れます。	
4	3 #	・3 #を押します。 アナウンスが流れます。	
5	1 #	・1 #を押します。 ・0 #を押すと、リモートコントロール機能を「利用しない」設定となり、操作８へ進みます。 アナウンスが流れます。	
6	暗証番号	・登録する暗証番号（４桁）を押します。	
7	#	・#を押します。 アナウンスが流れます。	
8	スピーカ	・スピーカを押します。 ・ＤＣ子機は電源を押します。	→外線ランプ：消灯 →スピーカランプ：消灯



※暗証番号に#や*を含めて登録することはできません。また１１１１などのように、同じ数字を４桁続けて登録することもできません。
※暗証番号登録後、リモートコントロール機能を「利用しない」に設定変更し、再度「利用する」に変更した場合は、改めて暗証番号の登録をおこないます。

ＩＮＳボイスワープ（リモートコントロール機能）

利用可否の確認

1	外線	・サービスを契約している外線を押します。	→外線ランプ：緑点灯 →スピーカランプ：赤点灯
2	1 4 2 8	・1 4 2 8を押します。	
3	#	・#を押します。 アナウンスが流れます。	
4	2 #	・2 #を押します。 アナウンスが流れます。	
5	スピーカ	・スピーカを押します。 ・ＤＣ子機は電源を押します。	→外線ランプ：消灯 →スピーカランプ：消灯

ＩＮＳボイスワープ（リモートコントロール機能）

リモートコントロール機能を利用して、外出先の電話からでもボイスワープの開始、停止および転送先変更の操作ができます。

リモートコントロールの操作のしかた

1 外出先から次の番号へ電話をかける

2 [1][4][2][7]

・[1][4][2][7]を押します。アナウンスが流れます。

3 電話番号

・サービスを契約している電話番号を市外局番から押します。アナウンスが流れます。

4 暗証番号

・暗証番号（４桁）を押します。アナウンスが流れます。

5 [0]～[2] いずれか

・操作の種類により選択します。

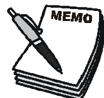
[0]：転送サービスの停止

[1]：転送サービスの開始

[2]：転送先リストの変更

6 電話を切る

・転送先リストを変更する場合は、転送先リスト番号（[0]～[4]を押します）アナウンスが流れます。



※暗証番号を４回連続間違えると、それ以後の操作ができなくなります。この場合暗証番号を再度登録し直す必要があります。

●通信中着信通知

２つの外線（情報チャンネルＢ１、Ｂ２）が使用中の場合でも、その外線への着信を通知します。

着信通知を受ける

1	**(着信音)**	・通話中の電話機から着信音が鳴ります。	→外線ランプ：緑点滅
2	終話する	・受話器を戻し、通話を終了します。	→外線ランプ：赤点滅
3	着信に応答する	・受話器をあげて、新たな相手と通話します。	→外線ランプ：緑点灯

停止／許可

通信中着信通知を行うか、行わないかを切り替えます。

1	機能	・機能を押します。	→機能ランプ：赤点灯
2	8 5	・8 5を押します。	→機能ランプ：赤点滅
3	機能	・機能を押します。 ・１～３の操作繰り返しで停止／許可になります。	チャクシンツウチ　テイシ 表示例：着信通知の停止 →機能ランプ：消灯 →約５秒後に表示が消えます。

●ＩＮＳナンバーディスプレイ

ＩＳＤＮ機能編
付加サービス
TD130,TD230,FD200,WS,DC

着信時に発信者の電話番号もしくは番号を通知されないときに、その理由を通知するサービスです。
また、アナログ回線やアナログ携帯電話からの着信時も、発信者の電話番号が表示されます。

1　外線着信中

・外線の着信音が鳴ります。

```
ＩＳＤＮ　　１　着信
非通知
```

表示例：相手番号非通知

通知内容一覧

通知内容	表示内容
一般回線から発信	例：０３－３４９３－５１１１ ＩＳＤＮ　　１　着信 ０３３４９３５１１１
公衆電話機から発信	「公衆電話」
相手非通知	「非通知」
サービス提供不可	「表示圏外」 ※番号通知不可のネットワークからの着信など

●ＩＮＳネームディスプレイ

ＩＳＤＮ機能編
付加サービス
TD130,TD230,FD200,WS

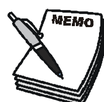
発信企業名情報を含む着信の場合、その情報を発信者名表示として電話機に表示され、着信記録にも残ります。

1　外線着信中

[表示例は TD130、TD230 の場合]

```
ＩＳＤＮ　　１　着信
田村電機製作所
ＮＤ
```

→発信企業名情報を含む着信の
　表示例



※共通短縮ダイヤルに名前付きで登録されている番号から、発信企業名情報を含む着信があった場合は、
　短縮登録されている名前を優先して表示します。
※発信企業名情報を含む着信の場合は、３行目に「ＮＤ」と表示されます。
※発信企業名情報を含む着信の場合は、着信記録に、例「００１＞田村電機」が表示されます。

●非通知着信メッセージ応答

発信者番号通知が非通知の着信について、着信拒否メッセージで応答して外線を自動開放します。
非通知着信拒否メッセージの録音方法は193ページを、確認／消去／変更方法は194ページを参照してください。
- **非通知着信メッセージ応答を使用する際は、工事設定とＩＮＳナンバーディスプレイサービスのご契約が必要となります。また、この機能は留守番２指定電話機で操作できます。（ただし、通常の留守番機能が留守番２では、使用できなくなります。留守番１では使用可）**

※録音ユニット（REC200)を接続することで利用できます。

非通知着信拒否外線の設定／解除

	操作	説明	表示
1	機能	・機能を押します。	→機能ランプ：赤点灯
2	8 3	・8 3を押します。	ヒツウチ　チャクシンキョヒ　セッテイ →機能ランプ：赤点滅
3	外線番号（または外線）		ガイセン　０１＝キョヒ
4	機能	・機能を押します。 ・１～４の操作を繰り返して設定／解除になります。	→機能ランプ：消灯

非通知着信メッセージ応答

**工事設定により、デジタル回線への非通知着信を留守番２指定電話機が応答し、メッセージを送出します。
留守番２指定電話機より操作します。**

非通知着信拒否機能のセット／解除

1	留守	・留守を押します。 ・非通知着信拒否機能をセットします。	非通知着信拒否 →留守ランプ：赤点灯
2	留守	・留守を押します。 ・非通知着信拒否機能を解除します。	→留守ランプ：消灯



※非通知着信拒否メッセージが録音されていない場合、内蔵の固定メッセージ「おかけになった電話は、お受けできません。恐れ入りますが、電話番号の前に１８６を付けて、おかけ直しください。」が流れます。
※外線話中設定している外線では、非通知着信拒否機能は働きません。

●通信中の着信（リソースＢＯＤ機能）

ＩＳＤＮ１回線で、２外線（情報チャンネルＢ１、Ｂ２）をインターネットで通信中に、その回線に着信があった場合でも、着信を受けることができます。（通話だけで回線が埋まっている場合は、着信できません）

電話機に （インターネット） ボタンが二つ必要です。

1 ＭＰ１２８通信

・パソコンでインターネットへＭＰ１２８で接続。

→インターネットランプ：赤点灯（ 二つとも）

2 着信音が鳴る

・（着信音）。

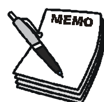
・インターネットへの接続がＭＰ１２８からＰＰＰ６４に切り替わります。

ＩＳＤＮ　　　１　着信

表示例：外線１
→インターネットランプ：消灯（一つ）
→外線ランプ：赤点滅（他の電話機で利用中の外線ランプは赤点灯のまま）

3

・受話器をあげます。
（ＷＳ子機は充電器からあげます。また、充電器においていないときは（外線）を押します。ＤＣ子機は（☎）を押します。）



※（インターネット）ボタンは工事設定で登録します。
※通信中着信通知サービスのお申し込みが必要です。
※複数回線をご利用の場合は、ＭＰ１２８通信中の回線に着信した場合のみ有効です。
※この機能は、ＭＩＦ３００ユニットを実装すると操作ができます。（ＭＩＦ２２０ユニットのときは操作できません）

●通信中の発信 （リソースＢＯＤ機能）	インターネット編
	ＢＯＤ機能
	TD130,TD230,FD200,WS,DC

ＩＳＤＮ１回線で、２外線（情報チャンネルＢ１、Ｂ２）をインターネットで通信中に、その回線から発信しようとした場合でも、発信することができます。（通話だけで回線が埋まっている場合は、発信できません）

電話機に［インターネット］ボタンが二つ必要です。

1　ＭＰ１２８通信

・パソコンでインターネットへＭＰ１２８で接続。

→インターネットランプ：赤点灯（二つとも）

2　［発信］

・［発信］（または［外線］）を押します。

・ＤＣ子機は［☎］（または［外線］）を押します。

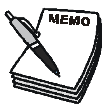
０２：

表示例：外線２を捕捉
→発信音：「ツー」
→スピーカランプ：赤点灯
→外線ランプ：緑点灯

3　電話番号

→インターネットランプ：消灯（一つ）

・電話番号を押します。
・インターネットへの接続がＭＰ１２８からＰＰＰ６４に切り替わります。



※［インターネット］ボタンは工事設定で登録します。
※複数回線をご利用の場合は、ＭＰ１２８通信中の回線から発信する場合のみ有効です。
※この機能は、ＭＩＦ３００ユニットを実装すると操作ができます。（ＭＩＦ２２０ユニットのときは操作できません）

●オリジナル・リソースＢＯＤ機能（フレッツ・ＩＳＤＮ）

工事設定により、フレッツ・ＩＳＤＮをご利用の回線では、オリジナル・リソースＢＯＤ機能がご利用できます。

電話を受ける

電話機に［インターネット］ボタンが一つ必要です。
フレッツ・ＩＳＤＮご契約の回線で、通信中着信通知サービスのお申し込みが必要です。

1　ＰＰＰ６４通信 および、外線通話

- フレッツ・ＩＳＤＮを利用して、インターネットへＰＰＰ６４で接続。
- フレッツ・ＩＳＤＮのもう一方の Ｂｃｈは、他の１台の電話機で外線通話。

→インターネットランプ：赤点灯
→外線ランプ：赤点灯

2　着信音が鳴る

- フレッツ・ＩＳＤＮ契約の回線に着信。
- （着信音）。
- インターネットへ回線を強制的に切断します。（データ通信中でも切断します）

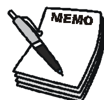
ＩＳＤＮ　　　１　着信

表示例：外線１
→インターネットランプ：消灯
→外線ランプ：赤点滅（他の電話機で利用中の外線ランプは赤点灯のまま）

3

- 受話器をあげます。（ＷＳ子機は充電器からあげます。また、充電器においていないときは［外線］を押します。ＤＣ子機は［☎］を押します。）

→外線ランプ：緑点灯（他の電話機で利用中の外線ランプは赤点灯のまま）



※［インターネット］ボタンは工事設定で登録します。
※工事設定により、インターネットへの接続を強制的に切断せずに、インターネットが一定期間未使用であることを確認した場合だけ、強制的に回線を切断する設定も可能です。この場合、フレッツ・ＩＳＤＮご契約の回線で、通話をしながらインターネットを利用中に着信があっても、インターネットの回線は切断されませんが、相手の方へは話し中となります。
※この機能は、ＭＩＦ３００ユニットを実装すると操作ができます。（ＭＩＦ２２０ユニットのときは操作できません）

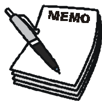
オリジナル・リソースＢＯＤ機能（フレッツ・ＩＳＤＮ）

工事設定により、フレッツ・ＩＳＤＮをご利用の回線では、オリジナル・リソースＢＯＤ機能がご利用できます。

電話をかける

電話機に [インターネット] ボタンが一つ必要です。

1 ＰＰＰ６４通信および、外線通話	・フレッツ・ＩＳＤＮを利用して、インターネットへＰＰＰ６４で接続。 ・フレッツ・ＩＳＤＮのもう一方の Ｂｃｈは、他の１台の電話機で外線通話。	→インターネットランプ：赤点灯 →外線ランプ：赤点灯
2 [発信]	・フレッツ・ＩＳＤＮ契約の回線で、[発信]（または[外線]）を押します。 ・ＤＣ子機は[☎]（または[外線]）を押します。	０２： 表示例：外線２を捕捉 →発信音：「ツー」 →スピーカランプ：赤点灯 →外線ランプ：緑点灯（他の電話機で利用中の外線ランプは赤点灯のまま）
3 電話番号	・電話番号を押します。 ・インターネット回線を強制的に切断します。（データ通信中でも切断します。）	→インターネットランプ：消灯



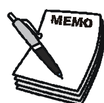
※ [インターネット] ボタンは工事設定で登録します。
※工事設定により、インターネットへの接続を強制的に切断せずに、インターネットが一定期間未使用であることを確認した場合だけ、強制的に回線を切断する設定も可能です。この場合、フレッツ・ＩＳＤＮご契約の回線で、通話をしながらインターネットを利用中に発信操作を行うと、話中音が聞こえます。
※この機能は、ＭＩＦ３００ユニットを実装すると操作ができます。（ＭＩＦ２２０ユニットのときは操作できません）

●名前を確認してから電話をかける（メモリダイヤル）

名前と電話番号を、ＤＣ子機に登録しておきます。
登録しておくと簡単な操作で、相手の名前と電話番号を表示部で確認しながら、電話をかけられます。

登録のしかた

1	コール 文字/P	・コール(文字/P)を押します。	短縮:001-300? ＊：検索　＃：登録
2	＃	・＃を押します。	短縮:001-300? ＊:変更　＃:追加
3	＃	・登録の追加をするときは＃を押します。 ・＃の代わりにメモリダイヤル番号（００１～３００のいずれか）を直接入力して登録することもできます。	015:電話番号？
4	電話番号	・電話番号を数字ボタンで入力します。	015:名前？ 031234567 ｶﾅ
5	保留 再送/決定	・保留(再送/決定)を押します。	
6	名前の登録	・数字ボタンで文字を入力します。（247 ページの文字入力を参照してください） ・最大１２文字まで登録できます。（濁点「゛」「゜」も１文字としてカウントします。） ・コール(文字/P)を押すことでカナ→ＡＢ→（数字）の入力モードが切り替わります。	015:Tamura 031234567 AB
7	保留 再送/決定	・保留(再送/決定)を押します。 ・メモリダイヤルに登録されます。 ・続けて登録するときは＃＃を押します。	短縮:001-300? ＊:変更　　＃:追加



※フック(機能/クリア)を押すと最後の１桁(カーソル位置)を削除します。

名前を確認してから電話をかける（メモリダイヤル）

かけかた

名前から文字検索をして発信することができます。

1		・コール を押します。	短縮:001-300? ＊:検索　＃:登録
2		・＊ を押します。 ・＊ の代わりにメモリダイヤル番号（００１～３００のいずれか）を直接入力することもできます。	ﾅﾏｴ> 確定→保留 ｶﾅ
3	名前入力	・検索する文字を１文字から最大１２文字で入力します(247ページの文字入力表を参考にしてください)。 ・文字を入力しないで 保留 を押すと、若番に入力されたメモリダイヤルが表示されます。	ﾅﾏｴ>Tam 確定→保留 AB
4		・保留 を押します。 ・検索結果を表示します。 ・該当する文字列がなかった場合には､「見つかりません」と表示します。ただし、１文字のみの検索のときは、１文字の次文字で始まる名前を表示することができます。	007:Tamura 0334935111
5		・＊ または ＃ を押します。 ・検索結果の次のデータを表示します。 ・＊ または ＃ を押し続けると、自動的にスクロール表示となります。	032:OKｼｮｳｼﾞ 0312345678
6		・かけたい番号が表示されているときに ☎ を押します。 ・その番号で発信できます。	0312345678 10/10　AM11:10

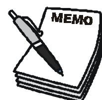
名前を確認してから電話をかける（メモリダイヤル）

変更または消去のしかた

すでに登録してある内容に変更や修正を加える必要が生じたときや、不要になったメモリダイヤルを消去（削除）するときは、次の例を参考にしてください。

※下記の操作５または６の前に[フック 機能/クリア]を長く押すと、名前と番号が同時に消去できます。

手順	操作	説明	表示
1	[コール 文字/P]	・[コール 文字/P]を押します。	短縮:001-300? ＊:検索　＃:登録
2	[＃]	・[＃]を押します。	短縮:001-300? ＊:変更　＃:追加
3	[＊]	・[＊]を押します。 ・[＊]の代わりにメモリダイヤル番号（００１～３００のいずれか）を直接入力して変更することもできます。この場合は、操作６、５の順に変更します。	ﾅﾏｴ>█ 確定→保留 ｶﾅ
4	変更したい名前を入力して[保留 再送/決定]	・変更したい名前を入力して、[保留 再送/決定]を押します。	015:Tamura 031234567 ｶﾅ
5	名前の登録を変更して[保留 再送/決定]	・名前の登録を変更して、[保留 再送/決定]を押します。 ・名前に変更がないときは[保留 再送/決定]だけを押します。 ・名前の登録時に、[＊]でカーソル（ █ ）が左へ、[＃]でカーソルが右へ移動します。[フック 機能/クリア]でカーソル位置の文字を消去できます。	015:Tamura 0311234567
6	電話番号を変更して[保留 再送/決定]	・電話番号を変更して[保留 再送/決定]を押します。 ・番号に変更がないときは[保留 再送/決定]だけを押します。 ・[フック 機能/クリア]でカーソル位置の番号を消去できます。	短縮:001-300? ＊:検索　＃:登録



※重要な内容（登録した名前や電話番号など）は必ず紙などに控えておいてください。
デジタルコードレス電話機は、使用を誤ったとき、静電気・電気的なノイズの影響を受けたとき、また、故障したときや修理するときなどに記憶内容が変化・消失することがあります。
本製品の故障、誤動作、不具合などにより、利用の機会を逸したために発生した損害および記憶内容が正しく保存、呼び出しができないことによって発生した損害などの純粋経済損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●キーロックの設定	
	DC２３０機能編
	キーロックの設定
	DC

持ち運ぶ途中に誤ってダイヤルなどを押さないように、キーをロックすることができます。

設定のしかた

1 フック 機能/クリア

- 待機状態でフック（機能/クリア）を長く押します。
- キーロックの設定状態になります。
- フック（機能/クリア）と☎（電源）以外は無効となります。

キーロック 設定しました

解除のしかた

1 フック 機能/クリア

- キーロックの設定状態でフック（機能/クリア）を長く押します。
- キーロックの解除状態になります。

キーロック 解除しました

●機能モードの使い方	
	DC２３０機能編
	機能モード
	DC

待機状態でフック（機能/クリア）を押すと、ＤＣ子機の機能メニュー表示となります。機能メニュー表示から次のページの項目番号を選ぶことで、各種機能の設定／変更をすることができます。

1 フック 機能/クリア

- 待機状態でフック（機能/クリア）を押します。

10/10(火)11:10AM 内線 10



機能項目：０－９ 機能ｷｰ長押→ﾛｯｸ

2 機能メニュー表示

- 機能メニュー表示になります。
- 項目番号１桁または２桁を入力することができます。

例: 5 1 を押すとバイブレータの設定モードになります。

バイブレータ ON

表示例

3 ＊ または ＃

- ＊または＃で設定を切り替えたり、数字ボタンで番号や文字を入力します。

バイブレータ ON



バイブレータ OFF

4 保留 再送/決定

- 保留（再送/決定）を押します。

機能モードの使い方

▶機能項目一覧表

項目番号		項　　目	内　　　容	購入時の設定
0		**自局番号表示**	この機能には対応していません ※内線番号は通常の待ち受け画面に表示されます	000
1		**自営発信モード**		
1	0	自動モード	この機能には対応していません	—
1	1	会社1モード	会社１モードに設定します	
1	2	会社2モード	この機能はご使用になれません	—
1	3	会社3モード		
1	4	家庭モード		
2		**トランシーバ発信モード**	この機能はご使用になれません ※誤って設定したときは会社１モード（機能11）に設定し直してください	—
2	1	トランシーバ１モード		
2	2	トランシーバ２モード		
2	3	トランシーバ３モード		
2	4	トランシーバ４モード		
3		**パスワードロック機能**	パスワードロックを設定します	ＯＦＦ
4		**アラーム機能**		
4	0	カレンダー時刻設定	年月日・時分・曜日を設定します ※本システムでは自動的に設定します	不定 （自動的に設定）
4	1	アラーム1設定	アラーム1の時刻およびその有無を設定します	00時00分 アラーム1：ＯＦＦ
4	2	アラーム2設定	アラーム2の時刻およびその有無を設定します	00時00分 アラーム2：ＯＦＦ
5		**着信機能**		
5	1	バイブレータ設定	バイブレータ（振動着信）の有無を設定します	ＯＦＦ
5	2	着信音種選択	着信音の種類を設定します ※家庭およびトランシーバについてはご使用になれません	会社外線：１ 会社内線：２
5	3	リレー着信モード	バイブレータと着信音を時間差で起動する機能を設定します	ＯＦＦ
5	4	着信自動応答回数	この機能はご使用になれません	—
5	5	外線一般着信鳴動	この機能には対応していません ※設定しないでください	ＯＦＦ
6		**キー機能**		
6	1	キータッチトーン設定	キーを操作したときなどの確認音の有無を設定します	ＯＮ
6	2	Ｆキーモード設定	外線ボタンをワンタッチダイヤルとして使用するときに設定します ※設定するときは注意事項があります	システム
6	＊	ワンタッチダイヤル設定	ワンタッチダイヤルの電話番号・名前を設定します	（登録なし）

次ページへ

項目番号		項　目	内　容	購入時の設定
7		**オプション機能**		
7	1	データ通信モード	この機能はご使用になれません	—
7	2	ＰＣ編集モード	メンテナンス用に使用します	—
8		**保守機能**		
8	1	パスワード設定	パスワードロックおよび全設定初期化に使用するパスワードを設定します	0000
8	2	ＬＣＤコントラスト設定	ＬＣＤのコントラストを調節します	不定 （最後の調整値）
8	3	内線データ通信特番	この機能はご使用になれません	—
8	4	圏外警告音	通話時に圏外になったときの警告音の有無を設定します	ＯＮ
8	5	マイネーム（家庭）	この機能はご使用になれません	—
8	6	全設定初期化	機能モード内の全設定データおよび発着信履歴を工場出荷状態に戻します	
9		**着信履歴機能**	この機能には対応していません ※システムの着信記録機能をご利用ください	—

▶文字入力表

設定モード、メモリダイヤル登録で文字を入力するときの、各入力モードにおけるボタンと文字の対応を表わします。

ボタン名称	カタカナモード	英字モード	数字モード	記事
1	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ	.,−:;’”!#$%&()＊+/<=>?@	1	
2	ｶｷｸｹｺ	ABCabc	2	
3	ｻｼｽｾｿ	DEFdef	3	
4	ﾀﾁﾂﾃﾄ	GHIghi	4	
5	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKLjkl	5	
6	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNOmno	6	
7	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRSpqrs	7	
8	ﾔﾕﾖｬｭｮ	TUVtuv	8	
9	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZwxyz	9	
0	ﾜｦﾝ ﾞ ﾟ (ｽﾍﾟｰｽ) ｰ｡ ｢｣､･[¥]^_	(ｽﾍﾟｰｽ)} {	0	
＊	カーソルを左に移動			
＃	カーソルを右に移動			
フック	一文字クリア（長く押すと一項目すべてクリア）			クリア
コール	文字の入力モード切替（カタカナ→英字→数字）[arrow from 数字 back to 英字]			ｶﾅ／ 英／数

※システムの電話帳を登録するときの文字入力は、メモリダイヤル登録の場合と異なりますので、ご注意ください。

●自営発信モードの設定

※現在、発信モードは会社１モードのみ対応しています。誤って他の発信モードを設定したときは、次の操作で必ず「会社１モード」に変更してください。

1 [フック 機能/クリア] [1]

・[フック] [1] を押します。

発信モード切替
会社:1-3 家庭:4?

2 [1]

・[1] を押します。
・エリア内のときは、数秒後に発信できる状態になります。

発信モード切替
会社１モード

↓

10/10（火） 11:10AM
内線１０

●パスワードロックの設定・解除

他の人が不正に使用するのを防止するためにパスワードを必要とするキーロックをかけることができます。
※パスワードを忘れると、パスワードロックを解除できなくなります。お手元に控えて保管するようにしてください。

設定のしかた

1 フック(機能/クリア) 3

・フック 3 を押します。

パスワードロック 設定４桁→

2 パスワード入力後、保留(再送/決定)

・255 ページで設定したパスワード４桁を 0 ～ 9 のいずれかで入力して 保留 を押します。
・設定完了表示をしたのち、待ち受け状態に戻ります。
・パスワードロック状態を  マークで表示します。

パスワードロック 設定しました

↓

10/10 (火) 11:10AM 内線 10

解除のしかた

1 フック(機能/クリア) 3

・フック 3 を押します。

パスワードロック 解除４桁→

2 パスワード入力後、保留(再送/決定)

・設定したパスワード４桁を 0 ～ 9 のいずれかで入力して 保留 を押します。
・解除完了表示をしたのち、待ち受け状態に戻ります。
・ マークが消灯します。

パスワードロック 解除しました

↓

10/10 (火) 11:10AM 内線１０

DC２３０機能編
カレンダー時刻
DC

●カレンダー時刻の設定

ＤＣ子機の日付、時刻を設定することができます。
※本システムでは自動的に時計データがダウンロードされますので設定は不要です。

1 [フック 機能/クリア][４][０]

・[フック][４][０]を押します。

```
0000年　日曜日
01/01　00：00
```

2 ダイヤルボタンで カレンダーを設定する

・西暦、曜日、月、日、時、分の順序で入力します。

```
2002年　金曜日
12/06　13:05
```

例：２００２年１２月６日(金)午後１時５分に設定するときは、２００２６１２０６１３０５と入力します。
曜日の入力は下表を参照してください。

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7

3 [保留 再送/決定]

・[保留]を押します。



※操作２のとき[フック]を押すと、秒の単位を０秒にクリアすることができます。

DC２３０機能編
アラーム
DC

●アラームの設定

設定した時刻になるとアラームが鳴るアラーム機能を２つの時刻設定ができます。
※アラーム音の音量については、小さめになっています。騒がしい場所などでは聞こえにくいことがありますので、ご注意ください。

1 [フック 機能/クリア][４][１]

・[フック][４][１]を押します。
（アラーム２のときは[４][２]と押す）

```
アラーム１時刻
ＯＦＦ　　00：00
```

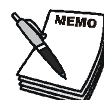
2 アラーム設定

・アラーム設定時刻を００：００～２３：５９の２４時間制で入力し、[＊]または[＃]で、「ＯＮ」／「ＯＦＦ」の設定を切り替えます。
例：午後３時１５分のときは１５１５と入力します。

```
アラーム１時刻
ＯＮ　　15：15
```

3 [保留 再送/決定]

・[保留]を押します。



※アラームは３０秒間、鳴ります。鳴動中に[電源]を押すと止まります。

●バイブレータ(振動着信)の設定	ＤＣ２３０機能編
	バイブレータ
	DC

着信音が他の人の迷惑になるような場所、または着信音が聞こえないほどの騒音の大きな場所などで使用するときなどにバイブレータ着信の設定ができます。
※ドアホンの着信については、バイブレータになりませんので、ご注意ください。

1 [フック 機能/クリア][5][1]
・[フック][5][1]を押します。

バイブレータ
ON
⺌

2 [＊] または [＃]
・[＊]または[＃]で「ON」「OFF」の設定を切り替えます。

バイブレータ
OFF

3 [保留 再送/決定]
・[保留]を押します。

●着信音種の選択	ＤＣ２３０機能編
	着信音種
	DC

着信音を１６種類の中から選ぶことができます。また、外線と内線の着信音を個別に設定できます。
※家庭およびトランシーバについては現在ご使用になれません。

1 [フック 機能/クリア][5][2]
・[フック][5][2]を押します。

着信音種選択
会社外線

2 [＃] (または [＊])
・設定を変更する項目を[＃]（または[＊]）で選びます。
・「会社外線」→「会社内線」→「家庭外線」→「家庭内線」→「トランシーバ」の順に表示します。
・設定する項目は「会社外線」「会社内線」のみです。

着信音種選択
会社内線

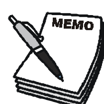
3 [保留 再送/決定]
・変更する項目を表示しているときに[保留]で選びます。

着信音種選択
会社内線→02

4 [＃] (または [＊])
・着信音の種類を[＃](または[＊])で選びます。
・「０１」～「１６」までの番号が順次切り替わります。
・切り替えと同時に、それぞれの音が３秒間鳴ります。

着信音種選択
会社内線→03

5 [保留 再送/決定]
・[保留]を押します。



※ＤＣ子機は、システムで設定した着信音種別指定とは異なります。

DC２３０機能編
リレー着信モード
DC

●リレー着信モードの設定

着信のときに、初めに音で知らせて約１０秒間応答しなかったときにバイブレータに切り替えることができます。また、同様にバイブレータから音に切り替えることもできます。

1 [フック 機能/クリア][5][3]

・[フック][5][3]を押します。

リレー着信モード しない

2 [#](または [*])

・[#](または[*])を押して、設定する内容を選びます。
・「しない」→「音→バイブ」→「バイブ→音」の順に表示します。

リレー着信モード 音→バイブ

3 [保留 再送/決定]

・[保留]を押します。

バイブレーターの設定	着信音量	リレー着信機能の設定		
		「音→バイブ」表示	「バイブ→音」表示	「しない」表示
ＯＮ	入	バイブレータと音が交互に動作		——
ＯＮ	切	バイブレータだけ	リレー着信（バイブ→音）	——
ＯＦＦ	入	リレー着信（音→バイブ）	音だけ	——
ＯＦＦ	切	しばらくしてバイブレータ動作	しばらくして音が漸増	——

DC２３０機能編
キータッチトーン
DC

●キータッチトーンの設定

キー操作音、設定時の確認音などを鳴らさないように設定できます。

1 [フック 機能/クリア][6][1]

・[フック][6][1]を押します。

キータッチトーン ＯＮ

2 [*]または[#]

・[#]または[*]で、「ＯＮ」「ＯＦＦ」の設定を切り替えます。

キータッチトーン ＯＦＦ

3 [保留 再送/決定]

・[保留]を押します。

●Ｆキーモードの設定

外線ボタンをワンタッチダイヤル(254ページ)として使うことができます。
※ワンタッチに設定すると、外線ボタンとしての機能(割り付け機能を含む)は全て使用できなくなります。

1	[フック 機能/クリア] [6] [2]	・[フック 機能/クリア][6][2]を押します。	Ｆキーモード設定 システム
2	[＊] または [＃]	・[＊]または[＃]で「システム」「ワンタッチ」の設定を切り替えます。	Ｆキーモード設定 ワンタッチ
3	[保留 再送/決定]	・[保留 再送/決定]を押します。	

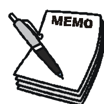


※ワンタッチに切り替えると、６個の外線ボタンは全てワンタッチに切り替わります。外線ボタンとしては利用できなくなります。

●ワンタッチダイヤルの設定

６個のＦキー(外線ボタン)にワンタッチダイヤルを設定することができます。電話番号とともに名前も設定できます。
「Ｆキーモード」(253 ページ)の設定を「ワンタッチ」にする必要があります。

1	[フック 機能/クリア] [6] [＊]	・[フック]　[6]　[＊]を押します。	ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ設定 :F1-F6?
2	Ｆキー(外線ボタン)	・設定するＦキー(外線ボタン)[1]～[6]のいずれかを押します。	F1:
3	電話番号	・電話番号を入力します。(最大３２桁) ・名前を登録しない場合は、操作６へ進みます。	F1: 0312345678 例：03-1234-5678 のとき
4	[保留 再送/決定]	・[保留]を押します。 ・[コール 文字/P]で(→カナ→英→数)入力モードを切り替えます。	F1: 0312345678 ｶﾅ
5	名前の登録	・名前を登録します。(最大１３文字) (247 ページ参照)	F1:Tamura 0312345678 AB
6	[保留 再送/決定]	・[保留]を押します。	



※例えば
「Ｔａｍｕｒａ」を設定する場合
[コール 文字/P](英字「ＡＢ」表示にする)→[8](１回)[＃]→[2](４回)[＃]→[6](４回)[＃]→[7](７回)[＃]→[2](４回)

●パスワードの設定	ＤＣ２３０機能編
	パスワード
	DC

パスワードロックに使用するパスワードを設定します。
※パスワードを忘れるとパスワードロックを解除できなくなります。お手元に控えて保管するようにしてください。
※パスワードの初期値は「００００」です。

1 [フック 機能/クリア] [8] [1]

・[フック][8][1]を押します。

パスワード設定
ＯＬＤ：Ｎｏ？ ▮

2 旧パスワードを入力して、[保留 再送/決定]

・旧パスワードを数字４桁([0]～[9]のいずれか)で入力して、[保留]を押します。

パスワード設定
ＮＥＷ：Ｎｏ？ ▮

3 新パスワードを入力して、[保留 再送/決定]

・新パスワードを数字４桁([0]～[9]のいずれか)で入力して、[保留]を押します。

●ＬＣＤコントラストの設定	ＤＣ２３０機能編
	ＬＣＤコントラスト
	DC

ＬＣＤコントラストを５段階で調節します。

1 [フック 機能/クリア] [8] [2]

・[フック][8][2]を押します。

ＬＣＤコントラスト
淡 ■■■□□ 濃

2 [＊]または [＃]

・[＊]または[＃]で濃淡の調節をします。

ＬＣＤコントラスト
淡 ■■■■□ 濃

3 [保留 再送/決定]

・[保留]を押します。

ＤＣ２３０機能編
圏外警告音
DC

●圏外警告音の設定

通話中に圏外になったときの警告音の有無を設定することができます。

1 [フック 機能/クリア][8][4]

・[フック][8][4]を押します。

圏外警告音
ON

2 [＊] または [＃]

・[＊]または[＃]で「ＯＮ」「ＯＦＦ」の設定を切り替えます。

圏外警告音
OFF

3 [保留 再送/決定]

・[保留]を押します。

ＤＣ２３０機能編
全設定初期化
DC

●全設定初期化

機能モード内の全設定データおよび発着信履歴を工場出荷状態に戻します。
※全設定初期化を行うとパスワードも初期値「００００」に戻ります。

1 [フック 機能/クリア][8][6]

・[フック][8][6]を押します。

全設定初期化
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ?

2 パスワード

・設定したパスワード４桁([0]～[9]のいずれか)で入力します。

全設定初期化
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ?　　****

3 [保留 再送/決定]

・[保留]を押します。

●停電について	参考編
	PF230

通話中に停電になると、通話が切断されます。停電中に電話をかけたり、受けたりするときは、停電用電話機をお使いください。停電用電話機には、停電用シールが添付されています。
停電用電源を外付けまたは内蔵タイプを接続したとき、ノーマルモードとエコモードによる動作は次の通りです。
エコモードは、工事設定が必要です。
エコモードは、停電時に使える電話機２台としてできるだけバッテリの動作時間を持たせるためのモードです。
・停電の場合、停電用電源がないときや、停電用電源のバッテリ残量がないときは、ＰＦ２３０電話機で発着信ができます。

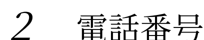
※停電用電源を接続しないと、停電時に本システムは一切使用できません。
※エコモード設定時は、内線１０、１１の電話機のみ使用できます。

電話をかける（発信）

※発信以外は、ダイヤルできません。
※内線通話はできません。

1 

・受話器をあげます。
・発信音「ツー」を確認します。

2 
電話番号

・電話番号を押します。

・サブアドレスを付加する場合は、電話番号の後に ＊ を押し、サブアドレス番号を押します。

3 

・ # を押します。

・ # を押すとすぐに電話がかかります。

・ # を押さなくても約５秒後に電話がかかります。

電話を受ける（着信）

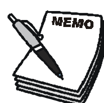
1 
着信音が鳴る

・（着信音）

※停電時はブザーから着信音が鳴ります。通常の着信音とは異なります。

2 

・受話器をあげて通話します。



※一通話のみ通話が可能です。通話中の着信は受けられません。（相手には、ビジー音が聞こえます。）
※ボイスワープ設定などの操作はできません。
※通話中に停電が復旧すると、通話中の通話は切れてしまいます。
※表示部やランプは表示しません。
※通話中のＰＢダイヤル出力はできません。
※通話中に停電になった場合は、局側（ＮＴＴ）が回線を開放するまでご利用できないことがありますので、しばらくしてから、おかけなおしください。

参考編	●機能ランプリセット
TD130,TD230,FD200,WS,DC	

機能ランプリセットは各電話機に設定されている外線着信鳴動拒否、不在設定、不在転送の全てを解除します。

1	機能	・機能を押します。 ・ＤＣ子機は機能(F)を押します。	→機能ランプ：赤点灯
2	9 9	・9 9を押します。	→機能ランプ：赤点滅
3	機能	・機能を押します。 ・ＤＣ子機は機能(F)を押します。	トクシュ ランプ リセット →機能ランプ：消灯 →約５秒後に表示が消えます。



※機能ランプリセットの操作は、電話機のオートに登録できます。（268 ページ参照）

※ＷＳ子機は未使用外線に機能を登録します。（23 ページ参照）

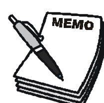
※ＤＣ子機は未使用外線に機能(F)を登録します。（28 ページ参照）

●故障かな？とお考えになる前に

	こんなときは	お確かめ下さい
TD130、TD230、FD200電話機	すべての電話機の表示が消えている。またはランプが点灯しない。	・主装置の電源プラグが電源コンセントから抜けていませんか。
	電話機の表示が消えている。またはランプが点灯しない。	・電話機コードのモジュラープラグがはずれていませんか。
	電話機の機能ランプが消えなくなった。	・機能ランプリセットを行ってください。(258ページ参照)
	電話機の表示が消えている。または黒く表示されている。	・コントラストがずれていませんか。 ・コントラスト調整を行ってください。(41、180ページ参照)
WS230電話機	WS子機がまったく動作しない。	・電池残量が少なくありませんか。(22ページ参照)
	WS子機から着信音が鳴らない。	・着信音量が「切」になっていませんか。(31ページ参照) (表示部に「S」マークが付いていませんか。) ・WS親機と離れすぎていませんか。
	WS子機で外線ボタンを押すとエラー音が聞こえる。	・WS親機の電話機コードのモジュラープラグが外れていませんか。 ・WS親機と離れすぎていませんか。 ・WS子機を他の電話機の近くにおいていませんか。
	WS子機を充電器に置いても、充電器の充電ランプが点灯しない。	・充電端子が汚れていませんか。 ・充電器のACアダプタが電源コンセントから外れていませんか。 (21ページ参照)

●故障かな？とお考えになる前に

	こんなときは	お確かめ下さい
ＤＣ２３０電話機	まったく作動しない。	・電源は入っていますか。(26ページ参照) ・電池パックは充分に充電されていますか。また、ＡＣアダプタが充電器または電源コンセントから抜けていませんか。(25ページ参照) ・電池パックは正しく取り付けられていますか。(24ページ参照)
	電話がかけられない。または着信音が鳴らない。	・電池パックは充分に充電されていますか。(25ページ参照) ・接続装置から離れすぎていたり、表示部に「圏外」と表示されていませんか。(26ページ参照) ・近くに雑音を発生する機器がありませんか。(5ページ参照) ・電話をかけられない設定にしていませんか。(245ページ参照) または、着信音が鳴らないように設定されていませんか。(32ページ参照) ・発信モードが正しく設定されていますか。(248ページ参照) ・接続装置の電話機コードが正しく接続され電源と通話のランプが正常に点灯または点滅していますか。(18ページ参照)
	通話が時々とぎれる。	・接続装置から離れすぎていませんか。(26ページ参照) ・近くに雑音を発生する機器がありませんか。また、接続装置との間に電波をさえぎる障害物はありませんか。(5ページ参照)
	充電中に充電ランプが点灯しない。	・ＤＣ子機や充電器の充電端子が汚れていませんか。(25ページ参照) ・ＡＣアダプタが充電器または電源コンセントから抜けていませんか。(18ページ参照)
	発信や着信応答の操作ができない。	・アンテナの表示が消灯していませんか？消灯している場合は、点灯を待ってから、もう一度操作してください。



※ＤＣ子機での注意事項について

- プリセット発信時、ダイヤルを押しているときに着信があると、電話番号の表示が消え、ボタンの入力を受け付けなくなり発信ができなくなります。着信に応答するか、空いている外線ボタンを押したあとにダイヤルを入力して発信してください。
- 外線再捕捉をすぐに行うとエラーとなることがあります。その時は、アンテナが表示されていることを確認してからかけ直してください。
- 外線着信時、他の電話機とほぼ同時に応答すると、外線ランプが一瞬緑点滅して、赤点灯になります。

●保証とアフターサービス

保証について

●本システムには、保証書がついております。

保証書は、販売店からお渡ししますので「販売店名、お買い上げ日」など必要事項の記入をお確かめになり、保証書に記載されている保証内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

●保証期間は、お買い上げ日から１年間です。

※保証期間中でも有料になることがあります。保証書をよくお読みください。
※本システムの不具合により生じた損害の補償については、ご容赦ください。

修理を依頼されるときには

●本取扱説明書の「故障かな？とお考えになる前に」の項目をよくご覧になって、もう一度ご確認ください。

それでも異常の場合は、使用をやめてお買い上げの販売店または当社へ次のことをご確認のうえ、ご相談ください。

・品名　「ＭＴ２００bmボタン電話装置」
・故障の状況（出来るだけ詳しく）
・お客様の名前、住所、電話番号

●保証期間中の修理は　・・・・・

正常な使用状態で発生した故障につきましては、保証書の記載内容に基づき無料で修理いたします。修理時に保証書をご提示ください。

●保証期間経過後の修理は　・・・・・

修理によって本システムの性能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理いたします。
ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後７年です。

おわかりにならないことは

●本システムの取扱に関するご質問は、お買い上げの販売店または付属の「お問い合わせ窓口のご案内」の営業所などへご相談ください。

●増設 , 移設については、お買い上げの販売店にご相談ください。

●特殊内線番号の登録一覧表

TD130,TD230,FD200 電話機の[オート]（WS 子機、DC 子機は、未使用[外線]）に登録できます。WS 子機は、未使用[外線]に[機能]と[オート]を登録します。（23ページ参照）DC子機の場合は、未使用[外線]に[短縮]と[機能(F)]と[オート]を登録します。（28 ページ参照）[機能(F)]の使い方は[機能]と同じです。(以降、[機能]のみ記載します。)

・受話器をおいた状態（未使用時）で登録してください。

内線番号 内線特番	機能	内容	登録のしかた	ページ
10～89	内線番号	特定内線を呼出す	[短縮]→[オート]→[機能]→[1] →内線番号→[機能]	62
	スライド着信	内線代表の電話機を呼出す	[短縮]→[オート]→[機能]→[1] → 内線代表番号 →[機能]	132
960	コールピックアップ（他テナント）	他テナントの外線着信に代理応答する	[短縮]→[オート]→[機能]→[1] →[9][6][0]→[機能]	119
961	内線代理応答	別の内線で応答する	[短縮]→[オート]→[機能]→[1] →[9][6][1]→[機能]	131
963	指定外線捕捉	ダイヤル操作で外線を捕捉する	[短縮]→[オート]→[機能]→[1] →[9][6][3]または([＊]) →外線番号※2→[機能]	118
＊※1				
966	コールピックアップ（自テナント）	無鳴動の外線着信のときに特番を押して応答する	[短縮]→[オート]→[機能]→[1] →[9][6][6]→[機能]	119
970	一斉呼出	全ての内線を呼出す	[短縮]→[オート]→[機能]→[1] →[9][7][0]→[機能]	133
971	グループ呼出（グループA）	グループを呼出す	[短縮]→[オート]→[機能]→[1] [9][7][1]（グループA） [9][7][2]（グループB） [9][7][3]（グループC） →[機能]	133
972	グループ呼出（グループB）			
973	グループ呼出（グループC）			
974	呼出応答	一斉呼出やグループ呼出、構内呼出に応答する	[短縮]→[オート]→[機能]→[1] →[9][7][4]→[機能]	133 211
975	構内放送1	構内放送をする	[短縮]→[オート]→[機能]→[1] [9][7][5]（構内放送1） [9][7][6]（構内放送2） [9][7][8]（構内放送一斉） →[機能]	211
976	構内放送2			
978	構内放送一斉			

※1　WS 子機、DC 子機のみ登録できる機能です。

※2　外線番号は２桁０１～２０。

内線番号 内線特番	機能	内容	登録のしかた	ページ
977	未使用の電話機と構内放送からの呼出	未使用電話機と構内放送からの呼出を同時に行なう	短縮 → オート → 機能 → 1 → 9 7 7 → 機能	133
981	ドアホン1モニタ	ドアホンをモニタする	短縮 → オート → 機能 → 1 9 8 1 （ドアホン1） 9 8 2 （ドアホン2） 9 8 3 （ドアホン3） → 機能	189
982	ドアホン2モニタ			
983	ドアホン3モニタ			
986	送話ミュート付き外線通話割込	送話ミュート状態で指定外線の通話に割り込む	短縮 → オート → 機能 → 1 → 9 8 6 → 機能	121
999	単独電話（FAX等）へ着信音転送する	システムから単独電話へ転送する	短縮 → オート → 機能 → 1 → 9 9 9 → 機能	178

●特殊番号の登録一覧表

TD130,TD230,FD200電話機のオート（WS子機、DC子機は、未使用外線）に登録できます。WS子機は、未使用外線に機能とオートを登録します。（23ページ参照）DC子機は、未使用外線に短縮と機能(F)とオートを登録します。（28ページ参照）

・受話器をおいた状態（未使用時）で登録してください。

特殊番号	機能	内容	登録のしかた	ページ
1	ハンズフリーのセット/解除（マイクランプの点灯/消灯）	電話機マイクの設定／停止に使う	短縮 → オート → 機能 → # → 1 → 機能	143
2	送話ミュートの設定／解除	通話時に相手の声のみが、こちらに聞こえる	短縮 → オート → 機能 → # → 2 → 機能	115
3	内線システム保留の設定／解除	内線通話中にシステム保留となる	短縮 → オート → 機能 → # → 3 → 機能	135
4	手動ポーズ（待ち時間3秒）	外線発信時、ポーズを入れるときに使う	短縮 → オート → 機能 → # → 4 → 機能	44
	実装番号の確認	工事設定などのときに使う	短縮 → オート → 機能 → # → 4 → 機能	－
＊※3	ボタン押下音の設定／停止	ボタン押下音の設定／停止に使います	短縮 → オート → 機能 → # → ＊ → 機能	145
6	ドアロック解除	ドアホン通話中に電気錠を解除する	短縮 → オート → 機能 → # → 6 → 機能	189

※3　TD130、TD230、FD200電話機のみ登録できる機能です。

特殊番号	機能	内容	登録のしかた	ページ
50	時刻アラーム１の確認	あらかじめセットした時刻に電話機から時刻アラーム音「ピピピ・・」が鳴る	短縮 → オート → 機能 → ＃ → 5 0 (アラーム1の確認) / 5 1 (アラーム1の解除) / 5 2 (アラーム1の設定※) / 5 3 (アラーム2の確認) / 5 4 (アラーム2の解除) / 5 5 (アラーム2の設定※) ※ ダイヤルボタンで時刻設定 (時刻は4桁00:00〜23:59) → 機能	153 154
51	時刻アラーム１の解除			
52	時刻アラーム１の設定			
53	時刻アラーム２の確認			
54	時刻アラーム２の解除			
55	時刻アラーム２の設定			
58	全電話機の時刻アラーム解除	全電話機の時刻アラームを解除する	短縮 → オート → 機能 → ＃ → 5 8 → 機能	154
5＊	着信記録の一括消去	システムの着信記録を一括消去する	短縮 → オート → 機能 → ＃ → 5 ＊ → 機能	109
5＃	発信記録の一括消去	電話機毎に発信記録を一括消去する	短縮 → オート → 機能 → ＃ → 5 ＃ → 機能	105
60 68 69	不在設定の設定	内線呼出されたとき、呼出先へ「プープー(連続)」を流す	短縮 → オート → 機能 → ＃ → 6 0 → 機能	136
	不在設定の解除	不在設定を解除する	短縮 → オート → 機能 → ＃ → 6 9 → 機能	136 137
	全電話機の不在設定と不在転送の解除	すべての不在設定と不在転送を解除する	短縮 → オート → 機能 → ＃ → 6 8 → 機能	136
	不在転送の設定／解除	内線着信を別の内線へ転送する	短縮 → オート → 機能 → ＃ → 6 0 → 転送先内線番号 → 機能	137
61	外線自動転送セット／解除	外線自動転送のセット／解除	短縮 → オート → 機能 → ＃ → 6 1 → 1 (転送1) / 2 (転送2) / 3 (転送3) → 1 (転送先1) / 2 (転送先2) / 3 (転送先3) / 4 (転送先4) / 5 (転送先5) / 6 (転送先6) → 機能	67

特殊番号	機能	内容	登録のしかた	ページ
63	転送先電話番号の登録	転送先電話番号は6ヵ所まで登録できる	短縮 → オート → 機能 → ＃ → 6 3 → {1 → 転送先1の番号 / 2 → 転送先2の番号 / 3 → 転送先3の番号 / 4 → 転送先4の番号 / 5 → 転送先5の番号 / 6 → 転送先6の番号} → 機能	65
64	転送先電話番号の確認	転送先電話番号を確認できる	短縮 → オート → 機能 → ＃ → 6 4 → {1 (転送先1) / 2 (転送先2) / 3 (転送先3) / 4 (転送先4) / 5 (転送先5) / 6 (転送先6)} → 機能	66
65	外線着信鳴動拒否セット／解除	外線着信鳴動拒否のセット／解除	短縮 → オート → 機能 → ＃ → 6 5 → 機能	145
66	外線転送機能の暗証番号の登録	外線転送機能の暗証番号登録ができる	短縮 → オート → 機能 → ＃ → 6 6 → 暗証番号 (0000〜9999) → 機能	75
704 705 706 707 708 709	応答専用メッセージの録音 お待たせメッセージの録音 一次応答メッセージの録音 非通知着信拒否メッセージの録音	応答専用メッセージを録音する お待たせメッセージ一次応答メッセージの録音をする 非通知着信拒否メッセージを録音する	短縮 → オート → 機能 → ＃ → {7 0 4 (モード1) / 7 0 5 (モード2) / 7 0 6 (モード3) / 7 0 7 (お待たせメッセージ) / 7 0 8 (一次応答メッセージ) / 7 0 9 (非通知着信拒否メッセージ)} → 機能	193

特殊番号	機能	内容	登録のしかた	ページ
714 715 716 717 718 719	応答専用メッセージの確認 お待たせメッセージの確認 一次応答メッセージの確認 非通知着信拒否メッセージの確認	応答専用メッセージを確認する お待たせメッセージ 一次応答メッセージを確認する 非通知着信拒否メッセージを確認する	短縮→オート→機能→＃ → 7 1 4（モード1） 7 1 5（モード2） 7 1 6（モード3） 7 1 7（お待たせメッセージ） 7 1 8（一次応答メッセージ） 7 1 9（非通知着信拒否メッセージ） →機能	194
724 725 726 727 728 729	応答専用メッセージの消去 お待たせメッセージを消去 一次応答メッセージを消去 非通知着信拒否メッセージを消去	応答専用メッセージを消去する お待たせメッセージを消去する 一次応答メッセージを消去する 非通知着信拒否メッセージを消去する	短縮→オート→機能→＃ → 7 2 4（モード1） 7 2 5（モード2） 7 2 6（モード3） 7 2 7（お待たせメッセージ） 7 2 8（一次応答メッセージ） 7 2 9（非通知着信拒否メッセージ） →機能	194
701 702 703	応答録音メッセージの録音	応答録音メッセージを録音する	短縮→オート→機能→＃ → 7 0 1（モード1） 7 0 2（モード2） 7 0 3（モード3） →機能	193
711 712 713	応答録音メッセージの確認	応答録音メッセージを確認する	短縮→オート→機能→＃ → 7 1 1（モード1） 7 1 2（モード2） 7 1 3（モード3） →機能	194
721 722 723	応答録音メッセージの消去	応答録音メッセージを消去する	短縮→オート→機能→＃ → 7 2 1（モード1） 7 2 2（モード2） 7 2 3（モード3） →機能	194
720	用件の消去	録音された用件を消去する	短縮→オート→機能→＃ → 7 2 0 →機能	199
74	追っかけ転送の転送先番号の確認	追っかけ転送の転送先番号を確認する	短縮→オート→機能→＃ → 7 4 →機能	196

特殊番号	機能	内容	登録のしかた	ページ
75	留守番自動応答回数指定	留守番自動応答の回数を指定する	短縮→オート→機能→＃→7 5→機能	191
7#	主装置種別およびバージョンの確認	主装置種別およびバージョンの確認	短縮→オート→機能→＃→7 ＃→機能	–
77	留守番指定電話機サイレントモード	留守番応答後の相手の音声やメッセージの送出する、しないを指定	短縮→オート→機能→＃→7 7→機能	198
78	留守番機能の自動切替日時の登録または消去	留守番機能の日時を登録または消去する	短縮→オート→機能→＃→7 8→機能	201 205
79	留守番機能の自動切替日時の確認	留守番機能の日時を確認する	短縮→オート→機能→＃→7 9→機能	204
6*	外線自動転送モードの自動切替時刻セット／解除	外線自動転送モードの自動切替時刻によるセット／解除時に利用する	短縮→オート→機能→＃→6 *→転送セット番号→転送先指定番号→開始時刻※→終了時刻※→機能 ※24時間制（00：00～23：59）	69
6#	外線自動転送モードの自動切替時刻確認	外線自動転送モードの自動切替時刻を確認する	短縮→オート→機能→＃→6 ＃→転送セット番号→機能	70
7*	バージョンの確認	バージョンの確認	短縮→オート→機能→＃→7 *→機能	–
8*	着信音メロディ切替	着信音メロディの曲を指定する	短縮→オート→機能→＃→8 *→機能	55
8#	保留音メロディ切替	保留音メロディの曲を指定する	短縮→オート→機能→＃→8 ＃→機能	158
80	夜間モード切替（手動）の設定／解除	夜間モードを手動設定する	短縮→オート→機能→＃→8 0→機能	147
83	非通知着信外線の設定／解除	非通知の着信を設定／解除する	短縮→オート→機能→＃→8 3→外線番号※4,※5→機能	236
84	話中設定の設定／解除	話中設定の設定／解除時に利用する	短縮→オート→機能→＃→8 4→外線番号※4,※5→機能	123
85	通信中着信通知の許可／停止	デジタル回線の付加サービス	短縮→オート→機能→＃→8 5→機能	234

特殊番号	機能	内容	登録のしかた	ページ
9#	日付･時刻のセット	日付･時刻をセットする	短縮 → オート → 機能 → # → 9 # → 機能	38
90	通話料金集計の表示	通話料金集計を表示する	短縮 → オート → 機能 → # → { 9 0 (自電話機) / 9 0 0 (システム) / 9 0 → 内線番号 / 9 0 9 → テナント※7 / 9 0 * → 外線番号※4 } → 機能	149 150
92	通話料金集計のクリア	通話料金集計をクリアする	短縮 → オート → 機能 → # → { 9 2 (自電話機) / 9 2 0 (システム) / 9 2 → 内線番号※6 / 9 2 9 → テナント※7 / 9 2 * → 外線番号※4 } → 機能	151 152
93	BGM放送の設定／解除	BGM放送を設定／解除する	短縮 → オート → 機能 → # → 9 3 → 機能	212
96	内線／ドアホン名前の登録／消去	内線／ドアホン名前を登録／消去する	短縮 → オート → 機能 → # → 9 6 → 機能	125 186
98	IPアドレスを表示	IPアドレスを表示する	短縮 → オート → 機能 → # → 9 8 → 機能	－
99	機能ランプリセット	全電話機の機能ランプを消灯させる	短縮 → オート → 機能 → # → 9 9 → 機能	258
	迷惑電話サービス	通信中の電話を迷惑電話サービスに登録する	短縮 → オート → 機能 → # → 0 1 4 4 2 → 機能	218

※4 外線番号は2桁で01～20
※5 外線番号を複数入力することができます。
※6 内線番号は2桁で10～89
※7 テナント番号は1桁で0～3

●オートダイヤルボタンに登録して使う機能一覧表

次の機能は、オートダイヤルボタンに登録してワンタッチでご利用できます。

特殊番号	機能	内容	登録のしかた	ページ
10	外線手動転送	外線手動転送の操作を登録する	短縮→オート→機能→2→1 0→機能	72
12	お待たせ	着信中の外線へお待たせメッセージで応答する	短縮→オート→機能→2→1 2→機能	206
13	発信記録	発信記録を表示する	短縮→オート→機能→2→1 3→機能	102
14	着信記録	着信記録を表示する	短縮→オート→機能→2→1 4→機能	109
15	発信者番号	発信時に発信者番号を通知する／しないを切替える 他の外線に着信があったときに発信者番号を確認する	短縮→オート→機能→2→1 5→機能	216
16	電話帳	名前から短縮ダイヤルを検索する	短縮→オート→機能→2→1 6→機能	81
17	表示切替 ※8	電話帳や着信記録から発信する場合、相手先を詳細に表示する	短縮→オート→機能→2→1 7→機能	90 91 110
40	◀	カーソルを左に移動したり、各種画面の前画面を表示する	短縮→オート→機能→2→4 0→機能	84 99 102 109
41	▶	カーソルを右に移動したり、各種画面の次画面を表示する	短縮→オート→機能→2→4 1→機能	84 99 102 109

※8 TD130、TD230、FD200電話機では使用できません。

TD130,TD230,FD200,WS230,DC230電話機の外線ボタン、オートダイヤルの関係

TD130,TD230,FD200,WS230,DC230電話機では、外線ボタン、オートダイヤルボタンの割り付けが２７１ページの「電話機機種別ダイヤル割付表」のように、異なります。オートダイヤルを電話機共通で登録するときなどに注意して下さい。（初期設定は、「全電話機共通」です。）

■ＴＤ１３０電話機

外線ボタン または オートダイヤルボタン	13	14	15	16
	9	10	11	12
	5	6	7	8
	1	2	3	4

■ＴＤ２３０電話機

外線ボタン または オートダイヤルボタン	31	32				
オートダイヤルボタン	25	26	27	28	29	30
	19	20	21	22	23	24
外線ボタン または オートダイヤルボタン	13	14	15	16	17	18
	7	8	9	10	11	12
	1	2	3	4	5	6

■ＦＤ２００電話機

外線ボタン または オートダイヤルボタン	15	16				
	13	14				
	7	8	9	10	11	12
	1	2	3	4	5	6

■ＷＳ２３０電話機

外線ボタン または オートダイヤルボタン	9	10	11	12
	5	6	7	8
	1	2	3	4

■ＤＣ２３０電話機

外線ボタン または オートダイヤルボタン	1	2	3
	4	5	6

＜電話機種別ダイヤル割付表＞

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
TD130	外線1	外線2	外線3	外線4	外線5	外線6	外線7	外線8	外線9	外線1 0	外線1 1	外線1 2
TD230	外線1	外線2	外線3	外線4	外線5	外線6	外線7	外線8	外線9	外線1 0	外線1 1	外線1 2
FD200	外線1	外線2	外線3	外線4	外線5	外線6	外線7	外線8	外線9	外線1 0	外線1 1	外線1 2
WS230	外線1	外線2	外線3	外線4	外線5	外線6	外線7	外線8	外線9	外線1 0	外線1 1	外線1 2
DC230	外線1	外線2	外線3	外線4	外線5	外線6						

	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
TD130	外線13	外線14	外線15	外線16								
TD230	外線13	外線14	外線15	外線16	外線17	外線18	オート19	オート20	オート21	オート22	オート23	オート24
FD200	外線13	外線14	外線15	外線16								
WS230	Fオート13 ※1	Fオート14 ※1					オート1 ※2	オート2 ※2	オート3 ※2	オート4 ※2	オート5 ※2	オート6 ※2
DC230	Fオート13 ※1	Fオート14 ※1					オート1 ※2	オート2 ※2	オート3 ※2	オート4 ※2	オート5 ※2	オート6 ※2

	25	26	27	28	29	30	31	32
TD130								
TD230	オート25	オート26	オート27	オート28	オート29	オート30	外線19	外線20
FD200								
WS230	オート7 ※2	オート8 ※2	オート9 ※2	オート10 ※2	オート11 ※2	オート12 ※2		
DC230								

※１　未使用外線ボタンにＦオートボタンを割り付け変更した場合。（23,28ページ参照）
※２　未使用外線ボタンにオートボタンを割り付け変更した場合。（23,28ページ参照）

＜例＞
ＴＤ２３０の［オート19］に電話機共通で登録すると、ＷＳ２３０では［オート1］（［外線1］を割り付け変更）に登録されます。また、この場合、ＴＤ１３０・ＦＤ２００では対応するボタンがないため登録されません。

【索引】(INDEX)

【B】
ＢＧＭ放送 212
【D】
ＤＣ２３０電話機 16
【F】
ＦＤ２００電話機 12
Ｆキーモードの設定(ＤＣ２３０) 253
【I】
ＩＳＤＮサービス一覧 214
ＩＮＳナンバーディスプレイ 235
ＩＮＳネームディスプレイ 235
ＩＮＳボイスワープ 220
ＩＰ電話サービス回線 213
【L】
ＬＣＤコントラストの設定(ＤＣ２３０) 255
【T】
ＴＤ１３０電話機 8
ＴＤ２３０電話機 10
【W】
ＷＳ２３０電話機 14

【ア行】
アンプアダプタ 212
アラームの設定(ＤＣ２３０) 250
オフフックダイヤル 45
オフフック発信 46
オンフックダイヤル 44
オートリピートダイヤル 51
暗証番号の登録／消去／変更（留守番機能） 207
暗証番号の登録／変更／消去（外線転送） 75
安全にお使いいただくために 1
一次応答付き外線自動転送 71
一斉呼出・電話機グループ呼出 133
応答専用 198
応答録音 198
追っかけ転送 198
お待たせメッセージ応答 206
おわかりにならないことは 261
音声／信号音切替え 61
音量の調節 29
【カ行】
カレンダー 38
カレンダー時刻の設定(ＤＣ２３０) 250
キャッチホン
（コールウェイティング）（ISDN の機能） 217
キー押下音 145
キータッチトーンの設定(ＤＣ２３０) 252
キーロックの設定(ＤＣ２３０) 245
クイック通話 113
コールウェイティング（内線の機能） 139
コールピックアップ 119
コントラスト調整 41,42
コントラスト調整(FD200) 180
外線・内線で会議通話をする 140
外線ハンズフリー通話 143
外線会議転送 142
外線自動転送セット／変更 67
外線自動転送解除 68
外線手動転送 72
外線通話割込 120
外線転送コールバック 73
外線会議通話から外線手動転送する 142
外線転送機能の種類 64
外線着信音を停止する 145
外線保留 54
機能項目一覧表(ＤＣ２３０) 246
機能モードの使い方(ＤＣ２３０) 245
機能ランプリセット 258
強制転送 57
圏外警告音の設定(ＤＣ２３０) 256
構内放送 211
高音量ブザー 212
口頭転送 59
故障かな？とお考えになる前に 259
【サ行】
サブアドレスリモコン（外線転送） 77
サブアドレス通知 215
スクランブル 157
スピーカ受話 144
スライド着信 132
再発信メモリ 114
指定外線捕捉 118
識別着信 89
識別着信音の登録 84,86,88,97
識別着信転送 71
識別着信留守番 200
時刻アラーム 153
自営発信モードの設定(ＤＣ２３０) 248
自動選局発信 43
自動着信リモコン（外線転送） 78
自動選局応答 53
自動転送 56
修理を依頼されるときは 261
全設定初期化(ＤＣ２３０) 256
送話ミュート 115
送話ミュート付き外線通話割込 121

【タ行】
ダイレクトリモコン（外線転送）..................76
チェーンダイヤル 122
ドアホン通話 188
ドアロック解除 189
短縮簡易検索発信 93
短縮発信 92
短縮ダイヤルの確認／消去／変更 94
着信音メロディ切替え 55
着信音種の選択(ＤＣ２３０) 251
着信記録からの短縮ダイヤル登録 96
着信記録から発信 108,110,111
着信記録から発信（ＦＤ２００）...............185
着信記録の個別消去 112
着信自動応答 52
通信中着信通知 234
通話時間表示 148
通話料金集計 149
通話料金集計の消去 151
停電について 257
転送先電話番号の確認／変更／消去 66
転送先電話番号の登録 65
電話機種別ダイヤル割付表 271
電話帳から発信 89,90,91,183
電話帳ボタンの登録 81
電話帳登録 82,85,87
電話帳登録（ＦＤ２００）......................181
時計設定 38
【ナ行】
ネスティングダイヤルの登録 116
内線オートダイヤル（登録）....................62
内線オートダイヤル（発信／確認／消去／変更）...63
内線オフフック発信 60
内線オンフック発信 60
内線システム保留 135
内線会議通話 142
内線代理応答 131
内線独占保留 134
内線 / ドアホン名前表示 125,127,129
内線 / ドアホン名前表示（ＦＤ２００）..........186
任意外線応答 52
【ハ行】
バイブレータ(震動着信)の設定(ＤＣ２３０) 251
パスワードロックの設定・解除(ＤＣ２３０) 249
パスワードの設定(ＤＣ２３０) 255
バックライトの設定 42
パーソナルハンズフリー通話 144
ハンズフリーセット、解除 143
プッシュ信号送出 156
フラッシュ機能 155
プリセットダイヤル 47
ページング 211
ヘッドセットでの応答 210
ヘッドセットでの発信 210
発信プリセット 46
発信記録から発信 102,103,104
発信記録から発信（ＦＤ２００）...............184
発信記録の一括消去 105
発信記録の個別消去 106
発信者番号通知 216
非通知着信メッセージ応答 236
不在設定 136
不在転送 137
保証について 261
保留音メロディ切替え 158
【マ行】
メインメニュー 40
メインメニュー（ＦＤ２００）..................179
メッセージの確認／消去／変更 194
メッセージ録音のしかた 193
迷惑電話おことわり 218
メモリダイヤル(ＤＣ２３０) 242
文字入力表(ＤＣ２３０) 247
【ヤ行】
夜間モード切替 146
用件の再生／消去のしかた 199
【ラ行】
リセットコール 130
リソースＢＯＤ機能 238
リダイヤル 49
リモコン機能（外線転送）.......................74
リモコン機能（留守番機能）...................207
リモコン操作をする（留守番機能）.............208
リモコン操作一覧（外線転送）..................79
リモコン操作一覧（留守番機能）...............209
リレー着信モードの設定(ＤＣ２３０) 252
留守番機能の自動切替日時の確認 204
留守番機能の自動切替日時の消去 205
留守番機能の自動切替日時の登録 201
留守番セットのしかた 195
留守番応答回数の変更 191
留守番指定電話機 192
料金情報通知 215
略図の説明 7
【ワ行】
ワンタッチダイヤル 99
ワンタッチダイヤルの設定(ＤＣ２３０) 254
話中設定 123
話中呼出 138

【タ行】

ダイレクトリモコン（外線転送）..................76
チェーンダイヤル 122
ドアホン通話 188
ドアロック解除 189
短縮簡易検索発信 93
短縮発信 92
短縮ダイヤルの確認／消去／変更 94
着信音メロディ切替え 55
着信音種の選択(ＤＣ２３０) 251
着信記録からの短縮ダイヤル登録 96
着信記録から発信 108,110,111
着信記録から発信（ＦＤ２００）................185
着信記録の個別消去 112
着信自動応答 52
通信中着信通知 234
通話時間表示 148
通話料金集計 149
通話料金集計の消去 151
停電について 257
転送先電話番号の確認／変更／消去 66
転送先電話番号の登録 65
電話機種別ダイヤル割付表 271
電話帳から発信 89,90,91,183
電話帳ボタンの登録 81
電話帳登録 82,85,87
電話帳登録（ＦＤ２００）......................181
時計設定 38

【ナ行】

ネスティングダイヤルの登録 116
内線オートダイヤル（登録）....................62
内線オートダイヤル（発信／確認／消去／変更）...63
内線オフフック発信 60
内線オンフック発信 60
内線システム保留 135
内線会議通話 142
内線代理応答 131
内線独占保留 134
内線 / ドアホン名前表示 125,127,129
内線 / ドアホン名前表示（ＦＤ２００）..........186
任意外線応答 53

【ハ行】

バイブレータ(振動着信)の設定(ＤＣ２３０) 251
パスワードロックの設定・解除(ＤＣ２３０) 249
パスワードの設定(ＤＣ２３０) 255
バックライトの設定 42
パーソナルハンズフリー通話 144
ハンズフリーセット、解除 143
プッシュ信号送出 156
フラッシュ機能 155
プリセットダイヤル 47
ページング 211
ヘッドセットでの応答 210
ヘッドセットでの発信 210
発信プリセット 46
発信記録から発信 102,103,104
発信記録から発信（ＦＤ２００）................184
発信記録の一括消去 105
発信記録の個別消去 106
発信者番号通知 216
非通知着信メッセージ応答 236
不在設定 136
不在転送 137
保証について 261
保留音メロディ切替え 158

【マ行】

メインメニュー 40
メインメニュー（ＦＤ２００）..................179
メッセージの確認／消去／変更 194
メッセージ録音のしかた 193
迷惑電話おことわり 218
メモリダイヤル(ＤＣ２３０) 242
文字入力表(ＤＣ２３０) 247

【ヤ行】

夜間モード切替 146
用件の再生／消去のしかた 199

【ラ行】

リセットコール 130
リソースＢＯＤ機能 238
リダイヤル 49
リモコン機能（外線転送）......................74
リモコン機能（留守番機能）....................207
リモコン操作をする（留守番機能）..............208
リモコン操作一覧（外線転送）..................79
リモコン操作一覧（留守番機能）................209
リレー着信モードの設定(ＤＣ２３０) 252
留守番機能の自動切替日時の確認 204
留守番機能の自動切替日時の消去 205
留守番機能の自動切替日時の登録 201
留守番セットのしかた 195
留守番応答回数の変更 191
留守番指定電話機 192
料金情報通知 215
略図の説明 7

【ワ行】

ワンタッチダイヤル 99
ワンタッチダイヤルの設定(ＤＣ２３０) 254
話中設定 123
話中呼出 138

株式会社 田村電機製作所
本社　〒153-8923 東京都目黒区下目黒2-2-3

この資料の内容は、平成１５年４月現在のものです。

●お問い合わせ、ご用命は・・・・・

ご購入年月日	年　　月　　日
ご購入店名	

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準にもとづくクラスＡ情報技術装置です。
この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

559BT	007-7	M

4270060000

この資料は、再生紙を使用しています。